



Copyright © 2009 Raritan, Inc. DKX2-v2.2.0-0L-J 2010 年 1 月 255-62-4023-00 このドキュメントには著作権によって保護されている所有者情報が含まれています。無断で転載する ことは、禁じられており、このドキュメントのどの部分も Raritan, Inc. (Raritan 社) より事前に書面 による承諾を得ることなく複写、複製、他の言語へ翻訳することはできません。

© Copyright 2009 Raritan, Inc.、CommandCenter®、Dominion®、Paragon®、Raritan 社のロゴは 、Raritan, Inc. の商標または登録商標です。無断で転載することは、禁じられています。Java® は Sun Microsystems, Inc. の登録商標、Internet Explorer® は Microsoft Corporation の登録商標です。 また、Netscape® および Netscape Navigator® は Netscape Communication Corporation の登録商 標です。その他すべての商標または登録商標は、その所有会社に帰属します。

FCC 情報

この装置は FCC 規則のパート 15 による Class A デジタル装置の制限に準拠することが試験により証明されています。これらの制限は、商業上の設置における有害な干渉を防止するために設けられています。この装置は、無線周波数を生成、利用、放射する可能性があるので、指示に従った設置および使用をしないと、無線通信への干渉を招く恐れがあります。この装置を居住環境で操作すると、干渉を招く場合があります。

VCCI 情報 (日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準 に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波 妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ず るよう要求されることがあります。

事故、自然災害、本来の用途とは異なる使用、不正使用、Raritan 社以外による製品の変更、その他 Raritan 社が関与しない範囲での使用や、通常の運用条件以外での使用による製品の故障については、 Raritan 社は一切責任を負いかねます。



目次

はじめに	1
Dominion KX II ヘルプ	1
関連文書	1
ヘルプでの最新情報	2
Dominion KX II の概要	3
Dominion KX II で使用できるクライアント アプリケーション	5
仮想メディア	6
製品の写真	7
製品の特長	9
ハードウェア	9
ソフトウェア	
用語	11
パッケージの内容	13

インストールと設定

概要	14
デフォルトのログイン情報	14
入門	
ステップ 1: KVM ターゲット サーバの設定	
ステップ 2: ネットワーク ファイアウォールの設定	
ステップ 3: 装置の接続	
ステップ 4: Dominion KX II の設定	
ターゲット名で使用できる有効な特殊文字	
手順 5 (オプション): キーボード言語の設定	42

ターゲット サーバの使用

インタフェース	44
Dominion KX II ローカル コンソール インタフェース	45
Dominion KX II リモート コンソール インタフェース	45
Multi-Platform Client インタフェース	60
Virtual KVM Client	61
概要	61
KVM ターゲット サーバへの接続	61
VKC ツールバー	62
KVM ターゲット サーバの切り替え	64
ターゲット サーバの電源管理	64



14

44

iv

目次

KVM ターゲット サーバの切断	65
USB プロファイルの選択	66
[Connection Properties] (接続プロパティ)	67
接続情報	69
キーボードのオプション	70
ビデオのプロパティ	74
マウス オプション	80
VKC 仮想メディア	85
スマート カード (VKC および MPC)	86
ツール オプション	
表示オプション	
ヘルプのオプション	93
Active KVM Client (AKC)	
概要	94
AKC を使用するための必要条件	95
AKC でサポートされているオペレーティング システムとブラウザ	96

仮想メディア

概要	
仮想メディアを使用するための前提条件	101
Windows 環境での VKC および AKC を介した仮想メディアの使用	102
仮想メディアの使用	103
ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメージの場合のみ)	105
仮想メディアへの接続	107
[Local Drives] (ローカル ドライブ)	107
読み取り/書き込み可能に設定できない状況	108
CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージ	109
仮想メディアの切断	111

USB プロファイル

概要	
miへ CIM の互換性	
使用できる USB プロファイル	
KVM ポート用のプロファイルの選択	
DCIM-VUSB で Mac OS-X USB プロファイルを使用する場合のマウス モード	

[User Management] (ユーザ管理)

ユーザ グループ	
[User Group List] (ユーザ グループ リスト)	
ユーザとグループの関係	
新規ユーザ グループの追加	
既存のユーザ グループの変更	



97

112

123

ユーザ	
[User List] (ユーザ リスト)	
新規ユーザの追加	
既存のユーザ グループの変更	
ユーザのログオフ (強制ログオフ)	
[Authentication Settings] (認証設定)	
LDAP/LDAPS リモート認証の実装	
ユーザ グループ情報を Active Directory サーバから返す	
RADIUS リモート認証の実装	
ユーザ グループ情報を RADIUS 経由で返す	
RADIUS 通信交換仕樣	
ユーザ認証プロセス	
パスワードの変更	

デバイス管理

[Network Settings] (ネットワーク設定)	152
ネットワーク基本設定	153
LAN インタフェース設定	157
[Device Services] (デバイス サービス)	158
ダイレクト ポート アクセスの概要	160
[Enable AKC Download Server Certificate Validation (AKC ダウンロード サーバ	証明書
の検証を有効にする)] の概要	161
[Modem Settings] (モデム設定)	162
日付/時刻の設定	164
イベント管理	165
[Event Management - Settings] (イベント管理 - 設定)の設定	
[Event Management - Destinations] (イベント管理 - 送信先)	168
[Power Supply Setup] (電源設定)	173
ポートの設定	175
標準ターゲット サーバの設定	176
電源タップ (ラック PDU) の接続先の設定	177
ブレード シャーシの設定	183
USB プロファイルの設定 ([Port] (ポート) ページ)	210
Dominion KX II のローカル ポートの設定	213



目次

152

v

診断

vi

Network Interface] (ネットワーク インタフェース) ページ	.257
Network Statistics] (ネットワーク統計) ページ	.257
Ping Host] (ホストに ping する) ページ	.260
Trace Route to Host] (ホストへの経路をトレースする) ページ	.261
Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページ	.262

セキュリティ上の問題

セキュリティの設定	223
[Login Limitations] (ログイン制限)	
[Strong Passwords] (強力なパスワード)	
[User Blocking] (ユーザ ブロック)	
[Encryption & Share] (暗号化および共有)	
FIPS 140-2 の有効化	233
IP アクセス制御を設定する	235
SSL 証明書	238

保守

監査ログ	241
デバイス情報	243
バックアップと復元	244
USB プロファイルの管理	247
プロファイル名の競合を処理する	248
CIM をアップグレードする	249
ファームウェアをアップグレードする	250
アップグレード履歴	253
再起動	254
CC-SG 管理の終了	255

[Netw

コマンド	ライン	インタフェース	(CLI)

概要	264
CLI を使用しての Dominion KX II へのアクセス	265
Dominion KX II への SSH 接続	265
Windows PC から SSH で接続する	265

概要	
コンセントの電源オン/オフの切り替えまたは電源再投入を行う	

241

219

223

257

264

UNIX/Linux ワークステーションから SSH で接続する	
Dominion KX II への Telnet 接続	
Telnet 接続を有効にする	
Windows PC から Telnet で接続する	
ログイン	
CLI の画面操作	
コマンドのオート コンプリート	
CLI 構文: ヒントとショートカット キー	
すべての CLI レベルで使用できるコマンド	270
CLI を使用した初期設定	270
パラメータ値を設定する	271
ネットワーク パラメータ値を設定する	271
CLI プロンプト	271
CLI コマンド	272
セキュリティ上の問題	273
Dominion KX II コンソール サーバ設定用コマンドを使用する	273
ネットワークを設定する	
interface コマンド	
name コマンド	
ipv6 コマンド	
······	

Dominion KX II ローカル コンソール

概要	276
Dominion KX II ローカル コンソールを使用する	.277
ユーザが同時接続可能	.277
Dominion KX II ローカル コンソール インタフェース	.277
セキュリティと認証	.278
ローカル コンソールのスマート カード アクセス	.279
KX28 デバイスでのスマート カード アクセス	280
有効な解像度	.281
[Port Access] (ポート アクセス) ページ (ローカル コンソール サーバ ディスプレイ)	282
ホット キーと接続キー	.284
接続キーの例	.284
Sun サーバへのアクセス時に使用できる特別なキー組み合わせ	.285
ターゲット サーバにアクセスする	286
Dominion KX II ローカル コンソールの画面に切り替える	.286
ローカル ポートの管理	.287
Dominion KX II ローカル コンソールのローカル ポートの設定	.287
Dominion KX II ローカル コンソールの [Factory Reset] (出荷時設定にリセット) ペー	_
۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲	292



目次

276

vii

目次

リセット ボタンを使用	して Dominion KX II	をリセットする	
-------------	-------------------	---------	--

仕様

ale	005
初理的仕様	
環境要件	
コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	
サポートされている CIM およびオペレーティング システム (ターゲット サーバ)	
サポートされているオペレーティング システム (クライアント)	
サポートされているブラウザ	
認定モデム	
KX2-832 および KX2-864 の拡張ローカル ポートでサポートされているデバイス	
ターゲット サーバとの接続距離および画面解像度	
KX2-832 および KX2-864 の拡張ローカル ポートの推奨最大接続距離	
リモート接続	
サポートされている画面解像度	310
各言語に対してサポートされているキーボード	311
スマート カード リーダー	312
サポートされているスマート カード リーダーとサポートされていないスマート	、カー
ド リーダー	312
最小システム要件	314
使用される TCP ポートおよび UDP ポート	316
ネットワーク速度の設定	318

LDAP スキーマを更新する

ユーザ グループ情報を返す	
LDAP から返す場合	
Microsoft Active Directory から返す場合	
スキーマへの書き込み操作を許可するようにレジストリを設定する	
新しい属性を作成する	
属性をクラスに追加する	
スキーマ キャッシュを更新する	
ユーザ メンバの rciusergroup 属性を編集する	

留意事項



320

328

295

マウス ポインタの同期 (Fedora)......335 Linux ターゲット サーバに対して Windows の 3 ボタン マウスを使用する場合.....340 Windows 2000 での複合 USB デバイスの動作......341 シングル マウス モード: Firefox を使用して CC-SG の管理下にあるターゲット サー プロキシ モードと MPC......343 Dominion KX II のポート間を移動する......343





目次

FAQ

344

全般的た質問	345
11モート アクヤス	
ユニバーサル仮想メディア	
USB プロファイル	
Ethernet と IP ネットワーキング	
IPv6 ネットワーキング	
サーバ	
ブレード サーバ	
インストール	
ローカル ポート	
拡張ローカル ポート (Dominion KX2-832 および KX2-864 モデルのみ)	
電源制御	
拡張性	
コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	
セキュリティ	
スマート カード認証と CAC 認証	
管理機能	
その他	

索引



Ch1 はじめに

この章の内容

Dominion KX II ヘルプ	1
ヘルプでの最新情報	2
Dominion KX II の概要	3
Dominion KX II で使用できるクライアント アプリケーション	5
仮想メディア	6
製品の写真	7
製品の特長	9
用語	11
パッケージの内容	13

Dominion KX II へルプ

Dominion KX II ヘルプでは、Dominion KX II のインストール、セット アップ、および設定の方法に関する情報を確認できます。また、ターゲ ット サーバおよび電源タップに対するアクセス、仮想メディアの使用、 ユーザおよびセキュリティの管理、Dominion KX II の保守と診断に関す る情報も提供します。

PDF バージョンのヘルプは、ラリタンの Web サイトの「Firmware and Documentation」ページ

http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/参照 からダ ウンロードできます。最新のユーザ ガイドが利用できるかどうかをラリ タンの Web サイトで確認することを推奨します。

注: オンライン ヘルプを使用するには、ブラウザでアクティブ コンテン ツを有効にする必要があります。アクティブ コンテンツを有効にする方 法については、ブラウザのヘルプを参照してください。

関連文書

Dominion KX II ヘルプには、Dominion KX II クイック セットアップ ガ イドが付属しています。これは、ラリタンの Web サイトの「*Firmware and Documentation」ページ*

http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/参照 にあり ます。Dominion KX II で使用するクライアント アプリケーションのイン ストールの要件および手順についても、ラリタンの Web サイトにある **KVM and Serial Access Clients Guide**』を参照してください。適用で きる場合は、Dominion KX II で使用される特定のクライアント機能がこ のヘルプに含まれています。



ヘルプでの最新情報

製品やユーザ マニュアルに対する強化や変更に基づいて、以下の情報が 追加されています。

- Active KVM Client (AKC) は、Windows 環境に固有の新しいクライア ントで、Dominion KX II によってサポートされています。詳細につ いては『KVM and Serial Access Clients User Guide』を、概要に ついては「Active KVM Client (AKC) 『p. 94』」を参照してくださ い。
- Dominion KX II には、FIPS 140-2 で検証された暗号化モジュールが 埋め込まれるようになりました。「*暗号化および共有* 『p. 229の "[Encryption & Share] (暗号化および共有)"参照 』」を参照してくだ さい。
- ブラウザからターゲットに直接接続できるダイレクト ポート アクセス機能が Dominion KX II に追加されました。「デバイス サービス 『p. 158の"[Device Services] (デバイス サービス)"参照 』」を参照してください。
- CC-SG の管理下にある状態でのオプションのリモート デバイス アクセスを許可する機能が Dominion KX II に追加されました。「 *許可の設定* 『p. 128』」を参照してください。
- Dominion KX II に追加のワイド画面解像度のサポートが追加されました。「サポートされている画面解像度 『p. 310』」を参照してください。
- Dominion KX II で Microsoft の Windows 7 オペレーティング シス テムがサポートされるようになりました。「サポートされている CIM およびオペレーティング システム (ターゲット サーバ) 『p. 300』」および「サポートされているオペレーティング システム (ク ライアント) 『p. 306』」を参照してください。

このバージョンのヘルプに対して適用される変更の詳細は、リリース / ートを参照してください。



Dominion KX II の概要

Dominion KX II は、世界中どこからでも Web ブラウザを介してサーバ への BIOS レベル以上のアクセスおよび制御を提供する、企業規模のセ キュアなデジタル KVM (キーボード、ビデオ、マウス) スイッチです。 標準の Dominion KX II で最大 64 台のサーバを制御できます。 Dominion KX II の 8 ユーザ モデルの場合、KX2-832 では最大 32 台の サーバを、KX2-864 では最大 64 台のサーバを制御できます。

Dominion KX II では、最大 8 つのビデオ チャネルがサポートされるた め、最大 8 人の同時ユーザが任意の時点で 8 台の異なるビデオ ターゲ ットに接続できます。ラック内の Dominion KX II で、1 組のキーボード、 モニタ、およびマウスから、最大 64 台のサーバと IT デバイスを BIOS レベルで制御できます。また、Dominion KX II のリモート アクセス機能 の統合によって、Web ブラウザを使用した同じレベルのサーバの制御が 可能になっています。

Dominion KX II は、標準 UTP (Cat 5/5e/6) ケーブルを使用した配線で簡 単に取り付けることができます。その高度な機能には、仮想メディア、 128 ビット暗号化、二重化電源、リモート電源管理、二重化 Ethernet、 LDAP、RADIUS、Active Directory、Syslog との統合、外付けモデム機 能、および Web 管理などが含まれています。Dominion KX II の 8 ユー ザ モデルでは、デバイスの背面に拡張ローカル ポートも搭載されてい ます。これらの機能により、より長い稼働時間、より優れた生産性、強 固なセキュリティを、いつでも、どこからでも提供できます。

Dominion KX II 製品は、スタンドアロン装置として動作し、中央管理デ バイスには依存しません。大規模なデータ センタや企業では、多数の Dominion KX II デバイス (Dominion SX デバイスをリモート シリアル コンソール アクセス用、Dominion KSX をリモート/支店管理用に併用) を、ラリタンの CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) を使用して、 1 つの論理ソリューションとして統合することが可能です。







図の説明			
1	Cat5 ケーブル	7	リモート仮想メディア USB ドライブ
2	コンピュータ インタフ ェース モジュール (CIM)	8	電源タップ
3	Dominion KX II	9	ローカル アクセス 注: KX2-832 および KX2-864 では、拡張ローカ ル ポートも使用されま す。
4	リモート KVM および シリアル デバイス	A	IP LAN/WAN
5	モデム	₿	PSTN
6	リモート (ネットワー ク) アクセス		

Dominion KX II で使用できるクライアント アプリケーション

Dominion KX II で使用できるクライアント アプリケーションは以下の とおりです。

製品	使用可能				
	MPC	RRC	VKC	RSC	АКС
KX II (第 2 世代)	\checkmark		\checkmark		
KX II 2.2 以降	\checkmark		\checkmark		\checkmark



クライアント アプリケーションの詳細については、『KVM and Serial Access Clients User Guide』を参照してください。このガイドの「ター ゲット サーバの使用 『p. 44』」セクションも参照してください。 Dominion KX II でのクライアントの使用に関する情報が記載されていま す。

注: MPC および VKC を使用するには、Java Runtime Environment (JRE) が必要です。AKC は .NET ベースです。

仮想メディア

すべての Dominion KX II モデルにおいて仮想メディアがサポートされ ています。これにより、仮想メディアのメリット (ソフトウェアのインス トールおよび診断をサポートするためにターゲット サーバにリモート ドライブ/メディアをマウントすること) がすべての Dominion KX II モ デルにもたらされます。

それぞれの Dominion KX II は仮想メディアを装備しているので、CD、 DVD、USB、内部およびリモート ドライブ、イメージなどのいろいろな デバイスを使用したリモート管理タスクが可能です。他のソリューショ ンとは異なり、Dominion KX II は、ハード ディスク ドライブおよびリ モートにマウントされたイメージの仮想メディア アクセスをサポート して、高い柔軟性と生産性を提供します。

仮想メディアのセッションは、128 ビットの AES または RC4 暗号化 によって保護されます。

D2CIM-VUSB CIM および D2CIM-DVUSB CIM (コンピュータ インタフ エース モジュール) では、USB 2.0 インタフェースをサポートする KVM ターゲット サーバへの仮想メディア セッションがサポートされ ます。これらの CIM では、ずれないマウス (Absolute Mouse SynchronizationTM) やリモート ファームウェア アップデートもサポー トされます。

DVUSB CIM の黒のコネクタは、キーボードとマウスに使用します。グレーのコネクタは、仮想メディアに使用します。CIM の両方のプラグを デバイスに接続したままにします。両方のプラグがターゲット サーバに 接続されていない場合は、デバイスが正しく動作しないことがあります。



製品の写真





Dominion KX II



KX2-832





KX2-864





製品の特長

ハードウェア

- KVM-over-IP リモート アクセスの統合
- 1U または 2U サイズ、ラックマウント対応、ブラケット付属
- フェイルオーバ対応の二重化電源 障害警告機能を備えた自動切換 え電源
- 8、16、32、または 64 個 (KX2-464) のサーバ ポート
- 32 個 (KX2-832) または 64 個 (KX2-864) のサーバ ポート
- デバイス モデルに応じて最大 8 つのビデオ チャネルを搭載し、最大 8 人のユーザが同時に Dominion KX II に接続可能
- マルチ ユーザ機能 (1/2/4/8 リモート ユーザ、1 ローカル ユーザ)
- UTP (Cat5/5e/6) ケーブルを使用したサーバへの配線
- フェイルオーバ対応の二重化 Ethernet ポート (10/100/1000 LAN)
- フィールド アップグレード可能
- ラック内アクセス用ローカル ユーザ ポート
 - キーボード/マウス用 PS/2 ポート (KX2-832 および KX2-864 は USB のみ)
 - サポートされる USB デバイス用の、USB 2.0 ポート (前面に 1 基、背面に 3 基)
 - リモート ユーザ アクセスと同時に操作可能
 - 管理用のローカル グラフィカル ユーザ インタフェース (GUI)
- KX2 デバイス上のラック内アクセスの到達距離を延長する拡張ロー カル ポート
- 中央管理されるアクセス セキュリティ
- 電源管理の統合
- 二重化電源やネットワーク アクティビティ、リモート ユーザの状況
 を示す LED インジケータ
- ハードウェア リセット ボタン
- 外付けモデムに接続するためのシリアル ポート



ソフトウェア

- 仮想メディア (D2CIM-VUSB CIM および D2CIM-DVUSB CIM により提供)
- ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) (D2CIM-VUSB CIM および D2CIM-DVUSB CIM により提供)
- プラグ&プレイ
- Web ベースのアクセスと管理
- わかりやすいグラフィカル ユーザ インタフェース (GUI)
- すべての KVM 信号を 128 ビット暗号化 (ビデオや仮想メディア を含む)
- LDAP、Active Directory、RADIUS、または内部機能による認証および認可
- DHCP または静的な IP アドレスの指定
- スマート カード/CAC 認証
- SNMP および Syslog 管理
- IPv4 および IPv6 のサポート
- 誤操作を防ぐためにサーバと直接関連付けられる電源管理
- ラリタンの CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) 管理本体と の統合
- CC-SG の制御からデバイスを解除するための CC Unmanage 機能







図の説明	月
(1)	TCP/IP
	IPv4 または IPv6
2	KVM (キーボード、ビデオ、マウス)
3	UTP ケーブル (Cat5/5e/6)
A	Dominion KX II
₿	ローカル アクセス コンソール
	ローカル ユーザ - ターゲット サーバを (ネットワー ク経由ではなく直接ラック内で) 制御するために Dominion KX II に直接接続された、(キーボード、マウ ス、マルチシンク VGA モニタで構成される) オプショ ンのユーザ コンソール JSB スマート カード リーダ ーをローカル ポートに接続してターゲット サーバに マウントすることもできます。DKX2-832 および DKX2-864 モデルには、拡張ローカル ポートも搭載さ れています。
0	リモート PC
	Dominion KX II に接続している KVM ターゲット サ ーバへのアクセスとその制御に使用する、ネットワーク に接続したコンピュータ。USB スマート カード リー ダーをリモート PC に接続したり、Dominion KX II 経 由でターゲット サーバに接続したりすることもできま す。
0	CIM
	各ターゲット サーバまたは電源タップに接続するドン グル。サポートされているすべてのオペレーティング システムに対して使用できます。
Ø	ターゲット サーバ
	KVM ターゲット サーバ - Dominion KX II を介してリ モート アクセスされる、ビデオ カードとユーザ イン タフェースを搭載したサーバ (Windows、Linux、Solaris 等)。
6	Dominion PX 電源タップ
	Dominion KX II を介してリモート アクセスされるラ リタン電源タップ。



サポートされているオペレーティング システムと CIM の一覧について は「サポートされている CIM およびオペレーティング システム (ター ゲット サーバ)『p. 300』」を、Dominion KX II によってリモートでサ ポートされるオペレーティング システムの一覧については「サポートさ れているオペレーティング システム (クライアント)『p. 306』」を参 照してください。

パッケージの内容

Dominion KX II は、標準 1U (DKX2-864 の場合は 2U) 19 インチ ラッ クマウント シャーシに搭載される、完全に構成されたスタンドアロン製 品として出荷されます。各 Dominion KX II デバイスは、以下の内容で出 荷されます。

数量	品目
1	Dominion KX II デバイス
1	Dominion KX II クイック セットアップ ガイド
1	ラックマウント キット
1	AC 電源コード
1	Cat5 ネットワーク ケーブル
1	Cat5 ネットワーク クロス ケーブル
1	ゴム足 1 組 (4 個、デスクトップ設置用)
1	アプリケーション ノート
1	保証書



Ch 2 インストールと設定

この章の内容

概要	14
デフォルトのログイン情報	
入門	15

概要

このセクションでは、インストール手順の概要を説明します。それぞれ の手順については、この章の後のセクションで詳しく説明します。

- Dominion KX II をインストールおよび設定するには、以下の手順に 従います。
- *手順 1: KVM ターゲット サーバの設定* 『p. 15の"ステップ 1: KVM
 ターゲット サーバの設定"参照
 』
- *手順 2: ネットワーク ファイアウォールの設定* 『p. 29の"ステップ
 2: ネットワーク ファイアウォールの設定"参照
 』
- **手順 3: 装置の接続** 『p. 31の"ステップ 3: 装置の接続"参照 』
- *手順 4: Dominion KX II* 『p. 34の"ステップ 4: Dominion KX II の設 定"参照 』の設定
- *手順 5 (オプション): キーボード言語の設定* 『p. 42』

このセクションには、必要なデフォルトのログイン情報も含まれます。 この情報には、特にデフォルト IP アドレス、ユーザ名、およびパスワ ードがあります。「デフォルトのログイン情報 『p.14』」を参照してく ださい。

デフォルトのログイン情報

デフォルト設定	值
ユーザ名	デフォルトのユーザ名は admin です。このユーザは、管 理者特権を有します。
パスワード	デフォルトのパスワードは raritan です。
	パスワードは大文字と小文字が区別されるため、大文字 と小文字は作成したとおりに正確に入力する必要があり ます。たとえば、デフォルトのパスワード raritan は、す べて小文字で入力する必要があります。



デフォルト設定	值	
	Dominion KX II を初めて起動したときは、デフォルトの パスワードを変更する必要があります。	
IP アドレス	Dominion KX II の出荷時には、デフォルトの IP アドレ ス (192.168.0.192) が設定されています。	
重要: バックアップと事業の継続性のためには、バックアップ管理者用のユ ーザ名およびパスワードを作成し、その情報を安全な場所に保管しておくこ とを強くお勧めします。		

入門

ステップ 1: KVM ターゲット サーバの設定

KVM ターゲット サーバとは、Dominion KX II を介してアクセスおよび 制御するコンピュータです。最適なパフォーマンスを確保するために、 Dominion KX II をインストールする前に、すべての KVM ターゲット サ ーバを設定します。この設定は、KVM ターゲット サーバのみに適用さ れます。Dominion KX II のリモート アクセスに使用されるクライアント ワークステーション (リモート PC) には適用されません。詳細は、「用 語『p. 11』」を参照してください。

デスクトップの背景

Windows、Linux、X-Windows、Solaris、および KDE などのグラフィカ ル ユーザー インタフェースを実行する KVM ターゲット サーバは、帯 域幅効率とビデオ パフォーマンスを最適化するための設定が必要です。 デスクトップの背景は完全な無地にする必要はありませんが、写真や複 雑な配色の背景を使用すると、パフォーマンスが低下する可能性があり ます。



マウスの設定

Dominion KX II は、次のマウス モードで動作します。

- ・ ずれないマウス モード (Absolute Mouse Mode[™]) (D2CIM-VUSB の
 み)
- インテリジェント マウス モード (アニメーション カーソルを使用 しないでください)
- 標準マウス モード

ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) の場合は、マウス パ ラメータを変更する必要はありません。ただし、このモードを使用する には、D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB が必要です。標準マウス モ ードとインテリジェント マウス モードの場合、マウス パラメータを特 定の値に設定する必要があります (後述)。マウス設定は、ターゲットの オペレーティング システムによって異なります。詳細については、使用 するオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

通常、インテリジェント マウス モードは、ほとんどの Windows プラ ットフォーム上で問題なく機能しますが、ターゲット上でアクティブ デ スクトップが設定されたときに予測できない結果が生じる可能性があり ます。インテリジェント マウス モード設定についての詳細は、「*イン テリジェント マウス モード*『p.83』」を参照してください。

ブレード筐体内に KVM スイッチを備えているサーバの場合、通常、ず れないマウス機能はサポートされません。

Windows XP、Windows 2003、および Windows 2008 の設定

- Microsoft Windows® XP® Windows 2003® および Windows 2008® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手 順に従います。
- 1. マウスの設定を行います。
 - a. [スタート]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択します。
 - b. [ポインタ オプション] タブをクリックします。
 - c. [速度] グループで、以下の操作を行います。



- ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
- [ポインタの精度を高める] チェック ボックスをオフにします。
- [動作] のオプションを無効にします。
- [OK] をクリックします。

注: ターゲット サーバで Windows 2003 を実行している場合に、 KVM を介してサーバにアクセスし、次に挙げるアクションのいずれ かを実行すると、以前有効になっていたマウスの同期が失われる可能 性があります。同期を再度有効にするには、クライアントで [Mouse] (マウス) メニューの [Synchronize Mouse] (マウスの同期) コマンド を選択する必要があります。これが発生する可能性があるアクション を以下に示します。

- テキスト エディタを開く。

- Windows の [コントロール パネル] から [マウスのプロパティ]、 [キーボードのプロパティ]、および [電話とモデムのオプション] に アクセスする。

- 2. アニメーション効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル]の [画面] オプションを選択します。
 - b. [デザイン] タブをクリックします。
 - **C.** [効果] ボタンをクリックしてます。
 - d. [次のアニメーション効果をメニューとヒントに使用する] オプ ションをオフにします。
 - e. [OK] をクリックします。
- 3. [コントロール パネル]を閉じます。



注: Windows XP、Windows 2000、または Windows 2008 を実行してい る KVM ターゲット サーバの場合 Dominion KX II を介したリモート接 続用に、専用のユーザ名を作成することが可能です。これにより、ター ゲット サーバのマウス ポインタの速度や加速を Dominion KX II 接続 用に遅く設定できます。

Windows XP、2000、および 2008 のログイン ページでは、マウスのパ ラメータが、最適な Dominion KX II パフォーマンス用に提案されたパラ メータとは異なる、プリセットされたパラメータに戻ります。この結果、 これらの画面ではマウスの同期は最適ではありません。

警告!Windows KVM ターゲット サーバのレジストリを調整してもかま わない場合のみ、次の操作を行ってください。Windows レジストリ エ ディタを使って次の設定を変更することにより、ログイン ページで Dominion KX II のマウスの同期を改善することができます。 HKey_USERS\.DEFAULT\Control Panel\Mouse:> MouseSpeed = 0、 MouseThreshold 1=0、MouseThreshold 2=0。

Windows 2000 の設定

- Microsoft Windows[®] 2000[®] を実行している KVM ターゲット サー バを設定するには、以下の手順に従います。
- 1. マウスの設定を行います。
 - a. [スタート] [コントロール パネル] [マウス] の順に選択します。
 - b. [Motion] (動作) タブをクリックします。
 - アクセラレーションを [なし] に設定します。
 - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
 - [OK] をクリックします。
- 2. アニメーション効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル]の [画面] オプションを選択します。
 - b. [効果] タブをクリックします。
 - 【次のアニメーション効果をメニューとヒントに使用する】オ プションをオフにします。
- 3. [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を閉じます。



注: Windows XP、Windows 2000、または Windows 2008 を実行している KVM ターゲット サーバの場合、Dominion KX II を介したリモート接続用に、専用のユーザ名を作成することが可能です。これにより、ターゲット サーバのマウス ポインタの速度や加速を Dominion KX II 接続用に遅く設定できます。

Windows XP、2000、および 2008 のログイン ページでは、マウスのパ ラメータが、最適な Dominion KX II パフォーマンス用に提案されたパラ メータとは異なる、プリセットされたパラメータに戻ります。この結果、 これらの画面ではマウスの同期は最適ではありません。

警告!Windows KVM ターゲット サーバのレジストリを調整してもかま わない場合のみ、次の操作を行ってください。Windows レジストリ エ ディタを使って次の設定を変更することにより、ログイン ページで Dominion KX II のマウスの同期を改善することができます。 HKey_USERS\.DEFAULT\Control Panel\Mouse:> MouseSpeed = 0、 MouseThreshold 1=0、MouseThreshold 2=0。

Windows Vista の設定

- Microsoft Windows Vista[®] を実行している KVM ターゲット サー バを設定するには、以下の手順に従います。
- 1. マウスの設定を行います。
 - a. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択 します。
 - b. [ポインタ オプション] タブをクリックします。
 - c. [速度] グループで、以下の操作を行います。
 - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
 - 【ポインタの精度を高める】 チェック ボックスをオフにします。
 - [OK] をクリックします。
- 2. アニメーション効果とフェード効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル] の [システム] オプションを選択します。
 - b. [パフォーマンス情報] を選択し [ツール] (詳細ツール] (調整] の 順に選択し、Windows の外観とパフォーマンスを調整します。
 - **C.** [詳細設定] タブをクリックします。
 - d. [パフォーマンス] グループの [設定] ボタンをクリックして、[パ フォーマンス オプション] ダイアログ ボックスを開きます。
 - e. [カスタム] オプションで、以下のチェック ボックスをオフにします。



- アニメーション関連のオプション:
 - [Windows 内のアニメーション コントロールと要素]
 - [ウィンドウを最大化や最小化するときにアニメーションで表示する]
- フェード関連のオプション:
 - [メニューをフェードまたはスライドして表示する]
 - [ヒントをフェードまたはスライドで表示する]
 - [メニュー項目をクリック後にフェード アウトする]
- 3. [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を閉じます。

Linux の設定 (Red Hat 9)

注: 以下の設定は、標準マウス モード専用に最適化されています。

- Linux[®] を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、 以下の手順に従います (グラフィカル ユーザ インタフェース)。
- 1. マウスの設定を行います。
 - a. メイン メニュー、[Preferences] (個人設定)、[Mouse] (マウス) の 順に選択します。[Mouse Preferences] (マウスの設定) ダイアロ グ ボックスが表示されます。
 - b. [Motion] (動作) タブをクリックします。
 - **c.** [Speed] (速度) グループ内で、[Acceleration] (加速) スライダを 正確に中間に設定します。
 - d. [Speed] (速度) グループ内で、[Sensitivity] (感度) を低く設定します。
 - e. [Drag & Drop] (ドラッグ & ドロップ) グループ内で、しきい値を 小に設定します。
 - f. [Mouse Preferences] (マウスの設定) ダイアログ ボックスを閉じます。

注: これらの手順でうまく設定できない場合は、Linux com コマンド ラインの方法で説明されているように、コマンド「xset mouse 11」 を入力します。

- 2. 画面解像度を設定します。
 - a. メイン メニュー、[System Settings] (システム設定)、[Display] (画面)の順に選択します。[Display Settings] (画面の設定) ダイ アログ ボックスが表示されます。



- b. [Display] (画面) タブから、Dominion KX II でサポートされている解像度を選択します。
- **c.** [Advanced] (高度) タブから、Dominion KX II でサポートされて いる垂直走査周波数を確認します。

注: ターゲット サーバに接続している場合、ほとんどの Linux グラフィ カル環境では、コマンド Ctrl+Alt++ を押すと、XF86Config または /etc/X11/xorg.conf (使用中の X サーバ ディストリビューションに応じ て決まります) で有効になっているすべての解像度が順にスクロールさ れ、ビデオ解像度が変更されます。

- Linux を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います (コマンド ライン)。
- マウスの加速を正確に1に設定し、しきい値も正確に1に設定します。コマンド「xset mouse 11」を入力します。このコマンドは、 ログイン時の実行用に設定する必要があります。
- Linux を実行している各ターゲット サーバが、Dominion KX II でサ ポートされている解像度を、標準 VESA 解像度および垂直走査周波 数で使用していることを確認します。
- 3. さらに、各 Linux ターゲット サーバを、ブランキング時間が VESA の標準値の +/-40% になるように設定する必要があります。
 - a. Xfree86 設定ファイル XF86Config を表示します。
 - b. テキスト エディタを使用して、Dominion KX II でサポートされ ていない解像度をすべて無効にします。
 - **c.** (Dominion KX II でサポートされていない) 仮想デスクトップ機能を無効にします。
 - d. ブランキング時間を確認します (VESA 標準の +/- 40%)。
 - e. コンピュータを再起動します。



注: ビデオの解像度を変更した場合は、そのビデオ設定を有効にするため に、ターゲット サーバからログオフし、再度ログインする必要がありま す。

Red Hat 9 KVM ターゲット サーバに関する注意

USB CIM が使用されているターゲット サーバで Red Hat 9 を実行し ていて、キーボードやマウスに問題が発生した場合は、ここに説明する 設定を試すことができます。

ヒント: これらの手順は、OS を新規にインストールした後でも実行する 必要があります。

- USB CIM を使用している Red Hat 9 サーバを設定するには以下の 手順に従います。
- 1. システムの設定ファイル (通常は /etc/modules.conf) を探します。
- 2. 任意のエディタを使用して、modules.conf ファイルの alias usb-controller 行を次のように設定します。

alias usb-controller usb-uhci

注: /etc/modules.conf ファイル内で usb-uhci が記述されている行 が他に存在する場合は、その行を削除するかコメントアウトする必要 があります。

- 3. ファイルを保存します。
- 4. 変更を有効にするために、システムをリブートします。

Linux の設定 (Red Hat 4)

注: 以下の設定は、標準マウス モード専用に最適化されています。

- Linux を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います (グラフィカル ユーザ インタフェース)。
- 1. マウスの設定を行います。
 - a. メイン メニュー、[Preferences] (個人設定)、[Mouse] (マウス)
 の順に選択します。[Mouse Preferences] (マウスの設定) ダイ
 アログ ボックスが表示されます。
 - b. [Motion] (動作) タブを開きます。
 - c. [Speed] (速度) グループ内で、[Acceleration] (加速) スライダを 正確に中間に設定します。
 - d. [Speed] (速度) グループ内で、[Sensitivity] (感度) を低く設定します。



- e. [Drag & Drop] (ドラッグ & ドロップ) グループ内で、しきい値を 小に設定します。
- f. [Mouse Preferences] (マウスの設定) ダイアログ ボックスを閉 じます。

注: これらの手順でうまく設定できない場合は、Linux com コマンド ラインの方法で説明されているように、コマンド「xset mouse 1 1」 を入力します。

- 2. 画面解像度を設定します。
 - a. メイン メニュー、[System Settings] (システム設定)、[Display] (画面)の順に選択します。[Display Settings] (画面の設定) ダイ アログ ボックスが表示されます。
 - b. [Settings] (設定) タブから、Dominion KX II でサポートされている解像度を選択します。
 - c. [OK] をクリックします。

注: ターゲット サーバに接続すると、ほとんどの Linux グラフィカル環 境では、コマンド Ctrl+Alt++ を押すと、XF86Config または /etc/X11/xorg.conf (使用中の X サーバ ディストリビューションに応じ て決まります) で有効になっているすべての解像度が順にスクロールさ れ、ビデオ解像度が変更されます。

注: ビデオの解像度を変更した場合は、そのビデオ設定を有効にするため に、ターゲット サーバからログアウトし、再度ログインする必要があり ます。

SUSE Linux 10.1 の設定

注: SUSE Linux[®] ログイン プロンプトでマウスを同期しないでください。 マウス カーソルを同期するには、ターゲット サーバに接続している必 要があります。

- ▶ マウスを設定するには、以下の手順に従います。
- [デスクトップ] メニューの [コントロールセンター] を選択します。
 [Desktop Preferences] (デスクトップの設定) ダイアログ ボックス が表示されます。
- [Mouse] (マウス) をクリックします。[Mouse Preferences] (マウスの 設定) ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3. [Motion] (動作) タブを開きます。
- [Speed] (速度) グループ内で、[Acceleration] (加速) スライダを正確 に中間位置に設定します。



- 5. [Speed] (速度) グループ内で、[Sensitivity] (感度) スライダを低く設定します。
- 6. [Drag & Drop] (ドラッグ & ドロップ) グループ内で、しきい値スラ イダを小に設定します。
- 7. [Close] (閉じる) をクリックします。
- ▶ ビデオを設定するには、以下の手順に従います。
- [Desktop Preferences] (デスクトップの設定)の [Graphics Card and Monitor] (グラフィックカードとモニター)を選択します。[Card and Monitor Properties] (カードとモニターのプロパティ) ダイアログ ボ ックスが表示されます。
- 解像度と垂直走査周波数に、Dominion KX II でサポートされている 値が使用されていることを確認します。詳細は、「サポートされてい る画面解像度 『p. 310』」を参照してください。

注: ビデオの解像度を変更した場合は、そのビデオ設定を有効にする ために、ターゲット サーバからログアウトし、再度ログインする必 要があります。

Linux の設定の永続化

注: この手順は、使用している Linux のバージョンによって少し異なる場合があります。

- Linux で設定を永続化するには、以下の手順に従います (プロンプト)。
- [System] (システム) メニュー、[Preferences] (設定)、[Personal] (個人)、[Sessions] (セッション)の順に選択します。
- 2. [Session Options] (セッション オプション) タブをクリックします。
- [Prompt on log off] (ログオフ時にプロンプト) チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックします。このオプションにより、ログアウト時に現在のセッションを保存するためのプロンプトが表示されます。
- 4. ログアウトするときに ダイアログで [Save current setup] (現在の設定を保存) オプションを選択します。
- 5. [OK] をクリックします。



ヒント: ログアウト時にプロンプトが表示されないようにするには、代わりに以下の手順に従います。

- ▶ Linux で設定を永続化するには、以下の手順に従います (プロンプトなし)。
- [Desktop] (デスクトップ)、[Control Center] (コントロールセンタ)、
 [System] (システム)、[Sessions] (セッション)の順にを選択します。
- 2. [Session Options] (セッション オプション) タブをクリックします。
- 3. [Prompt on the log off] (ログオフ時にプロンプト) チェックボックス をオフにします。
- [Automatically save changes to the session] (セッションに対する変 更を自動保存) チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックしま す。このオプションにより、ログアウト時に現在のセッションが自動 的に保存されます。

Sun Solaris の設定

- Sun[®] Solaris[™] を実行している KVM ターゲット サーバを設定する には、以下の手順に従います。
- 1. マウスの加速値を正確に 1 に設定し、しきい値も正確に 1 に設定します。そのためには、以下の操作を行います。
 - グラフィカル ユーザ インタフェースを使用する場合

Mouse motion		
Acceleration		
Slow Fast		
Threshold		
Small Large		
·		

- コマンド ラインを使用する場合 xset mouse a t "a" は加速 (acceleration)、"t" はしきい値 (threshold) を意味します。
- すべての KVM ターゲット サーバは、Dominion KX II でサポートされているいずれかの表示解像度に設定する必要があります。Sun マシンで一般的にサポートされる解像度を以下に示します。

表示解像度	垂直操作周波数	縱橫比
1600 x 1200	60 Hz	4:3
1280 x 1024	60、75、85 Hz	5:4



表示解像度	垂直操作周波数	縦横比
1152 x 864	75 Hz	4:3
1024 x 768	60、70、75、85 Hz	4:3
800 x 600	56、60、72、75、85 Hz	4:3
720 x 400	85 Hz	9:5
640 x 480	60、72、75、85 Hz	4:3

- Solaris オペレーティング システムを実行している KVM ターゲット サーバのビデオ出力は、VGA である必要があります (コンポジット Sync ではなく H-and-V sync)。
- Sun のビデオ カード出力をコンポジット Sync からデフォルト以外の VGA 出力に変更するには、以下の手順に従います。
- 1. Stop+A コマンドを発行して、bootprom モードに移行します。
- 2. 以下のコマンドを発行して、出力解像度を変更します。setenv output-device screen:r1024x768x70
- 3. 次に、boot コマンドを実行して、サーバを再起動します。

別の方法として、ラリタンの代理店からビデオ出力アダプタを購入する こともできます。

環境	対応するビデオ出力アダプタ
Sun 13W3、コンポジット Sync 出力	APSSUN II Guardian コンバータ
Sun HD15、コンポジット Sync 出力	HD15 から 13W3 への変換用の 1396C コンバータ、およびコンポジ ット Sync をサポートするための APSSUN II Guardian コンバータ
Sun HD15、独立同期出力	APKMSUN Guardian コンバータ

注: 一部の Sun サーバでは、縁が暗い標準の Sun の背景画面が正確に 中央に配置されないことがあります。別の背景を使用するか、画面の左 上隅に明るい色のアイコンを配置してください。

マウスの設定

- マウスを設定するには、以下の手順に従います (Sun Solaris 10.1)。
- ランチャーを選択します。アプリケーション マネージャ デスクト ップ コントロールが表示されます。


- マウス スタイル マネージャを選択します。[Style Manager Mouse] (スタイル マネージャ - マウス) ダイアログ ボックスが表示されま す。
- 3. 速度のスライダを 1.0 に設定します。
- 4. しきい値のスライダを 1.0 に設定します。
- 5. [OK] をクリックします。

コマンド ラインに対するアクセス

- 1. 右クリックします。
- [Tool] (ツール)、[Terminal] (ターミナル)の順に選択します。ターミ ナル ウィンドウが表示されます (ルートでコマンドを発行すること をお勧めします)。

ビデオ設定 (POST)

Sun システムには、2 種類の解像度設定があります。POST の解像度と GUI の解像度です。以下のコマンドをコマンド ラインから実行します。

注: ここでは例として 1024x768x75 を使用しています。お使いの解像度 と垂直操作周波数と置き換えてください。

- ▶ 現在の POST の解像度を確認するには、以下の手順に従います。
- 次のコマンドを root として実行します。#eepromoutput-device

▶ POST の解像度を変更するには、以下の手順に従います。

- 1. # eeprom output-device=screen:r1024x768x75 を実行しま す。
- 2. ログアウトするか、コンピュータを再起動します。

ビデオ設定 (GUI)

GUI の解像度は、お使いのビデオ カードに応じたコマンドを使用して確認および設定できます。以下のコマンドをコマンド ラインから実行します。

注: ここでは例として 1024x768x75 を使用しています。お使いの解像度 と垂直操作周波数と置き換えてください。



カー ド	解像度の確認	解	象度の変更
32 ビ ット	# /usr/sbin/pgxconfig -prconf	1.	# /usr/sbin/pgxconfig -res 1024x768x75
		2.	ログアウトするか、コンピュ ータを再起動します。
64 ビ ット	# /usr/sbin/m64config -prconf	1.	# /usr/sbin/m64config -res 1024x768x75
		2.	ログアウトするか、コンピュ ータを再起動します。
32 ビ ット	# /usr/sbin/fbconfig -prconf	1.	# /usr/sbin/fbconfig -res 1024x768x75
およ び 64 ビッ ト		2.	ログアウトするか、コンピュ ータを再起動します。

IBM AIX 5.3 の設定

IBM AIX[®] 5.3 を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、 以下の手順に従います。

- ▶ マウスを設定するには、以下の手順に従います。
- 1. ランチャーに移動します。
- 2. [Style Manager] (スタイル マネージャ) を選択します。
- [Mouse] (マウス) をクリックします。[Style Manager Mouse] (スタ イル マネージャ - マウス) ダイアログ ボックスが表示されます。
- スライダを使用して (Mouse acceleration] (マウスの加速) を 1.0 に 設定し、[Threshold] (しきい値) を 1.0 に設定します。
- 5. [OK] をクリックします。

▶ ビデオを設定するには、以下の手順に従います。

- ランチャーから、[Application Manager] (アプリケーション マネージャ)を選択します。
- 2. [System_Admin] を選択します。
- 3. [Smit]、[Devices] (デバイス)、[Graphic Displays] (グラフィック表示)、 [Select the Display Resolution and Refresh Rate] (表示解像度と垂直操 作周波数の選択)の順に選択します。



- 4. お使いのビデオ カードを選択します。
- 5. [List] (リスト) をクリックします 。表示モードの一覧が表示されます。
- Dominion KX II でサポートされている解像度および垂直走査周波数を 選択します。詳細は、「サポートされている画面解像度 『p. 310』」 を参照してください。

注: ビデオの解像度を変更した場合は、そのビデオ設定を有効にするため に、ターゲット サーバからログアウトし、再度ログインする必要があり ます。

UNIX の設定の永続化

注: これらの手順は、お使いの UNIX® の種類 (Solaris や IBM AIX など) および特定のバージョンによって少し異なる可能性があります。

- [Style Manager] (スタイル マネージャ)、[Startup] (起動) の順に選択します。[Style Manager Startup] (スタイル マネージャ 起動) ダイアログ ボックスが表示されます。
- [Logout Confirmation] (ログアウトの確認) ダイアログ ボックスで、
 [On] (オン) オプションを選択します。このオプションにより、ログアウト時に現在のセッションを保存するためのプロンプトが表示されます。

Apple Macintosh の設定

Apple Macintosh[®] オペレーティング システムを実行している KVM タ ーゲット サーバに対しては、D2CIM-VUSB およびずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) を使用する方法が推奨されます。

注: [USB Profile] (USB プロファイル) メニューまたは [Port Configuration] (ポート設定) ページから USB プロファイル [Mac OS-X, version 10.4.9 and later] (MAC OS X (10.4.9 以降)) を選択する必要があ ります。

ステップ 2: ネットワーク ファイアウォールの設定

Multi-Platform Client を使用してネットワーク ファイアウォールを介し て、または [Port Access] (ポート アクセス) ページを介して Dominion KX II にアクセスするには、TCP ポート 5000 または指定した他のポー トでの通信を許可するようにファイアウォールを設定する必要がありま す。



Ch 2: インストールと設定

Dominion KX II の機能	ファイアウォールでインバウン ド通信を許可する必要があるポ ート
Web アクセス機能	ポート 443-HTTPS 通信用の 標準 TCP ポート
HTTP リクエストの HTTPS への 自動リダイレクト ("https://xxx.xxx.xxx" の代わり により一般的な "http://xxx.xxx.xxx" を使用でき るようにする機能)	ポート 80 - HTTP 通信用の標準 TCP ポート

別の検出ポートを指定する方法についての詳細は、「*ネットワーク設定* 『p. 152の"[Network Settings] (ネットワーク設定)"参照 』」を参照して ください。



ステップ 3:装置の接続

Dominion KX II を、電源、ネットワーク、ローカル PC、およびターゲット サーバに接続します。図中の文字は、このセクションで接続を解説 しているトピックに対応しています。





A. AC 電源:

- ▶ 電源を接続するには、以下の手順に従います。
- 1. 付属の AC 電源コードを Dominion KX II と AC 電源コンセントに 接続します。
- 二重化電源フェイルオーバ保護を実装するには、付属の 2 つ目の AC 電源コードを、1 つ目の電源コードとは別の電源コンセントに接続します。



注: システムは自動的に 2 つの電源を検出するように設定されているの で、電源コードを 1 本しか接続していない場合、Dominion KX II のフロ ント パネルの電源 LED が赤色で点灯します。 使用されていない電源 の自動検出をオフにする方法については、「電源設定 『p. 173の"[Power Supply Setup] (電源設定)"参照 』」を参照してください。

B. モデム ポート (オプション)

Dominion KX II は、LAN/WAN が利用できない場合でもリモート アクセ ス用の専用モデムポートを搭載しています。ストレート シリアル (RS-232) ケーブルを使用して、外付けシリアル モデムを、Dominion KX II の背面にある「MODEM」のラベルの付いたポートに接続します (認定 済みのモデムのリストについては「仕様 『p. 295』」を、モデムの設定 の詳細は「[Modem Settings] (モデム設定) 『p. 162』」を参照してくだ さい)。

注: モデムは、CD (キャリア検出) 設定を有効にするように設定すること をお勧めします。

C. ネットワーク ポート

Dominion KX II は、フェイルオーバ用に 2 つの Ethernet ポートを提供 しています (負荷分散用ではない)。デフォルトでは LAN1 のみがアクテ ィブで、自動フェイルオーバは無効になっています。自動フェイルオー バが有効な場合、Dominion KX II の内部ネットワーク インタフェース、 またはその接続先のネットワークが使用できなくなると、同じ IP アド レスで LAN2 が利用可能になります。

注: フェイルオーバ ポートは実際にフェイルオーバが発生するまで有効 にならないので、フェイル オーバ ポートを監視しないか、フェイルオ ーバが発生した後にのみ監視するようにすることをお勧めします。

ネットワークを接続するには、以下の手順に従います。

- (付属の) 標準 Ethernet ケーブルを、「LAN1」のラベルの付いたネットワーク ポートから、Ethernet スイッチ、ハブ、またはルータに 接続します。
- オプションの Dominion KX II Ethernet フェイルオーバ機能を使用 するには、以下の手順に従います。
 - 標準 Ethernet ケーブルを、「LAN2」のラベルの付いたネットワ
 ーク ポートから、Ethernet スイッチ、ハブ、またはルータに接続します。



 [Network Configuration] (ネットワーク設定) ページで [Enable Automatic Failover] (自動フェイルオーバを有効にする) をオン にします。

注:1 つをフェイルオーバ用のポートとして使用する場合のみ、ネットワ ーク ポートを 2 つ使用してください。

D. ローカル アクセス ポート (ローカル PC)

Dominion KX II のローカル アクセス ポートを使用することによって、 ラックからターゲット サーバに簡単にアクセスできます。ローカル ア クセス ポートはインストールおよび設定に必要ですが、それ以降の使用 についてはオプションです。ローカル アクセス ポートでは、管理およ びターゲット サーバへのアクセスに Dominion KX II ローカル コンソ ールのグラフィカル ユーザ インタフェースも使用できます。

KX2-832 および KX2-864 には、ラックからターゲット サーバにアクセ スできるように、デバイスの背面に「EXT LOCAL」というラベルの付い た拡張ローカル ポートも用意されています。拡張ローカル ポートは、 最初のインストールおよび設定には必要ありません。ローカル コンソー ルおよびリモート コンソールから設定します。 詳細については、 「Dominion KX II のローカル ポートの設定 『p. 213』」を参照してく ださい。

▶ ローカル ポートに接続するには、以下の手順に従います。

 マルチシンク VGA モニタ、マウス、キーボードを、対応するロー カル ユーザ ポートに接続します。キーボードとマウスは、PS/2 ま たは USB 互換のものを使用します (DKX2-832 および DKX2-864 では USB のみ)。ローカル ユーザ ポートおよび拡張ローカル ポー トの物理的な接続位置は、Dominion KX II の背面パネルです。

接続	説明
モニタ	標準マルチシンク VGA モニタを HD15 (メス) ビデオ ポートに接続し ます。
キーボード	標準 PS/2 キーボードを Mini-DIN6 (メス) キーボード ポートに接続する か、標準 USB キーボードを USB タ イプ A(メス) ポートのいずれかに接 続します。
マウス	標準 PS/2 マウスを Mini-DIN6 (メ ス) マウス ポートに接続するか 標準 USB マウスを USB タイプ A (メス) ポートのいずれかに接続します。



E. ターゲット サーバ ポート

Dominion KX II は、標準 **UTP** ケーブル (Cat5/5e/6) を使用して各ター ゲット サーバに接続します。

- ターゲット サーバを Dominion KX II に接続するには、以下の手順 に従います。
- 適切なコンピュータ インタフェース モジュール (CIM) を使用しま す。各オペレーティング システムに対応する CIM についての詳細 は、「サポートされている CIM およびオペレーティング システム (ターゲット サーバ) 『p. 300』」を参照してください。
- お使いの CIM の HD15 ビデオ コネクタをターゲット サーバのビ デオ ポートに接続します。ターゲット サーバのビデオが、サポート されている解像度と垂直走査周波数に設定されていることを確認し ます。Sun サーバの場合は、ターゲット サーバのビデオ カードが コンポジット Sync ではなく標準 VGA (H-and-V Sync) を出力する ように設定されていることも確認してください。
- 3. お使いの CIM のキーボード/マウス コネクタを、ターゲット サー バの該当するポートに接続します。標準ストレート UTP (Cat5/5e/6) ケーブルを使って、CIM を Dominion KX II デバイスの背面の使用可 能なサーバ ポートに接続します。

注: DCIM-USB G2 の背面には小さいスライド型スイッチがあります。 PC ベースの USB ターゲット サーバの場合はスイッチを P にします。 Sun の USB ターゲット サーバの場合はスイッチを S にします。

変更後のスイッチ位置が有効になるのは、CIM に給電し直した後です。 CIM に給電し直すには、ターゲット サーバから USB コネクタをいった ん取り外し、数秒経ってから再度取り付けます。

ステップ 4: Dominion KX II の設定

Dominion KX II デバイスの電源を初めてオンにしたときは、Dominion KX II ローカル コンソールで以下の操作を行う必要があります。

- デフォルト パスワードを変更する。
- IP アドレスを割り当てる。
- KVM ターゲット サーバに名前を付ける。



デフォルト パスワードの変更

Dominion KX II の出荷時には、デフォルトのパスワードが設定されてい ます。Dominion KX II を初めて起動したときは、このパスワードを変更 する必要があります。

デフォルトのパスワードを変更するには、以下の手順に従います。

- Dominion KX II 本体の背面にある電源スイッチをオンにします。
 Dominion KX II 本体が起動されるのを待ちます (起動プロセスが完 了すると、ビープ音が鳴ります)。
- 本体が起動されると、Dominion KX II ローカル ポートに接続された モニタに Dominion KX II ローカル コンソールが表示されます。デ フォルトのユーザ名 (admin) とパスワード (raritan) を入力し、 [Login] (ログイン) をクリックします。[Change Password] (パスワー ドの変更) 画面が表示されます。
- [Old Password] (旧パスワード) フィールドに古いパスワード (raritan) を入力します。
- [New Password] (新しいパスワード) フィールドに新しいパスワードを入力し、[Confirm New Password] (新しいパスワードの確認) フィールドに新しいパスワードを再入力します。パスワードには、最大 64 文字の英数字と特殊文字を使用できます。
- 5. [Apply] (適用) をクリックします。
- パスワードが正常に変更された旨のメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。[Port Access] (ポート アクセス) ページが表示されます。

注: デフォルトのパスワードは Raritan Multi-Platform Client (MPC) から も変更できます。

IP アドレスの割り当て

ここでは、[Network Settings] (ネットワーク設定) ページで IP アドレス を割り当てる方法について説明します。このページのすべてのフィール ドおよび操作についての詳細は、「*ネットワーク設定* 『p. 152の "[Network Settings] (ネットワーク設定)"参照 』」を参照してください。

- [Device Settings] (デバイス設定)の [Network] (ネットワーク)を選択します [ネットワーク設定] (Network Settings) ページが開きます。
- Dominion KX II デバイスにわかりやすいデバイス名を指定します。 最大 32 文字の英数字と有効な特殊文字を組み合わせて使用できま す。スペースは使用できません。



- [IPv4] セクションで、適切な IPv4 固有のネットワーク設定を入力するか選択します。
 - a. 必要な場合は、[IP Address] (IP アドレス) を入力します。デフ オルトの IP アドレスは「192.168.0.192」です。
 - b. [Subnet Mask] (サブネット マスク) を入力します。デフォルト のサブネット マスクは「255.255.255.0」です。
 - c. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウン リストで [None] (設定しない) を選択する場合は、[Default Gateway] (デフ ォルト ゲートウェイ) を入力します。
 - d. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウン リストで
 [DHCP] を選択する場合は、[Preferred DHCP Host Name] (優先
 DHCP ホスト名) を入力します。
 - e. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。次のオプ ションを使用できます。
 - [None] (設定しない) (静的 IP) このオプションを選択した場合 は、ネットワークの IP アドレスを手動で指定する必要がありま す。

Dominion KX II はインフラストラクチャ デバイスであり、IP ア ドレスは変更されないので、このオプションを推奨します。

 [DHCP] - DHCP サーバから一意の IP アドレスとその他のパラ メータを取得するために、ネットワークに接続しているコンピュ ータ (クライアント) によって Dynamic Host Configuration Protocol が使用されます。

このオプションを選択した場合、ネットワーク パラメータは DHCP サーバによって割り当てられます。DHCP を使用する場 合は、[Preferred host name] (優先ホスト名) を入力します (DHCP のみ)。最大 63 文字まで使用できます。

- IPv6 を使用する場合は、[IPv6] セクションで、適切な IPv6 固有の ネットワーク設定を入力するか、選択します。
 - a. セクション内のフィールドを有効にするには、[IPv6] チェックボ ックスをオンにします。
 - b. [Global/Unique IP Address] (グローバル/一意の IP アドレス) を 入力します。これは、Dominion KX II に割り当てられる IP アドレスです。
 - c. [Prefix Length] (固定長) を入力します。これは、IPv6 アドレス で使用されるビット数です。
 - d. [Gateway IP Address] (ゲートウェイ IP アドレス) を入力しま す。



- e. [Link-Local IP Address] (リンク ローカル IP アドレス)。この アドレスは、自動的にデバイスに割り当てられます。これは、近 隣探索で、またはルータが存在しない場合に使用されます。 [Read-Only] (読み取り専用)
- f. [Zone ID]。これは、アドレスが関連付けられているデバイスを識別します。[Read-Only] (読み取り専用)
- g. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。次のオプ ションを使用できます。
- [None] (設定しない) 自動 IP 設定を使用せず、IP アドレスを自分で設定する場合は、このオプションを選択します (静的 IP)。 推奨されるデフォルトのオプションです。

[IP auto configuration] (IP 自動設定) で [None] (設定しない) を 選択すると、[Network Basic Settings] (ネットワーク基本設定) フィールド ([Global/Unique IP Address] (グローバル/一意の IP アドレス)、[Prefix Length] (固定長)、[Gateway IP Address] (ゲ ートウェイ IP アドレス)) が有効になり、IP アドレスを手動で 設定できるようになります。

- [Router Discovery] (ルータ検出) このオプションを使用して、直接接続されるサブネットにのみ適用される [Link Local] (リンクローカル) を超える [Global] (グローバル) または [Unique Local] (一意ローカル) を意味する IPv6 アドレスを自動的に割り当てます。
- [DHCP] が選択され、[Obtain DNS Server Address] (DNS サーバ アドレスを取得) が有効になっている場合は、[Obtain DNS Server Address Automatically] (DNS サーバ アドレスを自動的に取得) を 選択します。DNS サーバ アドレスが自動的に取得されると、DHCP サーバが提供する DNS 情報が使用されます。
- [Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アドレスを使用) を選択する場合は、[DHCP] が選択されているかどうかにかかわらず、このセクションに入力されたアドレスが、DNS サーバの接続に使用されます。

[Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アド レスを使用) オプションを選択する場合は、次の情報を入力します。 これらのアドレスは、停電によりプライマリ DNS サーバ接続が切断 された場合に使用されるプライマリおよびセカンダリ DNS アドレス です。

- a. [Primary DNS Server IP Address] (プライマリ DNS サーバ IP アドレス)
- b. [Secondary DNS Server IP Address] (セカンダリ DNS サーバ IP アドレス)



7. 完了したら [OK] をクリックします。これで、Dominion KX II デバ イスはネットワークにアクセスできます。

[Network Settings] (ネットワーク設定) ページのこのセクションの設定 についての詳細は、「*LAN インタフェース設定* 『p. 157』」を参照して ください。

注: 一部の環境では、[LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェ ースの速度と二重化) のデフォルトである [Autodetect] (自動検出) (自動 ネゴシエーション) が選択されている場合にネットワーク パラメータが 適切に設定されず、ネットワーク上の問題が発生する場合があります。 そのような場合は、Dominion KX II の [LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェースの速度と二重化) フィールドを [100 Mbps/Full Duplex] (またはネットワークに合ったオプション) に設定することで問 題を解決できます。詳細は、「ネットワーク設定 『p. 152の"[Network Settings] (ネットワーク設定)"参照 』」を参照してください。

For reliable network communication, configure the nion KX2 and LAN Switch to the same LAN Interfact and Dunlay, For example, configure both the Dam
a dud Dapres For example, contigue pool die Doll mid LAN Switch to Autrodetect (recommended) or s to a fixed s peed/duplex such as 100Mbps/Full. Int LAN Interface Parameters: gotiation on, 100 Mbps, full duplex, link ok Interface Speed & Duplex Jetect ♥ hable Automatic Failover Interval (30-65535 seconds) uidth Limit nit ♥

Raritan.

OK Reset To Defaults Cancel

ターゲット サーバの命名

▶ ターゲット サーバに名前を付けるには、以下の手順に従います。

- まだすべてのターゲット サーバを接続していない場合は、接続します。装置の接続方法の詳細は、「*手順 3: 装置の接続*『p. 31の"ステップ 3: 装置の接続"参照 』」を参照してください。
- Dominion KX II ローカル コンソールで、[Device Settings] (デバイス設定)の [Port Configuration] (ポート設定)を選択します。[Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。
- 名前を変更するターゲット サーバのポート名をクリックします。
 [Port] (ポート) ページが開きます。
- 当該ポートに接続されているサーバを識別するための名前を割り当 てます。名前には最大 32 文字の英数字と特殊文字を使用できます。
- 5. [OK] をクリックします。

ターゲット名で使用できる有効な特殊文字

文字	説明	文字	説明
!	感嘆符	•	セミコロン
"	二重引用符	=	等号
#	シャープ記号	>	大なり記号
\$	ドル記号	?	疑問符
%	パーセント記号	@	アット記号
&	アンパサンド	[左角かっこ
(左かっこ	/	バックスラッシュ
)	右かっこ]	右角かっこ
*	アスタリスク	٨	キャレット
+	プラス記号	_	アンダースコア
,	コンマ	`	低アクセント
-	ダッシュ	{	左中かっこ
•	ピリオド		パイプ記号
1	前方スラッシュ	}	右中かっこ
<	小なり記号	~	ティルデ



文字	説明	文字	説明
:	コロン		

電源の自動検出の指定

Dominion KX II には二重化電源が搭載されており、これらの電源の状態 を検出し、通知できます。正しく設定することで、電源に障害が発生し た場合に Dominion KX II によって適切な通知が送信されます。

[Power Supply Setup] (電源設定) ページは、2 つの電源が使用されてい る場合に両方の電源を自動的に検出するように設定されています。お使 いの設定で電源を 1 つだけ使用している場合は、[Power Supply Setup] (電源設定) ページから自動検出を無効にできます。

使用中の電源の自動検出を有効にするには、以下の手順に従います。

- [Device Settings] (デバイス設定)の [Power Supply Setup] (電源設定)を選択します。[Power Supply Setup] (電源設定) ページが開きます。
- 電源入力を 1 番目の電源 (デバイス背面の左端の電源) に接続して いる場合は、[PowerIn1 Auto Detect] (PowerIn1 自動検出) チェック ボックスをオンにします。
- 電源入力を2番目の電源(デバイス背面の右端の電源)に接続して いる場合は、[Powerln2 Auto Detect] (Powerln2 自動検出) チェック ボックスをオンにします。
- 4. [OK] をクリックします。

注: これらのチェック ボックスのいずれかをオンにしたにもかかわらず、 電源入力が実際には接続されていない場合は、デバイス前面の電源 LED が赤色で点灯します。

- 使用されていない電源の自動検出を無効にするには、以下の手順に従います。
- Dominion KX II ローカル コンソールで、[Device Settings] (デバイ ス設定)の [Power Supply Setup] (電源設定)を選択します。[Power Supply Setup] (電源設定) ページが開きます。
- 2. 使用されていない電源の自動検出をオフにします。



詳細は、「 **電源設定** 『p. 173の"[Power Supply Setup] (電源設定)"参照 』」 を参照してください。

CC-SG ユーザへの注意事項

Dominion KX II を CC-SG 設定で使用している場合は、インストールを 行い、その後、CommandCenter Secure Gateway のユーザ ガイド、 管理者ガイド、デプロイメント ガイドのいずれかを参照して作業を続行 してください (これらのガイドはラリタンの Web サイト (www.raritan.com) 内の「Support」セクションから入手できます)。

注: このヘルプの以降のセクションでは、CC-SG の統合機能なしに Dominion KX II デバイスを展開する作業を中心に説明します。

リモート認証

CC-SG ユーザへの注意事項

CommandCenter Secure Gateway を使用して Dominion KX II を制御 している場合、ローカル ポート アクセスを必要とするローカル ユーザ を除き、ユーザおよびグループは CC-SG によって認証されます。 CC-SG で Dominion KX II を制御している場合、ローカル ポート ユー ザは、Dominion KX II 上で設定されているローカル ユーザ データベー スまたはリモート認証サーバ (LDAP/LDAPS または RADIUS) に対し て認証され、CC-SG ユーザ データベースに対して認証されません。

CC-SG 認証についての詳細は、*ラリタンの Web サイト* http://www.raritan.comの「Support」セクションからダウンロードできる CommandCenter Secure Gateway のユーザ ガイド、管理者ガイド、ま たはデプロイメント ガイドを参照してください。

サポートされているプロトコル

ユーザ名とパスワードの管理を容易にするため、Dominion KX II には認 証要求を外部認証サーバへ転送する機能があります。LDAP/LDAPS と RADIUS の 2 つの外部認証プロトコルがサポートされています。

Microsoft Active Directory についての注意事項

Microsoft Active Directory は、LDAP/LDAPS プロトコルをネイティブ に使用し、LDAP/LDAPS サーバおよび Dominion KX II の認証元として 機能することが可能です。IAS (インタフェース認可サーバ) のコンポー ネントを装備している場合、Microsoft Active Directory サーバは、 RADIUS 認証元としても機能します。



ユーザ グループとユーザの作成

初期設定の一部として、ユーザが Dominion KX II にアクセスできるよう にするために、ユーザ グループとユーザを定義する必要があります。

Dominion KX II では、システムによって定義されているデフォルトのユ ーザ グループを使用することも、グループを作成し、目的に合った適切 な許可を指定することもできます。

Dominion KX II にアクセスするには、ユーザ名とパスワードが必要です。 この情報は、Dominion KX II にアクセスしようとしているユーザを認証 するために使用されます。

ユーザ グループとユーザを追加および編集する方法についての詳細は、 「ユーザ管理」を参照してください。

手順 5(オプション): キーボード言語の設定

注: 英語 (アメリカ)/インターナショナル キーボードを使用している場 合は、この手順を実行する必要はありません。

英語 (アメリカ) 以外の言語を使用する場合、キーボードを適切な言語に 設定する必要があります。また、クライアント マシンおよび KVM ター ゲット サーバのキーボード言語を同じにする必要があります。

キーボード レイアウトを変更する方法についての詳細は、お使いのオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

キーボード レイアウト コードの変更 (Sun ターゲット)

この手順は、DCIM-SUSB を使用していて、キーボード レイアウトを別の言語に変更する場合に使用します。

- キーボード レイアウト コードを変更するには、以下の手順に従います (DCIM-SUSB のみ)。
- Sun ワークステーション上で [テキスト エディタ] ウィンドウを開きます。
- Num Lock キーが有効であることを確認した後、キーボードの左の Ctrl キーと Del キーを押します Caps Lock ライトが点滅して CIM がレイアウト コード変更モードであることを示します。テキスト ウ ィンドウに、「Raritan Computer, Inc. Current keyboard layout code = 22h (US5 UNIX)」と表示されます。
- 3. 適切なレイアウト コード (たとえば日本語キーボードは 31) を入 力します。



- 4. Enter キーを押します。
- 5. デバイスの電源を切った後、再度電源を入れます。DCIM-SUSB が リセット (電源の再投入) されます。
- 6. 入力した文字が正しく表示されることを確認します。



ターゲット サーバの使用

この章の内容

インタフェース	44
Virtual KVM Client	61
Active KVM Client (AKC)	94

インタフェース

Ch 3

Dominion KX II には、いつでも、どこからでも簡単なアクセスを可能に するいくつかのユーザ インタフェースが用意されています。このような ユーザ インタフェースには、Dominion KX II ローカル コンソール、 Dominion KX II リモート コンソール、および Multi-Platform Client (MPC) があります。以下の表に、ターゲット サーバのアクセスおよび管 理のためにこれらのインタフェースをローカルおよびリモートで使用で きるかどうかを示します。

ユーザインタフェース ローカル リモート

	[Access] (アクセス)	Admin (管 理者)	[Access] (アクセス)	Admin (管 理者)
Dominion KX II ローカル コンソール	\checkmark	\checkmark		
Dominion KX II リモート コンソール			\checkmark	\checkmark
Virtual KVM Client			\checkmark	
Multi-Platform Client (MPC)			\checkmark	\checkmark
Active KVM Client (AKC)			\checkmark	\checkmark

ヘルプの以降のセクションでは、以下のインタフェースを使用した Dominion KX II へのアクセスおよびターゲット管理の方法について説明 します。

- ローカル コンソール
- リモート コンソール
- Virtual KVM Client
- Multi-Platform Client



Dominion KX II ローカル コンソール インタフェース

サーバ ラックに設置した Dominion KX II の場合は、Dominion KX II ロ ーカル コンソールを介して、標準 KVM 管理を行います。Dominion KX II ローカル コンソールは接続されたサーバへの直接 KVM (アナログ) 接続を提供し、これにより、サーバのキーボード、マウス、ビデオ ポー トに直接接続しているかのように機能することが可能になります。

Dominion KX II ローカル コンソールと Dominion KX II リモート コン ソールのグラフィカル ユーザ インタフェースには、多くの類似点があ ります。相違点については、ヘルプに記載されています。

[Dominion KX II Local Console Factory Reset] (Dominion KX II ローカル コンソール ファクトリ リセット) オプションは、Dominion KX II ロー カル コンソールには用意されていますが、Dominion KX II リモート コ ンソールには用意されていません。

Dominion KX II リモート コンソール インタフェース

Dominion KX II リモート コンソールは、ブラウザ ベースのグラフィカ ル ユーザ インタフェースで、このコンソールを通じて、Dominion KX II に接続されている KVM ターゲット サーバおよびシリアル ターゲット にログインして、Dominion KX II をリモート管理できます。

Dominion KX II リモート コンソールは、接続されているターゲット サ ーバへのデジタル接続を提供します。Dominion KX II リモート コンソー ルを使用して KVM ターゲット サーバにログインすると、Virtual KVM Client のウィンドウが開きます。

Dominion KX II ローカル コンソールと Dominion KX II リモート コン ソールのグラフィカル ユーザ インタフェースには多くの類似点があり ます。相違点については、ユーザ マニュアルに記載されています。以下 のオプションは Dominion KX II リモート コンソールに用意されていま すが、Dominion KX II ローカル コンソールには用意されていません。

- 仮想メディア
- [Favorites] (お気に入り)
- [Backup/Restore] (バックアップ/リストア)
- ファームウェアをアップグレードする
- [Upgrade Report] (アップグレード レポート)
- 診断
- [USB Profile Selection] (USB プロファイル選択)
- USB プロファイルの管理
- SSL 証明書



Dominion KX II リモート コンソールの起動

重要: ブラウザの種類を問わず、Dominion KX II リモート コンソール を起動するためには、Dominion デバイスの IP アドレスからのポップ アップを許可する必要があります。

お使いのブラウザおよびセキュリティの設定により、セキュリティと証明書に関する各種の警告が表示されることがあります。Dominion KX II リモート コンソールを起動するには、これらの警告を承諾する必要があ ります。

セキュリティと証明書に関する警告メッセージに対して以下のオプショ ンをオンにすることにより、それ以降にログインしたときに表示される 警告メッセージを減らすことができます。

- [今後、この警告を表示しない]
- [この発行元からのコンテンツを常に信頼する]
- Dominion KX II リモート コンソールを起動するには、以下の手順 に従います。
- Dominion KX II にネットワークを介して接続でき、Java Runtime Environment (JRE) がインストールされている、任意のコンピュータ にログインします (JRE は Java の Web サイト http://java.sun.com/から入手できます)。
- 2. サポートされている Web ブラウザ (Internet Explorer (IE) や Firefox など) を起動します。



3. Web ブラウザのアドレス ボックスに「*http://IP-ADDRESS*」と入力 します。IP-ADDRESS は、Dominion KX II に割り当てた IP アドレ スです。また、HTTPS を使用することや、管理者によって割り当て られた Dominion KX II の DNS 名を使用することもできます (DNS サーバが設定されている場合)。IP アドレスをそのまま入力し てもかまいません (Dominion KX II では常に IP アドレスが HTTP から HTTPS にリダイレクトされます)。[Login] (ログイン) ページが 開きます。

Username:	8	 	
Password:			
	1	 	

- ユーザ名とパスワードを入力します。初めてログインする場合は、工 場出荷時のデフォルト ユーザ名 (admin) とパスワード (すべて小 文字の raritan) を使用してログインします。デフォルトのパスワー ドを変更するように求められます。詳細は、「デフォルトのパスワー ドの変更 『p. 35の"デフォルト パスワードの変更"参照 』」を参照 してください。
- 5. [Login] (ログイン) をクリックします。
- リモート コンソールを介して利用できる Dominion KX II の機能に ついての詳細は、「Virtual KVM Client 『p. 61』」を参照してくだ さい。



Dominion KX II コンソールのレイアウト

Dominion KX II リモート コンソール インタフェースと Dominion KX II ローカル コンソール インタフェースは、設定および管理、ターゲット サーバのリストおよび選択用に、HTML (Web ベース) インタフェースを 備えています。オプションは複数のタブに配置されています。

正常にログインすると、[Port Access] (ポート アクセス) ページが表示さ れ、すべてのポートについて、そのステータスと可用性が表示されます。 このページの 2 つのタブでは、ポート別またはグループ別に表示できま す。列の見出しをクリックすることで、ポート番号、ポート名、ステー タス ([Up] (アップ) および [Down] (ダウン))、可用性 ([Idle] (アイドル)、 [Connected] (接続済み)、[Busy] (ビジー)、[Unavailable] (使用不可能)、 [Connecting] (接続中)) で並べ替えを行うことができます。詳細は、 「*[Port Access] (ポート アクセス) ページ* 『p. 49』」を参照してくだ さい。

Dominion KX II コンソールでの案内

Dominion KX II コンソール インタフェースでは、いくつかの方法でナビ ゲーションや選択を行うことができます。

- ▶ オプションを選択するには、以下のいずれかの手順に従います。
- タブをクリックします。利用可能なオプションのページが表示されます。
- タブ上にカーソルを移動し、メニューから適切なオプションを選択します。
- 表示されるメニュー階層(階層リンク)からオプションを直接クリックします。
- 画面に収まらないページをスクロールするには、以下のいずれかの手順に従います。
- キーボードの Page Up キーと Page Down キーを使用します。
- 右側にあるスクロール バーを使用します。



[Port Access] (ポート アクセス) ページ

Dominion KX II リモート コンソールへのログオンが正常に完了すると、 [Port Access] (ポート アクセス) ページが表示されます。このページには、 Dominion KX II のポート、各ポートに接続されている KVM ターゲット サーバ、および各ターゲット サーバのステータスと稼動状態が一覧表示 されます。[Port Access] (ポート アクセス) ページは、Dominion KX II に 接続されている KVM ターゲット サーバへのアクセスを提供します。 KVM ターゲット サーバは、Dominion KX II デバイスを介して制御する サーバです。これらは、デバイスの背面にある Dominion KX II ポートに 接続されます。

注: KVM ターゲット サーバへの接続ごとに、新しい Virtual KVM Client ページが開きます。

また、Dominion KX II で設定されているブレード筐体も表示されます。 ブレード サーバは、[Port Access] (ポート アクセス) ページ上の展開可 能な階層リストに表示されます。階層のルートはブレード シャーシで、 個別のブレードはルートの下にラベルが付けられて表示されます。

注: ブレード シャーシを階層順に表示するには、ブレード サーバ シャ ーシにブレード シャーシのサブタイプを設定する必要があります。

デフォルトで、[Port Access] (ポート アクセス) ページには [View by Port] (ポート別表示) タブが表示されます。[View by Group] (グループ別 表示) タブには、[View by Port] (ポート別表示) タブと同じ情報が表示さ れますが、ポートは既存のポート グループ割り当てに基づいて並べられ ています。

▶ [Port Access] (ポート アクセス) ページを使用するには

Dominion KX II リモート コンソールで、[Port Access] (ポート アクセス) タブをクリックします。[Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。

KVM ターゲット サーバは当初ポート番号順に並んでいますが 列の いずれかを基準に表示順を変更できます。

- [Port Number] (ポート番号) 1 から Dominion KX II デバイスで 使用できるポートの合計数までの番号が振られています。電源タ ップに接続されているポートはリストに表示されないため、ポー ト番号が抜ける場合があることに注意してください。
- [Port Name] (ポート名) Dominion KX II ポートの名前です。最初は、「Dominion-KX2-Port#」に設定されていますが、わかりやすい名前に変更できます。[Port Name] (ポート名) のリンクをクリックすると、[Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。



注: ポート (CIM) 名にアポストロフィ ("'") を使用することはでき ません。

- [Status] (ステータス) 標準サーバのステータスは [up] (アップ) または [down] (ダウン) のどちらかです。
- [Type] (タイプ) サーバまたは CIM のタイプです。ブレード シャーシの場合、タイプは、[Blade Chassis] (ブレード シャーシ)、
 [Blade] (ブレード)、[BladeChassisAdmin] (ブレードシャーシ管理)、および [BladeChassisURL] (ブレードシャーシ URL) です。
- [Availability] (可用性) 可用性は、[ldle] (アイドル)、[Connected] (接続済み)、[Busy] (ビジー)、または [Unavailable] (使用不可能) のいずれかです。ブレード サーバの場合、そのサーバへの接続 が存在する際の可用性は、[shared] (共有) または [exclusive] (排 他) です。
- 必要に応じてビューを切り替えます。[View by Port] (ポート別に表示) タブをクリックすると 情報がポート別に表示されます [View by Group] (グループ別に表示) タブをクリックすると、情報がポート グループ別に表示されます。
- アクセスするターゲット サーバのポート名をクリックします。[Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。使用可能なメ ニュー オプションについての詳細は、「[Port Action] (ポート アク ション) メニュー 『p. 51』」を参照してください。
- 4. [Port Action] (ポート アクション) メニューから、目的のメニュー コ マンドを選択します。



▶ 表示順を変更するには、以下の手順に従います。

並べ替えで基準にする列の見出しをクリックします。その列に基づいて KVM ターゲット サーバのリストが並べ替えられます。

e > Port Acc	cess			
ort Acce	ess			
lick on t	the individual port name to see allo	wable operations		
of 2 Ren	mote KVM channels currently in us	se.		
liew By Po	ort View By Group			
/iew By Po ▲ No.	ort View By Group Name	Туре	Status	Av
/iew By Po ▲ No. 1	ort View By Group Name Dominion_Port1	Type Not Available	Status down	Av
View By Po ▲ No. 1 2	View By Group Name Dominion_Port1 Blade_Chassis_Port2	Type Not Available BladeChassis	Status down up	Av idle
/iew By Po ▲ No. 1 2 3	View By Group Name Dominion_Port1 Blade_Chassis_Port2 Connection_To_108_LP	Type Not Available BladeChassis DCIM	Status down up up	Av idl idl
View By Po A No. 1 2 3 4	View By Group Name Dominion_Port1 Blade_Chassis_Port2 Connection_To_108_LP Dominion_Port4	Type Not Available BladeChassis DCIM Not Available	Status down up up down	Av idle idle idle idle
/iew By Po ▲ No. 1 2 3 4 5	View By Group Name Dominion_Port1 Blade_Chassis_Port2 Connection_To_108_LP Dominion_Port4 Dominion_Port5	Type Not Available BladeChassis DCIM Not Available Not Available	Status down up up down down	Av idl idl idl idl idl
/iew By Po ▲ No. 1 2 3 4 5 6	View By Group Name Dominion_Port1 Blade_Chassis_Port2 Connection_To_108_LP Dominion_Port4 Dominion_Port5 Dominion_Port6	Type Not Available BladeChassis DCIM Not Available Not Available Not Available	Status down up up down down down	Av idl idl idl idl idl idl

[Port Action] (ポート アクション) メニュー

[Port Access] (ポート アクセス) リストで [Port Name] (ポート名) をク リックすると、[Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されま す。対象のポートに対して適切なメニュー オプションを選択して実行し ます。[Port Action] (ポート アクション) メニューには、ポートのステ ータスと可用性に応じて、その時点で利用可能なオプションだけが表示 されます。

 [Connect] (接続) - ターゲット サーバへの新しい接続を作成します。 Dominion KX II リモート コンソールの場合は、新しい Virtual KVM Client 『p. 61』ページが表示されます。Dominion KX II ローカル コ ンソールの場合は、ローカル ユーザ インタフェースからターゲット サーバに表示が切り替わります。ローカル ポートで切り替えを行う ためには、Dominion KX II ローカル コンソール インタフェースが 表示されている必要があります。ローカル ポートからのホット キー 切り替えも利用できるようになりました。

注: $f < \tau < \sigma$ 接続がビジー状態の場合、Dominion KX II リモート コ ンソールでは使用可能なポートに対して、このオプションを使用でき ません。



 [Switch From] (切り替え元) - 既存の接続から選択したポート (KVM ターゲット サーバ) に切り替えます。このメニュー項目は、KVM タ ーゲットに対してのみ使用できます。このオプションは Virtual KVM Client が開いている場合にのみ表示されます。

注: Dominion KX II ローカル コンソールでは、このメニュー項目は 使用できません。

 [Disconnect] (切断) - このポートを切断し、このターゲット サーバの Virtual KVM Client ページを閉じます。このメニュー項目は、ポート ステータスが [up] (アップ) および [connected] (接続済み) である か、または [up] (アップ) および [busy] (ビジー) であるときにのみ 使用できます。

注: Dominion KX II ローカル コンソールでは、このメニュー項目は 使用できません。ローカル コンソールで切り替えたターゲットを切 断する唯一の方法は、ホットキー 『p.284の"ホット キーと接続キ ー"参照 』を使用することです。

- [Power On] (電源オン) 関連付けられているコンセントを介してタ ーゲット サーバの電源をオンにします。このオプションは、1 つ以 上の電源がターゲットに関連付けられているときにのみ表示されま す。
- [Power Off] (電源オフ) 関連付けられているコンセントを介してタ ーゲット サーバの電源をオフにします。このオプションは、1 つ以 上の電源がターゲットに関連付けられているとき、ターゲットがオン (ポート ステータスが [up] (アップ))のとき、およびこのサービスを 操作する許可がユーザに与えられているときにのみ表示されます。
- [Power Cycle] (電源の再投入) 関連付けられているコンセントを介 してターゲット サーバの電源をいったんオフにしてから再びオンに します。このオプションは、1 つ以上の電源がターゲットに関連付け られているとき、およびこのサービスを操作する許可がユーザに与え られているときにのみ表示されます。



お気に入りの管理

お気に入り機能を利用すると、よく使用するデバイスにすばやくアクセスできます。[Port Access] (ポート アクセス) ページの左下隅 (サイドバー) にある [Favorite Devices] (お気に入りデバイス) セクションでは、以下の操作が可能です。

- お気に入りデバイスのリストを作成および管理する。
- よく使用するデバイスにすばやくアクセスする。
- 名前、IP アドレス、または DNS ホスト名別にお気に入りのリスト を表示する。
- サブネット上の Dominion KX II デバイスを検出する (ログインの前 および後)。
- 検出された Dominion KX II デバイスを接続されている KX デバイ スから取得する (ログインの後)。

注: この機能は、Dominion KX II リモート コンソールでのみ使用できま f (Dominion KX II ローカル コンソールでは使用できません)。

- お気に入りの Dominion KX II デバイスにアクセスするには、以下 の手順に従います。
- ([Favorite Devices] (お気に入りデバイス)の下に表示されている)デバイス名をクリックします。新しいブラウザが開き、デバイスが表示されます。
- ▶ お気に入りを名前順に表示するには、以下の手順に従います。
- [Display by Name] (名前順) をクリックします。
- ▶ お気に入りを IP アドレス順に表示するには、以下の手順に従います。
- [Display by IP] (IP 順) をクリックします。
- ▶ お気に入りをホスト名順に表示するには、以下の手順に従います。
- [Display by Host Name] (ホスト名順) をクリックします。





注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

[Manage Favorites] (お気に入りの管理) ページ

- [Manage Favorites] (お気に入りの管理) ページを開くには、以下の 手順に従います。
- 左のパネルの [Manage] (管理) ボタンをクリックします。次の内容 を含む [Manage Favorites] (お気に入りの管理) ページが表示されま す。

メニュー	目的
[Favorites List] (お気に入りリスト)	お気に入りデバイスのリストを管 理します。
[Discover Devices - Local Subnet] (デバイス検出 - ローカル サブネッ ト)	クライアント PC のローカル サ ブネット上のラリタン デバイス を検出します。
[Discover Devices - Dominion KX II Subnet] (デバイス検出 - Dominion KX II サブネット)	Dominion KX II デバイス サブネ ット上のラリタン デバイスを検 出します。
[Add New Device to Favorites] (お 気に入りへの新しいデバイスの追 加)	お気に入りリストのデバイスを追 加、編集、および削除します。



[Favorites List] (お気に入りリスト) ページ

[Favorites List] (お気に入りリスト) ページでは、お気に入りリストのデ バイスを追加、編集、および削除できます。

- [Favorites List] (お気に入りリスト) ページを開くには、以下の手順 に従います。
- [Manage] (管理)の [Favorites List] (お気に入りリスト)を選択します。[Favorites List] (お気に入りリスト) ページが開きます。

ローカル サブネット上のデバイスの検出

ローカル サブネット (Dominion KX II リモート コンソールが実行され ているサブネット)上のデバイスを検出します。このページから直接これ らのデバイスにアクセスしたり、お気に入りのリストにデバイスを追加 したりできます。「[Favorites List] (お気に入りリスト)ページ『p.55』」 を参照してください。

- ローカル サブネット上のデバイスを検出するには、以下の手順に従います。
- [Manage] (管理) の [Discover Devices Local Subnet] (デバイス検出 ローカル サブネット) を選択します。[Discover Devices Local Subnet] (デバイス検出 ローカル サブネット) ページが表示 されます。
- 2. 目的の検出ポートを選択します。
 - デフォルトの検出ポートを使用するには [Use Default Port 5000] (デフォルト ポート 5000 を使用) チェックボックスをオンに します。
 - 別の検出ポートを使用するには、以下の手順に従います。
 - a. [Use Default Port 5000] (デフォルト ポート 5000 を使用) チェ ックボックスをオフにします。
 - **b.** [Discover on Port] (検出ポート) フィールドに、ポート番号を入 力します。
 - c. [Save] (保存) をクリックします。
- 3. [Refresh] (更新) をクリックします。ローカル サブネット上のデバイ スのリストが更新されます。
- デバイスを [Favorites List] (お気に入りリスト) に追加するには、
 以下の手順に従います。
- 1. デバイス名または IP アドレスの横にあるチェックボックスをオン にします。



2. [Add] (追加) をクリックします。

ヒント: [Select All] (au < au <

- ▶ 検出されたデバイスにアクセスするには、以下の手順に従います。
- 対象のデバイスのデバイス名または IP アドレスをクリックします。
 新しいブラウザが開き、デバイスが表示されます。

over on	Port:		
/ie	Name	IP Address	Host Name
	DominionSX	192,168,58,13	
	DominionSX	192,168,58,29	
	KX2-64	192.168.58.202	
ect All	Deselect All		



Dominion KX II サブネット上のデバイスの検出

デバイス サブネット (Dominion KX II デバイスの IP アドレスそのも ののサブネット) 上のデバイスを検出します。このページから直接これら のデバイスにアクセスしたり、お気に入りのリストにデバイスを追加し たりできます。「[Favorites List] (お気に入りリスト) ページ 『p.55』」 を参照してください。

この機能を使用すると、複数の Dominion KX II デバイスが相互に作用し 合い、自動的にデバイスを検知し構成を拡張します。Dominion KX II リ モート コンソールは、Dominion KX II のサブネット内の Dominion KX II デバイスおよびその他のラリタン デバイスを自動的に検出します。

Name	IP Address	Host Name	
Neptune	192.168.59.7		
Franklin	192.168.59.8		

- デバイス サブネット上のデバイスを検出するには、以下の手順に従います。
- [Manage] (管理)の [Discover Devices Dominion KX II Subnet] (デ バイス検出 - Dominion KX II サブネット)を選択します。[Discover Devices - Dominion KX II Subnet] (デバイス検出 - Dominion KX II サブネット)ページが表示されます。
- 2. [Refresh] (更新) をクリックします。ローカル サブネット上のデバイ スのリストが更新されます。
- デバイスを [Favorites List] (お気に入りリスト) に追加するには、 以下の手順に従います。
- 1. デバイス名または IP アドレスの横にあるチェックボックスをオン にします。
- 2. [Add] (追加) をクリックします。



Eント: [Select All] (すべて選択) および [Deselect All] (すべての選択を解除) ボタンを使用すれば、Dominion KX II デバイス サブネット上のデバイスをすべて選択したり、すべての選択を解除したりできます。

- ▶ 検出されたデバイスにアクセスするには、以下の手順に従います。
- 対象のデバイスのデバイス名または IP アドレスをクリックします。
 新しいブラウザが開き、デバイスが表示されます。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

お気に入りの追加、削除、および編集

- デバイスを [Favorites List] (お気に入りリスト) に追加するには、
 以下の手順に従います。
- [Manage] (管理)の [Add New Device to Favorites] (お気に入りへの 新しいデバイスの追加)を選択します。[Add New Favorite] (新しい お気に入りの追加) ページが表示されます。
- 2. わかりやすい説明を入力します。
- 3. デバイスの IP アドレス/ホスト名を入力します。
- 4. 必要に応じて検出ポートを変更します。
- 5. 製品タイプを選択します。



6. [OK] をクリックします。デバイスがお気に入りのリストに追加され ます。

ome > Manage Favorites > Add	New Favorite		
Add New Favorite			
All fields are required			
Description			
IP Address/Host Name			
Port			
5000			
Product Type			
Dominion KSX G1 👽			
OK Cancel			

- ▶ お気に入りを編集するには、以下の手順に従います。
- 1. [Favorites List] (お気に入りリスト) ページで、目的の Dominion KX II デバイスの横にあるチェックボックスをオンにします。
- 2. [Edit] (編集) ボタンをクリックします。[Edit] (編集) ページが表示されます。
- 3. 必要に応じてフィールドを更新します。
 - 説明
 - [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) Dominion KX II デバイスの IP アドレスを入力します。
 - [Port] (ポート) (必要な場合)
 - [Product Type] (製品タイプ)
- 4. [OK] をクリックします。
- ▶ お気に入りを削除するには、以下の手順に従います。

重要:お気に入りを削除する場合は注意してください。削除を確認するプロンプトは表示されません。

目的の Dominion KX II デバイスの横にあるチェックボックスをオンにします。



2. [Delete] (削除) ボタンをクリックします。お気に入りのリストからお 気に入りが削除されます。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

ログアウト

- Dominion KX II リモート コンソールを終了するには、以下の手順 に従います。
- ページの右上隅の [Logout] (ログアウト) をクリックします。

注: ログアウトすると、開いているすべての Virtual KVM Client セッションとシリアル クライアント セッションが閉じられます。

Multi-Platform Client インタフェース

Raritan Multi-Platform Client (MPC) は、ラリタン製品ラインに対応する グラフィカル ユーザ インタフェースです。Raritan KVM over IP デバイ スに接続されているターゲット サーバへのリモート アクセスを提供し ます。MPC の使用方法については、ラリタンの Web サイトでユーザ ガ イドと同じページから入手できる『KVM and Serial Access Client Guide』を参照してください。MPC の起動手順が記載されています。

Web ブラウザからの MPC の起動

重要: ブラウザの種類を問わず、MPC を開くためには、Dominion デバ イスの IP アドレスからのポップアップを許可する必要があります。

 サポートされるブラウザを実行しているクライアントから MPC を 開くには、アドレス フィールドに「http://IP-ADDRESS/mpc」と入 力します (IP-ADDRESS はラリタン デバイスの IP アドレスに置 き換えてください)。MPC が新しいウィンドウに開かれます。

注: Alt+Tab コマンドで、ローカル システム上のウィンドウ間のみでの切り替えができます。

MPC が開かれると、自動的に検出されたラリタン デバイスおよび サブネット上で見つかったラリタン デバイスがナビゲータにツリー 形式で表示されます。

- 使用しているデバイスの名前がナビゲータに表示されていない場合 は、以下の手順に従って手動で追加します。
 - a. [Connection] (接続)、[New Profile] (新しいプロファイル) の順に 選択します。[Add Connection] (接続の追加) ウィンドウが開き ます。



- b. [Add Connection] (接続の追加) ウィンドウで、デバイスの説明を 入力し、接続タイプを指定し、デバイスの IP アドレスを追加し て、[OK] をクリックします。この指定内容は後で編集できます。
- 画面左のナビゲータ パネルで 接続するラリタン デバイスに対応す るアイコンをダブルクリックします。

注: お使いのブラウザおよびブラウザのセキュリティ設定によっては、さ まざまなセキュリティや証明書に関する確認メッセージまたは警告メッ セージが表示されることがあります。MPC を開くには、オプションを承 諾する必要があります。

注: Firefox 3.0.3 を使用している場合は、アプリケーションの起動で問題 が発生することがあります。この場合は、ブラウザのキャッシュをクリ アして、アプリケーションを再起動してください。

Virtual KVM Client

概要

リモート コンソールを使用してターゲット サーバにアクセスすると、 Virtual KVM Client (VKC) のウィンドウが開かれます。接続されているタ ーゲット サーバごとに 1 つの Virtual KVM Client ウィンドウが表示さ れます。これらのウィンドウには、Windows のタスクバーからアクセス できます。

Virtual KVM Client ウィンドウは、お使いのコンピュータのデスクトップ 上で最小化、最大化、および移動できます。

注: HTML ブラウザ表示を更新すると Virtual KVM Client 接続が切断さ れてしまうので注意してください。

注: Firefox 3.0.3 を使用している場合は、アプリケーションの起動で問題 が発生することがあります。この場合は、ブラウザのキャッシュをクリ アして、アプリケーションを再起動してください。

KVM ターゲット サーバへの接続

- ▶ KVM ターゲット サーバに接続するには、以下の手順に従います。
- Dominion KX II リモート コンソールで、[Port Access] (ポート アクセス) タブをクリックします。[Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。
- アクセスしたいターゲット サーバのポート名をクリックします。
 [Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。



3. [Connect] (接続) をクリックします。*Virtual KVM Client* 『p. 61』ウ ィンドウが開き、そのポートに接続されているターゲット サーバが 表示されます。

VKC ツールバー

注: KX II-101 の VKC のインタフェースは、他の Dominion KX 製品の インタフェースとは異なります。「VKC Toolbar for the KX II-101」(KX II-101 の VKC ツールバー) を参照してください。

ボタン	ボタン名	説明
	[Connection Properties] (接 続プロパティ)	帯域幅のオプションを (接続スピード、色深度な ど) を手動で調節するための [Modify Connection Properties] (接続プロパティの変更) ダイアログ ボックスを開きます。
	[Video Settings] (ビデ 才設定)	ビデオ変換パラメータを手動で調節するための [ビデオ設定] ダイアログ ボックスを開きます。
	[Color	色設定を調節し、余分な色ノイズを低減します。
	Calibration] (也 調整)	[Video] (ビデオ)の [Color Calibrate] (色調整) を 選択した場合と同じです。
	[Target Screenshot] (ターゲット スクリーンシ ョット)	クリックすると、ターゲット サーバのスクリー ンショットを取得して、それを選択したファイル に保存します。
2	[Synchronize Mouse] (マウ スの同期)	デュアルマウス モードで、マウス ポインタとタ ーゲット サーバのマウス ポインタを同期させ ます。
~	[Refresh Screen] (画面 の更新)	ビデオ画面を強制的に更新します。
	[Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の 自動検出)	ビデオ設定を強制的に更新します (解像度、垂直 走査周波数)。
`	スマート カー ド	クライアント PC に接続されているスマート カ ード リーダーのリストから選択するためのダイ アログ ボックスを開きます。
		注: この機能は、KX II 2.1.10 以降でのみ使用で


Ch 3: ターゲット サーバの使用

ボタン	ボタン名	説明
		きます。
		注: AKC ではスマート カードはサポートされま せん。
	[Send Ctrl+Alt+Del] (Ctrl+Alt+Del の送信)	ターゲット サーバに Ctrl+Alt+Del のキー操作を 送信します。
k	[Single Cursor Mode] (シング ル カーソル モード)	ローカルのマウス ポインタを画面に表示しない 「シングル カーソルモード」になります。
		このモードを終了するには、Ctrl+Alt+O キーを押 します。
		または、ショートカット メニューの [Single/Double Cursor] (シングル/ダブル カーソ ル) を
		選択します。ショートカット メニューは、Ctrl+ 左 Alt+M キーを押すと表示されます。
K N K Y	[Full Screen Mode] (全画面 チード)	ターゲット サーバのデスクトップを表示する画 面を最大化します。
		注: AKC では、全画面モードを終了するには [Exit Full Screen Mode] (全画面モードの終了) ア イコン を使用します。
	[Scaling] (拡大 、縮小)	ターゲットのビデオ サイズを拡大、縮小して、 スクロール バーを使用せずにターゲット サー バ ウィンドウの内容をすべて表示できるように します。



KVM ターゲット サーバの切り替え

Dominion KX II では、複数の KVM ターゲット サーバにアクセスできます。Dominion KX II は、ターゲット サーバを切り替える機能を備えています。

- ▶ KVM ターゲット サーバを切り替えるには、以下の手順に従います。
- ターゲット サーバを使用しているときに、Dominion KX II の [Port Access] (ポート アクセス) ページを開きます。
- アクセスするターゲットの [Port Name] (ポート名) をクリックしま す。[Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。
- [Port Action] (ポート アクション) メニューの [Switch From] (切り替え元) を選択します。選択した新しいターゲット サーバが [Virtual KVM Client] (仮想 KVM クライアント) ウィンドウに表示されます。

ターゲット サーバの電源管理

注: これらの機能は、電源の関連付けを行っている場合にのみ使用できま す。

- KVM ターゲット サーバの電源を再投入するには、以下の手順に従います。
- Dominion KX II リモート コンソールで、[Port Access] (ポート アク セス) タブをクリックします。[Port Access] (ポート アクセス) ペー ジが開きます。
- 適切なターゲット サーバのポート名をクリックします。[Port Action] (ポート アクション)メニューが表示されます。
- [Power Cycle] (電源の再投入) を選択します。確認メッセージが表示 されます。
- ▶ ターゲット サーバの電源をオンにするには、以下の手順に従います
- Dominion KX II リモート コンソールで、[Port Access] (ポート アクセス) タブをクリックします。[Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。
- 適切なターゲット サーバのポート名をクリックします。[Port Action] (ポート アクション)メニューが表示されます。



- 3. [Power On] (電源オン) を選択します。確認メッセージが表示されま す。
- ▶ ターゲット サーバの電源をオフにするには、以下の手順に従います
- Dominion KX II リモート コンソールで、[Port Access] (ポート アクセス) タブをクリックします。[Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。
- 適切なターゲット サーバのポート名をクリックします。[Port Action] (ポート アクション)メニューが表示されます。
- 3. [Power Off] (電源オフ) を選択します。確認メッセージが表示されま す。

For Access				
ort Access				
ck on the individual port n	ame to see allowable operations			
f 4 Remote KVM channels	currently in use.			
Port Number	Port Name	Status		
1	Dominion-KX2_Port1	up		
2	Dominion-KX2 Port2	down		
3	Disconnect	down		
4	Power Off	down		
5	Power Cycle	up		
6	Dominion-KX2_Port6	down		
7	Dominion-KX2_Port7	down		
9	Dominion-KX2_Port9	down		

KVM ターゲット サーバの切断

注: Dominion KX II ローカル コンソールでは、この項目は使用できません。ローカル コンソールで切り替えたターゲットを切断する唯一の方法 は、ホットキーを使用することです。

▶ ターゲット サーバを切断するには、以下の手順に従います。

- 切断するターゲットのポート名をクリックします (Port Action) (ポートアクション)メニューが表示されます。
- 2. [Disconnect] (切断) を選択します。

ヒント: Virtual KVM メニューの [Connection] (接続) の [Exit] (終了) を 選択することによっても Virtual KVM Client ウィンドウを閉じることが できます。



USB プロファイルの選択

KVM ターゲット サーバに初めて接続する場合は、「KVM ターゲット サーバへの接続『p.61』」で説明されているように、ポートの優先 USB プロファイルが自動的に使用されます。前に別のプロファイルを使用し てターゲット サーバに接続したことがある場合は、最後に接続したとき の USB プロファイルが使用されます。優先プロファイル以外のプロフ ァイルが使用される場合は、次のような警告で通知されます。



ターゲット サーバに接続した後、必要に応じて USB プロファイルを変 更できます。デフォルトでは、VKC の [USB Profile] (USB プロファイ ル) メニューの下に表示されるプロファイルが、最もよく使用されている プロファイルです。これらのプロファイルは、接続されるターゲット サ ーバで使用されるものとして操作要件に基づいて管理者があらかじめ選 択しています。ただし、すべてのプロファイルは、[USB Profile] (USB プ ロファイル) メニューの [Other Profile] (他のプロファイル) オプション を使用して選択できます。

- ▶ USB プロファイルを選択するには、以下の手順に従います。
- 「KVM ターゲット サーバへの接続『p.61』の説明にしたがって、 KVM ターゲット サーバに接続します。
- VKC で、[USB Profile] (USB プロファイル) メニューから USB プ ロファイルを選択します。

プロファイルの名前は、それが使用されるオペレーティング システ ムまたはサーバを示しています。USB プロファイルについての詳細 は、「**USB プロファイル**『p. 112』」を参照してください。



[Connection Properties] (接続プロパティ)

動的ビデオ圧縮アルゴリズムは、さまざまな帯域幅条件で KVM コンソ ールの使用を可能にします。デバイスの KVM 出力は、LAN 経由だけで なく WAN 経由でも使用できるように最適化されます。さらに、色深度 を制御してビデオ出力を制限できるため、さまざまな帯域幅でビデオ画 質とシステム応答性のバランスを最適に維持することができます。

[Properties] (プロパティ) ダイアログ ボックスのパラメータは、さまざ まな動作環境の要件に合わせて最適に設定できます。 接続プロパティは、 一度設定して保存すると、それ以降の第 2 世代デバイスへの接続に使用 されます。

注: KX II-101 の VKC では、他の Dominion KX 製品の VKC で使用されるアイコン セットとは異なるアイコン セットが使用されます。詳細 は、「VKC Toolbar for the KX II-101」(KX II-101 の VKC ツールバー) を参照してください。

▶ 接続プロパティを設定するには、以下の手順に従います。

1. [Connection] (接続) の [Properties] (プロパティ) を選択するか、ツ

ールバーの [Connection Properties] (接続プロパティ) ボタン をクリックします。[Properties] (プロパティ) ダイアログ ボックス が表示されます。

Properties	
Connection Speed	1G Ethernet
Color Depth	15-bit RGB Color 💌
Smoothing	C Low
OK	Cancel Apply

注: KX II-101 は 1G Ethernet をサポートしていません。

注: KX II-101 の VKC では、他の Dominion KX 製品の VKC で使 用されるアイコン セットとは異なるアイコン セットが使用されま す。詳細は、「VKC Toolbar for the KX II-101」(KX II-101 の VKC ツ ールバー) を参照してください。



- ドロップダウン リストから接続スピードを選択します。デバイスでは、使用可能な帯域幅を自動的に検出できるため、帯域幅利用は制限されません。ただし、帯域幅の制限に応じて帯域幅利用を調整することもできます。
 - 自動
 - [1G Ethernet] (1G Ethernet)
 - [100 Mb Ethernet] (10 Mbps Ethernet)
 - [10 Mb Ethernet] (10 Mbps Ethernet)
 - [1.5 Mb (MAX DSL/T1)] (1.5 Mbps (最高速 DSL/T1))
 - [1 Mb (Fast DSL/T1)] (1 Mbps (高速 DSL/T1))
 - [512 Kb (Medium DSL/T1)] (512 Kbps (中速 DSL/T1))
 - [384 Kb (Slow DSL/T1)] (384 Kbps (低速 DSL/T1))
 - [256 Kb (Cable)] (256 Kbps (ケーブル))
 - [128 Kb (Dual ISDN)] (128 Kbps (デュアル ISDN))
 - [56 kb (ISP Modem)] (56 Kbps (ISP モデム))
 - [33 kb (Fast Modem)] (33 Kbps (高速モデム))
 - [24 kb (Slow Modem)] (24 Kbps (低速モデム))

これらの設定は、実際の速度ではなく特定の条件に対して最適化され ています。クライアントおよびサーバは、現在のネットワーク速度や エンコード設定に関係なく、常に最高速度でネットワークにビデオを 配信しようとします。ただし、システムの応答性が最も高くなるのは、 設定が実際の環境と一致するときだけです。

- ドロップダウン リストから色深度を選択します。デバイスでは、リ モート ユーザに送信される色深度を動的に調整することで、さまざ まな帯域幅で最適な使いやすさを実現します。
 - [15-bit RGB Color] (8 ビット RGB カラー)
 - [8-bit RGB Color] (8 ビット RGB カラー)
 - [4-bit Color] (4 ビット カラー)
 - [4-bit Gray] (2 ビット グレー)
 - [3-bit Gray] (2 ビット グレー)
 - [2-bit Gray] (2 ビット グレー)
 - [Black and White] (モノクロ)



重要:多くの管理タスク (サーバの監視、再設定等) において、最新 のビデオ グラフィック カードのほとんどで利用できる 24 ビット または 32 ビットのフルカラー表示は必要ありません。このような 高い色深度を送信すると、ネットワークの帯域幅を浪費することにな ります。

- スライダを使用して、スムージングのレベルを指定します (15 ビットカラー モードのみ)。ここで設定したスムージングのレベルにより、色がわずかに異なる画面領域をできるだけ滑らかな単色の組み合わせにするかが決まります。スムージングにより、表示されるビデオノイズを軽減することで、対象ビデオの画質が向上します。
- 5. [OK] をクリックして、これらのプロパティを保存します。

接続情報

- Virtual KVM Client 接続に関する情報を取得するには、以下の手順 に従います。
- [Connection] (接続)、[Connection Info] (接続情報)を選択します。
 [Connection Info] (接続情報) ウィンドウが開きます。

現在の接続に関する以下の情報が表示されます。

- [Device Name] (デバイス名) デバイスの名前です。
- [IP Address] (IP アドレス) デバイスの IP アドレスです。
- [Port] (ポート) ターゲット デバイスへのアクセスに使用される KVM 通信 TCP/IP ポートです。
- [Data In/Second] (データ入力/秒) 入力データレートです。
- [Data Out/Second] (データ出力/秒) 出力データレートです。
- [Connect Time] (接続時間) 接続時間です。
- [FPS] (FPS) ビデオで送信される毎秒フレーム数です。
- [Horizontal Resolution] (水平解像度) 水平方向の画面解像度です。
- [Vertical Resolution] (垂直解像度) 垂直方向の画面解像度です。
- [Refresh Rate] (垂直走査周波数) 画面の更新頻度を表します。
- [Protocol Version] (プロトコル バージョン) RFB プロトコル バー ジョンです。
- ▶ この情報をコピーするには、以下の手順に従います。
- [Copy to Clipboard] (クリップボードにコピー) をクリックします。これにより、任意のプログラムにこの情報を貼り付けることができます。



キーボードのオプション

キーボード マクロ

キーボード マクロを利用することで、ターゲット サーバに対するキー 入力が確実にターゲット サーバに送信され、ターゲット サーバのみで 解釈されます。キーボード マクロを利用しない場合、Virtual KVM Client が実行されているコンピュータ (クライアント PC) によって解釈され る可能性があります。

マクロはクライアント PC に保存され、その PC 専用になります。した がって 別の PC を使用したときは 作成したマクロを使用できません。 さらに、キーボード マクロはコンピュータ単位で管理されるので、ある ユーザが使用している PC に別のユーザが自分の名前でログインした場 合でも、1 人目のユーザが作成したマクロが 2 人目のユーザに対して表 示されます。

Virtual KVM Client 内で作成したキーボード マクロは MPC で使用でき、 またその逆も可能です。ただし、AKC で作成されたキーボード マクロ は、VKC または MPC では使用できません。その逆も同様です。

キーボード マクロの作成

- マクロを作成するには、以下の手順に従います。
- [Keyboard] (キーボード)の [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) をクリックします。[Keyboard Macros] (キーボード マクロ) ダイア ログ ボックスが表示されます。
- [Add] (追加) をクリックします。[Add Keyboard Macro] (キーボード マクロの追加) ダイアログ ボックスが表示されます。
- [Keyboard Macro Name] (キーボード マクロ名) フィールドにマクロの名前を入力します。この名前は、マクロが作成された後に [Keyboard] (キーボード) メニューに表示されます。
- [Hot-Key Combination] (ホットキーの組み合わせ) フィールドで、ドロップダウン リストからキー操作の組み合わせを選択します。これにより、定義済みのキー入力を使ってマクロを実行することができます。(オプション)



- [Keys to Press] (押すキー) ドロップダウン リストで、コマンドの実行に使用されるキー操作をエミュレートするために使用するキーを選択します。キーは、押す順番で選択します。1 つ選択するごとに、 [Add Key] (キーを追加)を選択します。キーを選択するごとに、 [Macro Sequence] (マクロ シーケンス) フィールドに表示されます。 また、1 つ選択するごとに、その [Release Key] (キーのリリース) コマンドが自動的に追加されます。
- マクロでテキストをターゲットに送信する機能を使用するには、 [Construct Macro from Text] (テキストからマクロを作成) ボタンを クリックします。
- たとえば、左 Ctrl + Esc キーを選択してウィンドウを閉じるマクロ を作成します。これは、[Macro Sequence] (マクロ シーケンス) ボッ クスに以下のように表示されます。

[Press Left Ctrl] (左 Ctrl の押下)

[Release Left Ctrl] (左 Ctrl のリリース)

[Press Esc] (Esc の押下)

[Release Escc] (Esc のリリース)

- 8. [Macro Sequence] (マクロ シーケンス) フィールドで、マクロ シー ケンスが正しく定義されていることを確認します。
 - a. キー操作の 1 つの手順を削除するには、手順を選択して [Remove] (削除) をクリックします。
 - b. キー操作の手順の順番を変更するには、手順をクリックし、上向 きまたは下向きの矢印ボタンを使用して必要に応じて並べ替え ます。
- [OK] をクリックしてマクロを保存します。[Clear] (クリア) をクリッ クすると、すべてのフィールドがクリアされ、最初の状態に戻ります。
 [OK] をクリックすると [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) ダ イアログ ボックスが現れ、新しいキーボード マクロがリスト表示さ れます。



[Close] (閉じる) をクリックして、[Keyboard Macro] (キーボード マクロ) ダイアログ ボックスを閉じます。マクロがアプリケーションの [Keyboard] (キーボード) メニューに表示されます。マクロを実行するには、メニューで新しいマクロを選択するか、マクロに割り当てたキー操作を使用します。

Key	board Macros	
	Minimize All Windows	Run Macro
		Add
		Remove
		Modify
		Close
	Select a macro from the above list.	

キーボード マクロの実行

作成したキーボード マクロは、割り当てたキーボード マクロを使用するか、[Keyboard] (キーボード) メニューからそれを選択して起動します。

メニュー バーからのマクロの実行

マクロを作成すると、そのマクロが [Keyboard] (キーボード) メニューに 表示されます。キーボード マクロを実行するには、[Keyboard] (キーボ ード) メニューでそれをクリックします。

キー操作の組み合わせを使用したマクロの実行

マクロの作成時にキー操作の組み合わせを割り当てた場合は、割り当て たキー入力を押すことでマクロを実行できます。たとえば、Ctrl+Alt+0 キ ーを同時に押すと、Windows ターゲット サーバの全ウィンドウが最小 化されます。



キーボード マクロの変更および削除

- ▶ マクロを変更するには、以下の手順に従います。
- [Keyboard] (キーボード)の [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) を選択します。[Keyboard Macros] (キーボード マクロ) ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2. マクロのリストから目的のマクロを選択します。
- [Modify] (変更) をクリックします。[Add/Edit Keyboard Macro] (キー ボード マクロの追加/編集) ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4. 必要な変更を加えます。
- 5. [OK] をクリックします。
- ▶ マクロを削除するには、以下の手順に従います。
- [Keyboard] (キーボード)の [Keyboard Macros] (キーボード マクロ) を選択します。[Keyboard Macros] (キーボード マクロ) ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2. マクロのリストから目的のマクロを選択します。
- 3. [Remove] (削除) をクリックします。マクロが削除されます。

ブレード シャーシの切り替えキー シーケンスと一致するホットキーの 組み合わせは、それらのシャーシ内のブレードには送信されません。

CIM キーボード/マウス オプションの設定

- DCIM-USBG2の設定メニューにアクセスするには、以下の手順に従います。
- 1. メモ帳 (Windows) などのウィンドウをマウスでフォーカスします。
- 2. 左 Ctrl キーと Num Lock キーを同時に押します。アクティブ ウィンドウに CIM 設定メニューが表示されます。
- 3. 言語とマウスを設定します。



 Connection
 US3 Profile
 <eyboard</th>
 Video
 Mouse
 Tools
 View
 Virtual Media
 Help

 Send Ctrl+Alt+Del
 Send Ctrl+Alt+Del
 Send Ctrl+Alt+Del
 Send Ctrl+Alt+C
 Send Ctrl+Alt+C
 Send Ctrl+Alt+C

 Import Keyboard/Mouse Options
 Import Keyboard Macros...
 Export Keyboard Macros...
 Send Ctrl+Alt+C

 Minimize All Windows
 Ctrl+Alt+C
 Send Ctrl+Alt+C
 Send Ctrl+Alt+C

4. メニューを終了し、通常の CIM 機能に戻ります。

ビデオのプロパティ

[Refresh Screen] (画面の更新)

[Refresh Screen] (画面の更新) コマンドを使用すると、ビデオ画面が更新されます。ビデオの設定を自動的に更新する方法はいくつかあります。

- [Refresh Screen] (画面の更新) コマンドを使用すると、ビデオ画面が 更新されます。
- [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出) コマンドを使用すると、ターゲットサーバのビデオ設定が自動的に検出されます。
- [Calibrate Color] (色調整) コマンドを使用すると、ビデオの表示色が 調整されます。

これに加え、[Video Settings] (ビデオ設定) コマンドを使用すると、手動 で設定を調整できます。

注: KX II-101 の VKC では、他の Dominion KX 製品の VKC で使用されるアイコン セットとは異なるアイコン セットが使用されます。詳細 は、「VKC Toolbar for the KX II-101」(KX II-101 の VKC ツールバー) を参照してください。

- ▶ ビデオ設定を更新するには、次のいずれかの手順に従います。
- [Video] (ビデオ)の [Refresh Screen] (画面の更新)を選択するか、ツ

ールバーの [Refresh Screen] (画面の更新) ボタン 攀 をクリック します。



[Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出)

[Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動検出) コマンドを使用す ると、ビデオ設定 (解像度、垂直走査周波数) が再検出され、ビデオ画 面が再描画されます。

注: KX II-101 の VKC では、他の Dominion KX 製品の VKC で使用されるアイコン セットとは異なるアイコン セットが使用されます。詳細 は、「VKC Toolbar for the KX II-101」(KX II-101 の VKC ツールバー) を参照してください。

- ▶ ビデオ設定を自動的に検出するには、以下の手順に従います。
- [Video] (ビデオ)の [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自動 検出)を選択するか、ツールバーの [Auto-sense Video Settings] (ビ デオ設定の自動検出) ボタン をクリックします。調整が行わ れていることを示すメッセージが表示されます。

色の調整

[Calibrate Color](色調整) コマンドは、送信されたビデオ画像の色レベル (色相、輝度、彩度)を最適化するために使用します。色設定は、ターゲ ット サーバごとに適用されます。

注: [Calibrate Color] (色調整) コマンドは、現在の接続のみに適用されます。

注: KX II-101 では、色の調整はサポートされません。

▶ 色を調整するには、以下の手順に従います。

• [Video] (ビデオ)の [Calibrate Color] (色調整) を選択するか、ツー

ルバーの [Calibrate Color] (色調整) ボタン 🔤 をクリックします 。ターゲット デバイス画面の色が調整されます。

ビデオ設定の調整

[Video Settings] (ビデオ設定) コマンドを使用すると、ビデオ設定を手動 で調整できます。

- ▶ ビデオ設定を変更するには、以下の手順に従います。
- [Video] (ビデオ)の [Video Settings] (ビデオ設定)を選択するか、ツ ールバーの [Video Settings] (ビデオ設定) ボタン ジン をクリック して、[Video Settings] (ビデオ設定) ダイアログ ボックスを開きます。



- 必要に応じて、以下の設定を調整します。設定を調整すると、その効果が即座に表示に反映されます。
 - a. [Noise Filter] (ノイズ フィルタ)

デバイスでは、グラフィック カードからのビデオ出力の電気的 干渉を除去することができます。この機能により、画質が最適化 され、消費される帯域幅が低減されます。設定値を大きくすると、 ピクセル変動は隣接するピクセルと比較して大きな色変化があ る場合にのみ送信されます。ただし、しきい値を高く設定しすぎ ると、正常な画面変更が意図せずフィルタリングされてしまう場 合があります。 設定値を低くすると、ほとんどのピクセルの変更が送信されます。 しきい値を低く設定しすぎると、帯域幅の使用量が高くなること があります。

- **b.** [Brightness] (明るさ): この設定は、ターゲット サーバの画面表 示の輝度を調整するために使用します。
- c. [Brightness Red] (赤輝度) ターゲット サーバの画面に表示される赤の信号の輝度を制御します。
- d. [Brightness Green] (緑輝度) 緑の信号の輝度を制御します。
- e. [Brightness Blue] (青輝度) 青の信号の輝度を制御します。
- f. [Contrast Red] (赤コントラスト) 赤の信号のコントラストを制 御します。
- g. [Contrast Green] (緑コントラスト) 緑の信号のコントラストを 制御します。
- h. [Contrast Blue] (青コントラスト) 青の信号のコントラストを制 御します。

ビデオ画像が大幅にぼやけている場合、設定でクロックと位相を 調節することで、アクティブなターゲット サーバの画像を改善 します。

警告: クロック設定と位相設定を変更する際には、注意が必要です。 ビデオ画像が消えたり歪んだりする可能性があるだけでなく、元の状態に戻せなくなることがあります。変更を加える前に、ラリタンテクニカルサポートにお問い合わせください。

i. [Clock] (クロック) - ビデオ画面上にビデオ ピクセルが表示される速度を制御します。クロック設定値を変更すると、ビデオ画像が水平方向に伸縮します。設定値は奇数を推奨します。通常は自動検出機能によって適切に設定されるため、ほとんどの環境ではこの設定を変更する必要はありません。



- j. [Phase](位相) 位相の値の範囲は 0 ~ 31 です。これより大き な値は反復されます。アクティブなターゲット サーバ用に最適 なビデオ画像が得られる位相の位置で停止してください。
- k. [Horizontal Offset] (水平オフセット) ターゲット サーバの画面 がモニタに表示されるときの水平位置を制御します。
- [Vertical Offset] (垂直オフセット) ターゲット サーバの画面が モニタに表示されるときの垂直位置を制御します。
- 3. [Auto Color Calibration] (自動色調節) を選択して、この機能を有効 にします。
- 4. ビデオ検出モードを選択します。
 - [Best possible video mode] (最適ビデオ モード)

ターゲットやターゲットの解像度が変更されたときに、すべての 自動検出処理が実行されます。このオプションを選択すると、最 適な画像品質になるようにビデオが調整されます。

[Quick sense video mode] (クイック検出ビデオ モード)

このオプションを使用すると、クイック ビデオ自動検出が使用 され、ターゲットのビデオがより早く表示されます。このオプシ ョンは、再起動直後のターゲット サーバの BIOS 設定を入力す るときに特に有効です。

 設定を適用してダイアログ ボックスを閉じるには、[OK] をクリック します。ダイアログ ボックスを閉じずに設定を適用するには [Apply] (適用) をクリックします。



注: 一部の Sun サーバでは、ある種の Sun 背景画面 (外周部が非常に 暗いものなど) が中央の位置に正確に表示されない場合があります。別の 背景を使用するか、画面の左上隅に明るい色のアイコンを配置してくだ さい。

Video Settings				X
Noise Filter	<	>	2	
Brightness Red	<u><</u>	>	45	
Brightness Green		>	61	
Brightness Blue	< <	>	46	
Contrast Red	<u><</u>	>	192	
Contrast Green	<u><</u>	>	196	
Contrast Blue	<u> </u>	>	194	
Clock	< []	>	1056	
Phace	<u><</u>	>	19	
Horizontal Offset	<		214	
Vertical Offset	<		23	
	 Auto Color Calibra Best possible vide Quick sense vide QK 	ation) eo mode o mode	10	

注: KX II-101 の VKC では、他の Dominion KX 製品の VKC で使用さ れるアイコン セットとは異なるアイコン セットが使用されます。詳細 は、「VKC Toolbar for the KX II-101」(KX II-101 の VKC ツールバー) を 参照してください。



ターゲット サーバのスクリーンショットの使用

[Screenshot from Target server] (ターゲット サーバのスクリーンショット) コマンドを使用すると、ターゲット サーバのスクリーンショットを 取得できます。このスクリーンショットを、選択した場所にビットマッ プ、JPEG、または PNG ファイルとして保存できます。

注: この機能は、KX II-101 では使用できません。

- ターゲット サーバのスクリーンショットを取得するには、以下の手順に従います。
- [Video] (ビデオ)の [Screenshot from Target server] (ターゲット サーバのスクリーンショット)を選択するか、ツールバーの [Screenshot from Target server] (ターゲット サーバのスクリーンショット) ボタン ジ をクリックします。
- [Save] (保存) ダイアログ ボックスで、ファイルを保存する場所を選 択し、ファイルに名前を付け、[Files of type] (ファイルの種類) ドロ ップダウン リストからファイル形式を選択します。
- 3. [Save] (保存) をクリックしてスクリーンショットを保存します。

📧 Save		
Save <u>i</u> n:	My Downloads	
📑 Miscellane	ous	
HTMLback	ground.jpg	
File <u>n</u> ame:	Server Screenshot	
Files of <u>t</u> ype:	JPEG image files	-
		Save Cancel



最大垂直走査周波数の変更

ターゲットで使用しているビデオ カードでカスタム ソフトウェアが使 用されている場合、MPC または VKC を介してターゲットにアクセスす るには、垂直走査周波数がターゲットで有効になるように、モニタの最 大垂直走査周波数を変更する必要があります。

- モニタの垂直走査周波数を調整するには、以下の手順に従います。
- Windows では、[画面のプロパティ] ダイアログ ボックスを開き、[設定]、[詳細設定] の順に選択してプラグ アンド プレイのダイアログ ボックスを開きます。
- 2. [モニタ] タブをクリックします。
- 3. [画面のリフレッシュ レート] を 100Hz 以上のレートに設定します。
- [OK] をクリックし、もう一度 [OK] をクリックして設定を適用します。

マウス オプション

ターゲット サーバを制御しているとき、リモート コンソールには、2 つのマウス カーソルが表示されます。1 つはクライアント ワークステーションのマウス カーソルで、もう 1 つはターゲット サーバのマウス カーソルです。

この場合、シングル マウス モードとデュアル マウス モードのどちら かを使用できます。デュアル マウス モードにおいてオプションが適切 に設定されている場合、2 つのマウス カーソルは同調します。

デバイスでは、2 つのマウス カーソルが存在するときに以下のマウス モードが提供されます。

- Absolute (ずれない) (マウス同期)
- Intelligent (インテリジェント) (マウス モード)
- Standard (標準) (マウス モード)



Ch 3: ターゲット サーバの使用

マウス ポインタの同期

マウスが使用されているターゲット サーバをリモートで表示する場合、 2 つのマウス カーソルが表示されます。1 つはリモート クライアント ワークステーションのマウス カーソルで、もう 1 つはターゲット サー バのマウス カーソルです。マウス ポインタが Virtual KVM Client ター ゲット サーバ ウィンドウ内にある場合、マウスの動作やクリックは、 接続されているターゲット サーバに直接送信されます。クライアントの マウス ポインタは、マウスの加速設定により、動作がわずかにターゲッ ト マウス ポインタより先行します。

高速 LAN 接続の場合、Virtual KVM Client のマウス ポインタを無効に してターゲット サーバのマウス ポインタのみを表示することもできま す。この 2 つのモード (シングル マウスとデュアル マウス) は自由に 切り替えることができます。

注: KX II-101 の VKC では、他の Dominion KX 製品の VKC で使用されるアイコン セットとは異なるアイコン セットが使用されます。詳細 は、「VKC Toolbar for the KX II-101」(KX II-101 の VKC ツールバー) を参照してください。

マウス同期のヒント

マウスの同期を設定するには、以下の手順に従います。

- 選択したビデオ解像度と垂直走査周波数がデバイスでサポートされていることを確認します。[Virtual KVM Client Connection Info] (Virtual KVM Client 接続情報)ダイアログボックスには、デバイスの表示で使用している実際の値が表示されます。
- ケーブルの長さが選択したビデオ解像度に指定されている限度内で あることを確認します。
- 3. インストール プロセス中にマウスとビデオが正しく構成されている ことを確認します。
- 4. [Virtual KVM Client auto-sense] (Virtual KVM Client の自動検出) ボ タンをクリックして自動検出を強制します。
- 5. 以上の手順で Linux、UNIX、Solaris KVM ターゲット サーバのマウ ス同期が改善しない場合は、以下の手順に従います。
 - a. ターミナル ウィンドウを開きます。
 - **b**. コマンド「xset mouse 1 1」を入力します。
 - **C**. ターミナル ウィンドウを閉じます。
- 6. [Virtual KVM Client mouse synchronization] (Virtual KVM Client マウ ス同期) ボタン をクリックします。



インテリジェント マウス モードでの追加の注意事項

- 同期ルーチンが利用する領域を空けるため、画面の左上隅にアイコン やアプリケーションがないことを確認します。
- アニメーション カーソルを使用しないでください。
- KVM ターゲット サーバでアクティブなデスクトップを無効にします。

[Synchronize Mouse] (マウスの同期)

デュアル マウス モードで [Synchronize Mouse] (マウスの同期) コマン ドを使用すると、ターゲット サーバのマウス ポインタと Virtual KVM Client のマウス ポインタとの同期化が再実行されます。

- ▶ マウスを同期するには、次のいずれかの手順に従います。
- [Mouse] (マウス)の [Synchronize Mouse] (マウスの同期) を選択するか、ツールバーの [Synchronize Mouse] (マウスの同期) ボタン
 をクリックします。

標準マウス モード

標準マウス モードは、相対マウス位置を使用した標準のマウス同期アル ゴリズムです。標準マウス モードを使用する場合、クライアントとサー バのカーソルが同期するように、マウスの加速を無効にし、マウスに関 連するその他のパラメータを適切に設定する必要があります。標準マウ ス モードはデフォルトです。

- ▶ 標準マウス モードに切り替えるには、以下の手順に従います。
- [Mouse] (マウス)の [Standard] (標準) を選択します。



インテリジェント マウス モード

デバイスでは、インテリジェント マウス モードにおいて、ターゲット のマウス設定を検出し、それに応じてマウス カーソルを同期できるので、 ターゲットでマウスの加速を設定できます。このモードでは、マウス カ ーソルが画面の左上隅で "ダンス" をし、加速を計算します。このモード が正常に動作するには、特定の条件が満たされる必要があります。

インテリジェント マウス モードに切り替えるには、以下の手順に従います。

[Mouse] (マウス)の [Intelligent] (インテリジェント)を選択します。

インテリジェント マウス同期の条件

[Mouse] (マウス) メニューにある [Intelligent Mouse Synchronization] (インテリジェント マウス同期) コマンドを選択すると、マウスが動いて いないときにマウス カーソルが自動的に同期されます。この機能を適切 に動作させるには、次の条件が満たされている必要があります。

- ターゲットにおいて、アクティブ デスクトップが無効であること。
- ターゲット ページの左上隅にウィンドウが表示されていないこと。
- ターゲット ページの左上隅にアニメーション背景が表示されていないこと。
- ターゲットのマウスカーソルが通常のものであり、アニメーションカーソルでないこと。
- ターゲットマウスの速度が、非常に遅い値や非常に速い値に設定されていないこと。
- [ポインタの精度を高める] や [ポインタを自動的に既定のボタン上 に移動する] などの高度なマウス プロパティが無効であること。
- [ビデオ設定] ウィンドウで [最適ビデオ モード] を選択していること。
- ターゲットのビデオの外周部が明確に表示されていること(つまり、 ターゲットのビデオ画像の端にスクロールしたときに、ターゲット デスクトップとリモート KVM コンソール ウィンドウの間に黒い ボーダーが表示されている必要があります)。
- インテリジェント マウス同期機能を使用中に、デスクトップの左上 隅にファイル アイコンやフォルダ アイコンがあると、この機能が正 しく動作しない可能性があります。この機能での問題を避けるために、 デスクトップの左上隅にファイル アイコンやフォルダ アイコンを 置かないことを推奨します。



ターゲット ビデオが自動検出された後で、ツール バーの [Synchronize Mouse] (マウス同期) ボタンをクリックして、手動でマウス同期を開始す る必要があります。ターゲットの解像度が変更された場合や、マウス カ ーソルが互いに同期しなくなった場合にも、この操作を行います。

インテリジェント マウス同期が失敗した場合、標準マウス同期と同じ動 作になります。

マウス設定は、ターゲットのオペレーション システムよって異なります。 詳細については、使用する OS のマニュアルを参照してください。また、 インテリジェント マウス同期は UNIX ターゲットでは機能しません。

Absolute (ずれない) マウス モード

このモードでは、ターゲット マウスの加速または速度が異なる値に設定 されている場合でも、クライアントとターゲットのカーソルを同期する ために絶対座標が使用されます。このモードは、USB ポートを備えたサ ーバでサポートされます。

▶ ずれないマウス モードに切り替えるには、以下の手順に従います。

[Mouse] (マウス)の [Absolute] (ずれない)を選択します。

注: ずれないマウス設定を適用するには USB ターゲット システムが必 要です。KX II-101 の場合、これが推奨のマウス設定です。

注: ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) は、仮想メディ アに対応する USB CIM (D2CIM-VUSB および D2CIM-DVUSB) でのみ 使用できます。

シングル マウス カーソル

シングル マウス モードでは、ターゲット サーバのマウス カーソルだ けを使用します。ローカル マウス ポインタは画面に表示されません。 シングル マウス モードでは、[Synchronize Mouse] (マウスの同期) コマ ンドは使用できません (単独のマウス カーソルを同期化する必要がない ため)。

注: KX II-101 の VKC では、他の Dominion KX 製品の VKC で使用されるアイコン セットとは異なるアイコン セットが使用されます。詳細 は、「VKC Toolbar for the KX II-101」(KX II-101 の VKC ツールバー) を参照してください。

▶ シングル マウス モードに入るには、以下の手順に従います。

 [Mouse] (マウス) の [Single Mouse Cursor] (シングル マウス カー ソル) を選択します。



2. ツール バーの [Single/Double Mouse Cursor] (シングル/ダブル マウス カーソル) ボタン をクリックします。

🐁 Single Cursor Mode 🛛 🔀
You are about to enter Single Cursor mode. While you are in this mode,
this software will have exclusive control over the mouse and keyboard.
To exit Single Cursor mode you must press:
Ctrl+Alt+O
🔽 (Scale the video (no scroll bars))
OK Cancel

- ▶ シングル マウス モードを終了するには、以下の手順に従います。
- シングル マウス モードを終了するには、キーボードの Ctrl+Alt+O を押します。

VKC 仮想メディア

仮想メディアの設定方法および使用方法についての詳細は、「仮想メディア」を参照してください。



スマート カード (VKC および MPC)

KX II 2.1.10 以降を使用する場合は、スマート カード リーダーをターゲ ット サーバにマウントして、スマート カード認証および関連アプリケ ーションをサポートできます。 サポートされているスマート カード、 スマート カード リーダー、およびシステム要件の一覧については、「サ ポートされているスマート カード リーダーとサポートされていないス マート カード リーダー 『p. 312』」および「最小システム要件」を参 照してください。

注: AKC ではスマート カードはサポートされません。

サーバにリモートでアクセスすると、接続されたスマート カード リー ダーを選択し、それをサーバにマウントできます。スマート カード認証 はターゲット サーバで使用されますが、デバイスへのログインには使用 されません。したがって、スマート カードの PIN と資格情報を変更す るのにデバイス アカウントを更新する必要はありません。 カード リー ダーおよびスマート カードをターゲット サーバにマウントすると、サ ーバはそれらのリーダーやカードが直接接続されているかのように動作 します。スマート カードまたはスマート カード リーダーを取り外すと、 ターゲット サーバの OS で設定されているカードの取り外しポリシー に従って、ユーザ セッションがロックされるか、またはユーザがログア ウトされます。KVM セッションが切断されるか、または新しいターゲッ トに切り替えたために KVM セッションが終了した場合、スマート カー ド リーダーはターゲット サーバから自動的にマウント解除されます。

デバイスで PC 共有モードを有効にすると、複数のユーザがターゲット サーバへのアクセスを共有できます。ただし、スマート カード リーダ ーがターゲットに接続されている場合は PC 共有モードの設定にかかわ らず、デバイスによってプライバシーが強化されます。さらに、ターゲ ット サーバで共有セッションに加わっている場合は、ターゲット サー バへの排他的アクセスが可能になるまでスマート カード リーダーのマ ウントが無効になります。



Ch 3: ターゲット サーバの使用

ターゲット サーバへの KVM セッションが確立されると、Virtual KVM Client および Multi-Platform Client でスマート カードのメニューとボ タンが使用可能になります。メニューを開くか [Smart Card] (スマート カード) ボタンを選択すると、リモート クライアントに接続されている スマート カード リーダーが表示されます。このダイアログ ボックスで は、追加のスマート カード リーダーを接続したり、ターゲット サーバ に接続されているスマート カード リーダーのリストを更新したり、ス マート カード リーダーの接続を解除したりできます。スマート カード の取り外しと再挿入も行うことができます。この機能を使用して、適切 なログイン ダイアログ ボックスを表示するために、カードの取り外し または再挿入が必要であるターゲット サーバの OS に通知を送信でき ます。通知は、他のアクティブな KVM セッションに影響を与えること なく 1 台のターゲット サーバに送信できます。

スマート カード リーダーをマウントするには 以下の手順に従います。

 [Smart Card] (スマート カード) メニューをクリックし、[Smart Card Reader] (スマート カード リーダー) を選択します。または、ツール

バーの [Smart Card] (スマート カード) ボタン 鯅 をクリックします。

- 2. [Select Smart Card Reader] (スマート カード リーダーの選択) ダ イアログ ボックスでスマート カード リーダーを選択します。
- 3. [Mount] (マウント) をクリックします。
- 進行状況を示すダイアログ ボックスが開きます。次回ターゲット サ ーバに接続したときにスマート カード リーダーを自動的にマウン トするには [Mount selected card reader automatically on connection to targets] (選択したカード リーダーをターゲットへの接続時に自動 的にマウントする) チェックボックスをオンにします。[OK] をクリ ックして、マウント処理を開始します。



- ▶ [Select Smart Card Reader] (スマート カード リーダーの選択) ダ イアログ ボックスのスマート カード リーダーを更新には、以下の 手順に従います。
- 新しいスマート カード リーダーがクライアント PC に接続された 場合は、[Refresh List] (リストの更新) をクリックします。
- スマート カードの取り外しおよび再挿入の通知をターゲット サーバに送信するには、以下の手順に従います。
- 現在マウントされているスマートカードリーダーを選択し、 [Remove/Reinsert](取り外し/再挿入)ボタンをクリックします。
- スマート カード リーダーのマウントを解除するには、以下の手順に 従います。
- マウントを解除するスマート カード リーダーを選択し、[Unmount] (マウント解除) ボタンをクリックします。

ローカル コンソールからのスマート カード リーダーのマウントもサ ポートされます。詳細については、「*ローカル コンソールのスマート カ ード アクセス* 『p. 279』」を参照してください。

	al KVM Client			
nection USB Prohle Keyboa	rd Video Mouse Tools V	lew Virtual Media SmartCard Hi	elp	
) 🛼 🖬 🎯 🕅	è 🍜 🕄 褬 🕯	Select Card	Reader	
1				
Recycle Bin				
Select Card Reader				×
Card Reader Currently Mo	unted			
None				
Card Readers Detected				
Gemplus USB Smart Card	Reader 0			
O2Micno PCMCIA Reader	0			
SCM Microsystems Inc . S	CR24x PCMCIA Smart Card Re-	adier 0		
Connecting a Card Read	er limits Virtual Media to o vinting Virtual Media, do s	ne Mass Storage Device. 9 before connecting Card Read	er.	
Connecting a Card Read Also, if you intend on m	er limits Virtual Media to o unting Virtual Media, do s	ne Mass Storage Device. o before connecting Card Reads	er.	
Connecting a Card Read Also, if you intend on m	er limits Virtual Media to o ounting Virtual Media, do si Refresh List	ne Mass Storage Device. o before connecting Card Reads Remove/Reinsert Card	er. Un-Mount	Close
Connecting a Card Read Also, if you intend on m Mount	er limits Virtual Media to o sunting Virtual Media, do si Refresh List	ne Mass Storage Device. o before connecting Card Reade Remove/Reinsert Card	er. Un-Mount	Close
Connecting a Card Read Also, If you intend on mi Mount	er limits Virtual Media to o sunting Virtual Media, do si Refresh List	ne Mass Storage Device. o before connecting Card Reade Remove/Reinsert Card	er. Un-Maunt	Close
Connecting a Card Read Also, if you intend on m Mount Start 🕝 🍎	er limits Virtual Media to o sunting Virtual Media, do s Refresh List	ne Mass Storage Device. o before connecting Card Reads Remove/Reinsert Cord	er. Un-Mount	Close



ツール オプション

[Tools] (ツール) メニューでは、Virtual KVM Client に関する特定のオプ ション (ログ記録、キーボードの種類の設定、全画面モードおよびシング ル カーソル モードを終了するホットキーの定義) を指定できます。

- ツール オプションを設定するには、以下の手順に従います。
- [Tools] (ツール)の [Options] (オプション)を選択します。[Options] (オプション) ウィンドウが表示されます。
- テクニカル サポートから指示されたときだけ、[Enable Logging] (ロ グ記録を有効にする) チェックボックスをオンにします。このオプシ ョンをオンにすると、ホーム ディレクトリにログ ファイルが作成さ れます。
- 3. 必要に応じて、ドロップダウン リストからキーボードの種類を選択 します。含まれるオプションは次のとおりです。
 - [US/International] (アメリカ英語/国際)
 - [French (France)] (フランス語 (フランス))
 - [German (Germany)] (ドイツ語 (ドイツ))
 - 日本語
 - イギリス
 - [Korean (Korea)] (韓国語 (韓国))
 - [Belgian (Belgium)] (ベルギー語 (ベルギー))
 - [Norwegian (Norway)] (ノルウェー語 (ノルウェー))
 - [Portuguese (Portugal)] (ポルトガル語 (ポルトガル))
 - [Danish (Denmark)] (デンマーク語 (デンマーク))
 - [Swedish (Sweden)] (スウェーデン語 (スウェーデン))
 - [German (Switzerland)] (ドイツ語 (スイス))
 - [Hungarian (Hungary)] (ハンガリー語 (ハンガリー))
 - [Spanish (Spain)] (スペイン語 (スペイン))
 - [Italian (Italy)] (イタリア語 (イタリア))
 - スロベニア語
 - [Translation: French US] (変換: フランス語 アメリカ英語)
 - [Translation: French US International] (変換: フランス語 アメ リカ英語/国際)



注: AKC では、デフォルトのキーボードの種類はローカル クライア ントであるため、このオプションは適用されません。

 [Exit Full Screen Mode] (全画面モードの終了) - ホットキー。全画面 モードに切り替えると、ターゲット サーバの表示が全画面表示にな り、ターゲット サーバと同じ解像度が取得されます。これは、この モードを終了するためのホットキーです。

注: [Exit Full Screen Mode] (全画面モードの終了) ホットキーは、 AKC では利用できません。AKC では、代わりに画面の上部にマウ スを移動すると [Exit Full Screen Mode] (全画面モードの終了) アイ コン が表示されます。

[Exit Single Cursor Mode] (シングル カーソル モードの終了) - ホットキー。シングル カーソル モードに入ると、ターゲット サーバのマウス カーソルのみが表示されます。これは、シングル カーソル モードを終了して、クライアント マウス カーソルに戻るために使用するホットキーです。[OK] をクリックします。

キーボードの制限

スロベニア語キーボード

JRE の制限により、< キーは、スロベニア語キーボードでは機能しません。

Linux での言語設定

Linux 上の Sun JRE では、システムの環境設定を使用して設定される外 国語のキーボードで正しいキー イベントを生成する際に問題があるの で、外国語キーボードは、次の表で説明する方法を使用して設定するこ とをお勧めします。

言語	設定方法
アメリカ英語/ 国際	デフォルト設定
フランス語	Keyboard Indicator
ドイツ語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
日本語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
イギリス英語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
韓国語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ベルギー語	Keyboard Indicator



言語	設定方法
ノルウェー語	Keyboard Indicator
デンマーク語	Keyboard Indicator
スウェーデン 語	Keyboard Indicator
ハンガリー語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
スペイン語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
イタリア語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
スロベニア語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ポルトガル語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)

注: デスクトップ環境として Gnome を使用している Linux システムでは、Keyboard Indicator を使用してください。



表示オプション

[View Toolbar] (ツール バーの表示) Virtual KVM Client では、ツール バーの表示/非表示を切り替えることが できます。

- ツール バーの表示/非表示 (オン/オフ)を切り替えるには、以下の手順に従います。
- [View] (表示) の [View Toolbar] (ツール バーの表示) を選択します。

[Scaling] (拡大、縮小)

ターゲットのウィンドウを拡大、縮小することで、ターゲット サーバ ウ ィンドウ全体の内容を表示することができます。Virtual KVM Client のウ ィンドウ サイズに合わせて、縦横比を維持したまま、ターゲット ビデ オのサイズを拡大または縮小することができるため、スクロール バーを 使用することなくターゲット サーバのデスクトップ全体を表示するこ とができます。

- ▶ 拡大、縮小 (オン/オフ) を切り替えるには、以下の手順に従います。
- [View] (表示)の [Scaling] (拡大、縮小)を選択します。

[Target Screen Resolution] (ターゲット画面解像度)

全画面モードに切り替えると、ターゲット サーバの表示が全画面表示に なり、ターゲット サーバと同じ解像度が取得されます。このモードを終 了するためのホットキーは、[Options] (オプション) ダイアログ ボック スで指定します (デフォルトは Ctrl+Alt+M です)。

- ▶ 全画面モードに切り替えるには、以下の手順に従います。
- [View] (表示)の [Full Screen] (全画面)を選択します。
- ▶ 全画面モードを終了するには、以下の手順に従います。
- [Tools] (ツール)の [Options] (オプション) ダイアログで設定されているホットキーを押します。デフォルトは Ctrl+Alt+M です。AKC では [Exit Full Screen Mode] (全画面モードの終了) アイコンをクリックします。



ヘルプのオプション

[About Raritan Virtual KVM Client] (バージョン情報)

このメニュー コマンドを選択すると、Virtual KVM Client のバージョン 情報が表示されます。このバージョン情報は、ラリタン テクニカル サ ポートを利用するときに必要になります。

- ▶ バージョン情報を調べるには、以下の手順に従います。
- [Help] (ヘルプ)の [About Raritan Virtual KVM Client] (バージョン情報)を選択します。
- 後でサポート時にアクセスできるように、[Copy to Clipboard] (クリ ップボードにコピー) ボタンを使用して、ダイアログ ボックスに含 まれている情報をクリップボード ファイルにコピーします (必要な 場合)。



Active KVM Client (AKC)

概要

Microsoft Windows .NET ベースの Active KVM Client (AKC) は、KX II 2.2 以降で使用できます。すべての KX II モデルがサポートされますが、 KX2-101 モデルと KSX2 モデルは現在サポートされていません。AKC は Microsoft Windows .NET 技術に基づいています。ユーザは、Raritan の VKC および MPC の実行に必要な Java Runtime Environment (JRE) を使用することなくクライアントを Windows 環境で実行できま す。AKC は CC-SG とも連動します。

AKC と VKC は、以下の点を除いて特徴が似ています。

- 最小システム要件
- サポートされているオペレーティング システムとブラウザ
- スマート カードは、AKC ではサポートされません。
- お気に入りの管理は、AKC ではサポートされません。
- AKC で作成されたキーボード マクロは VKC では使用できません。

アプリケーションの利用可能な機能の使用方法については、「Virtual KVM Client 『p. 61』」セクションを参照してください。AKC の動作とVKC の動作の違いが記載されています。

AKC の使用に関する設定情報については、「ダイレクト ポート アクセ スの概要『p. 160』」および「[Enable AKC Download Server Certificate Validation] (AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にする)の概 要『p. 161の"[Enable AKC Download Server Certificate Validation (AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にする)]の概要"参照 』」も参照 してください。

注: AKC でダイレクト ポート アクセスを使用する場合は、アクセスす るターゲットごとに新しいブラウザ ウィンドウまたはブラウザ タブを 開く必要があります。現在ターゲットへのアクセスに使用しているのと 同じブラウザ ウィンドウまたはブラウザ タブに DPA URL を入力して 別のターゲットにアクセスしようとすると、接続できずにエラーが表示 される場合があります。



AKC を使用するための必要条件

AKC を使用するには、以下の手順に従います。

- アクセスするデバイスの IP アドレスからの Cookie が現在ブロッ クされていないことを確認します。
- Windows Vista、Windows 7、および Windows 2008 Server のユー ザは、アクセスするデバイスの IP アドレスがブラウザの [信頼済み サイト] ゾーンに含まれ、デバイスへのアクセス時に保護モードが有 効になっていないことを確認する必要があります。

KX II (または CC-SG) の管理者が [Enable AKC Download Server Certificate Validation (AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効に する)] オプションを有効にした場合は、以下の手順に従います。

- 管理者は、自己署名証明書を KX II にアップロードするか、自己署 名証明書を KX II で生成する必要があります。自己署名証明書では、 有効なホストが指定されている必要があります。
- 各ユーザは、自己署名証明書をブラウザの信頼されたルート証明機関 ストアに追加する必要があります。

CC-SG Admin Client から AKC を起動する場合は、JRE 1.6.0_10 以上 が必要です。



AKC でサポートされているオペレーティング システムとブラウザ

.NET Framework

AKC を実行するには .NET バージョン 3.5 が必要です。AKC は、3.5 と 4.0 の両方がインストールされている状態でも動作します。

オペレーティング システム

AKC を Internet Explorer から起動するか、またはスタンドアロン アプ リケーションとして起動することで、KX II 2.2 以降 を利用してターゲッ ト サーバに接続できます。AKC は、Microsoft .NET Framework 3.5 が 実行されている以下のプラットフォームに対応しています。

- Windows XP
- Windows Vista
- Windows 7

AKC を実行するには .NET が必要になるため、.NET がインストールさ れていない場合、またはサポートされていないバージョンの .NET がイ ンストールされている場合は、.NET バージョンの確認を指示するメッセ ージが表示されます。

ブラウザ

• Internet Explorer 6 以降

IE 6 以降ではないブラウザから AKC を開こうとすると、ブラウザの確認と Internet Explorer への切り替えを指示するエラー メッセージが表示されます。



Ch 4 仮想メディア

この章の内容

概要	98
仮想メディアを使用するための前提条件	101
Windows 環境での VKC および AKC を介した仮想メディ	アの使用102
仮想メディアの使用	103
ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イ,	メージの場合
のみ)	105
仮想メディアへの接続	107
仮想メディアの切断	111



概要

KVM の機能を拡張する仮想メディアを使うことで、クライアント PC やネットワーク ファイル サーバ上のメディアに、リモートの KVM タ ーゲット サーバからアクセスできるようになります。この機能を使用す ると、クライアント PC やネットワーク ファイル サーバでマウントさ れたメディアが、ターゲット サーバでも仮想的にマウントされます。こ れにより、そのメディアはターゲット サーバ自体に物理的に接続されて いるような形で読み書きできるようになります。仮想メディアによるデ ータ ファイルのサポートに加え、USB 接続を介した仮想メディアによ るファイルのサポートもあります。

仮想メディアには、内蔵または USB マウントされた CD ドライブや DVD ドライブ、USB マス ストレージ デバイス、PC のハード ディス ク ドライブ、ISO イメージ (ディスク イメージ) などを使用できます。

注: ラリタンは ISO9660 を標準でサポートしています。ただし、他の ISO 標準も使用できます。

仮想メディアを使用することで、以下のような作業をリモートから実行 できるようになります。

- ファイルの転送
- 診断の実行
- アプリケーションのインストールと修正パッチ (patch) の適用
- オペレーティング システムの完全インストール

この拡張 KVM コントロールを利用することで、データ センタに出向く 必要がなくなり、時間と費用の節約になります。このように、仮想メデ ィアは非常に有用な機能です。






Ch 4: 仮想メディア

図の説明			
1	デスクトップ PC	A	CD/DVD ドライブ
2	Dominion KX II	₿	USB マス ストレージ デ バイス
3	CIM	0	PC ハード ディスク ドラ イブ
4	ターゲット サーバ	D	リモート ファイル サーバ (ISO イメージ)



仮想メディアを使用するための前提条件

仮想メディア機能を使用する場合、現在ターゲットに適用されている USB プロファイルでサポートされている異なる種類のドライブを2台 までマウントできます。このドライブは、KVM セッションの間のみアク セスできます。

たとえば、特定の CD-ROM をマウントして、それを使用し、作業が終 了したら切断することができます。それでも、別の CD-ROM を仮想的 にマウントできるように、この CD-ROM 仮想メディアの "チャンネル" は開いたままになります。このような仮想メディアの "チャンネル" は、 USB プロファイルがサポートしている限り、KVM セッションが閉じら れるまで開いたままになっています。

仮想メディアを使用するには、ターゲット サーバからアクセスできるようにするメディアを、クライアントまたはネットワーク ファイル サー バに接続します。この手順を最初に行う必要はありませんが、このメデ ィアにアクセスする前に行う必要があります。

仮想メディアを使用するには、次の条件が満たされている必要がありま す。

Dominion デバイス

- 仮想メディアへのアクセスを要求するユーザに対して、該当するポートへのアクセスや、これらのポートの仮想メディア アクセス (VM アクセス ポート権限)を許可するようにデバイスを設定する必要があります。ポート権限はグループレベルで設定されます。
- デバイスとターゲット サーバ間に USB 接続が存在する必要があり ます。
- PC 共有を使用する場合は、[Security Settings] (セキュリティ設定) ページでセキュリティ設定を有効にする必要があります。(オプション)
- 接続先の KVM ターゲット サーバの適切な USB プロファイルを 選択する必要があります。

クライアント PC

 仮想メディアの一部のオプションを使用するには、クライアント PC に対する管理者特権が必要です(ドライブ全体のドライブ リダイレ クト機能など)。

注: Microsoft Vista または Windows 7 を使用している場合は、[ユー ザ アカウント制御] を無効にするか、Internet Explorer を起動する ときに [管理者として実行] を選択しますこのためには、[スタート] メニューの [Internet Explorer] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。



ターゲット サーバ

- KVM ターゲット サーバは USB 接続のドライブをサポートする必要があります。
- Windows 2000 が稼動する KVM ターゲット サーバには、最新の修 正プログラムがすべてインストールされている必要があります。
- USB 2.0 ポートの方が高速なため、推奨されます。

Windows 環境での VKC および AKC を介した仮想メディアの使用

Windows XP の管理者権限および標準ユーザ権限は、Windows Vista お よび Windows 7 の権限とは異なります。

Vista または Windows 7 でユーザ アクセス制御 (UAC) を有効にする と、ユーザがアプリケーションの実行に必要とする最低レベルの権限が 与えられます。たとえば、Internet Explorer でユーザに管理者レベルの タスクの実行を明示的に許可するための [管理者として実行] オプショ ンが用意されています。このオプションを使用しない場合、ユーザは管 理者としてログインしていても管理者レベルのタスクを実行できません。 さらに、Internet Explorer には [管理者として実行] 機能が組み込まれて います。この機能を使用すると、ユーザは Windows 環境で管理者レベ ルのタスクを実行できます。

これらの両方の機能は、ユーザが Virtual KVM Client (VKC) および Active KVM Client (AKC) を使用してアクセスできる仮想メディアのタ イプに影響します。これらの機能の詳細および使用方法については、 Microsoft のヘルプを参照してください。

ユーザが Windows 環境で VKC および AKC を使用してアクセスでき る仮想メディアのタイプを以下に示します。機能をクライアント別に分 類し、各 Windows ユーザ役割がアクセスできる仮想メディア機能を示 します。

Windows XP

 VKC および AKC を Windows XP 環境で実行している場合は、ISO および ISO イメージ以外の仮想メディア タイプにアクセスするために、ユーザに管理者権限が必要です。

Windows Vista および Windows 7



VKC および AKC を Windows Vista または Windows 7 環境で実行し、UAC が有効になっている場合は、ユーザの Windows 役割に応じて以下の仮想メディア タイプにアクセスできます。

クライア ント	管理者	標準ユーザ
VKC	 アクセス先: 固定ドライブと固定ドラ イブ パーティション リムーバブル ドライブ CD/DVD ドライブ ISO イメージ リモート ISO イメージ 	アクセス先: ・ リムーバブル ドライブ ・ ISO イメージ ・ リモート ISO イメージ
AKC	 アクセス先: 固定ドライブと固定ドラ イブ パーティション リムーバブル ドライブ CD/DVD ドライブ ISO イメージ リモート ISO イメージ 	アクセス先: ・ リムーバブル ドライブ ・ CD/DVD ドライブ ・ ISO イメージ ・ リモート ISO イメージ

仮想メディアの使用

仮想メディアを使用する前に「仮想メディアを使用するための前提条件」 を参照してください。

- ▶ 仮想メディアを使用するには、以下の手順に従います。
- ファイル サーバ ISO イメージにアクセスする場合は、リモート コンソールの [File Server Setup] (ファイル サーバのセットアップ) ページを使用して、ファイル サーバとイメージを指定してください。 「ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメージの場合のみ)」を参照してください。

注: Raritan は ISO9660 形式を標準でサポートしています。ただし、 その他の CD-ROM 拡張でも動作します。

- 2. 適切なターゲット サーバとの KVM セッションを開きます。
 - a. リモート コンソールで [Port Access] (ポート アクセス) ページを開きます。



- b. [Port Access] (ポート アクセス) ページでターゲット サーバに 接続します。
- 適切なサーバのポート名をクリックします。
- [Port Action] (ポート アクション) メニューの [Connect] (接続) コマンドを選択します。Virtual KVM Client ウィンドウにターゲ ット サーバが表示されます。
- 3. 仮想メディアに接続します。

対象メディア	この VM オプションを選択
ローカル ドライブ	[Local Drives] (ローカル ドライブ)
ローカル CD/DVD ドライブ	CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージ
ISO イメージ	[Connect CD-ROM/ISO Image] (CD-ROM/ISO イメージに接続)
ファイル サーバ ISO イメージ	[Connect CD-ROM/ISO Image] (CD-ROM/ISO イメージに接続)

作業が終わったら、仮想メディアを切断します。「**仮想メディアの切断** 『p. 111』」を参照してください。



ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメージの場合のみ)

注: この機能は、仮想メディアを使用してファイル サーバ ISO イメージにアクセスする場合にのみ必要です。

Raritan は ISO9660 形式を標準でサポートしています。ただし、その他 の CD-ROM 拡張も動作します。

Dominion KX II リモート コンソールの [File Server Setup] (ファイル サーバのセットアップ) ページで、Dominion KX II 仮想メディアを使用 してアクセスするファイル サーバとイメージのパスを指定します。ここ で指定されたファイル サーバ ISO イメージは、[Remote Server ISO Image] (リモート サーバの ISO イメージ) で [Hostname] (ホスト名) および [Image] (イメージ) ドロップダウン リスト ([Map Virtual Media CD/ISO Image] (仮想メディア CD/ISO イメージの割り当て) ダイアロ グ ボックス)の選択肢として表示されます。「*CD-ROM/DVD-ROM/ISO* イメージ 『p. 109』」を参照してください。

- 仮想メディアとしてアクセスするファイル サーバ ISO イメージを 指定するには、以下の手順に従います。
- Dominion KX II リモート コンソールから仮想メディアを選択しま す。[File Server Setup] (ファイル サーバのセットアップ) ページが 開きます。
- 仮想メディアとしてアクセスするすべてのメディアについて、 [Selected] (選択) チェックボックスをオンにします。
- 3. アクセスするファイル サーバ ISO イメージに関する情報を入力します。
 - [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) ファイル サーバのホスト名または IP アドレスです。
 - [Image Path] (イメージのパス) ISO イメージの場所を表す完全 パス名です。

注: ホスト名は 232 文字以内で指定してください。



 [Save] (保存) をクリックします。これで、指定したすべてのメディ アが [Map Virtual Media CD/ISO Image] (仮想メディア CD/ISO イ メージの割り当て) ダイアログ ボックスで選択できるようになりま す。

Server S	etup		
Address/ e Path: E	Host Name: Enter name of the host na nter path to ".iso" image on shared di	time or IP Address of shared drive containing ".iso" in rive. Do not include host name or IP Address in the p	nage. ath.
lected	Host Name/IPAddress	Image Path	
1			
]			
]			
1			

注: KX2 で使用されるサードパーティ ソフトウェアの技術的な制限に より、IPv6 アドレスを使用して仮想メディア経由でリモート ISO イメ ージにアクセスすることはできません。

注: Windows 2003 Server に接続し、サーバから ISO イメージをロー ドしようとすると、「Virtual Media mounting on port failed. Unable to connect to the file server or incorrect File Server username and password」(ポートで仮想メディアのマウントに失敗しました。ファイル サーバに接続できないか、ファイル サーバのユーザ名とパスワードが正 しくありません) というエラーが表示される場合があります。このエラー が発生した場合は、ドメイン コントローラ ポリシーでサーバの [Microsoft ネットワーク サーバー: 通信にデジタル署名を行う] オプシ ョンを無効にします。



仮想メディアへの接続

[Local Drives] (ローカル ドライブ)

このオプションを使用すると、ドライブ全体がマウントされます。つま り、クライアントコンピュータのディスク ドライブ全体がターゲット サーバに仮想的にマウントされます。このオプションは、ハード ディス ク ドライブと外部ドライブにのみ使用してください。ネットワーク ド ライブ CD-ROM ドライブ、または DVD-ROM ドライブは対象外です。 これは、[Read/Write] (読み取り/書き込み可能) を指定できる唯一のオプ ションです。

注: 特定のバージョンの Windows オペレーティング システムが動作し ている KVM ターゲット サーバでは、NTFS 形式のパーティション (ロ ーカル C ドライブなど) がリダイレクトされた後で新しいマス ストレ ージ接続を行うことができない場合があります。

その場合には、リモート コンソールを閉じて再接続した後で、別の仮想 メディア デバイスをリダイレクトしてください。同じターゲット サー バに別のユーザーが接続している場合、そのユーザーの接続も閉じる必 要があります。

注: Dominion KX II 2.1.0 以降では、フロッピー ディスクなどの外部ドラ イブをマウントすると、ドライブの LED ライトが点灯したままになり ます。これは、デバイスが 500 ミリ秒ごとにドライブをチェックして、 ドライブがまだマウントされているかどうかを確認するからです。

- クライアント コンピュータのドライブにアクセスするには、以下の 手順に従います。
- Virtual KVM Client で、[Virtual Media] (仮想メディア)の [Connect Drive] (ドライブの接続) を選択します。[Map Virtual Media Drive] (仮想メディア ドライブの割り当て) ダイアログ ボックスが表示さ れます。





- [Local Drive] (ローカル ドライブ) ドロップダウン リストから、ドラ イブを選択します。
- 読み取りと書き込みの機能が必要な場合には、[Read-Write] (読み取り/書き込み可能) チェックボックスをオンにします。このオプションは、リムーバブル ドライブ以外では無効になっています。詳細は、「 読み取り/書き込み可能に設定できない状況 『p. 108』」を参照してください。このチェックボックスをオンにすると、接続した USB ディスクに読み取りと書き込みを実行できるようになります。

警告: 読み取り/書き込みアクセスを有効にすると危険な場合があり ます。同じドライブに対して同時に複数のクライアント PC からア クセスすると、データが壊れる恐れがあります。書き込みアクセスが 不要な場合は、このオプションをオフのままにしてください。

 [Connect] (接続) をクリックします。メディアがターゲット サーバ に仮想的にマウントされます。このメディアには、他のドライブとま ったく同じようにアクセスすることができます。

読み取り/書き込み可能に設定できない状況

以下の場合、仮想メディアを読み取り/書き込み可能にすることはできま せん。

- 複数のハード ディスク ドライブすべてが対象の場合。
- ドライブが書き込み保護されている場合。
- ユーザに読み取り/書き込みの権限がない場合。
 - ポート権限の [Access] (アクセス) が [None] (なし) または [View] (表示) に設定されている場合。
 - ポート権限の [VM Access] (VM アクセス) が [Read-Only] (読み 取り専用) または [Deny] (拒否) に設定されている場合。



CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージ

このオプションを使用して、CD-ROM、DVD-ROM、ISO イメージをマ ウントします。

注: Raritan は ISO9660 形式を標準でサポートしています。ただし、その他の CD-ROM 拡張でも動作します。

- CD-ROM、DVD-ROM、ISO イメージにアクセスするには、以下の 手順に従います。
- Virtual KVM Client で、[Virtual Media] (仮想メディア)の [Connect CD-ROM/ISO Image] (CD-ROM/ISO イメージに接続)を選択します 。[Map Virtual Media CD/ISO Image] (仮想メディア CD/ISO イメージの割り当て) ダイアログ ボックスが表示されます。

ap Virtual Media CD/ISO Image: LPm	achine
elect a CD.DVD drive or an ISO image	to mount onto the target server.
Local CD/DVD Drive:	
D: (CD-ROM)	7
C 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	-
r ISO Image:	
Image Path:	
	Browse
C Damata Canar ICO Imaga	
Hestermer	Impan
Hostname.	image.
<u>×</u>	
File Server Username:	File Server Password:
	Connect Cancel

- **2.** 内部および外部の CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブ の場合
 - a. [Local CD/DVD Drive] (ローカル CD/DVD ドライブ) を選択します。
 - b. [Local CD/DVD Drive] (ローカル CD/DVD ドライブ) ドロップ ダウン リストから、ドライブを選択します。使用可能なすべて の内部/外部の CD ドライブおよび DVD ドライブの名前が、ド ロップダウン リストに表示されます。
 - c. [Connect] (接続) をクリックします。
- 3. ISO イメージの場合



- a. [ISO Image] (ISO イメージ) オプションを選択します。CD、DVD、 またはハード ディスクのディスク イメージにアクセスする場 合に、このオプションを使用します。サポートされる形式は ISO 形式のみです。
- b. [Browse] (参照) ボタンをクリックします。
- c. 使用するディスク イメージが含まれるパスを指定して、[Open] (開く) をクリックします パスが [Image Path] (イメージのパス) フィールドに入力されます。
- d. [Connect] (接続) をクリックします。
- 4. ファイル サーバ上のリモート ISO イメージの場合
 - a. [Remote Server ISO Image] (リモート サーバの ISO イメージ) オプションを選択します。
 - b. ドロップダウン リストから、ホスト名とイメージを選択します。 ファイル サーバとイメージ パスは、[File Server Setup] (ファイ ル サーバのセットアップ) ページを使用して設定できます。
 [Dominion KX II File Server Setup] (Dominion KX II ファイル サ ーバのセットアップ) ページで設定した項目がドロップダウン リストに表示されます。詳細については、「」を参照してください。
 - c. [File Server Username] (ファイル サーバ ユーザ名) ファイル サーバへのアクセスに必要なユーザ名です。
 - d. [File Server Password] (ファイル サーバ パスワード) ファイ ル サーバへのアクセスに必要なパスワードです (入力時、フィ ールドはマスクされます)。
 - e. [Connect] (接続) をクリックします。

メディアがターゲット サーバに仮想的にマウントされます。このメ ディアには、他のドライブとまったく同じようにアクセスすることが できます。

注: Linux ターゲット上のファイルを操作する場合、仮想メディアを使用 してコピーしたファイルを表示するには、コピー後に Linux の Sync コ マンドを使用します。Sync コマンドを実行するまではファイルを表示で きません。

注: KX2 で使用されるサードパーティ ソフトウェアの技術的な制限に より、IPv6 アドレスを使用して仮想メディア経由でリモート ISO イメ ージにアクセスすることはできません。



仮想メディアの切断

▶ 仮想メディア ドライブを切断するには、以下の手順に従います。

- ローカル ドライブの場合は、[Virtual Media] (仮想メディア)の [Disconnect Drive] (ドライブの切断) を選択します。
- CD-ROM、DVD-ROM、ISO イメージの場合は、[Virtual Media] (仮 想メディア)の [Disconnect CD-ROM/ISO Image] (CD-ROM/ISO イ メージの切断)を選択します。

注: 切断コマンドを使用する方法だけでなく、KVM 接続を閉じても仮想 メディアが切断されます。



この章の内容

概要	112
CIM の互換性	
使用できる USB プロファイル	
KVM ポート用のプロファイルの選択	121

概要

さまざまな KVM ターゲット サーバと Dominion KX II との互換性を高 めるために、ラリタンは 幅広いオペレーティング システムおよび BIOS レベルのサーバ実装に対応する USB 設定プロファイルの標準的な選択 肢を提供しています。

Generic (デフォルト) USB プロファイルは、展開された KVM ターゲット サーバ設定の大部分のニーズを満たしています。その他のプロファイルは、一般的に展開される他のサーバ設定 (Linux や Mac OS X など)の特定のニーズを満たすように提供されています。たとえば BIOS レベルで実行される場合に、ターゲット サーバとの仮想メディア機能の互換 性を強化するための、(プラットフォーム名および BIOS のリビジョンによって指定された) プロファイルも多数あります。

USB プロファイルは、Dominion KX II リモート コンソールおよびロー カル コンソールで、[Device Settings] (デバイス設定)、[Port Configuration] (ポート設定)、[Port] (ポート) ページの順に選択して設定 します。デバイス管理者は、ユーザおよびターゲット サーバの設定のニ ーズに最適なプロファイルでポートを設定できます。

KVM ターゲット サーバに接続するユーザは、KVM ターゲット サーバ の動作状態に応じて、Virtual KVM Client 『p. 61』 で、これらの設定 済みのプロファイルの中から選択します。たとえば、サーバが実行中で、 ユーザが Windows オペレーティング システムを使用することを希望 している場合は、Generic プロファイルが最適です。しかし、BIOS メ ニューの設定の変更または仮想メディア ドライブからの起動を行う場 合は、ターゲット サーバ モデルに応じた BIOS プロファイルの方が適 している場合があります。

特定の KVM ターゲットで、ラリタンが提供する標準 USB プロファイ ルがいずれも適切に機能しない場合は、ラリタン テクニカル サポート にお問い合わせください。



CIM の互換性

USB プロファイルを使用するには、ファームウェアが最新である D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB を使用する必要があります。ファ ームウェアを更新していない VM-CIM は、幅広い設定 (キーボード、マ ウス、CD-ROM、およびリムーバブル ドライブ)をサポートしますが、 特定のターゲット設定用に最適化されたプロファイルを使用することは できません。この場合に、USB プロファイルにアクセスするためには、 既存の VM-CIM を最新のファームウェアでアップグレードする必要が あります。なお、アップグレードする前でも、"Generic" プロファイルに 相当する機能は利用できます。

VM-CIM ファームウェアは、Dominion KX II のファームウェアのアップ グレード中に自動的にアップグレードされますが、ファームウェアをア ップグレードしていない VM-CIM は、「*CIM をアップグレードする*『p. 249』」の説明に従ってアップグレードできます。

詳細は、「*コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)*『p. 299』」 を参照してください。

使用できる USB プロファイル

現在のリリースの Dominion KX II には、次の表に示した USB プロファ イルが用意されています。新しいプロファイルは、ラリタンが提供する 各ファームウェア アップグレードに含まれています。新しいプロファイ ルが追加されると、それがヘルプに記載されます。

USB プロファイル	説明
BIOS Dell PowerEdge 1950/2950/2970/6950/R200	Dell PowerEdge 1950/2950/2970/6950/R200 BIOS
	Dell PowerEdge 1950/2950/2970/6950/R200 BIOS には 、このプロファイルまたは 'Generic' プ ロファイルを使用します。
	利收
	 なし
BIOS DellOptiplex Keyboard Only	Dell Optiplex BIOS アクセス (キーボー ドのみ)
	D2CIM-VUSB を使用している場合に、こ のプロファイルを使用して Dell Optiplex BIOS のキーボード機能を持たせます。 新しい D2CIM-DVUSB を使用する場合



USB プロファイル	説明	3
	は、 す。	'Generic' プロファイルを使用しま
	注意	
	•	Optiplex 210L/280/745/GX620 で は、仮想メディアをサポートするた めに、D2CIM-DVUSB を 'Generic' プロファイルで使用する必要があり ます。
	制限	2.
	•	USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
	•	仮想メディアはサポートされていま せん。
BIOS DellPowerEdge Keyboard Only	Dell 	PowerEdge BIOS アクセス (キーボ 「のみ)
	D2C のフ Pow 持使用 を便	CIM-VUSB を使用している場合に、C パロファイルを使用して、Dell verEdge BIOS のキーボード機能を とせます。新しい D2CIM-DVUSB を 引する場合は、'Generic' プロファイル E用します。
	注意	<u>.</u>
	•	PowerEdge 650/1650/1750/2600/2650 BIOS で は、USB CD-ROM およびディスク ドライブは起動可能デバイスとして はサポートされていません。
	•	PowerEdge 750/850/860/1850/2850/SC1425 BIOS で仮想メディアをサポートす るには、D2CIM-DVUSB を 'Generic' プロファイルで使用する必要があり ます。
	•	BIOS で実行している場合は、 PowerEdge 1950/2950/2970/6950/R200 に 'BIOS Dell PowerEdge 1950/2950/2970/6950/R200' または 'Generic' プロファイルを使用します



USB プロファイル	説明
	。 制限: • USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 • ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされ ていません。 • 仮想メディアはサポートされていま せん。
BIOS 汎用	BIOS 汎用 このプロファイルは Generic OS プロ ファイルが BIOS で機能しない場合に 使用します。
	警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。
	制限:
	 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
	 ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされ ていません。
	 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。
BIOS HP Proliant DL145	HP Proliant DL145 PhoenixBIOS
	HP Proliant DL145 PhoenixBIOS では、 OS のインストール中に、このプロファ イルを使用します。
	制限:
	 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
BIOS HPCompaq	BIOS HP Compaq DC7100/DC7600
	HP Compaq DC7100/DC7600 シリーズ のデスクトップを仮想メディアから起動 するにはこのプロファイルを使用しま



USB プロファイル	説明
	す。
	制限:
	 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。
BIOS IBM ThinkCentre	IBM Thinkcentre Lenovo BIOS
Lenovo	BIOS 操作中は IBM Thinkcentre Lenovo システム ボード (828841U モ デル) にこのプロファイルを使用します 。 制限:
	 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
	 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。
BIOS Lenovo ThinkPad T61 & X61	BIOS Lenovo ThinkPad T61 および X61 (仮想メディアから起動)
	T61 および X61 シリーズのラップトッ プを仮想メディアから起動するには、こ のプロファイルを使用します。
	制限:
	 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
BIOS Mac	BIOS Mac
	このプロファイルは Mac BIOS に使用 します。
	制限:
	 ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされ ていません。
	 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。
Generic (汎用)	汎用 USB プロファイルは、オリジナル の KX2 リリースの動作と似ています。



USB プロファイル	説明	
	これは、Windows 2000、XP、Vista 以降 に使用します。	
	制限:	
	 なし 	
HP Proliant DL360/DL380 G4 (HP SmartStart CD)	HP Proliant DL360/DL380 G4 (HP SmartStart CD)	
	このプロファイルは、HP Proliant DL360/DL380 G4 シリーズのサーバで HP SmartStart CD を使用して OS をイ ンストールする場合に使用します。	
	制限:	
	 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 	
	 ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされ ていません。 	
HP Proliant DL360/DL380 G4 (Windows 2003 Server $\not\prec\!$	HP Proliant DL360/DL380 G4 (Windows 2003 Server インストール)	
ストール)	このプロファイルは、HP Proliant DL360/DL380 G4 シリーズのサーバで HP SmartStart CD を使用せずに Windows 2003 Server をインストール する場合に使用します。	
	制限:	
	 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 	
Linux	汎用 Linux プロファイル	
	これは、汎用 Linux プロファイルです。 Redhat Enterprise Linux、SuSE Linux Enterprise Desktop、および類似のディス トリビューションで使用されます。	
	制限:	
	 ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされ ていません。 	
MAC OS X (10.4.9 and later)	MAC OS X (10.4.9 以降)	
	このプロファイルは、最近のバージョン	



USB プロファイル	説明
	の Mac OS-X で導入されたマウス座標 のスケーリングを補正します。リモート およびローカルのマウスの位置がデスク トップの境界の近くで同期しない場合は これを選択します。
	制限:
	 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。
RUBY 工業用メインボード (AwardBIOS)	RUBY 工業用メインボード (AwardBIOS)
	このプロファイルは、 Phoenix/AwardBIOS v6.00PG を使用す る RUBY-9715VG2A シリーズの工業用 メインボードで使用します。
	制限:
	 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
	 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。
Supermicro Mainboard Phoenix (AwardBIOS)	Supermicro メインボード Phoenix (AwardBIOS)
	このプロファイルは、Phoenix AwardBIOS を使用する Supermicro シ リーズのメインボードで使用されます。
	制限:
	 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。
Suse 9.2	SuSE Linux 9.2
	これは SuSE Linux 9.2 ディストリビュ ーションで使用されます。
	制限:
	 ずれないマウス (Absolute mouse synchronization™) はサポートされ ていません。



・ USB バス速度はフルスビード (12 MBit/s) に制限されます。 Troubleshooting 1 トラブルシューティング プロファイル 1 ・ マス ストレージが優先 キーボードおよびマウス (タイプ 1) ・ USB バス速度はフルスビード (12 MBit/s) に制限されます。 ・ ・ 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはできません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始されます。 * トラブルシューティング プロファイル 2 ・ * ローボードおよびマウス (タイプ 2) 優先 ・ ・ マス ストレージ ・ ・ USB バス速度はフルスビード (12 MBit/s) に制限されます。 ・ ・ レBB バス速度はフルスビード (12 MBit/s) に制限されます。 ・ * 日本 「およびディスク ド ライブを同時に使用することはできません。 ・ * ロンB パス速度はフルスビード (12 MBit/s) に制限されます。 ・ * マス ストレージ ・ * 日本 「およびディスク ド ライブを同時に使用することはできません。 ・ * アンシューティング プロファイル 3 ・ * マス ストレージが優先 ・ * キーボードおよびマウス (タイプ 2) ・ * ロン ス ストレージが優先 ・ * マス ストレージが優先 * * ロンティンビード (12 *	USB プロファイル	説明
Troubleshooting 1トラブルシューティング プロファイル 11マス ストレージが優先 キーボードおよびマウス (タイブ 1)1USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。6仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはできません。警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始されます。7トラブルシューティング プロファイル 22キーボードおよびマウス (タイブ 2) 優先 マス ストレージ2リSB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。1USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。1アマス ストレージ1USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始されます。1アブルシューティング ブロファイル 3 マス ストレージが優先 キーボードおよびマウス (タイブ 2) USB バス速度はフルスピード (12		 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
・マス ストレージが優先 ・キーボードおよびマウス (タイブ 1) ・USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 ・仮想 CD-ROM およびディスク ドライブを同時に使用することはできません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが接続または切断されるときに開始されます。 Troubleshooting 2 トラブルシューティング プロファイル 2 ・キーボードおよびマウス (タイブ 2) 優先 ・マス ストレージ ・USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 ・仮想 CD-ROM およびディスク ドライブを同時に使用することはできません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが接続または切断されるときに開始されます。 ・仮想 CD-ROM およびディスク ドライブを同時に使用することはできません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが接続または切断されるときに開始されます。 ・ケラブルシューティング プロファイル 3 ・マス ストレージが優先 ・オーボードおよびマウス (タイブ 2) ・USB バス速度はフルスピード (12	Troubleshooting 1	トラブルシューティング プロファイル 1
・ キーボードおよびマウス (タイブ 1) ・ USB バス速度はフルスビード (12 MBit/s) に制限されます。 ・ ・ 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはできません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが接続または切断されるときに開始されます。 Troubleshooting 2 トラブルシューティング ブロファイル 2 ・ キーボードおよびマウス (タイブ 2) 優先 ・ マス ストレージ ・ USB バス速度はフルスビード (12 MBit/s) に制限されます。 ・ 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはできません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始されます。 ・ 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはできません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始されます。 ・ アイブを同時に使用することはできまません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始されます。 ・ マス ストレージが優先 ・ マス ストレージが優先 ・ キーボードおよびマウス (タイブ 2) ・ USB バス速度はフルスビード (12		• マス ストレージが優先
 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。 Troubleshooting 2 トラブルシューティング プロファイル 2 キーボードおよびマウス (タイプ 2) 優先 マス ストレージ USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。 Troubleshooting 3 トラブルシューティング プロファイル 3 マス ストレージが優先 キーボードおよびマウス (タイブ 2) USB バス速度はフルスピード (12 		 キーボードおよびマウス (タイプ 1)
・ 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはできません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始されます。 Troubleshooting 2 トラブルシューティング プロファイル 2 ・ キーボードおよびマウス (タイブ 2) 優先 ・ マス ストレージ ・ USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 ・ 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはできません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始されます。 ・ アインタ ブロファイル 3 ・ マス ストレージが優先 ・ キーボードおよびマウス (タイブ 2) ・ USB バス速度はフルスピード (12		 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。 Troubleshooting 2 トラブルシューティング プロファイル 2 ・ キーボードおよびマウス (タイブ 2) 優先 ・ マス ストレージ ・ マス ストレージ ・ USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 ・ 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。 Troubleshooting 3 トラブルシューティング プロファイル 3 ・ マス ストレージが優先 ・ キーボードおよびマウス (タイブ 2) ・ USB バス速度はフルスピード (12		 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。
Troubleshooting 2 トラブルシューティング プロファイル 2 キーボードおよびマウス (タイプ 2) 優先 • マス ストレージ USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 • 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。 Troubleshooting 3 トラブルシューティング プロファイル 3 • マス ストレージが優先 キーボードおよびマウス (タイプ 2) • USB バス速度はフルスピード (12		警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。
・ キーボードおよびマウス (タイプ 2) 優先 ・ マス ストレージ ・ USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 ・ 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。 Troubleshooting 3 トラブルシューティング プロファイル 3 ・ マス ストレージが優先 ・ ・ マス ストレージが優先 ・ ・ マス ストレージが優先 ・ マス ストレージが優先 ・ マス ストレージが優先	Troubleshooting 2	トラブルシューティング プロファイル 2
 マス ストレージ USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。 Troubleshooting 3 トラブルシューティング プロファイル 3 マス ストレージが優先 キーボードおよびマウス (タイプ 2) USB バス速度はフルスピード (12 		 キーボードおよびマウス (タイプ 2) 優先
 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。 Troubleshooting 3 トラブルシューティング プロファイル 3 マス ストレージが優先 キーボードおよびマウス (タイプ 2) USB バス速度はフルスピード (12 		• マス ストレージ
 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。 Troubleshooting 3 トラブルシューティング プロファイル 3 マス ストレージが優先 キーボードおよびマウス (タイプ 2) USB バス速度はフルスピード (12 		 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
 警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。 Troubleshooting 3 トラブルシューティング プロファイル 3 マス ストレージが優先 キーボードおよびマウス (タイプ 2) USB バス速度はフルスピード (12 		 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用することはでき ません。
Troubleshooting 3 トラブルシューティング プロファイル 3 ・ マス ストレージが優先 ・ キーボードおよびマウス (タイプ 2) ・ USB バス速度はフルスピード (12		警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。
 マス ストレージが優先 キーボードおよびマウス (タイプ 2) USB バス速度はフルスピード (12) 	Troubleshooting 3	トラブルシューティング プロファイル 3
 キーボードおよびマウス (タイプ 2) USB バス速度はフルスピード (12) 		• マス ストレージが優先
• USB バス速度はフルスピード (12		 キーボードおよびマウス (タイプ 2)
MBit/s) に制限されます。		 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。
 仮想 CD-ROM およびディスク ドライブを同時に使用ナスストルでを 		 仮想 CD-ROM およびディスク ド ライブを同時に使用サイストルでき



USB プロファイル	説明
	ません。
	警告: USB の列挙は、仮想メディアが 接続または切断されるときに開始され ます。
仮想メディア CIM でフルス ピードを使用	仮想メディア CIM でフルスピードを使 用
	このプロファイルは、[Full Speed for Virtual Media CIM] (仮想メディア CIM でフルスピードを使用) オプションを選 択したオリジナルの KX2 リリースの動 作に似ています。高速 USB デバイスを 処理できない BIOS に便利です。
	制限:
	 USB バス速度はフルスピード (12 MBit/s) に制限されます。



KVM ポート用のプロファイルの選択

Dominion KX II には、USB プロファイルのセットが含まれているので、 接続先の KVM ターゲット サーバの特性に基づいて KVM ポートを割 り当てることができます。Dominion KX II リモートまたはローカル コン ソールで、[Device Settings] (デバイス設定)、[Port Configuration] (ポート 設定)、[Port] (ポート) ページの順に選択し、USB プロファイルを KVM ポートに割り当ています。

特定のターゲットで必要になる可能性が最も高いプロファイルを指定す るのは、管理者です。これらのプロファイルは、MPC/VKC 経由での選 択に使用できるようになります。プロファイルを利用できない場合は、 [USB Profile] (USB プロファイル)の [Other Profiles] (他のプロファイ ル)を選択して、使用可能なプロファイルにアクセスできます。

USB プロファイルを KVM ポートに割り当てると、ユーザが KVM ター ゲット サーバに接続するときにそれらのプロファイルを使用できるよ うになります。必要な場合は、VKC または MPC の [USB Profile] (USB プロファイル) メニューから USB プロファイルを選択できます。

USB プロファイルを KVM ポートに割り当てる方法の詳細は、「USB プロファイルの設定 ([Port] (ポート) ページ) 『p. 210』」を参照してく ださい。

DCIM-VUSB で Mac OS-X USB プロファイルを使用する場合のマウス モード

DCIM-VUSB で Max OS-X USB プロファイルを使用し、Mac OS-X 10.4.9 以降を実行している場合は、再起動時にブート メニューでマウス を使用するためにシングル マウス モードに切り替える必要があります。

- ブート メニューで動作するようにマウスを設定するには、以下の手順に従います。
- 1. Mac を再起動し、再起動中に option キーを押してブート メニュー を開きます。この時点では、マウスは応答しません。
- [Intelligent Mouse] (インテリジェント マウス) モードを選択してから [Single Mouse] (シングル マウス) モードを選択します。マウスが応答します。

注: シングル マウス モードでは、マウスの速度が遅くなることがあ ります。

 ブート メニューを終了してオペレーティング システムが起動した ら、マウスのパフォーマンスを向上させるために、シングル マウス モードを終了してずれないマウス モードに戻ります。





Ch 6 [User Management] (ユーザ管理)

この章の内容

ユーザ グループ	123
ユーザ	133
[Authentication Settings] (認証設定)	137
パスワードの変更	151

ユーザ グループ

Dominion KX II は、アクセスの認可と許可を決定するためにユーザ名と グループ名の内部リストを保持しています。この情報は、暗号化形式で 内部に保存されます。認証にはいくつかの方式があり、この方式は「ロ ーカル認証」と呼ばれます。すべてのユーザは認証を受ける必要があり ます。LDAP/LDAPS または RADIUS 認証を行うように Dominion KX II が設定されている場合、その認証が行われた後に、ローカル認証が行わ れます。

すべての Dominion KX II には、3 つのデフォルト ユーザ グループが存在します。これらのグループは削除できません。

ユーザ	説明
Admin (管理 者)	このグループに所属するユーザは、完全な管理者特権 を持ちます。元の製品出荷時のデフォルト ユーザはこ のグループのメンバーであり、完全なシステム特権を 持ちます。さらに、Admin (管理者) ユーザは Admin (管理者) グループのメンバーである必要があります。
Unknown (不 明)	LDAP/LDAPS または RADIUS を使用して外部的に 認証されるユーザまたはシステムで既知のユーザのデ フォルト グループです。外部 LDAP/LDAPS サーバ または RADIUS サーバによって有効なユーザ グル ープが識別されなかった場合 Unknown (不明) グルー プが使用されます。さらに、新規に作成されたユーザ は別のグループに割り当てられるまでこのグループに 自動的に配置されます。
Individual Group (個別 グループ)	個別グループとは、基本的に個人の「グループ」です。 つまり、特定のユーザは独自のグループに属し、他の 実際のグループには属しません。個別グループは、グ ループ名の先頭に "@" が付けられているので区別で きます。個別グループでは、グループと同じ権限をユ ーザ アカウントに割り当てることができます。



[User Group List] (ユーザ グループ リスト)

ユーザ グループは、ローカル認証とリモート認証 (RADIUS または LDAP/LDAPS) で使用されます。個別のユーザを作成する場合は、事前 にユーザ グループを定義しておいてください。それは、ユーザを追加す るときに、ユーザを既存のユーザ グループに割り当てる必要があるから です。

[User Group List] (ユーザ グループ リスト) ページには、すべてのユー ザ グループのリストが表示されます。このリストは、[Group Name] (グ ループ名) 列見出しをクリックすることで、昇順または降順に並べ替える ことができます。[User Group List] (ユーザ グループ リスト) ページで は、ユーザ グループを追加、変更、または削除することもできます。

▶ ユーザ グループのリストを表示するには、以下の手順に従います。

 [User Management] (ユーザ管理)の [User Group List] (ユーザ グル ープ リスト)を選択します。[User Group List] (ユーザ グループ リ スト) ページが開きます。

Hon	ne > User Manageme	nt > Groups	Logout
3	Jser Group Lis	π	1
1		A Group Hame	À
		<unknown></unknown>	
	Г	@marketing	1
		gtesting	
		Admin	1
3			
ſ	Add Delete		4
	Careta		En survey and a second

ユーザとグループの関係

ユーザはグループに属し、グループには特権が割り当てられています。 Dominion KX II の各種のユーザをグループに分けることにより、ユーザ ごとに許可を管理する必要がなくなり、あるグループ内のすべてユーザ の許可を一度に管理できるようになるので、時間の節約につながります。

また、特定のユーザをグループに割り当てないようにすることも可能で す。その場合は、ユーザを「個別」として分類します。

認証が成功すると、デバイスは、グループ情報を使用して、アクセスで きるサーバ ポート、デバイスの再起動を許可するかどうかなど、そのユ ーザの許可を決定します。



新規ユーザ グループの追加

▶ 新規ユーザ グループを追加するには、以下の手順に従います。

 [User Management] (ユーザ管理)の [Add New User Group] (ユーザ グループを新規に追加)を選択するかまたは [User Group List] (ユー ザ グループ一覧) ページの [Add] (追加) ボタンをクリックして、 [Group] (グループ)ページを開きます。

[Group] (グループ) ページには [Group] (グループ) [Permissions] (権限)、[Port Permissions] (ポート使用権限)、[IP ACL] の 4 つのカテゴ リがあります。

- [Group Name] (グループ名) フィールドに、新しいユーザ グループ のわかりやすい名前 (最大 30 文字) を入力します。
- グループの権限を設定します。このグループに属するすべてのユーザ に対して割り当てる許可の左にあるチェックボックスをオンにしま す。「許可の設定」を参照してください。
- [Port Permissions] (ポート使用権限) を設定します。このグループに 属するユーザがアクセスできるサーバ ポート (およびアクセスのタ イプ)を指定します。「ポート権限の設定 『p. 129』」を参照して ください。
- IP ACL を設定します。「グループベースの IP ACL (アクセス制御リ スト)『p. 130』」を参照してください。この機能は、IP アドレスを 指定することで、Dominion KX II デバイスへのアクセスを制限しま す。この機能は、特定のグループに属するユーザにのみ適用されます。 このデバイスに対するすべてのアクセス試行に適用され、優先される、 IP アクセス制御リスト機能とは異なります。(オプション)
- 6. [OK] (OK) をクリックします。「*許可の設定* 『p. 128』」を参照し てください。
- [Port Permissions] (ポート使用権限) を設定します。このグループに 属するユーザがアクセスできるサーバ ポート (およびアクセスのタ イプ) を指定します。「ポート権限の設定 『p. 129』」を参照して ください。
- IP ACL を設定します。この機能は、IP アドレスを指定することで、 Dominion KX II デバイスへのアクセスを制限します。この機能は、 特定のグループに属するユーザにのみ適用されます。このデバイスに 対するすべてのアクセス試行に適用され、優先される、IP アクセス 制御リスト機能とは異なります。オプション。「グループベースの IP ACL (アクセス制御リスト) 『p. 130』」を参照してください。
- 9. [OK] をクリックします。



Ch 6: [User Management] (ユーザ管理)

注: 複数の管理機能を MPC 内および Dominion KX II ローカル コンソ ールから利用できます。これらの機能を利用できるのは、デフォルトの Admin (管理者) グループのメンバーに限られます。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



Group			
Group Name *			
Group name			
V Permissions			
Partice Access While Under C	C SC Management		
Device Access while under C	c-so management		
V Device actungs			
Maintenance			
Modem Access			
DC Share			
C Fe-share			
V User Management			
* Port Permissions			
Port	Access	VM Access	Power Control
I: BC Port1 R8 from KX	Deny 💌	Deny 💌	Deny 💌
I-1: BC Port1 Slot1 To Local Port	Deny 💌	Deny 💌	Deny 💌
1-2: Blade_Chassis_Port1_Slot2	Deny 💌	Deny 💌	Deny 💌
1-3: Blade_Chassis_Port1_Slot3	Deny 💉	Deny 💌	Deny 💌
I-4: Blade_Chassis_Port1_Slot4	Deny 💌	Deny 🖌	Deniy 💌
1-5: Blade_Chassis_Port1_Slot5	Deny 💌	Deny 💌	Deny 💌
I-6: Blade_Chassis_Port1_Slot6	Deny 💌	Deny 💌	Deny 💌
I-7: Blade_Chassis_Port1_Slot7	Deny 💙	Deny 💌	Deny 💌
1-8: Blade_Chassis_Port1_Slot8	Deny 💌	Deny 💌	Deny 💌
1-9: Blade_Chassis_Port1_Slot9	Deny 💌	Deny	Deny 💌
1-10: Blade_Chassis_Port1_Slot10	Deny 💌	Deny 💌	Deny 👻
I-11: Blade_Chassis_Port1_Slot11	Deny 💌	Deny 💌	Deny 💌
1-12: Blade_Chassis_Port1_Slot12	Deny 💌	Deny	Deny 💙
1-13: Blade_Chassis_Port1_Slot13	Deny 💌	Deny	Deny 💌
1-14: Blade_Chassis_Port1_Slot14	Deny 💌	Deny 💌	Deny 💌
I-15: Blade_Chassis_Port1_Slot15	Deny 💌	Deny 💌	Deny 💌
1-16: Blade_Chassis_Port1_Slot16	Deny 💌	Deny 💌	Deny 💙
2: KX2_Port2_R9_from_CC	Deny 💉	Deny 💌	Deny 💌
3: KX2_Port2_R9_from_CC	Deny 🗙	Deny 💌	Deny 💌
	Set All to Deny	Set All VM Access to Deny	Set All Power to Deny
	Set All to View	Set All VM Access to Read-Only	7.56
	Set All to Control	Set All VM Access to Read-Write	Set All Power to Access
Y IP ACL			
Rule # Starting IP	Endi	ng IP	Action
	1		





許可の設定

重要: [User Management] (ユーザ管理) チェックボックスをオンにする と、グループのメンバーは、自身も含むすべてのユーザの許可を変更す ることができます。これらの許可を付与する場合は注意してください。

許可	説明
[Device Access While Under CC-SG Management] (CC-SG 管理下の デバイス アクセ ス)	この許可を持つユーザとユーザ グループは、 CC-SG のデバイスに対してローカル アクセ スが有効になっている場合に IP アドレスを使 用して直接 Dominion KX II にアクセスできま す。デバイスには、ローカル コンソール、リモ ート コンソール、MPC、VKC、および AKC か らアクセスできます。
	CC-SG の管理下にあるデバイスに直接アクセ スすると、Dominion KX II でアクセスおよび接 続アクティビティがログに記録されます。ユー ザ認証は、Dominion KX II の認証設定に基づい て実行されます。
	注: 管理者ユーザ グループには、この許可がデ フォルトで付与されます。
[Device Settings] (デバイス設定)	ネットワーク設定、日付/時刻設定、ポート設定 (チャンネル名、電源の関連付け)、イベント管 理 (SNMP Syslog) 仮想メディア ファイル サ ーバのセットアップ
診断	ネットワーク インタフェース ステータス、ネ ットワーク統計、ホストへの Ping、ホストへの トレース ルート、Dominion KX II 診断
保守	データベースのバックアップとリストア、ファ ームウェアのアップグレード、ファクトリ リセ ット、再起動
[Modem Access] (モデム アクセス)	モデムを使用して Dominion KX II デバイスに 接続する許可
[PC-Share] (PC 共有)	複数のユーザによる同一ターゲットへの同時ア クセス
セキュリティ	SSL 証明書、セキュリティ設定 (VM 共有、PC 共有)、IP ACL



Ch 6: [User Management] (ユーザ管理)

許可	説明
[User Management] (ユ ーザ管理)	ユーザおよびグループの管理、リモート認証 (LDAP/LDAPS/RADIUS)、ログイン設定

ポート権限の設定

それぞれのサーバ ポートに対して、そのグループが持つアクセスのタイ プ、仮想メディアへのポート アクセスのタイプ、および電源管理を指定 できます。すべての権限についてデフォルト設定はすべて [Deny](拒否) になっていることに注意してください。

ポート アクセス

オプションで す。	説明
[Deny] (拒否)	アクセスを完全に拒否します。
[View] (表示)	接続先のターゲット サーバのビデオを表示します (操作はできません)。
[Control] (制 御)	接続先のターゲット サーバを制御します。VM および 電源管理アクセスも付与される場合は、[Control](制 御)を割り当てる必要があります。

VM アクセス

オプションです 。	説明
[Deny] (拒否)	ポートに対して仮想メディア許可はすべて拒否さ れます。
[Read-Only] (読 み取り専用)	仮想メディア アクセスは、読み取りアクセスのみ に制限されます。
[Read-Write] (読 み取り/書き込み 可能)	仮想メディアに対する完全なアクセス (読み取り、 書き込み) が許可されます。



電源管理アクト	セス
オプションで す。	説明
[Deny] (拒否)	ターゲット サーバに対する電源管理を拒否します。
[Access] (ア クセス)	ターゲット サーバでの電源管理を完全に許可します。

ブレード シャーシの場合、ポート アクセス権限によって、そのブレー ド シャーシに設定されている URL へのアクセスを制御します。オプシ ョンは、[Deny] (拒否) または [Control] (制御) です。また、シャーシ内 の各ブレードには、固有の独立ポート権限設定があります。

個別グループの許可の設定

- ▶ 個別ユーザ グループに許可を設定するには、以下の手順に従います。
- リストから目的のグループを探します。個別グループは、グループ名の先頭に @ が付けられているので区別できます。
- 2. グループ名をクリックします。[Group] (グループ) ページが開きます。
- 3. 適切な許可を選択します。
- 4. [OK] をクリックします。

注: 代替 RADIUS 認証を使用する場合、追加設定の詳細については「 Alternate RADIUS Authentication Settings」(代替 RADIUS 認証の設定) を参照してください。

グループベースの IP ACL (アクセス制御リスト)

重要: グループベースの IP アクセス制御を使用する場合は注意が必要 です。アクセスが拒否されている IP アドレスの範囲に自分の IP アド レスが含まれている場合、Dominion KX II がロックアウトされてしまい ます。

この機能は、選択したグループに含まれるユーザによる Dominion KX II デバイスへのアクセスを特定の IP アドレスに制限します。この機能は、 デバイスへのすべてのアクセス試行に適用される (および最初に処理さ れ、優先される) IP アクセス制御リスト機能とは異なり、特定のグルー プに属するユーザにのみ適用されます。

重要: Dominion KX II ローカル ポートでは、IP アドレス 127.0.0.1 が



使用され、ブロックはできません。

グループレベルで IP アクセス制御ルールの追加、挿入、置換、削除を 行うには、[Group] (グループ) ページの [IP ACL] (IP ACL) セクションを 使用します。

ıle #	Starting IP	Ending IP	Action	
			ACCEPT	
ppend	Insert Replace Dele	te		
	ancel			

▶ ルールを一覧の末尾に追加するには

- 1. [Starting IP] (開始 IP) フィールドに 開始 IP アドレスを入力します。
- 2. [Ending IP] (終了 IP) フィールドに、終了 IP アドレスを入力します。
- 3. 利用可能なオプションからアクションを選択します。
 - [Accept] (承諾) その IP アドレスによる Dominion KX II デバイスへのアクセスが許可されます。
 - [Drop] (拒否) その IP アドレスによる Dominion KX II デバイ スへのアクセスが拒否されます。
- [Append] (追加) をクリックします。そのルールがルール一覧の末尾 に追加されます。入力する各ルールについて、手順1~4 を繰り 返します。
- ルールを一覧の途中に挿入するには
- ルール番号(#)を入力します。[Insert](挿入)コマンドを使用する際 にルール番号が必要です。
- 2. [Starting IP] (開始 IP) フィールドと [Ending IP] (終了 IP) フィール ドに IP アドレスを入力します。
- [Action] (アクション) ドロップダウン リストからアクションを選択 します。
- [Insert](挿入)をクリックします。入力したルール番号が既存のルー ル番号と同じである場合は、新しいルールは既存のルールの上に挿入 され、リスト内のすべてのルールが下に下がります。
- ▶ ルールの内容を置換するには
- 1. 置き換えるルール番号を指定します。



- 2. [Starting IP] (開始 IP) フィールドと [Ending IP] (終了 IP) フィール ドに IP アドレスを入力します。
- 3. ドロップダウン リストからアクションを選択します。
- 4. [Replace] (置換) をクリックします。同じルール番号を持つ元のルー ルが新しいルールに置き換わります。
- ルールを削除するには
- 1. 削除するルール番号を指定します。
- 2. [Delete] (削除) をクリックします。
- 3. 削除を確認するプロンプトが表示されたら [OK] をクリックします。

重要: ACL のルールは、リスト表示されている順に評価されます。たと えばこの例において、2 つの ACL ルールの順番が逆になると、 Dominion は通信を全く受けることができなくなります。

ヒント: ルール番号を使用すると、各ルールを作成する順序を気にせずに 済みます。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

既存のユーザ グループの変更

注: Admin (管理者) グループに対しては、すべての許可が有効になってい ます (この設定は変更できません)。

- 既存のユーザ グループを変更するには、以下の手順に従います。
- 1. [Group] (グループ) ページで、適切なフィールドを変更し、適切な許 可を設定します。
- グループの許可を設定します。このグループに属するすべてのユーザ に対して割り当てる許可の左にあるチェックボックスをオンにしま す。「許可の設定」を参照してください。
- [Port Permissions] (ポート権限)を設定します。このグループに属するユーザがアクセスできるサーバ ポート (およびアクセスのタイプ)を指定します。「ポート権限の設定 『p. 129』」を参照してください。



- IP ACL を設定します (オプション)。この機能は、IP アドレスを指定することで、Dominion KX II デバイスへのアクセスを制限します。 「グループベースの IP ACL (アクセス制御リスト)『p. 130』」を参照してください。
- 5. [OK] をクリックします。
- ▶ ユーザ グループを削除するには、以下の手順に従います。

重要: ユーザを含むグループを削除すると、そのユーザは <Unknown (不明)> ユーザ グループに自動的に割り当てられます。

ヒント: 特定のグループに属しているユーザを調べるには、ユーザ グル ープ別にユーザ リストを並べ替えます。

- リストのグループ名の左にあるチェックボックスをオンにして、目的 のグループを選択します。
- 2. [Delete] (削除) をクリックします。
- 3. 削除を確認するプロンプトが表示されたら [OK] をクリックします。

ユーザ

ユーザが Dominion KX II にアクセスするには、ユーザ名とパスワードを 付与されている必要があります。この情報は、Dominion KX II にアクセ スしようとしているユーザを認証するために使用されます。



[User List] (ユーザ リスト)

[User List] (ユーザ リスト) ページには、すべてのユーザについて、ユー ザ名、フル ネーム、およびユーザ グループが表示されます。このリス トは 任意の列名をクリックすることで並べ替えることができます [User List] (ユーザ リスト) ページでは、ユーザを追加、変更、または削除する こともできます。

▶ ユーザ リストを表示するには、以下の手順に従います。

 [User Management] (ユーザ管理)の [User List] (ユーザ リスト)を 選択します。[User List] (ユーザ リスト) ページが開きます。

Iome > User Management > Users Log User List				
	admin	Admin	Admin	
Г	marketing	Addie Consumer	@marketing	
	tester	Joe Tester	@tester	

新規ユーザの追加

Dominion KX II ユーザを作成する場合は、事前にユーザ グループを定義 しておいてください。それは、ユーザを追加するときに、ユーザを既存 のユーザ グループに割り当てる必要があるからです。「新規ユーザ グ ループの追加 『p. 125』」を参照してください。

[User] (ユーザ) ページでは、新規ユーザの追加、ユーザ情報の変更、無効化されているユーザの再有効化を行うことができます。

注: ユーザがログインに失敗した回数が [Security Settings] (セキュリティ設定) ページで設定されているログイン失敗の最大許容回数を超えた 場合、そのユーザ名は無効化されます。「セキュリティの設定」を参照 してください。

- ▶ 新規ユーザを追加するには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [Add New User] (新規ユーザの 追加) を選択するか、[User List] (ユーザ リスト) ページの [Add] (追 加) ボタンをクリックして、[User] (ユーザ) ページを開きます。
- [Username] (ユーザ名) フィールドに、一意のユーザ名を入力します (最大 16 文字)。


- 3. [Full Name] (フル ネーム) フィールドに、ユーザのフル ネームを入 力します (最大 64 文字)。
- [Password] (パスワード) フィールドにパスワードを入力し、
 [Confirm Password] (パスワードの確認) フィールドにパスワードを
 再入力します (最大 64 文字)。
- [User Group] (ユーザ グループ) ドロップダウン リストからグルー プを選択します。このリストには、システムによって定義されている デフォルト グループに加えて、ユーザによって作成されたグループ を含むすべてのグループが表示されます。デフォルト グループは、 デフォルト設定である [Unknown] (不明)、[Admin] (管理者)、 [Individual Group] (個別グループ) です。

このユーザを既存のユーザ グループに関連付けたくない場合は、ド ロップダウン リストから [Individual Group] (個別グループ) を選択 します。個別グループの許可についての詳細は、「*個別グループの許 可の設定* 『p. 130』」を参照してください。

- 6. 新規ユーザを有効にするには、[Active] (アクティブ) チェックボック スをオンにします。デフォルトはアクティブ状態 (有効) です。
- 7. [OK] をクリックします。

既存のユーザ グループの変更

- 既存のユーザを変更するには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [User List] (ユーザ リスト)を 選択して、[User List] (ユーザ リスト)ページを開きます。
- [User List] (ユーザ リスト) ページのリストから目的のユーザを探します。
- 3. ユーザ名をクリックします。[User] (ユーザ) ページが開きます。
- [User] (ユーザ) ページで、目的のフィールドを変更します [User] (ユ ーザ) ページにアクセスする方法についての詳細は、「新規ユーザの 追加 『p. 134』」を参照してください。
- 5. ユーザを削除するには、[Delete] (削除) をクリックします。削除して よいかどうかを確認するダイアログ ボックスが開きます。
- 6. [OK] をクリックします。



ユーザのログオフ (強制ログオフ)

管理者である場合は、Dominion KX II にログオンしている他のユーザの うち、ローカルに認証されているユーザをログアウトすることができま す。

- ▶ ユーザをログアウトするには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [User List] (ユーザ リスト)を 選択して [User List] (ユーザ リスト) ページを開くか、ページの左側 のパネルの [Connected User] (接続中のユーザ) リンクをクリック します。
- 2. [User List] (ユーザ リスト) ページのリストから目的のユーザを探し、 その名前の横のチェックボックスをオンにします。
- [Force User Logoff] (ユーザの強制ログオフ) ボタンをクリックします。
- [Logoff User] (ユーザのログオフ) ダイアログ ボックスで [OK] を クリックして、そのユーザを強制的にログオフします。

The page at https://192.168.59.248 says:	×
Do you really want to logoff the selected users?	
OK Cancel	

ユーザがログオフしたことを示す確認メッセージが表示されます。このメッセージには、ログアウトした日時が表示されます。[OK] をクリックして、メッセージを閉じます。



[Authentication Settings] (認証設定)

認証とは、ユーザが本物であることを確認するプロセスです。ユーザが 認証されると、ユーザの属するグループに基づいて、システムおよびポ ートに対する許可が決定されます。ユーザに割り当てられた特権により、 どのようなタイプのアクセスが許可されるかが決まります。これを「認 可」と呼びます。

Dominion KX II がリモート認証用に構成されている場合、外部認証サーバは主に認証を目的として使用され、認可用には使用されません。

[Authentication Settings] (認証設定) ページでは、Dominion KX II へのア クセスに使用する認証の種類を設定できます。

注: リモート認証 (LDAP/LDAPS または RADIUS) を選択すると、ユー ザが見つからない場合はローカル認証データベースも確認されます。

- ▶ 認証を設定するには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [Authentication Settings] (認証 設定)を選択します。[Authentication Settings] (認証設定) ページが 開きます。
- 使用する認証プロトコルのオプションを選択します ([Local Authentication] (ローカル認証)、[LDAP/LDAPS] (LDAP/LDAPS)、ま たは [RADIUS] (RADIUS))。[LDAP] (LDAP) オプションを選択した 場合、LDAP に関連するフィールドが有効になります。[RADIUS] (RADIUS) オプションを選択した場合、RADIUS に関連するフィー ルドが有効になります。
- [Local Authentication] (ローカル認証)を選択した場合は、手順 6 に 進みます。
- [LDAP/LDAPS] (LDAP/LDAPS) を選択した場合は、「LDAP/LDAPS リモート認証の実装」を参考にして、[Authentication Settings] (認証 設定) ページの [LDAP] (LDAP) セクションの各フィールドを指定し てください。
- [RADIUS] (RADIUS) を選択した場合は、「RADIUS リモート認証の 実装」を参考にして、[Authentication Settings] (認証設定) ページの [RADIUS] (RADIUS) セクションの各フィールドを指定してください。
- 6. [OK] をクリックして保存します。
- 工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- 1. [Reset To Defaults] (デフォルトに戻す) ボタンをクリックします。



注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

LDAP/LDAPS リモート認証の実装

Lightweight Directory Access Protocol (ライトウェイト ディレクトリ アクセス プロトコル: LDAP/LDAPS) は、TCP/IP 上で動作するディレク トリ サービスを照会および変更するためのネットワーキング プロトコ ルです。クライアントは、LDAP/LDAPS サーバ (デフォルトの TCP ポ ートは 389) に接続して、LDAP セッションを開始します。次に、クラ イアントは、オペレーション要求をサーバに送信します。サーバは、こ の要求に対して応答を返します。

メモ: Microsoft Active Directory は、LDAP/LDAPS 認証サーバとしてネ イティブに機能します。

- ▶ LDAP 認証プロトコルを使用するには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [Authentication Settings] (認証 設定)をクリックして、[Authentication Settings] (認証設定)をページを開きます。
- [LDAP] (LDAP) ラジオ ボタンを選択して、ページの [LDAP] (LDAP) セクションを有効にします。
- 3. ► LDAP アイコンをクリックして、ページの [LDAP] (LDAP) セクションを展開します。

サーバの設定

- [Primary LDAP Server] (プライマリ LDAP サーバ) フィールドに、 LDAP/LDAPS リモート認証サーバの IP アドレスまたは DNS 名 を入力します (最大 256 文字)。[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を有効にする) チェックボックスをオンにし、[Enable LDAPS Server Certificate Validation] (LDAPS サーバ証明書の検証を有効に する) チェックボックスをオンにした場合は、LDAP サーバ証明書の CN に一致する DNS 名を使用する必要があります。
- [Secondary LDAP Server] (セカンダリ LDAP サーバ) フィールドに、 バックアップ LDAP/LDAPS サーバの IP アドレスまたは DNS 名 を入力します (最大 256 文字)。[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を有効にする) オプションをオンにした場合は、DNS 名を使 用する必要があります。残りのフィールドについては、[Primary LDAP Server] (プライマリ LDAP サーバ) フィールドの場合と同じ 設定を使用します。(オプション)
- 6. [Type of External LDAP Server] (外部 LDAP サーバの種類)。



- Active Directory ドメインの名前を入力します。たとえば、 「*testradius.com*」と入力します、特定のドメインの名前については、 Active Directive 管理者にお問い合わせください。
- [User Search DN] (ユーザ検索 DN) フィールドに、LDAP データベ ース内でユーザ情報の検索を開始する場所の識別名を入力します。最 大 64 文字まで使用できます。たとえば、 cn=Users,dc=raritan,dc=com というベース検索値を設定しま す。このフィールドに入力する適切な値については、担当の認証サー バ管理者に問い合わせてください。
- 9. [DN of administrative User] (管理者ユーザの DN) フィールドに管理 者ユーザの識別名を入力します (最大 64 文字)。このフィールドは、 LDAP サーバで管理者に管理者ユーザの役割を使用したユーザ情報 の検索を許可している場合にのみ入力します。このフィールドに入力 する適切な値については、担当の認証サーバ管理者に問い合わせてく ださい。たとえば、管理者ユーザの DN として、以下のように設定 します。

cn=Administrator, cn=Users, dc=testradius, dc=com(オプ ション)



 管理者ユーザの識別名を入力した場合は、管理者ユーザの DN をリ モート認証サーバに対して認証するために使用するパスワードを入 力する必要があります。[Secret Phrase] (秘密フレーズ) フィールド にパスワードを入力し、[Confirm Secret Phrase] (秘密フレーズの確 認) フィールドにパスワードを再入力します (最大 128 文字)。

ocal Authentication	
DAP	
ADIUS	
AP	
ver Configuration	
Primary LDAP Server	
192.168.59.187	
Secondary LDAP Server (optional)	
192.168.51.214	
Type of External LDAP Server	
Microsoft Active Directory 💌	
Active Directory Domain	
testradius.com	
User Search DN	
cn=users,dc=testradius,dc=com	
DN of Administrative User (optional)	
cn=Administrator,cn=users,dc=testrac	
Secret Phrase of Administrative User	
•••••	
Confirm Secret Phrase	

LDAP/セキュア LDAP

 SSL を使用する場合は、[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を 有効にする) チェックボックスをオンにします。これにより、[Enable LDAPS Server Certificate Validation] (LDAPS サーバ証明書の検証を 有効にする) チェックボックスがオンになります。Secure Sockets Layer (SSL) は、Dominion KX II が LDAP/LDAPS サーバと安全に 通信できるようにする暗号プロトコルです。



- 12. [Port] (ポート) のデフォルトは 389 です。標準 LDAP TCP ポート を使用するか、または別のポートを指定します。
- [Secure LDAP Port] (セキュア LDAP ポート)のデフォルトは 636 です。デフォルトのポートを使用するか、または別のポートを指定し ます。このフィールドは、[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を 有効にする) チェックボックスがオンのときにのみ使用します。
- 14. 前にアップロードしたルート CA 証明書ファイルを使用してサーバ から提供された証明書を検証するには、[Enable LDAPS Server Certificate Validation] (LDAPS サーバ証明書の検証を有効にする) チェックボックスをオンにします。前にアップロードしたルート CA 証明書ファイルを使用しない場合は、このチェックボックスをオフの ままにします。この機能を無効にすることは、不明な証明機関によっ て署名された証明書を受け取ることと同じです。このチェックボック スは、[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を有効にする) チェッ クボックスがオンのときにのみ使用できます。

注: 検証にルート CA 証明書を使用し、さらに [Enable LDAPS Server Certificate Validation] (LDAPS サーバ証明書の検証を有効に する) チェックボックスをオンにする場合は、サーバ ホスト名がサ ーバ証明書に記載された共通名と一致する必要があります。



15. 必要な場合は、ルート CA 証明書のファイルをアップロードします。 このフィールドは、[Enable Secure LDAP] (セキュア LDAP を有効 にする) チェックボックスがオンのときに有効になります。
LDAP/LDAPS サーバ用の Base64 エンコードの X-509 形式の CA 証明書ファイルについては、担当の認証サーバ管理者に問い合わせて ください。[Browse] (参照) ボタンを使用して証明書ファイルを選択 します。LDAP/LDAPS サーバの証明書を新しい証明書に置き換える 場合は、新しい証明書を有効にするために Dominion KX II を再起動 する必要があります。

Ροπ	
389	
Secure L	DAP Port
636	
Enable	e LDAPS Server Certificate Validation
ROOLCAI	
ROOLCA	Browse

LDAP サーバ アクセスのテスト

16. LDAP サーバおよび Dominion KX II をリモート認証用に正しく構成するために複雑な設定が必要になることがあるので、Dominion KX II には、[Authentication Settings] (認証設定) ページから LDAP の設定をテストする機能が用意されています。LDAP の設定をテストするには、[Login for testing] (テスト用ログイン) フィールドと [Password for testing] (テスト用ログイン) フィールドにそれぞれログイン名とパスワードを入力します。これは、Dominion KX II にアクセスするときに入力したユーザ名とパスワードです。LDAP サーバはこれを使用してユーザを認証します。[Test] (テスト) をクリックします。



テストが完了すると、テストが成功したことを知らせるメッセージが 表示されます。テストが失敗した場合は、詳細なエラー メッセージ が表示されます。成功したことが表示されるか、または失敗した場合 は詳細なエラー メッセージが表示されます。成功時には、リモート LDAP サーバから取得されたテスト ユーザのグループ情報も表示さ れることがあります。

Login for testing	
Password for testing	
Test	

ユーザ グループ情報を Active Directory サーバから返す

Dominion KX II では、ユーザを Dominion KX II でローカルに定義する 必要なく、Active Directory (AD) へのユーザ認証がサポートされます。 これにより、Active Directory のユーザ アカウントとパスワードは、AD サーバ上に排他的に維持されます。認可と AD ユーザ特権は、標準の Dominion KX II ポリシー、および AD ユーザ グループにローカルに適 用されるユーザ グループ特権によって制御および管理されます。

重要: Raritan, Inc. の既存のお客様がすでに AD スキーマを変更して Active Directory サーバを設定している場合、Dominion KX II はこの設 定をサポートします。この場合、以下に示す手順を実行する必要はあり ません。AD LDAP/LDAPS スキーマを更新する方法についての詳細は、 「LDAP スキーマの更新」を参照してください。

- Dominion KX II で AD サーバを有効にするには、以下の手順に従います。
- Dominion KX II を使用して、特殊なグループを作成し、適切な許可 および特権をグループに割り当てます。たとえば、KVM_Admin や KVM_Operator というグループを作成します。
- 2. Active Directory サーバで、前の手順で作成したのと同じグループ名 を持つ新しいグループを作成します。
- 3. AD サーバ上で、手順 2 で作成したグループに Dominion KX II ユ ーザを割り当てます。
- Dominion KX II で、AD サーバを有効にし、適切に設定します。 「LDAP/LDAPS リモート認証の実装」を参照してください。



重要な注記:

- グループ名では大文字と小文字が区別されます。
- Dominion KX II には、Admin (管理者) と <Unknown> (不明) のデフ ォルト グループが用意されています。これらのグループを変更した り削除したりすることはできません。Active Directory サーバでこれ らと同じグループ名が使用されていないことを確認してください。
- Active Directory サーバから返されたグループ情報が Dominion KX II のグループ設定と一致しない場合、正常に認証されたユーザに対し て自動的に [<Unknown>](不明) グループが割り当てられます。
- ダイヤルバック番号を使用する場合は、次の文字列を入力する必要があります。大文字と小文字は区別されます。
 msRADIUSCallbackNumber
- Microsoft からの推奨に基づいて、ドメイン ローカル グループでは なく、ユーザ アカウントを含むグローバル グループを使用する必要 があります。

RADIUS リモート認証の実装

Remote Authentication Dial-in User Service (RADIUS) は、ネットワー ク アクセス アプリケーションのための AAA (認証 (authentication)、 認可 (authorization)、アカウンティング (accounting)) プロトコルです。

▶ RADIUS 認証プロトコルを使用するには、以下の手順に従います。

- [User Management] (ユーザ管理)の [Authentication Settings] (認証 設定)をクリックして、[Authentication Settings] (認証設定)をペー ジを開きます。
- [RADIUS] (RADIUS) ラジオ ボタンをクリックして、ページの [RADIUS] (RADIUS) セクションを有効にします。
- 3. ► RADIUS アイコンをクリックして、ページの [RADIUS] (RADIUS) セクションを展開します。
- [Primary Radius Server] (プライマリ Radius サーバ) フィールドお よび [Secondary Radius Server] (セカンダリ Radius サーバ) フィ ールドに、プライマリ認証サーバの IP アドレスおよびオプションで セカンダリ認証サーバの IP アドレスを入力します (最大 256 文 字)。
- 5. [Shared Secret] (共有の秘密) フィールドに、認証に使用するサーバの秘密フレーズを入力します (最大 128 文字)。



共有の秘密とは、Dominion KX II と RADIUS サーバとの間で安全に 通信を行うために両者で共有される文字列です。これは、基本的には パスワードです。

- [Authentication Port] (認証ポート)のデフォルトは 1812 ですが、必要に応じて変更できます。
- 7. [Accounting Port] (アカウンティング ポート) のデフォルトは 1813 ですが、必要に応じて変更できます。
- 8. [Timeout] (タイムアウト) は秒単位で記録され、デフォルトは 1 秒 ですが、必要に応じて変更できます。

このタイムアウトは Dominion KX II が次の認証要求を送信する前に RADIUS サーバからの応答を待つ時間です。

9. デフォルトの再試行回数は 3 回です。

これは、Dominion KX II が RADIUS サーバに対して認証要求を送信 する回数です。

- ドロップダウン リストのオプションから、適切な [Global Authentication Type] (グローバル認証タイプ)を選択します。
 - [PAP] (PAP) PAP の場合、パスワードは平文 (ひらぶん) 暗号 化されないテキストとして送信されます。PAP は対話型ではあ りません。サーバがログイン プロンプトを送信してその応答を 待つ方式ではなく、接続が確立された時点でユーザ名とパスワー ドが 1 つのデータ パッケージとして送信されます。



 [CHAP] (CHAP) - CHAP の場合、サーバはいつでも認証を要求で きます CHAP は PAP よりも高いセキュリティを実現します。

Authentication Settings	4
C Local Authentication	
O LDAP	
RADIUS	
► LDAP	
▼ RADIUS	
Primary RADIUS Server	
Shared Secret	
A dia dia dia Rad	
1812	
Accounting Port	
1813	
Timeout (in seconds)	
1	
Retries 3	
Secondary RADIUS Server	
Shared Secret	
Authentication Port	
Accounting Port	
1813	
Timeout (in seconds)	
1	
Retries	
Global Authentication Type	
PAP 💌	

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



ユーザ グループ情報を RADIUS 経由で返す

RADIUS 認証の試行が成功したら、Dominion KX II は、ユーザのグループの許可に基づいて、そのユーザの許可を決定します。

リモート RADIUS サーバは、RADIUS FILTER-ID として実装された属 性を返すことによって、これらのユーザ グループ名を提供できます。 FILTER-ID は、Raritan:G{*GROUP_NAME*} という形式となります。 *GROUP_NAME* は、ユーザが属するグループの名前を示す文字列です。

Raritan:G{GROUP_NAME}:D{Dial Back Number}

GROUP_NAME は、ユーザが属するグループの名前を示す文字列です。 Dial Back Number は、ユーザ アカウントに関連付けられている番号で、 Dominion KX II モデムがユーザ アカウントへのダイヤルバックに使用 します。

RADIUS 通信交換仕様

Dominion KX II は、以下の RADIUS 属性を RADIUS サーバに送信します。

属性	データ
ログイン	
Access-Request(1)	
NAS-Port-Type (61)	ネットワーク接続の場合は VIRTUAL (5)
NAS-IP-Address (4)	Dominion KX II の IP アドレス
User-Name (1)	ログイン画面で入力されたユーザ名
Acct-Session-ID (44)	アカウンティングのセッション ID
User-Password(2):	暗号化されたパスワード
Accounting-Request(4)	
Acct-Status (40)	Start(1) - アカウンティングを開始する
NAS-Port-Type (61)	ネットワーク接続の場合は VIRTUAL (5)
NAS-Port (5)	常に 0
NAS-IP-Address (4)	Dominion KX II の IP アドレス
User-Name (1)	ログイン画面で入力されたユーザ名
Acct-Session-ID (44)	アカウンティングのセッション ID



属性	データ
ログイン	
ログアウト	
Accounting-Request(4)	
Acct-Status (40)	Stop(2) - アカウンティングを停止する
NAS-Port-Type (61)	ネットワーク接続の場合は VIRTUAL (5)
NAS-Port (5)	常に 0
NAS-IP-Address (4)	Dominion KX II の IP アドレス
User-Name (1)	ログイン画面で入力されたユーザ名
Acct-Session-ID (44)	アカウンティングのセッション ID



ユーザ認証プロセス

ローカル ユーザを CC から認証および認可するようにデバイスが設定 されている場合は、次のプロセスに従って、ユーザ資格情報が検証され ます。







リモート認証は、その後のフローチャートに指定されたプロセスに従い ます。



パスワードの変更

- ▶ パスワードを変更するには、以下の手順に従います。
- [User Management] (ユーザ管理)の [Change Password] (パスワードの変更)を選択します。[Change Password] (パスワードの変更) ページが開きます。
- 2. [Old Password] (旧パスワード) フィールドに現在のパスワードを入力します。
- [New Password] (新しいパスワード) フィールドに新しいパスワードを入力します。[Confirm New Password] (新しいパスワードの確認) フィールドにパスワードを再入力します。パスワードには、最大 64 文字の英数字と特殊文字を使用できます。
- 4. [OK] をクリックします。
- 5. パスワードが正常に変更された旨のメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。

注: 強力なパスワードが使用されている場合は、パスワードに必要な形式 に関する情報がこのページに表示されます。パスワードと強力なパスワ ードについての詳細は、「[Strong Passwords] (強力なパスワード) 『p. 226』」を参照してください。

	_
lom e > User Management > Change Password	
Change Password	
Old Password	
New Password	
Confirm New Password	
OK Cancel	



Ch7 デバイス管理

この章の内容

52
58
62
64
65
73
75

[Network Settings] (ネットワーク設定)

[Network Settings] (ネットワーク設定) ページを使用して、Dominion KX II のネットワーク設定 (たとえば、IP アドレス、検出ポート、LAN イン タフェース パラメータなど) をカスタマイズします。

IP 設定を行うには 2 つのオプションがあります。

- [None] (なし) (デフォルト) 推奨されるオプションです(静的 IP)。
 Dominion KX II はネットワーク インフラストラクチャの一部であるため、IP アドレスを頻繁に変更されると手間がかかります。この オプションにより、ネットワーク パラメータを固定できます。
- [DHCP] (DHCP) DHCP サーバによって IP アドレスが自動的に割 り当てられます。
- ▶ ネットワーク設定を変更するには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Network] (ネットワーク)を選択します [ネットワーク設定] (Network Settings) ページが開きます。
- ネットワーク基本設定を更新します。「ネットワーク基本設定」を参照してください。
- 3. LAN インタフェースの設定を更新します。「LAN インタフェース設 定」を参照してください。
- 4. [OK] (OK) をクリックして、これらの設定を保存します。変更を適用 するために再起動が必要な場合は、再起動メッセージが表示されます。
- ▶ 工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- [Reset to Defaults] (デフォルトに戻す) をクリックします。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



ネットワーク基本設定

ここでは、[Network Settings] (ネットワーク設定) ページで IP アドレス を割り当てる方法について説明します。このページのすべてのフィール ドおよび操作についての詳細は、「*ネットワーク設定* 『p. 152の "[Network Settings] (ネットワーク設定)"参照 』」を参照してください。

- [Device Settings] (デバイス設定)の [Network] (ネットワーク)を選択します [ネットワーク設定] (Network Settings) ページが開きます。
- 2. Dominion KX II デバイスにわかりやすいデバイス名を指定します。 最大 32 文字の英数字と有効な特殊文字を組み合わせて使用できま す。スペースは使用できません。
- 3. [IPv4] セクションで、適切な IPv4 固有のネットワーク設定を入力す るか選択します。
 - a. 必要な場合は、[IP Address] (IP アドレス) を入力します。デフ ォルトの IP アドレスは「192.168.0.192」です。
 - b. [Subnet Mask] (サブネット マスク) を入力します。デフォルト のサブネット マスクは「255.255.255.0」です。
 - c. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウン リストで [None] (設定しない) を選択する場合は、[Default Gateway] (デフ ォルト ゲートウェイ) を入力します。
 - d. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウン リストで
 [DHCP] を選択する場合は、[Preferred DHCP Host Name] (優先
 DHCP ホスト名) を入力します。
 - e. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。次のオプ ションを使用できます。
 - [None] (設定しない) (静的 IP) このオプションを選択した場合 は、ネットワークの IP アドレスを手動で指定する必要がありま す。

Dominion KX II はインフラストラクチャ デバイスであり、IP ア ドレスは変更されないので、このオプションを推奨します。

 [DHCP] - DHCP サーバから一意の IP アドレスとその他のパラ メータを取得するために、ネットワークに接続しているコンピュ ータ (クライアント) によって Dynamic Host Configuration Protocol が使用されます。

このオプションを選択した場合、ネットワーク パラメータは DHCP サーバによって割り当てられます。DHCP を使用する場 合は、[Preferred host name] (優先ホスト名) を入力します (DHCP のみ)。最大 63 文字まで使用できます。



- IPv6 を使用する場合は、[IPv6] セクションで、適切な IPv6 固有の ネットワーク設定を入力するか、選択します。
 - a. セクション内のフィールドを有効にするには、[IPv6] チェックボ ックスをオンにします。
 - b. [Global/Unique IP Address] (グローバル/一意の IP アドレス) を 入力します。これは、Dominion KX II に割り当てられる IP アドレスです。
 - c. [Prefix Length] (固定長) を入力します。これは、IPv6 アドレス で使用されるビット数です。
 - d. [Gateway IP Address] (ゲートウェイ IP アドレス) を入力しま す。
 - e. [Link-Local IP Address] (リンク ローカル IP アドレス)。この アドレスは、自動的にデバイスに割り当てられます。これは、近 隣探索で、またはルータが存在しない場合に使用されます。 [Read-Only] (読み取り専用)
 - f. [Zone ID]。これは、アドレスが関連付けられているデバイスを識別します。[Read-Only] (読み取り専用)
 - g. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。次のオプ ションを使用できます。
 - [None] (設定しない) 自動 IP 設定を使用せず、IP アドレスを自分で設定する場合は、このオプションを選択します (静的 IP)。 推奨されるデフォルトのオプションです。

[IP auto configuration] (IP 自動設定) で [None] (設定しない) を 選択すると、[Network Basic Settings] (ネットワーク基本設定) フィールド ([Global/Unique IP Address] (グローバル/一意の IP アドレス)、[Prefix Length] (固定長)、[Gateway IP Address] (ゲ ートウェイ IP アドレス)) が有効になり、IP アドレスを手動で 設定できるようになります。

- [Router Discovery] (ルータ検出) このオプションを使用して、直接接続されるサブネットにのみ適用される [Link Local] (リンクローカル) を超える [Global] (グローバル) または [Unique Local] (一意ローカル) を意味する IPv6 アドレスを自動的に割り当てます。
- [DHCP] が選択され、[Obtain DNS Server Address] (DNS サーバ アドレスを取得) が有効になっている場合は、[Obtain DNS Server Address Automatically] (DNS サーバ アドレスを自動的に取得) を 選択します。DNS サーバ アドレスが自動的に取得されると、DHCP サーバが提供する DNS 情報が使用されます。



[Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アドレスを使用)を選択する場合は、[DHCP] が選択されているかどうかにかかわらず、このセクションに入力されたアドレスが、DNS サーバの接続に使用されます。

[Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アド レスを使用) オプションを選択する場合は、次の情報を入力します。 これらのアドレスは、停電によりプライマリ DNS サーバ接続が切断 された場合に使用されるプライマリおよびセカンダリ DNS アドレス です。

- a. [Primary DNS Server IP Address] (プライマリ DNS サーバ IP アドレス)
- b. [Secondary DNS Server IP Address] (セカンダリ DNS サーバ IP アドレス)
- 7. 完了したら [OK] をクリックします。これで、Dominion KX II デバ イスはネットワークにアクセスできます。



[Network Settings] (ネットワーク設定) ページのこのセクションの設定 についての詳細は、「LAN インタフェース設定 『p. 157』」を参照して ください。

注: 一部の環境では、[LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェ ースの速度と二重化) のデフォルトである [Autodetect] (自動検出) (自動 ネゴシエーション) が選択されている場合にネットワーク パラメータが 適切に設定されず、ネットワーク上の問題が発生する場合があります。 そのような場合は、Dominion KX II の [LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェースの速度と二重化) フィールドを [100 Mbps/Full Duplex] (またはネットワークに合ったオプション) に設定することで問 題を解決できます。詳細は、「ネットワーク設定 『p. 152の"[Network Settings] (ネットワーク設定)"参照 』」を参照してください。

Home > Device Settings > Network Settings

Basic Network Settings	LAN Interface Settings
evice Name * E-KX2-8641234567890123456789012 IP 44 ddress UP 4ddress	Note: For reliable network communication, configure the Dominion KX2 and LAN Switch to the same LAN Interface Speed and Duplex. For example, configure both the Dominion KX2 and LAN Switch to Autodetect (recommended) or set both to a fixed speed/duplex such as 100Mbps/Full. Current LAN Interface Parameters: autonegotiation on, 100 Mbps, full duplex, link ok LAN Interface Speed & Duplex Autodetect Enable Automatic Failover Ping Interval (30-65535 seconds) 30
Global/Unique IP Address Prefix Length Gateway IP Address Link-Local IP Address Zone ID N/A %1 IP Auto Configuration None	Timeout (60-65535 seconds) 60 Bandwidth Limit No Limit
Obtain DNS Server Address Automatically	



LAN インタフェース設定

- 現在のパラメータ設定は、[Current LAN interface parameters] (現在のLAN インタフェースパラメータ) フィールドで確認します。
- 2. 以下の [LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェースの速度と二重化) のオプションから適切なものを選択します。
 - [Autodetect] (自動検出) (デフォルト オプション)
 - [10 Mbps/Half] (10 Mbps/半二重) 両方の LED が点滅
 - [10 Mbps/Full] (10 Mbps/全二重) 両方の LED が点滅
 - [100 Mbps/Half] (100 Mbps/半二重) 黄色の LED が点滅
 - [100 Mbps/Full] (100 Mbps/半二重) 黄色の LED が点滅
 - [1000 Mbps/Full] (1000 Mbps/全二重) (ギガビット) 緑色の LED が点滅
 - [Half-duplex] (半二重)の場合、双方向の通信は可能ですが、一度 に通信できるのは一方向だけです(同時に通信できません)。
 - [Full-duplex] (全二重)の場合、同時に双方向の通信が可能です。

注: 半二重または全二重で 10 Mbps で実行しているときに、問題が発生する場合があります。問題が発生した場合は、別の速度と二重化の設定を選択してください。

詳細は、「*Network Speed Settings* 『p. 318の"ネットワーク速度の 設定"参照 』」を参照してください。

この [Enable Automatic Failover] (自動フェイルオーバを有効にする) チェックボックスをオンにすると、アクティブなネットワークポートに障害が発生した場合、Dominion KX II では2番目のネットワークポートを使用して、自動的にネットワーク接続を回復します。

注: フェイルオーバ ポートは実際にフェイルオーバが発生するまで 有効にならないので、ポートを監視しないか、フェイルオーバが発生 した後にのみ監視するようにすることをお勧めします。

このオプションを有効にすると、次の 2 つのフィールドが使用されます。

 [Ping Interval (seconds)] (Ping インターバル (秒)) - Ping インタ ーバルの設定により、Dominion KX II が指定されたゲートウェイ へのネットワーク パスの状態をチェックする頻度が決まります。 デフォルトの Ping インターバルは 30 秒です。



 [Timeout (seconds)] (タイムアウト(秒)) - タイムアウトの設定 により、指定されたゲートウェイにネットワーク接続経由でアク セスできなくなってからフェイルオーバが発生するまでの時間 が決まります。

注: Ping インターバルとタイムアウトは、ローカル ネットワーク状態に合わせて最適な値に設定できます。タイムアウトは、送信する 2 つ以上の Ping 要求と返される応答に対応できるように設定する必要があります。たとえば、ネットワークの利用率が高いためにフェイルオーバの発生する確率が高い場合は、タイムアウトを Ping インターバルの 3 ~ 4 倍に延ばす必要があります。

- 4. [Bandwidth] (帯域幅) で、適切なオプションを選択します。
 - [100 Megabit] (2 メガビット)
 - [10 Megabit] (2 メガビット)
 - [5 Megabit] (2 メガビット)
 - [2 Megabit] (2 メガビット)
 - [128 Kilobit] (512 キロビット)
 - [128 Kilobit] (256 キロビット)
 - [128 Kilobit] (128 キロビット)
- 5. [OK] をクリックして LAN 設定を適用します。

[Device Services] (デバイス サービス)

- [Device Settings] (デバイス設定)の [Device Services] (デバイス サ ービス)を選択します。[Device Services Settings] (デバイス サービ ス設定)ページが表示されます。
- 2. [Discovery Port] (検出ポート) を入力します。

Dominion KX II の検出は、設定可能な 1 つの TCP ポートで行われ ます。デフォルトではポート 5000 に設定されていますが、80 と 443 以外であれば、どの TCP ポートを使用するよう設定してもかま いません。ファイアウォールの外側から Dominion KX II にアクセス するには、お使いのファイアウォールの設定で、デフォルト ポート 5000 または上記で設定したデフォルト以外のポートを使用する双 方向通信を有効にする必要があります。

 管理者が SSH v2 アプリケーションを介して Dominion KX II にア クセスできるようにするには、[Enable SSH Access] (SSH アクセス を有効にする) を選択します。



- [SSH Port Information] (SSH ポート情報) を入力します。標準の SSH TCP ポート番号は 22 ですが、ポート番号を変更して高いレベ ルのセキュリティ処理を提供することもできます。
- ユーザが URL に必要なパラメータを渡して Dominion KX II 経由 でターゲットに直接アクセスできるようにするには、[Enable Direct Port Access via URL] (URL を介したダイレクト ポート アクセスを 有効にする) チェックボックスをオンにします。これにより、ユーザ はデバイスの [Login] (ログイン) ダイアログ ボックスと [Port Access] (ポート アクセス) ページを使用する必要がなくなります。 この機能を使用すると、ユーザ名とパスワードが URL に含まれてい ない場合に、ユーザ名とパスワードを直接入力してターゲットにアク セスすることもできます。入力する必要がある重要な URL 情報につ いては、「ダイレクト ポート アクセスの概要 『p. 160』」を参照 してください。
- AKC クライアントを使用する場合は、[Enable AKC Download Server Certificate Validation] (AKC ダウンロード サーバ証明書の検 証を有効にする) チェックボックスをオンにしてこの機能を有効に するか、この機能を無効 (デフォルト)のままにすることができます。 これらの各オプションの詳細および選択したオプションに応じた手 順については、「[Enable AKC Download Server Certificate Validation] (AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にする) の概要 『p. 161の"[Enable AKC Download Server Certificate Validation (AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にする)] の概要"参照 』」を参照してください。
- 7. [OK] をクリックします。

OK

Home > Device Settings > Device Services

Reset To Defaults

Services
hiscovery Port *
5000
✓ Enable SSH Access
SHPort
22
Enable Direct Port Access via URL
Enable AKC Download Server Certificate Validation

Cancel



ダイレクト ポート アクセスの概要

VKC とダイレクト ポート アクセスを使用する場合:

 https://IPaddress/dpa.asp?username=username&password=passwo rd&port=port number

AKC とダイレクト ポート アクセスを使用する場合:

 htps://IPaddress/dpa.asp?username=username&password=passwor d&port=port number&client=akc

説明:

- username と password はオプションです。指定しない場合はログ イン ダイアログ ボックスが表示され、認証後、ユーザはターゲット に直接接続されます。
- port には、ポート番号またはポート名を指定できます。ポート名を 使用する場合は、一意の名前にしなければ、エラーが報告されます。
 port を省略した場合もエラーが報告されます。
- ブレード シャーシの場合、port は「<port number>'-'<slot number>」の形式で指定します。たとえば、ポート 1、スロット 2 に接続されたブレード シャーシの場合は「1-2」のように指定します。
- client=akc は、AKC クライアントを使用しない場合はオプションです。client=akc を指定しない場合、VKC がクライアントとして使用されます。



[Enable AKC Download Server Certificate Validation (AKC ダウンロ ード サーバ証明書の検証を有効にする)]の概要

AKC クライアントを使用する場合は、[Enable AKC Download Server Certificate Validation (AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効に する)] 機能を使用するかどうかを選択できます。

オプション 1: AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にしない (デフォルト設定)

AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にしない場合、すべての KX II ユーザと CC-SG Bookmark and Access Client ユーザは以下の操 作を行う必要があります。

- アクセスするデバイスの IP アドレスからの Cookie が現在ブロッ クされていないことを確認します。
- Windows Vista、Windows 7、および Windows 2008 Server のユー ザは、アクセスするデバイスの IP アドレスがブラウザの [信頼済み サイト] ゾーンに含まれ、デバイスへのアクセス時に保護モードが有 効になっていないことを確認する必要があります。

オプション 2: AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にする

AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にする場合は、以下の操作を行います。

- 管理者は、自己署名証明書を Dominion KX II にアップロードするか、
 自己署名証明書を Dominion KX II で生成する必要があります。
 習名証明書では、有効なホストが指定されている必要があります。
- 各ユーザは、自己署名証明書をブラウザの信頼されたルート証明機関 ストアに追加する必要があります。
- Windows Vista および Windows 7 を使用する場合、自己署名証明 書をインストールするには、以下の手順に従います。
- [信頼済みサイト] ゾーンに Dominion KX II の IP アドレスを追加し、 保護モードがオフになっていることを確認します。
- URL に Dominion KX II の IP アドレスを使用して Internet Explorer を起動します。証明書エラー メッセージが表示されます。
- 3. [証明書の表示] を選択します。
- [全般] タブで、[証明書のインストール] をクリックします。証明書が信頼されたルート証明機関ストアにインストールされます。
- 証明書のインストール後、Dominion KX II の IP アドレスを [信頼済 みサイト] ゾーンから削除できます。



[Modem Settings] (モデム設定)

- ▶ モデムを設定するには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Modem Settings] (モデム設定) をクリックし、[Modem Settings] (モデム設定)ページを開きます。
- [Enable Modem] (モデムを有効にする) チェックボックスをオンにします。これで、[Serial Line Speed] (シリアル ライン速度) フィールドと [Modem Init] (モデム Init) フィールドが有効になります。
- 3. モデムの [Serial Line Speed] (シリアル ライン速度) は 11520 に 設定されます。読み取り専用
- [Modem Init String] (モデム Init 文字列) フィールドにモデム初期化 文字列を入力します。モデム文字列を空白のままにすると、デフォル トで、文字列「ATZ OK AT OK」がモデムに送信されます。

この情報がモデムの設定に使用されます。以下の値の設定方法はモ デムの種類によってさまざまなので、このドキュメントでは、これら の値の設定方法は指定しません。モデム固有の適切な設定を作成する には、モデムを参照する必要があります。

- [Modem Settings] (モデム設定):
- RTS/CTS フロー制御を有効にします。
- RTS 受信時にコンピュータにデータを送信します。
- CTS は、必要な場合にフロー制御によって切断だけ行うよう に設定する必要があります。
- DTR は、DTR トグルでリセットするにようにモデムに対し て設定する必要があります。
- DSR は常にオンに設定する必要があります。
- DCD は、キャリア信号の検出後に有効にするように設定する 必要があります (つまり、DCD はリモート側とのモデム接 続が確立されたときにのみ有効にする必要があります)。
- [Modem Server IPv4 Address] (モデム サーバの IPv4 アドレス) フィールドに IPv4 モデム サーバ アドレスを入力し、[Modem Client IPv4 Address] (モデム クライアントの IPv4 アドレス) フィールド にクライアント モデム アドレスを入力します。

注: モデム クライアントおよびサーバの IP アドレスは、同じサブ ネット上にある必要があり KX LAN サブネットとオーバーラップす ることはできません。



6. [OK] をクリックして変更を確認するか、[Reset to Defaults] (デフォ ルトに戻す) をクリックして設定をデフォルトに戻します。

odem Init String TQ0&D3&C1 odem Server IPv4 Address	Corial Line Speed	
odem Init String TQ0&D3&C1 odem Server IPv4 Address	115200 V bits/s	
TQ0&D3&C1 odem Server IPv4 Address	Modem Init String	
odem Server IPv4 Address	ATQ0&D3&C1	
	Modem Server IPv4 Address	
0.0.0.1	10.0.0.1	
odem Client IPv4 Address	Modem Client IPv4 Address	
0.0.0.2	10.0.0.2	

Dominion KX II で使用するに認定済みのモデムについての詳細は、「**認** 定モデム『p. 308』」を参照してください。モデムを介して Dominion KX II に接続する場合の最適なパフォーマンスを確保する設定についての詳 細は、『KVM and Serial Access Clients Guide』の「Creating, Modifying and Deleting Profiles in MPC - Generation 2 Devices」を参照してください。

注: Dominion KX II HTML インタフェースへの直接モデム アクセスはサ ポートされていません。モデムを介して Dominion KX II にアクセスする には、スタンドアロン MPC を使用する必要があります。



日付/時刻の設定

[Date/Time Settings] (日付/時刻の設定) ページを使用して、Dominion KX II の日付と時刻を指定します。これには 2 とおりの方法があります。

- 手動で日付と時刻を設定する。
- 日付と時刻をネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバと同 期する。
- ▶ 日付と時刻を設定するには、以下の手順に従います。
- 1. [Device Settings] (デバイス設定)の [Date/Time] (日付/時刻)を選択 します。[Date/Time Settings] (日付/時刻の設定)ページが開きます。
- [Time Zone] (タイム ゾーン) ドロップダウン リストから適切なタ イム ゾーンを選択します。
- 夏時間用の調整を行うには、[Adjust for daylight savings time] (夏時 間用の調整) チェックボックスをオンにします。
- 4. 日付と時刻の設定で用いる方法を選択します。
 - [User Specified Time] (ユーザによる時刻定義) 日付と時刻を手 動で入力するには、このオプションを選択します。

[User Specified Time] (ユーザによる時刻定義) オプションを選択 した場合は、日付と時刻を入力します。時刻は、hh:mm の形式 を使用します (24 時間制で入力します)。

- [Synchronize with NTP Server] (NTP サーバと同期) 日付と時 刻をネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバと同期する には、このオプションを選択します。
- 5. [Synchronize with NTP Server] (NTP サーバと同期) オプションを選択した場合は、以下の手順に従います。
 - a. [Primary Time server] (プライマリ タイム サーバ) の IP アド レスを入力します。
 - b. [Secondary Time server] (セカンダリ タイム サーバ)の IP ア ドレスを入力します。(オプション)



6. [OK] をクリックします。

SMT 05:00:115 Eastern	144	
Adjust for daylight sa User Specified Time	avings tim e	
Date (Month, Day, Year May Time (Hour, Minute) 10 18	r) , 2008	
) Synchronize with HT Primary Time server	P Server	
Secondary time serve	er	

イベント管理

Dominion KX II イベント管理機能によって、一連の画面から、SNMP マ ネージャ、Syslog、監査ログへのシステム イベントの送信を有効または 無効にできます。これらのイベントはカテゴリ分けされるため、イベン トごとに 1 つまたは複数の宛先に送信するかどうかを指定できます。



[Event Management - Settings] (イベント管理 - 設定)の設定

SNMP の設定

Simple Network Management Protocol (SNMP) は、ネットワーク管理を 制御し、ネットワーク デバイスとその機能を監視するためのプロトコ ルです。Dominion KX II では、イベント管理を通じて SNMP エージェ ントがサポートされます。

- SNMP を設定する (SNMP のログ作成を有効にする) には、以下の 手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Event Management Settings] (イベント管理 - 設定)を選択します。[Event Management -Settings] (イベント管理 - 設定)ページが表示されます。
- [SNMP Logging Enabled] (SNMP ログを有効にする)を選択します。
 これによって残りの SNMP フィールドが有効になります。
- [Name] (名前) フィールドには、Dominion KX II コンソール インタ フェースに表示されているとおりに、SNMP エージェントの名前 (使用しているデバイスの名前) を、[Contact] (連絡先) フィールドに は、そのデバイスに関連する連絡先の名前を、[Location] (所在地) フ ィールドには、Dominion デバイスが物理的に設置されている場所を 入力します。
- [Agent Community String] (エージェント コミュニティの文字列) (デ バイスの文字列) を入力します SNMP コミュニティとは SNMP を 実行しているデバイスと管理ステータスが所属するグループのこと です。情報の送信先を定義するのに役立ちます。コミュニティ名はグ ループを特定するために使用されます。SNMP デバイスまたはエー ジェントは複数の SNMP コミュニティに所属している場合があり ます。
- [Type] (タイプ) ドロップダウン リストを使用して、コミュニティに [Read-Only] (読み取り専用) と [Read/Write] (読み書き可能) のいず れかを指定します。
- [Destination IP/Host Name] (送信先 IP/ホスト名)、[Port #] (ポート番号)、[Community] (コミュニティ) を指定して、最大で 5 つの SNMP マネージャを設定します。
- [Click here to view the Dominion SNMP MIB] (Dominion SNMP MIB を表示するにはここをクリックします) というリンクをクリックし て、SNMP Management Information Base にアクセスします。
- 8. [OK] をクリックします。



- Syslog を設定する (Syslog の送信を有効にする) には、以下の手 順に従います。
- [Enable Syslog Forwarding] (Syslog 送信有効)を選択して、リモート Syslog サーバにデバイス メッセージのログを送信します。
- [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) フィールドに Syslog サーバの IP アドレスを入力します。
- 3. [OK] をクリックします。
- ▶ 工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- [Reset to Defaults] (デフォルトに戻す) をクリックします。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

注: IPv6 アドレスでは、ホスト名が最大 80 文字です。

String String hame Port # Community 152 public
String String Name Port # Community 152 public
String Name Port # Community 162 public
ame Port # Community
name Port # Community 152 public
name Port # Community 162 public
name Port# Community 162 public
name Port # Community 162 public
162 public
162 public
162 public
162 public
162 public
Click here to view the Dominion KX II SNMP MIB
Click here to view the Dominion KX II SNMP MIB
Click here to view the Dominion KX II SNMP MIB



[Event Management - Destinations] (イベント管理 - 送信先)

システム イベントを有効にすると、SNMP 通知イベント (トラップ) を 生成できます。また、システム イベントを Syslog または監査ログにロ グ記録できます。[Event Management - Destinations] (イベント管理 - 送 信先) ページを使用して、追跡するイベントと、その情報の送信先を選択 します。

注: SNMP トラップは、[SNMP Logging Enabled] (SNMP ログを有効に する) オブションが選択されている場合にのみ生成されます。一方、 Syslog イベントは、[Enable Syslog Forwarding] (Syslog 送信有効) オプ ションが選択されている場合にのみ生成されます。これらのオブション は、いずれも [Event Management - Settings] (イベント管理 - 設定) ペ ージで設定します。「[Event Management - Settings] (イベント管理 - 設 定) の設定」を参照してください。

▶ イベントとその送信先を選択するには、以下の手順に従います。

 [Device Settings] (デバイス設定)の [Event Management -Destinations] (イベント管理 - 送信先)を選択します。[Event Management - Destinations] (イベント管理 - 送信先) ページが開き ます。

システム イベントは、デバイス操作、デバイス管理、セキュリティ、 ユーザ アクティビティ、ユーザ グループ管理に分類されます。

2. 有効または無効にする [Event] (イベント) ラインのアイテムと 情報 の送信先のチェックボックスをオンにします。

ヒント: [Category] (カテゴリ) のチェックボックスをそれぞれオンま たはオフにすると、カテゴリ全体を有効または無効に設定できます。



Ch 7: デバイス管理

3. [OK] をクリックします。

		after an		a se a l'anna a she a fha a she	
lote: SMMP traps will only be generated if the "SMMP Logging Enabled" option is checked. Similarly, Syslog events will only be generated if the "E lyslog Forwarding" option is checked. These options can be found on the "Event Management - Settings" page on the Device Settings menu.					
Category	Event	SHMP	Syslog	Audit Log	
Device Operation		N	A	N	
	System Startup	되	4	되	
	System Shutdown	R	ঘ	4	
	Power Supply Status Changed	ঘ	ସ	4	
	Powerstrip Outlet Status Changed	R	N	N	
	Network Parameter Changed	되	4	4	
	Port Status Changed	9	9	R	
	Network Failure			ঘ	
	Ethernet Failover	R	9	R	
Device Management		되	v	4	
	FactoryReset	R	9	R	
C	Begin CC Control	4	4	A	
	End CC Control	9	9	R	
	Device Update Started	되	v	A	
	Device Update Completed	R	N	R	
	Device Update Failed	4	4	A	
	Firmware Update Failed	R	9	R	
	Firmware File Discarded	되	4	ঘ	
	Firmware Validation Failed	R	R	R	
	Configuration Backed Up	A	되.	A	
	Configuration Restored	R	A	R	
	Port Connection Denied	되	5	T	
Security		R	9	R	
	Password Settings Changed	되	v	A	
	Login Failed	R	N	R	
	Password Changed	되	9	되	
	User Blocked		9	R	
User Activity		ম	v	ম	
	Port Connected	R	N	R	
	Port Disconnected	R	4	T	



- ▶ 工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- [Reset to Defaults] (デフォルトに戻す) をクリックします。

警告: UDP 経由の SNMP トラップを使用している場合、Dominion
 KX II を再起動したときに、Dominion KX II と接続先のルータが同調
 できなくなり、SNMP トラップの再起動の完了がログ記録されない可
 能性があります。

SNMP エージェント設定

SNMP に準拠したデバイスはエージェントと呼ばれます。それ自体のデ ータは Management Information Base (MIB) に格納され、デバイスはそ のデータを SNMP マネージャに返します。Dominion KX II (SNMP エー ジェント) と SNMP マネージャとの間の SNMP 接続を設定するには、 イベント ログ ページを使用します。

SNMP トラップ設定

SNMP によって、トラップまたは通知を送信する機能と、1 つ以上の条件が満たされた場合に管理者に忠告する機能が提供されます。Dominion KX II のトラップを次の表に示します。

トラップ名	説明
bladeChassisCommError	このポートに接続されているブレード シャーシ デバイスで通信エラーが検出されました。
	注: KX II-101 ではサポートされていません。
configBackup	デバイス設定はバックアップされました。
configRestore	デバイス設定はリストアされました。
deviceUpdateFailed	デバイスの更新に失敗しました。
deviceUpgradeCompleted	RFP ファイルを使用した Dominion KX II のアッ プデートが完了しました。
deviceUpgradeStarted	RFP ファイルを使用した Dominion KX II のアッ プデートが開始されました。
factoryReset	デバイスが工場出荷時のデフォルトにリセットさ れました。
firmwareFileDiscarded	ファームウェア ファイルが破棄されました。
firmwareUpdateFailed	ファームウェアを更新できませんでした。
firmwareValidationFailed	ファームウェアの検証に失敗しました。


Ch 7: デバイス管理

トラップ名	説明
groupAdded	グループが Dominion KX II システムに追加されま した。
groupDeleted	グループがシステムから削除されました。
groupModified	グループが変更されました。
ipConflictDetected	IP アドレスの競合が検出されました。
ipConflictResolved	IP アドレスの競合が解決されました。
networkFailure	製品の Ethernet インタフェースがネットワーク経 由で通信できなくなりました。
networkParameterChanged	ネットワーク パラメータに変更が加えられまし た。
passwordSettingsChanged	強力なパスワードの設定が変更されました。
portConnect	以前認証されたユーザが KVM セッションを開始 しました。
portConnectionDenied	ターゲット ポートへの接続が拒否されました。
portDisconnect	KVM セッションを実行中のユーザが正常にセッションを終了しました。
portStatusChange	ポートが使用不可能な状態になっています。
powerNotification	電源コンセントの状態の通知です。1: アクティブ、 0: 非アクティブ
powerOutletNotification	電源タップ デバイスのコンセントの状態の通知で す。
rebootCompleted	Dominion KX II の再起動が完了しました。
rebootStarted	システムへの電源の入れ直しまたは OS からのウ ォーム起動により、Dominion KX II は再起動を開始 しました。
securityViolation	セキュリティ違反です。
startCCManagement	デバイスが CommandCenter の管理下におかれました。
stopCCManagement	デバイスが CommandCenter の管理下から除外さ れました。
userAdded	ユーザ アカウントがシステムに追加されました。
userAuthenticationFailure	不正なユーザ名または/およびパスワードでのログ イン試行がありました。



Ch 7: デバイス管理

トラップ名	説明
userConnectionLost	あるユーザのアクティブ セッションが、タイムア ウトにより異常終了しました。
userDeleted	ユーザ アカウントが削除されました。
userForcedLogout	ユーザは管理者によって強制的にログアウトされ ました。
userLogin	ユーザが Dominion KX II へ正常にログインし、認 証されました。
userLogout	ユーザが Dominion KX II から正常にログアウトしました。
userModified	ユーザ アカウントが変更されました。
userPasswordChanged	デバイスのいずれかのユーザのパスワードが変更 されると、このイベントが発生します。
userSessionTimeout	あるユーザのアクティブ セッションが、タイムア ウトにより終了しました。
userUploadedCertificate	ユーザが SSL 証明書をアップロードしました。
vmImageConnected	ユーザが仮想メディアを使用してターゲットにデ バイスまたはイメージのマウントを試みました。デ バイスまたはイメージのマッピング (マウント) が 試行されるたびに、このイベントが生成されます。
vmImageDisconnected	ユーザが仮想メディアを使用してターゲットから デバイスまたはイメージのマウント解除を試みま した。



[Power Supply Setup] (電源設定)

Dominion KX II にはデュアル電源が搭載されており、これらの電源の状態を検出し、通知できます。[Power Supply Setup] (電源設定) ページを使用して、片方の電源を使用しているのか、それとも両方の電源を使用しているのかを指定します。正しく設定することで、電源に障害が発生した場合に Dominion KX II によって適切な通知が送信されます。たとえば、1 番目の電源に障害が発生した場合は、ユニットの正面の電源 LED が赤色に変わります。

- 使用中の電源の自動検出を有効にするには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Power Supply Setup] (電源設定)を選択します。[Power Supply Setup] (電源設定) ページが開きます。



- 電源入力を 1 番目の電源 (ユニット背面の左端の電源) に接続して いる場合は、[PowerIn1 Auto Detect] (PowerIn1 自動検出) チェック ボックスをオンにします。
- 電源入力を 2 番目の電源 (ユニット背面の右端の電源) に接続して いる場合は、[Powerln2 Auto Detect] (Powerln2 自動検出) チェック ボックスをオンにします。
- 4. [OK] (OK) をクリックします。



注: これらのチェックボックスのいずれかをオンにしたにもかかわらず、 電源入力が実際には接続されていない場合は、ユニット前面の電源 LED が赤色で点灯します。

- ▶ 自動検出を無効にするには、以下の手順に従います。
- 該当する電源のチェックボックスをオフにします。
- ▶ 工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- [Reset To Defaults] (デフォルトに戻す) ボタンをクリックします。

注: Dominion KX II では、CommandCenter に対して電源状態の報告を 行いません。ただし、Dominion I (第 1 世代) では、CommandCenter に対して電源状態の報告を行います。



ポートの設定

[Port Configuration] (ポート設定) ページには、Dominion KX II のポート の一覧が表示されます。KVM ターゲット サーバ (ブレード サーバおよ び標準サーバ) または電源タップに接続されているポートは青色で表示 され、編集できます。CIM が接続されていないか、CIM 名が空白になっ ているポートには、デフォルト ポート名「Dominion-KX2_Port#」が割 り当てられます。「Port#」は Dominion KX II の物理ポートの番号を表 します。

▶ ポート設定にアクセスするには、以下の手順に従います。

[Device Settings] (デバイス設定)の [Port Configuration] (ポート設定)を選択します。[Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。

A Port Number	Port Name	Port Type	
4	Dominion-KX2_Port1	Not Available	
2	Dominion-KK2_Port2	Not Available	
3	Dominion-KX2_Port3	Not Available	
4	Dominion-HX2_Port4	Not Available	
5	JLtestPC	DCIM	
6	Dominion-KX2_Port6	Not Available	
7	Dominion-KX2_Port7	Not Available	
8	Dominion-KX2_Port8	Not Available	
9	Local Port	VM	
10	Dominion-KK2_Port10	Not Available	
11	Dominion-KX2_Port11	Not Available	
12	Dominion-KX2_Port12	Not Available	
13	Dominion-KX2_Port13	Not Available	
14	Dominion-KX2_Port14	Not Available	
15	Dominion-KX2_Port15	Not Available	
16	PowerStrip	PowerStrip	

最初このページはポートの番号順に表示されますが、列の見出しをク リックしてフィールドごとに並べ替えられます。

 [Port Number] (ポート番号) - 1 から Dominion KX II デバイスで 使用できるポートの合計数までの番号が振られています。



[Port Name] (ポート名) - ポートに割り当てられている名前です。
 ポート名が黒色で表示されている場合は、名前の変更およびポートの編集はできません。ポートが青色で表示されている場合は、
 編集できます。

注: ポート (CIM) 名にアポストロフィ ("'") を使用することはでき ません。

■ [Port Type] (ポート タイプ)

ポート タイプ	説明
[DCIM] (DCIM)	Dominion CIM
[Not Available] (使用不可)	CIM を接続できません
[PCIM] (PCIM)	Paragon CIM
[PowerStrip] (電源タップ)	Power CIM
[VM] (VM)	仮想メディア CIM (D2CIM-VUSB および D2CIM-DVUSB)
[Blade Chassis] (ブレード シャ ーシ)	ブレード シャーシとそのシャーシに関連 付けられているブレード (階層順に表示)

- 2. 編集するポートの [Port Name] (ポート名) をクリックします。
 - KVM ポートの場合は、[Port] (ポート) ページが開きます。この ページでポートに名前を付け、電源を関連付けられます。
 - 電源タップの場合は、電源タップの [Port] (ポート) ページが開き ます。このページで、電源タップとそのコンセントに名前を付け ます。

標準ターゲット サーバの設定

- ターゲット サーバに名前を付けるには、以下の手順に従います。
- まだすべてのターゲット サーバを接続していない場合は、接続します。装置の接続方法の詳細は、「*手順 3: 装置の接続*『p. 31の"ステップ 3: 装置の接続"参照 』」を参照してください。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Configuration] (ポート設定)を選択します。[Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。
- 名前を変更するターゲット サーバのポート名をクリックします。
 [Port] (ポート) ページが開きます。



- 当該ポートに接続されているサーバを識別するための名前を割り当 てます。名前には最大 32 文字の英数字と特殊文字を使用できます。
- 5. [OK] をクリックします。

電源タップ (ラック PDU) の接続先の設定

KX II では、電源タップ (ラック PDU) を KX II ポートに接続できます。
 KX II の電源タップの設定は、KX II の [Port Configuration] (ポート設定) ページから行います。

電源タップの接続

Raritan PX および RPC シリーズの電源タップは、D2CIM-PWR CIM を 使用して KX II に接続されます。このセクションの図では、例として PX が使用されています。

- 電源タップを接続するには、以下の手順に従います。
- D2CIM-PWR のオス RJ-45 を、電源タップのシリアル ポートのメ ス RJ-45 コネクタに接続します。
- 2. Cat5 ストレート ケーブルを使用して、D2CIM-PWR のメス RJ-45 コネクタを KX II で空いているメスのシステム ポート コネクタの いずれかに接続します。
- 3. AC 電源コードをターゲット サーバと空いている電源タップ コン セントに接続します。
- 4. 電源タップを AC 電源に接続します。





5. デバイスの電源をオンにします。



Ch 7: デバイス管理

KX II での電源タップ名の指定 (電源タップの [Port] (ポート) ページ)

注: PX 電源タップの名前は、PX と KX II で指定できます。

[Port Configuration] (ポート設定) ページでラリタンのリモート電源タッ プに接続しているポートを選択すると、[Port] (ポート) ページが開きます。 [Type] (タイプ) フィールドと [Name] (名前) フィールドには、あらかじ め入力されています。

注: (CIM) [Type] (タイプ) は変更できません。

電源タップの各コンセントに関する次の情報が表示されます。コンセントの [Number] (番号)、[Name] (名前)、[Port Association] (ポートの関連付け)。

このページを使用して、電源タップとそのコンセントに名前を付けます。 すべての名前には最大 32 文字の英数字が使用でき、特殊文字を含める ことができます。

注: 電源タップがターゲット サーバ (ポート) に関連付けられると、コ ンセント名はターゲット サーバ名に置き換えられます (コンセントに別 の名前を割り当てている場合も同様です)。

 電源タップ(およびコンセント)に名前を付けるには、以下の手順に 従います。

注: CommandCenter Service Gateway では、スペースを含む電源タッ プ名を認識できません。

- 1. 電源タップの名前を入力します (必要な場合)。
- 必要に応じて、([コンセント]) [Name] (名前) を変更します (デフォルトのコンセント名は、「outlet #」です)。



3. [OK] をクリックします。

DowerStrip		
Name:		
PowerStr	ip-PCR8	
Outlets		
Number	Name	Port Association
1	Dominion-Port1(1)	Dominion-Port7
2	Outlet 2	
3	Outlet 3	
4	Outlet 4	
5	Outlet 5	
6	Outlet 6	
7	Outlet 7	
	[]	



KX II でのコンセントとターゲット サーバの関連付け

[Port Configuration] (ポート設定) ページでポートをクリックすると、 [Port] (ポート) ページが開きます。このページで電源の関連付けを行えま す。ポートの名前を入力しやすい名前に変更し、D2CIM-VUSB CIM を使 用している場合はターゲット サーバの設定を更新します。(CIM) [タイプ] および [名前] フィールドはあらかじめ指定されています。CIM タイプは 変更できないことに注意してください。

サーバには最大で 4 つの電源プラグを接続でき、それぞれに別の電源タ ップを関連付けられます。このページでそれらの関連付けを定義して、 [Port Access] (ポート アクセス) ページからサーバの電源オン、電源オフ、 電源オン・オフを行えます。

この機能を使用するには、次のアイテムが必要です。

- ラリタンのリモート 電源タップ
- Power CIM (D2CIM-PWR)
- 電源の関連付けを行う(電源タップ コンセントを KVM ターゲット サーバに関連付ける)には、以下の手順に従います。

注: 電源タップがターゲット サーバ (ポート) に関連付けられると、コ ンセント名はターゲット サーバ名に置き換えられます (コンセントに別 の名前を割り当てている場合も同様です)。

- [Power Strip Name] (電源タップ名) ドロップダウン リストから電源 タップを選択します。
- 2. その電源タップに対して、[Outlet Name] (コンセント名) ドロップダ ウン リストからコンセントを選択します。
- 3. 該当するすべての電源の関連付けで、手順 1 および 2 を繰り返し ます。
- 4. [OK] をクリックします。確認メッセージが表示されます。

ポート名を変更するには、以下の手順に従います。

- わかりやすい名前を [Name] (名前) フィールドに入力します。候補 としてはターゲット サーバ名が挙げられます。名前には最大 32 文 字の英数字が使用でき、特殊文字を含めることができます。
- 2. [OK] をクリックします。



電源の関連付けの削除

ターゲット サーバまたは電源タップを KX II から取り外す場合は、まず すべての電源の関連付けを削除する必要があります。ターゲットが電源 タップに関連付けられたままでターゲットを KX II から取り外した場合、 電源の関連付けは残ります。この場合、電源の関連付けを適切に削除す るために [Device Settings] (デバイス設定) で切断されたターゲット サ ーバの [Port Configuration] (ポート設定) にアクセスすることはできま せん。

- ▶ 電源タップの関連付けを削除するには、以下の手順に従います。
- 1. [Power Strip Name] (電源タップ名) ドロップダウン リストから該当 する電源タップを選択します。
- 2. その電源タップに対して、[Outlet Name] (コンセント名) ドロップダ ウン リストから該当するコンセントを選択します。
- [Outlet Name] (コンセント名) ドロップダウン リストから、[None] (設定なし)を選択します。
- 4. [OK] をクリックします。その電源タップ/コンセントの関連付けが削除され、確認メッセージが表示されます。
- 電源タップがターゲットから削除されている場合に電源タップの関連付けを削除するには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Configuration] (ポート設定) をクリックし、アクティブなターゲットをクリックします。
- アクティブなターゲットを、切断された電源ポートに関連付けます。
 これで、切断されたターゲットの電源の関連付けが破棄されます。
- 最後に、アクティブなターゲットを、正しい電源ポートに関連付けます。

ower Strip Name	Outlet Name
Dominion-KX2_Port16 💌	None
Vone 💌	💌
Vone 💌	💌
OK Cancel	



ブレード シャーシの設定

標準のサーバと電源タップに加えて、Dominion KX II では、Dominion KX II ポートに接続されているブレード シャーシを制御することができます。Dominion KX II を通じて、一定時間に最大 8 台のブレード シャーシを管理できます。

標準のサーバと同じように、ブレード シャーシは、接続されると Dominion KX II によって自動検出されます。ブレード サーバ シャーシ が Dominion KX II によって検出された場合は、デフォルト名が関連付け られ、それが [Port Access] (ポート アクセス) ページに、標準ターゲッ ト サーバおよび電源タップとともに表示されます (「[Port Access] (ポ ート アクセス) ページ 『p. 49』」を参照してください)。ブレード サ ーバは、[Port Access] (ポート アクセス) ページ上の展開可能な階層リス トに表示されます。階層のルートはブレード シャーシで、個別のブレー ドはルートの下にラベルが付けられて表示されます。

注: ブレード シャーシを階層順に表示するには、ブレード サーバ シャ ーシにブレード シャーシのサブタイプを設定する必要があります。

HP ブレード シャーシを除く、汎用、IBM、および Dell のブレード シ ャーシは、[Port Access] (ポート アクセス) ページで設定されます。ブレ ード シャーシに接続されるポートは、ブレード シャーシ モデルで設定 されている必要があります。ブレード サーバに設定できる特定の情報は、 使用しているブレード サーバのブランドによって異なります。サポート されているこれらの各ブレード シャーシ固有の情報は、このセクション のヘルプにある対応するトピックを参照してください。

次のブレード シャーシがサポートされています。

- IBM BladeCenter モデル E および H
- Dell PowerEdge 1855、1955、および M1000e

[Generic] (汎用) オプションでは、上のリストに含まれていないブレード シャーシを設定できます。HP BladeSystem c3000 および c7000 は、 Dominion KX II から各ブレードへの個別の接続を介してサポートされま す。ポートは、ポート グループ管理機能を使用して、シャーシにまとめ てグループ化されます。

注: Dell PowerEdge 1855/1955 ブレードも、各個別ブレードから Dominion KX II 上のポートに接続できます。この方法で接続した場合、 それらをグループ化してブレード サーバ グループを作成できます。

ブレード シャーシでは、手動設定と自動検出の 2 つの操作モードがあ り、ブレード シャーシの機能によって決まります。ブレード シャーシ が自動検出で設定される場合、Dominion KX II は、以下を追跡および更 新します。



- 新しいブレード サーバがいつシャーシに追加されるか。
- 既存のブレード サーバがいつシャーシから削除されるか。

注: IBM Blade Center モデル E および H を使用する場合、Dominion KX II では、プライマリ管理モジュールとして AMM[1] の自動検出のみ サポートされます。

Dominion KX II では、ホット キー シーケンスを使用してブレード シャ ーシへの KVM アクセスを切り替えることもできます。ユーザがホット キー シーケンスを選択できるブレード シャーシの場合、これらのオプ ションは、[Port Configuration] (ポート設定) ページにあります。ホット キー シーケンスがあらかじめ定義されているブレード シャーシの場合、 これらのシーケンスは、ブレード シャーシが選択されると [Port Configuration] (ポート設定) ページに自動的に入力されます。たとえば、 IBM BladeCenter H に対する KVM を切り替えるためのデフォルト ホ ットキー シーケンスは、NumLock+NumLock+SlotNumber なので、設 定中に IBM BladeCenter H が選択されたときに、このホットキー シー ケンスがデフォルトで適用されます。ホットキー シーケンスについての 詳細は、ブレード シャーシのマニュアルを参照してください。

ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフェースがある場合は、それ に対する接続を設定できます。シャーシ レベルでは、最大 4 つのリン クを定義できます。1 つ目のリンクは、ブレード シャーシ管理モジュー ル GUI への接続用に予約されています。たとえば、このリンクは、テク ニカル サポートがシャーシ設定をすばやく検証する場合に使用される ことがあります。

ブレード シャーシは、Dominion KX II Virtual KVM Client (VKC)、ラリ タンの Multi-Platform Client (MPC)、および CC-SG から管理できます 。VKC および MPC を介したブレード サーバの管理は、標準ターゲッ ト サーバの管理と同じです。詳細は、「*ターゲット サーバの使用*『p. 44』」および『CC-SG 管理者ガイド』を参照してください。Dominion KX II のブレード シャーシ設定に対する変更は、これらのクライアント ア プリケーションに反映されます。

重要: ブレード シャーシを Dominion KX II に CIM 接続することによ って、電源がオフになったり Dominion KX II から切断されたりした場 合、ブレード シャーシに対して確立されているすべての接続が切断され ます。CIM が再接続されるか電源オンにした場合は、接続を再確立する 必要があります。



ブレード シャーシをある KX II ポートから別の KX II ポートに移動す ると、CC-SG では、CC-SG でブレード シャーシ ノードに追加された インタフェースが失われます。その他のすべての情報は保持されます。

Blade Chassis Blade Chassis Blade Chassis Blade Chassis Sis Port Configuration s Model ence SlotNumber V Ile Primary IP Address/Host Nar very Chassis Now	Maximum Hu 16 me Password	mber of Slots (2-16)	Port lumber 22
assis Port Configuration is Model vence + SlotNumber v ule Primary IP Address/Host Nar very Chassis Now	Maximum Hu 16 me Password	mber of Slots (2-16)	Port lumber
assis Port Configuration s Model rence SlotNumber Ile Primary IP Address/Host Nar very Chassis Now	Maximum Hu 16 me Password	mber of Slots (2-16)	Port lumber
assis Port Configuration s Model rence SlotNumber Ile Primary IP Address/Host Nar very Chassis Now	Maximum Hu 16 me Password	mber of Slots (2-16)	Port lumber
s Model ence SlotNumber Ile Primary IP Address/Host Nar very Chassis Now	Maximum Hu 16 me Password	mber of Slots (2-16)	Port Iumben
very Chassis Now	Maximum Hu 16 me Password	mber of Slots (2-16)	Port Ilumber
ence + SlotNumber Ile Primary IP Address/Host Nar very Chassis Now	Maximum IIu 16 me Password	mber of Slots (2-16)	Port Ilumbén
Very	16 me Password		Port Humber
ule Primary IP Address/Host Nar	Password		Port Humber
very Chassis Now	Password		22
very Chassis How	Password		
very Chassis How			
very Chassis How			
very Chassis How			
Chassis Now			
Chassis Now			
			4
			4
	Colort All	Decelect All	
	Select All	Deselect All	
	Installa	l Slot 2	
ot1 To Local Port		Blade Chassis Bort1 Slot2	
		Slot 4	
sis Port1 Slot3		Blade Chassis Port1 Slot4	
50 <u>-</u> , 6111 <u>-</u> 51515		Slot 6	
sis Port1 Slot5		Blade Chassis Port1 Slot6	
sis Port1 Slot7		Blade Chassis Port1 Slot8	
		Slot 10	
sis_Port1_Slot9		Blade_Chassis_Port1_Slot10	1
2001-00-077-00-069		Slot 12	
sie Dort1 Slot11		Blade_Chassis_Port1_Slot12	4
SIS_FULL_SIULT			
sis_Fort1_slot11		Slot 14	1
sis_Port1_Slot13		Slot 14 Blade_Chassis_Port1_Slot14	
sis_Port1_Slot13		Slot 14 Blade_Chassis_Port1_Slot14 Slot 16	
	Slat1_To_Local_Port sis_Port1_Slat3 sis_Port1_Slat5 sis_Port1_Slat7 sis_Port1_Slat9	Select All	Select All Deselect All Installed Slot 2 Slot1_To_Local_Port Blade_Chassis_Port1_Slot2 sisis_Port1_Slot3 Blade_Chassis_Port1_Slot4 Slot 6 Blade_Chassis_Port1_Slot6 Slot 8 Slot 8 sisis_Port1_Slot7 Blade_Chassis_Port1_Slot8 Slot 10 Blade_Chassis_Port1_Slot7



汎用ブレード シャーシの設定

[Generic] (汎用) ブレード シャーシを選択した場合の操作モードは、手動設定モードだけです。ブレード シャーシを設定する際の重要な情報お よび追加情報については、「サポートされているブレード シャーシ モ デル『p. 203』」、「ブレード シャーシでサポートされている CIM『p. 203』」、および「ブレード シャーシの必須および推奨設定 『p. 206』 」を参照してください。

- ブレード シャーシを Dominion KX II に接続します。詳細は、「 *順 3: 装置の接続* 『p. 31の"ステップ 3: 装置の接続"参照 』」を参 照してください。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Settings] (ポート設定) を クリックし、[Port Settings] (ポート設定) ページを開きます。
- [Port Settings] (ポート設定) ページで、設定するブレード シャーシの名前をクリックします。[Port] (ポート) ページが開きます。
- [Blade Chassis] (ブレード シャーシ) ラジオ ボタンを選択します。 ページに、ブレード シャーシの設定に必要なフィールドが表示され ます。
- [Blade Server Chassis Model] (ブレード サーバ シャーシ モデル) ドロップダウン リストから [Generic] (汎用) を選択します。
- 6. ブレード シャーシを適切に設定します。
 - a. [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス)-KVM からブレード シャーシへの切り替えに使用されるホット キー シーケンスを定義します (Switch Hot Key Sequence] (切り 替えホットキー シーケンス) は、ブレード シャーシの KVM モ ジュールで使用されるシーケンスと同じにする必要があります。
 - b. [Administrative Module Primary IP Address/Host Name] (管理モジュールのプライマリ IP アドレス/ホスト名) 適用されません。
 - c. [Maximum Number of Slots] (最大スロット数) ブレード シャ ーシで使用できるデフォルトの最大スロット数を入力します。
 - d. [Port Number] (ポート番号) ブレード シャーシのデフォルトの
 ポート番号は 22 です。 適用されません。
 - e. [User Name] (ユーザ名) 適用されません。
 - f. [Password] (パスワード) 適用されません。
- 7. 必要に応じてブレード シャーシ名を変更します。



- ブレードがインストールされる各スロットの横の [Installed] (インス トール済み) チェックボックスをオンにして、ブレード シャーシに インストールされているブレードを指定します。または、[Select All] (すべて選択) チェックボックスをオンにします。必要な場合は、ブ レード サーバ名を変更します。
- 9. ページの [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理 リンク) セクションで、ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフ ェースを使用できる場合にそのインタフェースへの接続を設定でき ます。[Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リン
 ク) アイコン ▶ Blade Chassis Managed Links をクリックして、ペ ージのセクションを展開します。

最初の URL リンクは、通常、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続に使用されます。

注: ページ内のこのセクションに入力した URL リンクへのアクセ スは、ブレード シャーシ ポート権限によって制御されます。

- a. [Active] (アクティブ)- 設定されたリンクをアクティブにするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。リンクを非アクティブにしておくには、チェックボックスをオフのままにします。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしていない場合でも、リンクフィールドへの情報の入力と保存はできます。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしている場合は、URLフィールドは必須です。ユーザ名、パスワード、ユーザ名フィールドおよびパスワードフィールドは、シングルサインオンを使用するかどうかに応じて、オプションになります。
- b. [URL] (URL) インタフェースへの URL を入力します。 必須
- c. [Username] (ユーザ名) インタフェースへのアクセスに使用さ れるユーザ名を入力します。 (オプション)
- d. [Password] (パスワード) インタフェースへのアクセスに使用 されるパスワードを入力します。(オプション)

注: $DRAC \cdot ILO \cdot および RSA Web アプリケーションの場合は、ユ$ ーザ名とパスワードのフィールドを空白のまましないと、接続が失敗します。



 e. [Username Field] (ユーザ名フィールド) および [Password Field] (パスワード フィールド) は、いずれもオプションで、ユ ーザ名とパスワードの入力に関連付けられることが想定された ラベルが含まれています。Web アプリケーションのログイン画 面で使用されるユーザ名フィールドおよびパスワード フィール ドのフィールド名を入力する必要があるのはこれらのフィール ドです。ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、フィールドの名前を探すことができます。Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒントは、「Web ブラ ウザ インタフェースの追加に関するヒント 『p. 198』」を参照 してください。(オプション)

10. USB プロファイル情報は汎用設定には適用されません。

11. [OK] をクリックして設定を保存します。

Dell® ブレード シャーシの設定

ブレード シャーシを設定する際の重要な情報および追加情報について は、「サポートされているブレード シャーシ モデル『p. 203』」、「ブ レード シャーシでサポートされている CIM 『p. 203』」、および「ブ レード シャーシの必須および推奨設定『p. 206』」を参照してください。 Dell シャーシで Dominion KX II を使用する場合のケーブルの長さとビ デオ解像度の詳細は、「Dell シャーシのケーブルの長さとビデオ解像度 『p. 335の"Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面解像度"参照 』」 を参照してください。

- ブレード シャーシを Dominion KX II に接続します。詳細は、「*手 順 3: 装置の接続* 『p. 31の"ステップ 3: 装置の接続"参照 』」を参照してください。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Settings] (ポート設定) を クリックし、[Port Settings] (ポート設定) ページを開きます。
- [Port Settings] (ポート設定) ページで、設定するブレード シャーシの名前をクリックします。[Port] (ポート) ページが開きます。
- [Blade Chassis] (ブレード シャーシ) ラジオ ボタンを選択します。
 ページに、ブレード シャーシの設定に必要なフィールドが表示されます。
- [Blade Server Chassis Model] (ブレード サーバ シャーシ モデル) ドロップダウン リストから Dell ブレード シャーシ モデルを選択 します。



- Dell PowerEdge M1000e を設定するには、以下の手順に従います。
- [Dell PowerEdge M1000e] (Dell PowerEdge M1000e) を選択した場合は、自動検出を使用できます。ブレード シャーシを適切に設定します。自動検出できるブレード シャーシを設定する前に、指定されたポート番号で SSH 接続を有効に設定する必要があります (「[Device Services] (デバイス サービス) 『p. 158』」を参照してください)。また、対応する認証証明書を持つユーザ アカウントを、ブレード シャーシであらかじめ作成しておく必要があります。
 - a. [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス)-KVM からブレード サーバへの切り替えに使用されるホットキ ー シーケンスを選択します。 [Switch Hot Key Sequence] (切り 替えホットキー シーケンス) は、ブレード シャーシの KVM モ ジュールで使用されるシーケンスと同じにする必要があります。
 - b. [Maximum Number of Slots] (最大スロット数) ブレード シャ ーシで使用できるデフォルトの最大スロット数は、自動的に入力 されます。
 - c. [Administrative Module Primary IP Address/Host Name] (管理モジュールのプライマリ IP アドレス/ホスト名) ブレードシャーシのプライマリ IP アドレスを入力します。 自動検出モードでは必須です。
 - d. [Port Number] (ポート番号) ブレード シャーシのデフォルトの ポート番号は 22 です。必要に応じて、ポート番号を変更します。
 自動検出モードでは必須です。
 - e. [Username] (ユーザ名) ブレード シャーシへのアクセスに使用 されるユーザ名を入力します。 自動検出モードでは必須です。
 - f. [Password] (パスワード) ブレード シャーシへのアクセスに使用されるパスワードを入力します。 自動検出モードでは必須です。
- Dominion KX II でシャーシ ブレードを自動検出する場合は、[Blade Auto-Discovery] (ブレードの自動検出) チェックボックスをオンにし、 [Discover Blades on Chassis Now] (ブレード シャーシを今すぐ検 出) ボタンをクリックします。ブレードが検出されると、それがペー ジに表示されます。
- 必要に応じてブレード シャーシ名を変更します。シャーシに既に名前が付けられている場合は、その情報がこのフィールドに自動的に表示されます。まだ名前が付いていない場合は、Dominion KX II によってシャーシに名前が割り当てられます。Dominion KX II では、ブレード シャーシにデフォルトで「Blade_Chassis_Port#」という名前が付けられます。



- 手動モードで操作する場合は、ブレードがインストールされる各スロットの横の [Installed] (インストール済み) チェックボックスをオンにして、ブレード シャーシにインストールされているブレードを指定します。または、[Select All] (すべて選択) チェックボックスをオンにします。必要な場合は、ブレード サーバ名を変更します。
 自動検出モードで操作する場合は、[Installed] (インストール済み) チェックボックスに、検出中にブレードを含んでいたスロットが表示されます。
- ページの [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理 リンク) セクションで、ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフ ェースを使用できる場合にそのインタフェースへの接続を設定でき ます。[Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リン

ク) アイコン [▶] Blade Chassis Managed Links をクリックして、ペ ージのセクションを展開します。

最初の URL リンクは、通常、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続に使用されます。

注: ページ内のこのセクションに入力した URL リンクへのアクセ スは、ブレード シャーシ ポート権限によって制御されます。

- a. [Active] (アクティブ) 設定されたリンクをアクティブにするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。リンクを非アクティブにしておくには、チェックボックスをオフのままにします。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしていない場合でも、リンクフィールドへの情報の入力と保存はできます。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしている場合は、URLフィールドは必須です。ユーザ名、パスワード、ユーザ名フィールドおよびパスワードフィールドは、シングルサインオンを使用するかどうかに応じて、オプションになります。
- b. [URL] (URL) インタフェースへの URL を入力します。 Dell M1000e のサンプル設定の詳細は、「ブレード シャーシのサン プル URL フォーマット 『p. 209』」を参照してください。
- c. [Username] (ユーザ名) インタフェースへのアクセスに使用さ れるユーザ名を入力します。
- d. [Password] (パスワード) インタフェースへのアクセスに使用 されるパスワードを入力します。

注: DRAC、ILO、および RSA Web アプリケーションの場合は、ユ ーザ名とパスワードのフィールドを空白のまましないと、接続が失敗 します。



- e. [Username Field] (ユーザ名フィールド) および [Password Field] (パスワード フィールド) は、いずれもオプションで、ユーザ名とパスワードの入力に関連付けられることが想定された ラベルが含まれています。Web アプリケーションのログイン画 面で使用されるユーザ名フィールドおよびパスワード フィール ドのフィールド名を入力する必要があるのはこれらのフィール ドです。ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、フィールドの名前を探すことができます。Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒントは、「Web ブラ ウザ インタフェースの追加に関するヒント 『p. 198』」を参照 してください。
- 6. USB プロファイルは Dell シャーシには適用されません。
- 7. [OK] をクリックして設定を保存します。
- Dell PowerEdge 1855/1955 を設定するには、以下の手順に従います。
- [Dell 1855/1955] (Dell 1855/1955) を選択した場合は、自動検出は使 用できません。ブレード シャーシを適切に設定します。
 - a. [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス)-KVM からブレード サーバへの切り替えに使用されるホットキ ー シーケンスを選択します。
 - b. [Maximum Number of Slots] (最大スロット数) ブレード シャ ーシで使用できるデフォルトの最大スロット数は、自動的に入力 されます。
 - c. [Administrative Module Primary IP Address/Host Name] (管理モ ジュールのプライマリ IP アドレス/ホスト名) - 適用されません
 - d. [Port Number] (ポート番号) ブレード シャーシのデフォルトの ポート番号は 22 です。 適用されません。
 - e. [User Name] (ユーザ名) 適用されません。
 - f. [Password] (パスワード) 適用されません。
- 2. 必要に応じてブレード シャーシ名を変更します。
- ブレードがインストールされる各スロットの横の [Installed] (インス トール済み) チェックボックスをオンにして、ブレード シャーシに インストールされているブレードを指定します。または、[Select All] (すべて選択) チェックボックスをオンにします。必要な場合は、ブ レード サーバ名を変更します。



 ページの [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理 リンク) セクションで、ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフ ェースを使用できる場合にそのインタフェースへの接続を設定でき ます。[Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リン
 ク) アイコン ▶ Blade Chassis Managed Links をクリックして、ペ ージのセクションを展開します。

最初の URL リンクは、通常、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続に使用されます。

注: ページ内のこのセクションに入力した URL リンクへのアクセ スは、ブレード シャーシ ポート権限によって制御されます。

- a. [Active] (アクティブ) 設定されたリンクをアクティブにするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。リンクを非アクティブにしておくには、チェックボックスをオフのままにします。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしていない場合でも、リンクフィールドへの情報の入力と保存はできます。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしている場合は、URLフィールドは必須です。ユーザ名、パスワード、ユーザ名フィールドおよびパスワードフィールドは、シングルサインオンを使用するかどうかに応じて、オプションになります。
- b. [URL] (URL) インタフェースへの URL を入力します。 Dell PowerEdge 1855/1955 のサンプル設定の詳細は、「ブレード シ ャーシのサンプル URL フォーマット 『p. 209』」を参照して ください。
- c. [Username] (ユーザ名) インタフェースへのアクセスに使用さ れるユーザ名を入力します。
- d. [Password] (パスワード) インタフェースへのアクセスに使用 されるパスワードを入力します。

注: $DRAC \cdot ILO \cdot および RSA Web アプリケーションの場合は、ユ$ ーザ名とパスワードのフィールドを空白のまましないと、接続が失敗します。



- e. [Username Field] (ユーザ名フィールド) および [Password Field] (パスワード フィールド) は、いずれもオプションで、ユ ーザ名とパスワードの入力に関連付けられることが想定された ラベルが含まれています。Web アプリケーションのログイン画 面で使用されるユーザ名フィールドおよびパスワード フィール ドのフィールド名を入力する必要があるのはこれらのフィール ドです。ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、フィールドの名前を探すことができます。Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒントは、「Web ブラ ウザ インタフェースの追加に関するヒント 『p. 198』」を参照 してください。
- 5. USB プロファイルは Dell シャーシには適用されません。
- 6. [OK] をクリックして設定を保存します。

IBM® ブレード シャーシの設定

ブレード シャーシを設定する際の重要な情報および追加情報については、 「サポートされているブレード シャーシ モデル 『p. 203』」、「ブレー ド シャーシでサポートされている CIM 『p. 203』」、および「ブレード シャーシの必須および推奨設定 『p. 206』」を参照してください。

- ブレード シャーシを Dominion KX II に接続します。詳細は、「 *順 3: 装置の接続* 『p. 31の"ステップ 3: 装置の接続"参照 』」を参 照してください。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Settings] (ポート設定) を クリックし、[Port Settings] (ポート設定) ページを開きます。
- [Port Settings] (ポート設定) ページで、設定するブレード シャーシの名前をクリックします。[Port] (ポート) ページが開きます。
- [Blade Chassis] (ブレード シャーシ) ラジオ ボタンを選択します。
 ページに、ブレード シャーシの設定に必要なフィールドが表示されます。
- [Blade Server Chassis Model] (ブレード サーバ シャーシ モデル) ドロップダウン リストから IBM ブレード シャーシ モデルを選択 します。



- IBM BladeCenter H および E を設定するには、以下の手順に従います。
- IBM BladeCenter H または E を選択した場合は、自動検出を使用で きます。ブレード シャーシを適切に設定します。自動検出できるブ レード シャーシを設定する前に、指定されたポート番号で SSH 接 続を有効に設定する必要があります (「[Device Services] (デバイス サービス) 『p. 158』」を参照してください)。また、対応する認証証 明書を持つユーザ アカウントを、ブレード シャーシであらかじめ作 成しておく必要があります。 Dominion KX II では、AMM[1] の自動 検出のみサポートされます。
 - a. [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス) 定義済みです。
 - b. [Maximum Number of Slots] (最大スロット数) ブレード シャ ーシで使用できるデフォルトの最大スロット数は、自動的に入力 されます。
 - c. [Administrative Module Primary IP Address/Host Name] (管理モジュールのプライマリ IP アドレス/ホスト名) ブレードシャーシのプライマリ IP アドレスを入力します。 自動検出モードでは必須です。
 - d. [Port Number] (ポート番号) ブレード シャーシのデフォルトの ポート番号は 22 です。必要に応じて、ポート番号を変更します。
 自動検出モードでは必須です。
 - e. [Username] (ユーザ名) ブレード シャーシへのアクセスに使用 されるユーザ名を入力します。 自動検出モードでは必須です。
 - f. [Password] (パスワード) ブレード シャーシへのアクセスに使用されるパスワードを入力します。 自動検出モードでは必須です。
- Dominion KX II でシャーシ ブレードを自動検出する場合は、[Blade Auto-Discovery] (ブレードの自動検出) チェックボックスをオンにし、 [Discover Blades on Chassis Now] (ブレード シャーシを今すぐ検 出) ボタンをクリックします。ブレードが検出されると、それがペー ジに表示されます。
- 必要に応じてブレード シャーシ名を変更します。シャーシに既に名前が付けられている場合は、その情報がこのフィールドに自動的に表示されます。まだ名前が付いていない場合は、Dominion KX II によってシャーシに名前が割り当てられます。Dominion KX II では、ブレード シャーシにデフォルトで「Blade_Chassis_Port#」という名前が付けられます。



 手動モードで操作する場合は、ブレードがインストールされる各スロットの横の [Installed] (インストール済み) チェックボックスをオンにして、ブレード シャーシにインストールされているブレードを指定します。または、[Select All] (すべて選択) チェックボックスをオンにします。必要な場合は、ブレード サーバ名を変更します。 自動検出モードで操作する場合は、「Installed] (インストール済み) チ

エックボックスに、検出中にブレードを含んでいたスロットが表示されます。

 5. ページの [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理 リンク) セクションで、ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフ ェースを使用できる場合にそのインタフェースへの接続を設定でき ます。[Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リン
 ク) アイコン ▶ Blade Chassis Managed Links をクリックして、ペ ージのセクションを展開します。

最初の URL リンクは、通常、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続に使用されます。

注: ページ内のこのセクションに入力した URL リンクへのアクセ スは、ブレード シャーシ ポート権限によって制御されます。

- a. [Active] (アクティブ) 設定されたリンクをアクティブにするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。リンクを非アクティブにしておくには、チェックボックスをオフのままにします。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしていない場合でも、リンクフィールドへの情報の入力と保存はできます。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしている場合は、URLフィールドは必須です。ユーザ名、パスワード、ユーザ名フィールドおよびパスワードフィールドは、シングルサインオンを使用するかどうかに応じて、オプションになります。
- b. [URL] (URL) インタフェースへの URL を入力します。 IBM BladeCenter のサンプル設定の詳細は、「ブレード シャーシの サンプル URL フォーマット 『p. 209』」を参照してください。
- c. [Username] (ユーザ名) インタフェースへのアクセスに使用さ れるユーザ名を入力します。
- d. [Password] (パスワード) インタフェースへのアクセスに使用 されるパスワードを入力します。

注: DRAC、ILO、および RSA Web アプリケーションの場合は、ユ ーザ名とパスワードのフィールドを空白のまましないと、接続が失敗 します。



- e. [Username Field] (ユーザ名フィールド) および [Password Field] (パスワード フィールド) は、いずれもオプションで、ユーザ名とパスワードの入力に関連付けられることが想定された ラベルが含まれています。Web アプリケーションのログイン画 面で使用されるユーザ名フィールドおよびパスワード フィール ドのフィールド名を入力する必要があるのはこれらのフィール ドです。ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、フィールドの名前を探すことができます。Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒントは、「Web ブラ ウザ インタフェースの追加に関するヒント 『p. 198』」を参照 してください。
- 6. 適用できる場合は、ブレード シャーシの USB プロファイルを定義 するか、既存の USB プロファイルを選択します。[Select USB Profiles for Port] (ポートの USB プロファイルを選択) アイコン
 ▶ Select USB Profiles for Port または [Apply Select Profiles to Other Ports] (選択したプロファイルを他のポートに適用) アイコン
 ▶ Apply Selected Profiles to Other Ports のこのセクションを展開します。「USB プロファイルの設定 ([Port] (ポート) ページ) 『p. 210』」を参照してください。
- 7. [OK] をクリックして設定を保存します。
- IBM BladeCenter (その他)を設定するには、以下の手順に従います。
- [IBM BladeCenter (Other)] (IBM BladeCenter (Other) を選択した場合は、自動検出は使用できません。ブレード シャーシを適切に設定します。
 - a. [Switch Hot Key Sequence] (切り替えホットキー シーケンス)-KVM からブレード サーバへの切り替えに使用されるホットキ ー シーケンスを選択します。
 - b. [Administrative Module Primary IP Address/Host Name] (管理モジュールのプライマリ IP アドレス/ホスト名) ブレードシャーシのプライマリ IP アドレスを入力します。適用されません
 - c. [Maximum Number of Slots] (最大スロット数) ブレード シャ ーシで使用できるデフォルトの最大スロット数を入力します。
 - d. [Port Number] (ポート番号) ブレード シャーシのデフォルトの
 ポート番号は 22 です。 適用されません。
 - e. [User Name] (ユーザ名) 適用されません。
 - f. [Password] (パスワード) 適用されません。
- 2. 必要に応じてブレード シャーシ名を変更します。



- ブレードがインストールされる各スロットの横の [Installed] (インス トール済み) チェックボックスをオンにして、ブレード シャーシに インストールされているブレードを指定します。または、[Select All] (すべて選択) チェックボックスをオンにします。必要な場合は、ブ レード サーバ名を変更します。まだ名前が付いていない場合は、 Dominion KX II によってブレード サーバに名前が割り当てられま す。ブレード サーバにはデフォルトで「# Blade Chassis Port# Slot#」という名前が付けられます。
- ページの [Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理 リンク) セクションで、ブレード シャーシ Web ブラウザ インタフ ェースを使用できる場合にそのインタフェースへの接続を設定でき ます。[Blade Chassis Managed Links] (ブレード シャーシ管理リン

ク) アイコン [▶] Blade Chassis Managed Links をクリックして、ペ ージのセクションを展開します。

最初の URL リンクは、通常、ブレード シャーシ管理モジュール GUI への接続に使用されます。

注: ページ内のこのセクションに入力した URL リンクへのアクセ スは、ブレード シャーシ ポート権限によって制御されます。

- a. [Active] (アクティブ) 設定されたリンクをアクティブにするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。リンクを非アクティブにしておくには、チェックボックスをオフのままにします。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしていない場合でも、リンクフィールドへの情報の入力と保存はできます。[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにしている場合は、URLフィールドは必須です。ユーザ名、パスワード、ユーザ名フィールドおよびパスワードフィールドは、シングルサインオンを使用するかどうかに応じて、オプションになります。
- b. [URL] (URL) インタフェースへの URL を入力します。 IBM
 BladeCenter のサンプル設定の詳細は、「ブレード シャーシのサンプル URL フォーマット 『p. 209』」を参照してください。
- c. [Username] (ユーザ名) インタフェースへのアクセスに使用さ れるユーザ名を入力します。
- d. [Password] (パスワード) インタフェースへのアクセスに使用 されるパスワードを入力します。

注: DRAC、ILO、および RSA Web アプリケーションの場合は、ユ ーザ名とパスワードのフィールドを空白のまましないと、接続が失敗 します。



- e. [Username Field] (ユーザ名フィールド) および [Password Field] (パスワード フィールド) は、いずれもオプションで、ユ ーザ名とパスワードの入力に関連付けられることが想定された ラベルが含まれています。Web アプリケーションのログイン画 面で使用されるユーザ名フィールドおよびパスワード フィール ドのフィールド名を入力する必要があるのはこれらのフィール ドです。ログイン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、フィールドの名前を探すことができます。Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒントは、「Web ブラ ウザ インタフェースの追加に関するヒント 『p. 198』」を参照 してください。
- 5. USB プロファイルは [IBM (Other)] (IBM (その他)) 設定では使用さ れません。
- 6. [OK] をクリックして設定を保存します。

Web ブラウザ インタフェースの追加に関するヒント

Web ブラウザ インタフェースを追加して、埋め込み Web サーバを持 つデバイスとの接続を作成できます。Web ブラウザ インタフェースは、 RSA、DRAC、または ILO Processor カードに関連付けられている Web アプリケーションなどの任意の Web アプリケーションへの接続にも使 用できます。

DNS を設定しておく必要があります。そうしないと、URL が解決され ません。IP アドレスの場合は DNS を設定する必要はありません。

- Web ブラウザ インタフェースを追加するには、以下の手順に従い ます。
- Web ブラウザ インタフェースのデフォルト名が提供されます。必要な場合は、[Name](名前)フィールドで名前を変更します。
- [URL] (URL) フィールドに Web アプリケーションの URL または ドメイン名を入力します。Web アプリケーションでユーザ名とパス ワードの読み取りが行われる URL を入力する必要があります。

正しいフォーマットについては、以下の例を参照してください。

- http(s)://192.168.1.1/login.asp
- http(s)://www.example.com/cgi/login
- http(s)://example.com/home.html
- 3. このインタフェースへのアクセスが許可されるユーザ名とパスワー ドを入力します。(オプション)



 ユーザ名とパスワードが入力された場合、[Username Field] (ユーザ 名フィールド) と [Password Field] (パスワード フィールド) に、 Web アプリケーションのログイン画面で使用されるユーザ名フィー ルドとパスワード フィールドのフィールド名を入力します。ログイ ン画面の HTML ソースを表示して、フィールド ラベルではなく、 フィールドの名前を探す必要があります。

フィールド名検索に関するヒント:

- Web アプリケーションのログイン ページの HTML ソース コード で、Username や Password などのフィールドのラベルを検索しま す。
- フィールド ラベルが見つかったら、隣接するコードで
 "name="user""のようなタグを探します。引用符内の語がフィールド 名です。



HP® ブレード シャーシ設定 (ポート グループ管理)

Dominion KX II は、特定のタイプのブレードに接続されるポートをまとめてブレード シャーシを示すグループとしてサポートします。特に、HP BladeServer ブレードおよび Dell PowerEdge 1855/1955 ブレード (Dell PowerEdge 1855/1955 ブレードが個別の各ブレードから Dominion KX II 上のポートに接続されている場合) がこれにあたります。

シャーシは、[Port Group Name] (ポート グループ名) によって特定され、 グループは、[Port Group Management] (ポート グループ管理) ページの [Blade Server Group] (ブレード サーバ グループ) として指定されます。 ポート グループには、標準 KVM ポートとして設定されたポートのみで 構成され、ブレード シャーシとして設定されたポートは含まれません。 ポートは、1 つのグループだけに属することができます。

ブレード シャーシで組み付けの KVM モジュールに接続されているポ ートは、ブレード シャーシ サブタイプとして設定されます。これらの ポートは、ポート グループに含めることができます。

Dominion KX II ポートがブレード シャーシ内で組み付けの KVM モジ ュールに接続され、個別のブレードに接続されていない場合、ポートは ブレード シャーシ サブタイプとして設定されます。これらのポートは ポート グループに含めることはできないので、[Select Port for Group] (グループ化するポートの選択)の [Available] (利用可能) リストには表 示されません。

ポート グループに含まれている標準 KVM ポートを、後でブレード シ ャーシ サブタイプとして用途変更する場合は、まず、ポート グループ からそれを削除する必要があります。

ポート グループは、[Backup and Restore] (バックアップとリストア) オ プションを使用してリストアされます (「*バックアップと復元* 『p. 244 』」を参照してください)。



ort Group	Management	
84	▲ Port Group Name	
	HPServer1	
	► tgroup	
dd Dela	ete Select All Deselect All	
Sec and	and the second s	and the second second

- ▶ ポート グループを追加するには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Group Management] (ポート グループ管理) をクリックし、[Port Group Management] (ポート グループ管理) ページを開きます。
- 2. [Port Group] (ポート グループ) ページの [Add] (追加) ボタンをク リックします。
- 3. ポート グループ名を入力します。ポート グループでは、最大 32 文 字で、大文字と小文字は区別されません。
- [Blade Server Group] (ブレード サーバ グループ) チェックボック スをオンにします。

これらのポートをブレード シャーシ (たとえば、HP c3000 または Dell PowerEdge 1855) 内のブレードに接続するように指定する場合 は、[Blade Server Group] (ブレード サーバ グループ) チェックボッ クスをオンにします。

注: 各ブレードは Dominion KX II のポートに独自に接続されていま すが、これは HP ブレードをシャーシ ベースで整理する CC-SG ユ ーザにとっては特に重要です。

[Select Ports for Group] (グループ化するポートの選択) セクションの [Available] (利用可能) ボックスで、ポートをクリックします。
 [Add] (追加) をクリックして、ポートをグループに追加します。ポートは [Selected] (選択) ボックスに移動されます。



OK

Cancel

Port Group				
Port Group Name				
HPServer1			🖌 Blade Server Group	b
Select Ports for Group				
Available:			Selected:	
	~		Dominion_KX2_Port8	~
		Add >		
		< Remove		
	~			\sim

6. [OK] をクリックして、ポート グループを追加します。

- ▶ ポート グループ情報を編集するには、以下の手順に従います。
- [Port Group Management] (ポート グループ管理) ページで、編集するポート グループのリンクをクリックします。[Port Group] (ポート グループ) ページが開きます。
- 2. 必要に応じて情報を編集します。
- 3. [OK] をクリックして変更を保存します。
- ▶ ポート グループを削除するには、以下の手順に従います。
- [Port Group Management] (ポート グループ管理) ページをクリック し、削除するポート グループのチェックボックスをオンにします。
- 2. [Delete] (削除) ボタンをクリックします。
- 3. 警告メッセージで [OK] をクリックします。



サポートされているブレード シャーシ モデル

この表には、Dominion KX II でサポートされているブレード シャーシ モデルと、それらを Dominion KX II アプリケーションで設定する際にシ ャーシごとに選択する必要がある対応プロファイルが含まれています。 これらのモデルのリストは、[Port Configuration] (ポート設定) ページの [Blade Server Chassis Model] (ブレード サーバ シャーシ モデル) ドロ ップダウン リストで選択できます。これは、[Blade Chassis] (ブレード シャーシ) ラジオ ボタンを選択している場合に表示されます。各ブレー ド シャーシ モデルの設定方法についての詳細は、このセクションのへ ルプ内の対応するトピックを参照してください。

ブレード シャーシ モデル	Dominion KX II プロファイル
Dell PowerEdge 1855/1955	Dell PowerEdge 1855/1955
Dell PowerEdge M1000e	Dell PowerEdge M1000e
IBM BladeCenter S	IBM (Other)
IBM BladeCenter H	IBM BladeCenter H
IBM BladeCenter T	IBM (Other)
IBM BladeCenter HT	IBM (Other)
IBM BladeCenter E	IBM BladeCenter E
HP	ポート グループ管理機能を使用して設 定します。「 <i>HP[®] ブレード シャーシ設定 (ポート グループ管理)</i> 『p. 200』」を参 照してください。

ブレード シャーシでサポートされている CIM

以下の CIM は、Dominion KX II を通じて管理されるブレード シャーシ でサポートされています。

- DCIM-PS2
- DCIM-USBG2
- D2CIM-VUSB
- D2CIM-DVUSB

以下の表に、Dominion KX II がサポートする各ブレード シャーシ モデ ルでサポートされている CIM を示します。

ブレード筐体の場合	接続方法	推奨 CIM
Generic (汎用)	Generic(汎用) として設定されたブレード シ	• DCIM-PS2



Ch 7: デバイス管理

ブレード筐体の場合	接続方法	推奨 CIM
	ャーシへの接続時に D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB が使用されている場合は [Port Configuration] (ポート設定) ページおよびクラ イアントの [USB Profile] (USB プロファイル) メニューから USB プロファイルを選択でき ます。ただし、汎用ブレード シャーシでは仮 想メディアがサポートされないので、クライア ントの [Virtual Media] メニューは無効になり ます。	• DCIM-USBG2
Dell PowerEdge 1855	 以下の 3 つの KVM モジュールのいずれかを 含みます。 アナログ KVM Ethernet スイッチ モジュ ール (標準) 	DCIM-PS2
	 デジタル アクセス KVM スイッチ モジュ ール (オプション) 	
	 KVM スイッチ モジュール (2005 年 4 月以前に販売されたシステムでの標準) 	
	これらのスイッチは、2 つの PS/2 および 1 つのビデオ デバイスをシステムに接続できる カスタム コネクタを提供します。	
	ソース: Dell PowerEdge 1855 システム ユー ザーズ ガイド	
Dell PowerEdge 1955	2 種類の KVM モジュールのいずれかがイン ストールされる可能性があります。	DCIM-PS2
	• アナログ KVM スイッチ モジュール	
	 デジタル アクセス KVM スイッチ モジュ ール 	
	どちらのモジュールでも、PS/2 互換のキーボ ード、マウス、およびビデオ モニタをシステ ムに接続できます (システムに付属のカスタム ケーブルを使用)。	
	ソース: Dell PowerEdge 1955 ハードウェア オーナーズ マニュアル	
Dell PowerEdge M1000e	KVM スイッチ モジュール (iKVM) はこのシ ャーシに組み付けられています。	DCIM-USBG2
	iKVM は、次の周辺機器に対応しています。	
	• USB キーボード、USB ポインティング デ	



Ch 7: デバイス管理

ブレード筐体の場合	接続方法	推奨 CIM
	バイス	
	 VGA モニタ (DDC サポート) 	
	ソース: Dell Chassis Management Controller, Firmware Version 1.0, User Guide	
HP BladeSystem c3000	HP c-Class Blade SUV ケーブルを使用する と、ビデオと USB デバイスをサーバ ブレー ドに直接接続することによって、ブレード シ ャーシの管理、設定、および診断プロシージャ を実行できます。 ソース: HP ProLiant BL480c Server Blade Maintenance and Service Guide	 DCIM-USBG2 D2CIM-VUSB D2CIM-DVUSB (KVM オプション を使用しない標準 KVM ポート操作の 場合)
HP BladeSystem c7000	HP c-Class Blade SUV ケーブルを使用する と、ビデオと USB デバイスをサーバ ブレー ドに直接接続することによって、サーバ ブレ ードの管理、設定、および診断プロシージャを 実行できます。	 DCIM-USBG2 D2CIM-VUSB D2CIM-DVUSB (標準 KVM ポート操作)
	ソース: HP ProLiant BL480c Server Blade Maintenance and Service Guide	
IBM BladeCenter S	Advanced Management Module (AMM) は、す べてのブレード シャーシのシステム管理機能 およびキーボード/ビデオ/マウス (KVM) マル チプレキシングを提供します。	DCIM-USBG2
	AMM 接続は、シリアル ポート、ビデオ接続、 リモート管理ポート (Ethernet)、およびキーボ ードとマウス用の 2 つの USB v2.0 ポートが 含まれます。	
	$\mathcal{Y} - \mathcal{X}$: Implementing the IBM BladeCenter S Chassis	
IBM BladeCenter H	BladeCenter H シャーシには、アドバンスト マネージメント モジュールが 1 つ標準で付 属しています。	DCIM-USBG2D2CIM-DVUSB
	ソース: IBM BladeCenter Products and Technology	
IBM BladeCenter E	現在のモデル BladeCenter E シャーシ (8677-3Rx) には、アドバンスト マネージメン ト モジュールが 1 つ標準で属しています。	DCIM-USBG2D2CIM-DVUSB
	ソース: IBM BladeCenter Products and Technology	



ブレード筐体の場合	接続方法	推奨 CIM
IBM BladeCenter T	BladeCenter T シャーシには、アドバンスト マ ネージメント モジュールが 1 つ標準で付属 しています。	DCIM-PS2
	標準の BladeCenter シャーシとは異なり、 BladeCenter T シャーシの KVM モジュール およびマネージメント モジュールは、個別の コンポーネントになります。マネージメント モジュールの前面にあるのは、ステータスを表 示する LED だけです。Ethernet および KVM 接続はすべて背面の LAN および KVM モジ ュールで行います。	
	KVM モジュールは、ホット スワップ モジュ ールです。シャーシの背面にキーボードとマウ ス用の 2 つの PS/2 コネクタ、システム ステ ータス パネル、および HD-15 ビデオ コネク タがあります。	
	ソース: IBM BladeCenter Products and Technology	
IBM BladeCenter HT	BladeCenter HT シャーシには、アドバンスト マネージメント モジュールが 1 つ標準で付 属しています。このモジュールは、シャーシを 管理する機能とともに、ローカル KVM 機能も 提供します。	DCIM-USBG2
	ソース: IBM BladeCenter Products and Technology	

注: 自動検出をサポートするために、IBM BladeCenter モデル H および E では、ファームウェア バージョンが BPET36K 以降の AMM を使用 する必要があります。

注: IBM Blade Center モデル E および H を使用する場合、Dominion KX II では、プライマリ管理モジュールとして AMM[1] の自動検出のみ サポートされます。

ブレード シャーシの必須および推奨設定

この表は、Dominion KX II で機能させるためのブレード シャーシの設定 に適用される制限についての情報を示します。以下のすべての情報に従 うことをお勧めします。


ブレード筐体の 場合	必須/推奨アクション
Dell PowerEdge M1000e	 iKVM GUI スクリーンセーバを無効にします。無効にしていない場合は、認可のダイアログが表示され、iKVM が正しく機能しません。
	 Dell のシャーシをラリタン CIM に接続する前に iKVM GUI メニューを終了します。終了していない場合、iKVM が正しく 動作しない場合があります。
	 iKVM GUI の [メイン] メニューを設定して、名前ではなくスロットでターゲット ブレードを選択します。この操作を行わない場合、iKVM は正しく機能しない可能性があります。
	 iKVM GUI の [設定] メニューの [スキャン] でスキャン操作に スロットを<i>指定しないでください。</i>指定した場合は iKVM が正 しく機能しません。
	 iKVM GUIの[設定]メニューの[ブロードキャスト]でキーボ ード/マウスのブロードキャスト操作にスロットを指定しない でください。指定した場合は iKVM が正しく機能しません。
	 iKVM GUI を呼び出す 1 つのキー シーケンスを指定します。 このキー シーケンスを Dominion KX II でポートを設定すると きにも指定する必要があります。そうしないと、クライアントのキー入力の結果として、iKVM 操作が無差別に発生する可能 性があります。
	 Dell の CMC GUI を通じて iKVM を設定する際に、[フロント パネル USB/ビデオ有効] がオフになっていることを確認しま す。オンになっている場合、シャーシの前面パネルでの接続が、 背面の Dominion KX II 接続よりも優先されるので、適切な iKVM 処理が行われなくなります。"User has been disabled as front panel is currently active" (フロント パネルが現在アクテ ィブになっているのでユーザは無効です) というメッセージが 表示されます。
	 Dell の CMC GUI を通じて iKVM を設定する際に、[iKVM から CMC CLI へのアクセスを許可する] が<i>オフ</i>になっていることを確認します。
	 ブレード シャーシに接続するときに iKVM GUI が表示されな いようにするには、[画面遅延時間] を 8 秒に設定します。
	 iKVM GUI のフラグ設定中に、[時間指定] および [表示] を選択 することをお勧めします。これで、目的のブレード スロットと の接続を視覚的に確認できます。
Dell PowerEdge 1855/1955	 iKVM GUI スクリーンセーバを無効にします。これを行わない 場合は [Authorize] (認可) ダイアログ ボックスが表示され、 iKVM が正しく機能しなくなります。



ブレード筐体の 場合	必須/推奨アクション
	 Dell のシャーシをラリタン CIM に接続する前に iKVM GUI メニューを終了します。終了していない場合、iKVM が正しく 動作しない場合があります。
	 iKVM GUI の [メイン] メニューを設定して、名前ではなくスロットでターゲット ブレードを選択します。この操作を行わない場合、iKVM は正しく機能しない可能性があります。
	 iKVM GUI の [設定] メニューの [スキャン] でスキャン操作に スロットを<i>指定しないでください。</i>指定した場合は iKVM が正 しく機能しません。
	 ブレード シャーシに接続するときに iKVM GUI が表示されないようにするには、[画面遅延時間] を 8 秒に設定します。
	 iKVM GUI のフラグ設定中に、[時間指定] および [表示] を選択 することをお勧めします。これで、目的のブレード スロットと の接続を視覚的に確認できます。
IBM/Dell 自動検 出	 ブレードレベルのアクセス許可を適用する場合は、自動検出を 有効にすることをお勧めします。有効にしない場合は、ブレー ドシャーシ全体でのアクセス許可を設定します。
	 ブレード シャーシ管理モジュールで Secure Shell (SSH) を有効にする必要があります。
	 ブレード シャーシ管理モジュールで設定された SSH ポート と、[Port Configuration] (ポート設定) ページで入力されるポー ト番号が一致する必要があります。
IBM KX2 仮想メ ディア	 Raritan Dominion KX II 仮想メディアは、IBM BladeCenter モデル H および E でのみサポートされます。これは、 D2CIM-DVUSB を使用する必要があります。黒の D2CIM-DVUSB 低速 USB コネクタは、本体背面の Administrative Management Module (AMM) に取り付けられま す。グレーの D2CIM-DVUSB 高速 USB コネクタは、本体前 面のメディア トレイ (MT) に取り付けられます。これには、 USB 延長ケーブルが必要です。

注: AMM を使用するすべての IBM BladeCenter では、Dominion KX II で動作する AMM ファームウェア バージョン BPET36K 以降を使用す る必要があります。

注: IBM Blade Center モデル E および H を使用する場合、Dominion KX II では、プライマリ管理モジュールとして AMM[1] の自動検出のみ サポートされます。



ブレード シャーシのサンプル URL フォーマット

この表には、Dominion KX II で設定されるブレード シャーシのサンプル URL フォーマットが示されます。

ブレード筐体の 場合	サンプル URL フォーマット
Dell M1000e	• URL: https://192.168.60.44/cgi-bin/webcgi/login
	 ユーザ名: root
	• ユーザ名フィールド: user
	• パスワード: calvin
	• パスワード フィールド: password
Dell 1855	• URL: https://192.168.60.33/Forms/f_login
	 ユーザ名: root
	 ユーザ名フィールド: TEXT_USER_NAME
	• パスワード: calvin
	• パスワード フィールド: TEXT_PASSWORD
IBM BladeCenter E または H	http://192.168.84.217/private/welcome.ssi



USB プロファイルの設定 ([Port] (ポート) ページ)

ポートで使用できる USB プロファイルを、[Port] (ポート) ページの [Select USB Profiles for Port] (ポートの USB プロファイルの選択) セク ションで選択します。[Port] (ポート) ページで選択された USB プロファ イルが、ポートから KVM ターゲット サーバに接続するときに VKC で ユーザが使用できるプロファイルになります。デフォルトは、Windows 2000/XP/Vista プロファイルです。USB プロファイルについての詳細は、 「USB プロファイル 『p. 112』」を参照してください。

注: ポートの USB プロファイルを設定するには、VM-CIM を、Dominion KX II の現在のファームウェア バージョンと互換性のあるファームウェ アと接続しておく必要があります。「CIM をアップグレードする 『p. 249』」を参照してください。

ポートへの割り当てに使用できるプロファイルは、左側の [Available] (使 用可能) リストに表示されます。ポートで使用するように選択したプロフ ァイルは、右側の [Selected] (選択) リストに表示されます。いずれかの リストでプロファイルを選択した場合、プロファイルとその使用につい ての説明が [Profile Description] (プロファイルの説明) フィールドに表 示されます。

KVM ポートで使用可能にする一連のプロファイルを選択する他に、ポートの優先プロファイルを指定して、あるポートに対する設定を他の KVM ポートに適用することもできます。

注: DCIM-VUSB または DCIM-DVUSB を使用する場合 Mac OS-X USBプロファイルの使用方法については、「」を参照してください。

- ▶ [Port] (ポート) ページを開くには、以下の手順に従います。
- [Device Settings] (デバイス設定)の [Port Configuration] (ポート設定)を選択します。[Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。
- 編集する KVM ポートの [Port Name] (ポート名) をクリックします。
 [Port] (ポート) ページが開きます。
- ▶ KVM ポートの USB ポートを選択するには、以下の手順に従います。
- [Select USB Profiles for Port] (ポートの USB プロファイルの選択) セクションで、1 つ以上の USB プロファイルを [Available] (使用可 能) リストから選択します。
 - Shift キーを押しながらクリックしてドラッグすると、複数の隣接するプロファイルを選択できます。



 Ctrl キーを押しながらクリックすると、隣接していない複数のプ ロファイルを選択できます。

Select USB Profiles for Port		
IISB Profiles		
0001101103	Preferred Profile for Port	
	Generic	
Available:	Selected:	
BIOS Dell PowerEdge 1750 BIOS IBM Thinkcentre Lenovo HP Proliant DL360/DL380 G4 (HP Smar HP Proliant DL360/DL380 G4 (Windows) Linux Mac OS-X (10.4.9 and later) RUBY Industrial Mainboard (AwardBIO Supermicro Mainboard (Phoenix Awar	Generic	
Profile Description:		
Select any profile above to show its description.		<
	>	~

- [Add] (追加) をクリックします。選択したプロファイルが [Selected] (選択) リストに表示されます。これらは、ポートに接続された KVM ターゲット サーバで使用できるプロファイルです。
- ▶ 優先 USB プロファイルを指定するには、以下の手順に従います。
- ポートで使用可能なプロファイルを選択した後、[Port] (ポート) メニ ューの [Preferred Profile] (優先プロファイル) から 1 つを選択しま す。デフォルトは [Generic] (汎用) です。選択したプロファイルは、 KVM ターゲット サーバに接続するときに使用されます。必要に応 じて、他の USB プロファイルに変更できます。
- ▶ 選択した USB プロファイルを削除するには、以下の手順に従います。
- [Select USB Profiles for Port] (ポートの USB プロファイルの選択) セクションで、1 つ以上の USB プロファイルを [Selected] (選択) リストから選択します。



- Shift キーを押しながらクリックしてドラッグすると、複数の隣接するプロファイルを選択できます。
- Ctrl キーを押しながらクリックすると、隣接していない複数のプロファイルを選択できます。
- [Remove] (削除) をクリックします。選択したプロファイルが [Available] (使用可能) リストに表示されます。これらのプロファイル は、このポートに接続された KVM ターゲット サーバでは使用でき なくなります。
- プロファイルの選択を複数のポートに適用するには、以下の手順に従います。
- [Apply Selected Profiles to Other Ports] (選択したプロファイルを他のポートに適用) セクションで、選択した USB プロファイルの現在の設定を適用する各 KVM ポートの [Apply] (適用) チェックボックスをオンにします。

Apply	Port Number	Port Name	Selected USB Profiles
	3	vm-cim #1	Generic, Troubleshooting 1, Troubleshooting 2, Troubleshooting 3
	5	vm-cim #2	CIM firmware upgrade required!
×	15	charles_cim - vm-cim #3	Generic, Troubleshooting 1, Troubleshooting 2, Troubleshooting 3
ОК	Select All	Deselect All	Cancel

- すべての KVM ポートを選択するには、[Select All] (すべて選択) をクリックします。
- すべての KVM ポートの選択を解除するには、[Deselect All] (す べての選択を解除) をクリックします。



Dominion KX II のローカル ポートの設定

[Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページでは、Dominion KX II ローカル コンソールに関するさまざまな設定値をカスタマイズできま す。たとえば、キーボード、ホットキー、画面切り替え遅延、省電力モ ード、画面解像度設定、ローカル ユーザ認証などに関する設定値をカス タマイズできます。

KX2-832 および KX2-864 では、[Local Port Settings] (ローカル ポート 設定) ページで拡張ローカル ポートを設定することもできます。拡張ロ ーカル ポートを Paragon スイッチまたはユーザ ステーションに接続 して、ローカル ポートの接続距離を延長できます。標準ローカル ポー トと同様に、キーボード、ホットキー、画面切り替え遅延、省電力モー ド、画面解像度設定、ローカル ユーザ認証の設定を指定できます。拡張 ローカル ポートは、リモート コンソールとローカル コンソールの両方 から設定できます。標準ローカル ポートと拡張ローカル ポートの詳細 については、「KX2-832 および KX2-864 の標準ローカル ポートと拡 張ローカル ポートの設定 『p. 218』」を参照してください。

注: KX2-832 および KX2-864 で拡張ローカル ポートを有効にしてポートに何も接続しない場合、ローカル ポートを経由したターゲットへの切り替え時に 2 ~ 3 秒の遅延が発生します。

ローカル ポートに関する設定値をカスタマイズするには

注: [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページで設定を変更す ると、作業中のブラウザが再起動する場合があります。変更時にブラウ ザが再起動する設定については、以下の手順に示されています。

- [Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) をクリックします。[Local Port Settings] (ロ ーカル ポート設定) ページが開きます。
- 標準ローカル ポートを有効にするには、その横にあるチェックボッ クスをオンにします。無効にするにはチェックボックスをオフにしま す。デフォルトでは、標準ローカル ポートは有効になっていますが、 必要に応じて無効にすることができます。この設定を変更すると、ブ ラウザが再起動します。
- KX2-832 または KX2-864 デバイスを使用している場合、拡張ロー カル ポートを有効にするには、その横にあるチェックボックスをオ ンにします。無効にするにはチェックボックスをオフにします。スマ ート カード機能を使用する場合は、拡張ローカル ポートを無効にす る必要があります。この設定を変更すると、ブラウザが再起動します。



標準ローカル ポートと拡張ローカル ポートの両方が無効になって いる場合は、ローカル ポートにアクセスできません。無効になって いるローカル ポートを使用して KX2-832 または KX2-864 にアク セスしようとすると、デバイスがリモート管理の対象になっているこ ととログインが無効になっていることを示すメッセージが表示され ます。

注: KX2-832 および KX2-864 では、拡張ローカル ポートへの Dominion KX II の接続はサポートされません。サポートされている 接続の詳細については、「KX2-832 および KX2-864 の拡張ローカ ル ポートでサポートされているデバイス 『p. 308』」を参照してく ださい。

注: Paragon デバイスを KX2-832 および KX2-864 の拡張ローカル ポートに接続する場合は、リモート クライアントを使用して USB プロファイルを変更する必要があります。

- [Keyboard Type] (キーボード タイプ) ボックスの一覧でキーボード タイプを選択します。選択できる項目は次のとおりです。この設定を 変更すると、ブラウザが再起動します。
 - [US] (アメリカ英語)
 - [US/International] (アメリカ英語/国際)
 - イギリス
 - [French (France)] (フランス語 (フランス))
 - [German (Germany)] (ドイツ語 (ドイツ))
 - [JIS (Japanese Industry Standard)] (JIS (日本工業規格))
 - [Simplified Chinese] (簡体字中国語)
 - [Traditional Chinese] (繁体字中国語)
 - [Dubeolsik Hangul (Korean)] (Dubeolsik ハングル (韓国))
 - [German (Switzerland)] (ドイツ語 (スイス))
 - [Portuguese (Portugal)] (ポルトガル語 (ポルトガル))
 - [Norwegian (Norway)] (ノルウェー語 (ノルウェー))
 - [Swedish (Sweden)] (スウェーデン語 (スウェーデン))
 - [Danish (Denmark)] (デンマーク語 (デンマーク))
 - [Belgian (Belgium)] (ベルギー語 (ベルギー))

注: 中国語、日本語、および韓国語は、表示しかできません。現時点 では、これらの言語を入力することはできません。



 [Local Port Hotkey] (ローカル ポート ホットキー) ボックスの一覧 でローカル ポート ホットキーを選択します。ローカル ポート ホッ トキーは、ターゲット サーバの画面が表示されているときに Dominion KX II ローカル コンソールの画面に戻す際に使用します。 デフォルト値は [Double Click Scroll Lock] (Scroll Lock キーを 2 回 押す) ですが、他のキー組み合わせを選択することもできます。

ホットキー	説明
Scroll Lock キーをすばやく	Scroll Lock キーをすばやく 2 回押し
2 回押す	ます。
[Double Click Num Lock] (Num Lock キーを 2 回押 す)	Num Lock キーをすばやく 2 回押し ます。
[Double Click Caps Lock] (Caps Lock キーを 2 回押 す)	Caps Lock キーをすばやく 2 回押し ます。
[Double Click Left Alt key] (左 Alt キーをすばやく 2 回押しま
左 Alt キーを 2 回押す)	す。
[Double Click Left Shift key]	左 Shift キーをすばやく 2 回押しま
(左 Shift キーを 2 回押す)	す。
[Double Click Left Ctrl key] (左 Ctrl キーをすばやく 2 回押しま
左 Ctrl キーを 2 回押す)	す。

- 6. [Local Port Connectkey] (ローカル ポート接続キー) ボックスの一覧 でローカル ポート接続キーを選択します。接続キーは、あるターゲ ット サーバにアクセスしているときに別のターゲット サーバに切 り替える際に使用します。その後ホットキーを使用して、そのターゲ ット サーバの画面から Dominion KX II ローカル コンソールの画 面に戻すことができます。接続キーは、標準型サーバとブレード筐体 のどちらに対しても機能します。接続キーを設定すると、ナビゲーシ ョン パネルに表示されるので、すぐにわかります。接続キー組み合 わせの例については、「接続キーの例 『p. 284』」を参照してくだ さい。
- 必要に応じて、[Video Switching Delay (in secs)] (画面切り替え遅延 (秒)) ボックスに 0 ~ 5 秒の範囲の数値を入力します。通常は「0」 と入力します。ただし、一部のモニタでは画面切り替えに時間がかか るので、その場合は適切な値を入力します。
- 8. 省電力機能を利用する場合、次の手順を実行します。
 - a. [Power Save Mode] (省電力モード) チェック ボックスをオンに します。



- b. [Power Save Mode Timeout (in minutes)] (省電力モードのタイム アウト (分)) ボックスに、省電力モードに移行するまでの時間 (単位:分) を入力します。
- [Resolution] (解像度) ボックスの一覧で、Dominion KX II ローカル コンソールの画面解像度を選択します。選択できる項目は次のとおり です。この設定を変更すると、ブラウザが再起動します。
 - 800x600
 - 1024 x 768
 - 1280 x 1024
- [Refresh Rate (Hz)] (リフレッシュ レート (Hz)) ボックスの一覧で リフレッシュ レートを選択します。選択できる項目は次のとおりで す。この設定を変更すると、ブラウザが再起動します。
 - 60 Hz
 - 75 Hz
- [Local User Authentication] (ローカル ユーザ認証) でローカル ユー ザ認証タイプを選択します。
 - [Local/LDAP/RADIUS] (ローカル/LDAP/RADIUS): これは推奨オ プションです。認証の詳細については、「リモート認証 『p. 41 』」を参照してください。
 - 特別なアクセス用ソフトウェアをインストールする必要はあり ません。Dominion KX II ローカル コンソールからのアクセスに 対して認証は行われません。このオプションは、安全な環境での み選択することを推奨します。
 - Dominion KX II が CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) の管理下にある場合にローカル ユーザを認証するには、[Ignore CC managed mode on local port] (ローカル ポートからのアクセ スを CC-SG の管理対象から除外する) チェック ボックスをオ ンにします。

注: 最初は [Ignore CC managed mode on local port] ($D - h \lambda$ ポー トからのアクセスを CC-SG の管理対象から除外する) チェック ボ ックスをオフにしていたが、後でローカル ポートからのアクセスを CC-SG の管理対象から除外したくなった場合、CC-SG 側で Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外する必要があります。 その後、[Ignore CC managed mode on local port] ($D - h \lambda$ ポート からのアクセスを CC-SG の管理対象から除外する) チェック ボッ クスをオンにすることができます。



Ch 7: デバイス管理

注: Dominion KX II が CC-SG の管理下にある場合に標準ローカル ポートと拡張ローカル ポートを使用するには、[Ignore CC managed mode on local port] (ローカル ポートからのアクセスを CC-SG の 管理対象から除外する) チェックボックスをオンにする必要があり ます。Dominion KX II が CC-SG の管理下にある場合に標準ローカ ル ポートまたは拡張ローカル ポート経由のローカル ユーザを認証 するには、[Ignore CC managed mode on local port] (ローカル ポー トからのアクセスを CC-SG の管理対象から除外する) チェック ボ ックスをオンにします。

12. [OK] をクリックします。



KX2-832 および KX2-864 の標準ローカル ポートと拡張ローカル ポートの設定

KX2-832 および KX2-864 には、2 つのローカル ポート オプションが 用意されています。それは、標準ローカル ポートと拡張ローカル ポー トです。これらの各ポート オプションを有効にしたり無効にしたりする には、リモート コンソールで [Port Configuration] (ポート設定) ページ を使用するか、ローカル コンソールで [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページを使用します。詳細については、「Dominion KX II のローカル ポートの設定 『p. 213』」を参照してください。

デフォルトでは、標準ローカル ポートは有効、拡張ローカル ポートは 無効になっています。ローカル ポートの接続距離を延長する場合は、拡 張ローカル ポートを有効にし、Cat5/5e/6 ケーブルを使用して Paragon II UMT、EUST、UST、または URKVMG から DKX2-832 または DKX2-864 に接続します。

注: KX2-832 および KX2-864 で拡張ローカル ポートを有効にしてポートに何も接続しない場合、ローカル ポートを経由したターゲットへの切り替え時に 2 ~ 3 秒の遅延が発生します。

これらのオプションを設定するには管理者権限が必要です。ポートにア クセスするには、ユーザ名とパスワードを一度入力するだけです。これ らの資格情報を、アクセスするポートごとに入力する必要はありません。

拡張ローカル ポートでサポートされているデバイスの詳細、および距離 の仕様とサポートされている CIM については、「*仕様* 『p. 295』」を 参照してください。

KX2-832 および KX2-864 の接続の制限事項

標準ローカル ポートおよび拡張ローカル ポートは、ターゲットへのア クセスを共有します。両方のポートが有効になっている場合、キーボー ド、ビデオ、およびマウスは標準ローカル ポートと拡張ローカル ポー トで共有されます。両方のポートがターゲットに接続されるか、または ターゲットから切断されます。

標準ローカル ポートと拡張ローカル ポートのどちらか一方が無効になっている場合、そのポートのキーボード、ビデオ、およびマウスは無効 になり、ローカル ポートが無効になっていることを示すメッセージが表示されます。



Ch 8 電源タップ (ラック PDU) のコンセン トの制御

この章の内容

概要	9
コンセントの電源オン/オフの切り替えまたは電源再投入を行う22	0

概要

Dominion KX II から Raritan PX および RPC シリーズの電源タップの コンセントを制御するには、両者を D2CIM-PWR で接続します。

注: PX のセットアップ手順については、『Dominion PX ユーザ ガイド』 を参照してください。

PX または RPC シリーズをセットアップして Dominion KX II に接続 すると、その電源タップおよび各コンセントを Dominion KX II のユーザ インタフェース (UI) 画面の [Powerstrip] (電源タップ) ページで制御で きるようになります。このページを開くには、UI の上端にある [Power] (電源) メニューをクリックします。

[Powerstrip] (電源タップ) ページでは、各コンセントの電源のオン/オフ を切り替えること、および、各コンセントの電源を再投入することがで きます。また、電源タップおよび各コンセントに関する次の情報を表示 できます。

- 電源タップに関する情報:
 - 名前
 - モデル
 - 温度
 - 電流 (A)
 - 最大電流 (A)
 - 電圧 (V)
 - 電力 (W)
 - 電力 (VA)
- コンセントに関する情報:
 - [Name] (名前): 設定時にコンセントに割り当てた名前。



Ch 8: 電源タップ (ラック PDU) のコンセントの制御

- [State] (状態): コンセントの状態 ("on" (オン) または "off" (オフ))。
- [Control] (制御): コンセントの電源を制御するボタン ([On] (オン)、[Off] (オフ)、および [Cycle] (電源再投入))。
- [Association] (関連ポート): コンセントに関連付けられているポート。

[Powerstrip] (電源タップ) ページを開くと、Dominion KX II に接続され ている電源タップが [Powerstrip] (電源タップ) ボックスの一覧に表示さ れます。また、そのボックスに、現在選択されている電源タップに関す る情報が表示されます。この時点では、コンセントの名前、状態、およ び関連ポートは表示されません。コンセントの電源を制御するボタンも 表示されません。[Refresh] (最新の情報に更新) ボタンをクリックすると、 これらの情報と電源制御ボタンが表示されます。Dominion KX II に接続 されている電源タップが 1 台もない場合は、このページの [Powerstrip Device] (電源タップ) セクションに "No powerstrips found" (電源タップ が見つかりません) というメッセージが表示されます。

Powerstrip De	vice	uny.		
Powerstrip: rk- Name: Model rk-power PCR8	power Refrest Temperature: Current 29 °C 0 A	Amps: MaxAmps: Voltage: PowerlnWatt: PowerlnV 0 A 118 V 3 W 0 VA	A;	
Name	State	Control	Associations	
Outlet 1	on	On Off Cycle	Dominion_Port9	
Outlet 2	on	On Off Cycle		
Outlet 3	on	On Off Cycle		
Outlet 4	on	On Off Cycle		
Outlet 5	on	On Off Cycle	Dominion_Port2	
Outlet 6	on	On Off Cycle		
	on	On Off Cycle		
Outlet 7				

コンセントの電源オン/オフの切り替えまたは電源再投入を行う

コンセントの電源をオンにするには

 [Power] (電源) メニューをクリックし、[Powerstrip] (電源タップ) ペ ージを開きます。



- 2. [Powerstrip] (電源タップ) ボックスの一覧で、コンセントの電源をオンにする PX 電源タップを選択します。
- 3. [Refresh] (最新の情報に更新) ボタンをクリックし、各電源制御ボタンを表示します。
- 4. [On] (オン) ボタンをクリックします。

Microsof	t Internet Explorer 🔀
⚠	Power On was successfully performed on Port Outlet 9.
	<u>ok</u>

- 電源オン完了ダイアログ ボックスが開くので、[OK] をクリックして 閉じます。コンセントの電源がオンになり、[State] (状態) 列の表示 が "on" (オン) になります。
- コンセントの電源をオフにするには
- 1. [Off] (オフ) ボタンをクリックします。
- 2. 電源オフ確認ダイアログ ボックスが開くので、[OK] をクリックして 閉じます。

r ner osor	C Internet t		
2	Port Outlet Do you war	9 will be power it to continue?	ed off.
C	ок	Cancel	(iii

3. 電源オフ完了ダイアログ ボックスが開くので、[OK] をクリックして 閉じます。コンセントの電源がオフになり、[State] (状態) 列の表示 が "off" (オフ) になります。

Microsof	t Internet Explorer
⚠	Power Off was successfully performed on Port Outlet 9.
	<u> </u>



- ▶ コンセントの電源を再投入するには
- 1. [Cycle] (電源再投入) ボタンをクリックします。電源再投入確認ダイ アログ ボックスが開きます。

The pa	ge at https://192.168.59.173 says: 💦 🔀
?	Power Cycle Port testport(5). Do you want to continue?
	OK Cancel

2. [OK] をクリックします。コンセントの電源が再投入されます。電源 再投入には数秒かかることがあります。

The pa	ge at https://192.168.59.173 says: 🛛 🔀
♪	Power Cycle was successfully performed on Port testport(5).
	ОК

3. 電源再投入が完了すると、電源再投入完了ダイアログ ボックスが開きます。[OK] をクリックしてこのダイアログ ボックスを閉じます。



セキュリティ上の問題

この章の内容

セキュリティの設定	223
IP アクセス制御を設定する	235
SSL 証明書	238

セキュリティの設定

Ch 9

[Security Settings] (セキュリティ設定) ページで、ログオン制限、ユーザ ブロック、パスワード ルール、および暗号化と共有に関する設定を行う ことができます。

パブリック キーとプライベート キーの交換には Raritan SSL 証明書が 使用され、セキュリティのレベルを高めます。Raritan の Web サーバ証 明書は自己署名されています。Java アプレット証明書は、VeriSign の 証明書によって署名されています。暗号化を行うと、情報が漏洩しない よう保護されていることを保証できます。またこれらの証明書によって、 事業体の身元が Raritan, Inc であることが証明されます。

▶ セキュリティ設定を行うには、以下の手順に従います。

- [Security] (セキュリティ)の [Security Settings] (セキュリティ設定) を選択します。[Security Settings] (セキュリティ設定) ページが開き ます。
- 必要に応じて、[Login Limitations] (ログイン制限) 『p. 224』の設定を更新します。
- 必要に応じて、[Strong Passwords] (強力なパスワード) 『p. 226』
 の設定を更新します。
- 必要に応じて、[User Blocking] (ユーザ ブロック) 『p. 227』の設定を更新します。
- 5. 必要に応じて、[Encryption & Share] (暗号化および共有) の設定を更 新します。
- 6. [OK] をクリックします。



- ▶ デフォルトに戻すには、以下の手順に従います。
- [Reset to Defaults] (デフォルトに戻す) をクリックします。

Home > Security > Security Settings	
Login Limitations	User Blocking
 Enable Single Login Limitation Enable Password Aging Password Aging Interval (days) 60 Log Out Idle Users After (1-365 minutes) 1 	 Disabled Timer Lockout Attempts Lockout Time Deactivate User-ID Failed Attempts 3
Strong Passwords	Encryption & Share
 Enable Strong Passwords Minimum length of strong password 8 Maximum length of strong password 16 If Enforce at least one lower case character If Enforce at least one upper case character If Enforce at least one numeric character Inforce at least one printable special character Itumber of restricted passwords based on history 	Encryption Mode Auto Apply Encryption Mode to KVM and Virtual Media (Forced in FIPS 140-2 Mode) Enable FIPS 140-2 Mode (Changes are activated on reboot only!) Current FIPS status: Inactive PC Share Mode PC-Share V M Share Mode Local Device Reset Mode Enable Local Factory Reset
OK Reset To Defaults Cancel	

[Login Limitations] (ログイン制限)

[Login Limitations] (ログイン制限) セクションでは、シングル ログイン、 パスワード エージング、アイドル ユーザのログアウトに関する制限を 指定できます。

制限	説明
[Enable Single Login Limitation] (シングル ログイン 制限を有効にする)	このチェック ボックスをオンにした場合、ユー ザ名ごとに同時に 1 人しかログオンできませ ん。このチェック ボックスをオフにした場合、 所定のユーザ名とパスワードの組み合わせで、複 数のクライアント ワークステーションからデバ イスに同時接続できます。
[Enable password	これを選択すると、[Password Aging Interval] (パ



制限	説明
aging] (パスワード エージングを有効 にする)	スワード エージング間隔) で指定した日数に基 づいて、すべてのユーザに対して定期的にパスワ ードを変更するよう要求します。
	[Enable Password Aging] (パスワード エージン グを有効にする) チェックボックスをオンにする とこのフィールドが有効になるため、設定する必 要があります。パスワードの変更が要求される間 隔を日数で入力します。デフォルトの日数は 60 日です。
[Log Out Idle Users] (アイドル ユーザをログアウ トする)、[After (1-365 minutes)] (分後 (1 ~ 365))	[Log Out Idle Users] (アイドル ユーザをログオ フする) チェック ボックスをオンにした場合、 [After (1-365 minutes)] (分後 (1 ~ 365)) ボック スに入力した時間が経過した後にアイドル ユー ザが自動ログオフされます。キーボードまたはマ ウスで操作が行われない場合は、すべてのセッシ ョンおよびすべてのリソースがログアウトされ ます。ただし、実行中の仮想メディア セッショ ンはタイムアウトしません。
	[After (1-365 minutes)] (分後 (1 ~ 365)) ボック スに入力した時間が経過した後にアイドル ユー ザが自動ログアウトされます。このボックスが有 効になるのは、[Log Out Idle Users] (アイドル ユ ーザをログオフする) チェック ボックスをオン にした場合です。このボックスに入力できる値は 1 ~ 365 の範囲です。



[Strong Passwords] (強力なパスワード)

[Strong Passwords] (強力なパスワード) セクションで値を指定すると、 このシステムにおけるローカル認証の安全性が高まります。強力なパス ワードを使用すると、最小長と最大長、必要な文字、パスワード履歴の 保持など、有効な Dominion KX II ローカル パスワードの形式を設定で きます。

強力なパスワードには、アルファベットとアルファベット以外の文字(句 読点または数字)をそれぞれ 1 文字以上含むパスワードを指定する必要 があります。また、パスワードとユーザ名の最初の 4 文字には同じ文字 列を使用できません。

[Enable Strong Passwords] (強力なパスワードを有効にする) チェック ボックスをオンにした場合、強力なパスワードの規則が適用されます。 パスワードが強力なパスワードの基準を満たしていない場合、ユーザは 次回ログオンする際にパスワードを変更するよう自動的に求められます。 [Enable Strong Passwords] (強力なパスワードを有効にする) チェック ボックスをオフにした場合、標準の形式になっているかどうかだけが検 査されます。[Enable Strong Passwords] (強力なパスワードを有効にす る) チェック ボックスをオンにした場合、次のフィールドが有効になる ので、指定する必要があります。

フィールド	説明
[Minimum length of strong password] (強力なパスワー ドの最小長)	パスワードは 8 文字以上でなければな りません。デフォルトでは 8 文字です が、最大 63 文字まで拡張できます。
[Maximum length of strong password] (強力なパスワー ドの最大長)	デフォルトでは 16 文字ですが、最大 64 文字まで拡張できます。
[Enforce at least one lower case character] (1 文字以 上の小文字の使用を強制す る)	これを選択すると、パスワードに 1 文 字以上の小文字が必要になります。
[Enforce at least one upper case character] (1 文字以 上の大文字の使用を強制す る)	これを選択すると、パスワードに 1 文 字以上の大文字が必要になります。
[Enforce at least one numeric character] (1 文字 以上の数字の使用を強制す る)	これを選択すると、パスワードに 1 文 字以上の数字が必要になります。



フィールド	説明
[Enforce at least one printable special character] (1 文字以上の印刷可能な特 殊文字の使用を強制する)	これを選択すると、パスワードに 1 文 字以上の印刷可能な特殊文字が必要に なります。
[Number of restricted passwords based on history] (履歴を参照する制 限パスワードの数)	このボックスの値は、パスワード履歴の 深さ、つまり、繰り返し使用することの できない以前のパスワードの数を意味 します。範囲は 1 ~ 12 で、デフォル トは 5 です。

[User Blocking] (ユーザ ブロック)

[User Blocking] (ユーザ ブロック) セクションでは基準を指定し、ユーザ が指定回数ログオンに失敗するとシステムにアクセスできなくなるよう にします。

次の3つのオプションは、相互に排他的です。

オプションです。	説明
[Disabled] (無効)	デフォルト値です。認証に失敗した回数に関わら ず、ユーザのアクセスはブロックされません。



Ch 9: セキュリティ上の問題

オプションです。	説明
[Timer Lockout] (タ イマ ロックアウ ト)	ユーザが指定回数より多くログオンに失敗する と、システムへのアクセスが指定の時間拒否され ます。これを選択した場合は次のフィールドが有 効になります。
	 [Attempts] (試行回数): この回数より多くログ オンに失敗すると、ユーザはロックアウトさ れます。有効な範囲は 1 ~ 10 で、デフォル トの試行回数は 3 です。
	 [Lockout Time] (ロックアウト時間): ユーザが ロックアウトされる時間です。有効な範囲は 1 ~ 1440 分で、デフォルトでは 5 分です。
	注: [Timer Lockout] (タイマ ロックアウト) で指 定した値は、Administrator 役割が割り当てられ ているユーザには適用されません。
[Deactivate User-ID] (ユーザ ID を無効化)	このオプションを選択した場合は、[Failed Attempts] (試行回数) フィールドで指定した回数 より多くログオンに失敗すると、ユーザはシステ ムからロックアウトされます。
	 [Failed Attempts] (試行回数): この回数より多くログオンに失敗すると、そのユーザのユーザ ID が無効になります。このボックスが有効になるのは、[Deactivate User-ID] (ユーザ ID を無効化) オプションを選択した場合です。有効な範囲は 1 ~ 10 です。

指定回数より多くログオンに失敗してユーザ ID が無効になった場合、 管理者はユーザ パスワードを変更し、[User] (ユーザ) ページの [Active] (有効化) チェックボックスをオンにしてユーザ アカウントを有効化す る必要があります。



[Encryption & Share] (暗号化および共有)

[Encryption & Share] (暗号化および共有) セクションでは、使用する暗号 化のタイプ、PC と VM の共有モード、Dominion KX II のリセット ボ タンを押したときに実行されるリセットのタイプを指定できます。

警告: ご使用のブラウザでサポートされていない暗号化モードを選択 した場合、そのブラウザから Dominion KX II にアクセスできなくなり ます。

 [Encryption Mode] (暗号化モード) ボックスの一覧で暗号化モードを 選択します。選択した暗号化モードがご使用のブラウザでサポートさ れていない場合 Dominion KX II に接続できない、という内容の警告 が表示されます。この警告は、"暗号化モードを選択する際、ご使用 のブラウザでその暗号化モードがサポートされていることを確認し てください。サポートされていない場合、Dominion KX II に接続で きません"という意味です。

暗号化モード	説明
自動	これは推奨オプションです。使用可能な最高 強度の暗号化モードに自動設定されます。
	デバイスとクライアントが FIPS 準拠アル ゴリズムの使用を正常にネゴシエートできる ようにするには、[Auot] (自動) を選択する必 要があります。
[RC4] (RC4)	RSA RC4 暗号方式を使用して、ユーザ名、 パスワード、ビデオ送信を含む KVM データ が保護されます。これは、最初の接続認証中 に Dominion KX II とリモート PC 間のプラ イベート通信チャンネルを提供する 128 ビ ットの SSL (セキュア ソケット レイヤ) プ ロトコルです。
	FIPS 140-2 モードを有効にして [RC4] (RC4) を選択すると、エラー メッセージが表 示されます。[RC4] (RC4) は FIPS 140-2 モ ードでは使用できません。
[AES-128] (AES-256)	AES (Advanced Encryption Standard) は、 電子データの暗号化に関するアメリカの国立 標準技術研究所の仕様です。"128" はキーの 長さを意味します。[AES-128] (AES-256) を 指定した場合は、使用しているブラウザで AES がサポートされていることを確認して



Ch 9: セキュリティ上の問題

暗号化モード	説明
	ください。サポートされていない場合は、接続できません。詳細については、「ご使用の ブラウザで AFS 暗号化チードがサポートさ
	れているかどうかを確認する 『p. 232の"ご使用のブラウザで AES 暗号化方式がサポート されているかどうかを確認する"参昭
	参照してください。
[AES-256] (AES-256)	AES (Advanced Encryption Standard) は、 電子データの暗号化に関するアメリカの国立 標準技術研究所の仕様です。"256" はキーの 長さを意味します。[AES-256] (AES-256) を 指定した場合は、使用しているブラウザで AES がサポートされていることを確認して ください。サポートされていない場合は、接 続できません。詳細については、「ご使用の ブラウザで AES 暗号化モードがサポートさ れているかどうかを確認する『p. 232の"ご使 用のブラウザで AES 暗号化方式がサポート されているかどうかを確認する"参照 』」を 参照してください。

注: [Auto] (自動) を選択しなかった場合、MPC は最高強度の暗号化モードに設定されます。

注: Windows XP (Service Pack 2 適用) と Internet Explorer 7 を使 用している場合、AES-128 暗号化モードで Dominion KX II にリモ ート接続することはできません。

- [Apply Encryption Mode to KVM and Virtual Media] (暗号化モードを KVM および仮想メディアに適用する) チェック ボックスの値を指 定します。このチェック ボックスをオンにした場合、選択した暗号 化モードが KVM と仮想メディアの両方に適用されます。認証後、 KVM データと仮想メディア データが 128 ビットの暗号化モード で転送されます。
- 政府やその他のセキュリティの高い環境では、[Enable FIPS 140-2] (FIPS 140-2 を有効にする) チェックボックスをオンにして FIPS 140-2 モードを有効にします。FIPS 140-2 を有効にする方法につい ては、「FIPS 140-2 の有効化 『p. 233』」を参照してください。



- [PC Share Mode] (PC 共有モード) ボックスの一覧で値を選択しま す。グローバルな同時リモート KVM アクセスを特定し、最大 8 人 までのリモート ユーザが Dominion KX II に同時にログオンし、デ バイスを介してターゲット サーバを同時に表示および制御できるよ うにします。次のいずれかのオプションを選択します。
 - [Private] (プライベート): PC を共有しません。これはデフォルト 値です。一度に 1 人のユーザが、排他的に各ターゲット サーバ にアクセスできます。
 - [PC-Share] (PC 共有): KVM ターゲット サーバに最大 8 人のユ ーザ (管理者または非管理者) が同時にアクセスできます。ただ し、リモート ユーザはキーボートやマウスで全く同じ操作を行 えるため、文字の入力やマウスの操作を止めないユーザがいると、 制御が不規則になる場合があることに注意してください。
- 必要に応じて、[VM Share Mode] (VM 共有モード) チェック ボック スをオンにします。このチェック ボックスは [PC-Share Mode] (PC 共有モード) ボックスの一覧で [PC-Share] (PC 共有) を選択した場 合にのみ有効になります。このオプションを選択すると、複数のユー ザで仮想メディアを共有できるようになります。つまり、複数のユー ザが同じ仮想メディア セッションにアクセスできます。デフォルト では、このチェック ボックスはオフになっています。
- 必要に応じて [Disable Local Port Output] (ローカル ポート出力を無効にする) チェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにした場合、ローカル ポートからビデオ信号が出力されません。この設定は、KX2 832 および KX2 864 のみに適用されます。 スマート カード リーダーを使用する場合は、ローカル ポートを無効にする必要があります。
- 必要に応じて、[Local Device Reset Mode] (ローカル デバイス リセット モード) ボックスの一覧で値を選択します。このオプションでは、ユニットの背面にあるハードウェア リセット ボタンが押下された際に実行するアクションを指定します。詳細については、「リセット ボタンを使用して Dominion KX II をリセットする」を参照してください。次のいずれかの値を選択します。

ローカル デバイス リセット モード	説明
[Enable Local Factory Reset] (ローカルで出 荷時設定にリセット する) (デフォルト)	Dominion KX II を出荷時設定にリセットします。
[Enable Local Admin Password Reset] (ロ ーカルで管理者パス	ローカルの管理者パスワードだけをリセット します。パスワードは raritan に戻ります。



ローカル デバイス リセット モード	説明
ワードだけをリセッ トする)	
[Disable All Local Resets] (ローカルで リセットしない)	リセットは一切実行されません。

ご使用のブラウザで AES 暗号化方式がサポートされているかどうかを確認す る

Dominion KX II では AES 256 ビット暗号化方式がサポートされていま す。ご使用のブラウザで AES がサポートされているかどうか不明な場 合は、そのブラウザの製造元に問い合わせるか、または、確認したい暗 号化方式を使用してそのブラウザで

https://www.fortify.net/sslcheck.html にアクセスしてください。この Web サイトでは、ご使用のブラウザの暗号化方式が検出され、レポートが表示されます。

注: Internet Explorer 6 では、AES 128 ビットおよび 256 ビット暗号化 方式はサポートされていません。

AES (256 ビット)を使用する際の前提条件とサポート対象構成

AES 256 ビット暗号化方式は、次のブラウザでのみサポートされています。

- Firefox 2.0.0.x および 3
- Mozilla 1.7.13
- Internet Explorer 7 および 8

AES 256 ビット暗号化方式を使用するには、サポート対象ブラウザを使用することに加え、Java Cryptography Extension (JCE) 無制限強度の管轄ポリシーファイルをインストールする必要があります。

各種 JRE の管轄ファイルは、次のページの [other downloads] セクショ ンで入手できます。

• JRE1.5 - http://java.sun.com/javase/downloads/index_jdk5.jsp



FIPS 140-2 の有効化

政府やその他のセキュリティの高い環境では、FIPS 140-2 モードを有効 にすることが望ましい場合があります。Dominion KX II では、『FIPS 140-2 Implementation Guidance』(FIPS 140-2 実装ガイダンス)の G.5 セクションのガイドラインに従って Linux プラットフォームで実行され ている FIPS 140-2 で検証された埋め込み暗号化モジュールが使用され ます。このモードを有効にすると、SSL 証明書の生成に使用される秘密 鍵を内部で生成する必要があり、ダウンロードしたりエクスポートした りすることはできません。

- ▶ FIPS 140-2 を有効にするには、以下の手順に従います。
- [Encryption & Share] (暗号化および共有) ページにアクセスします (「*暗号化および共有* 『p. 229の"[Encryption & Share] (暗号化および 共有)"参照 』」を参照)。
- [Security Settings] (セキュリティ設定) ページの [Encryption & Share] (暗号化および共有) セクションで [Enable FIPS 140-2] (FIPS 140-2 を有効にする) チェックボックスをオンにして、FIPS 140-2 モードを有効にします。FIPS 140-2 モードでは、外部通信に FIPS 140-2 で承認されたアルゴリズムを利用します。ビデオ、キー ボード、マウス、仮想メディア、およびスマート カードのデータで 構成される KVM セッション トラフィックの暗号化には、FIPS 暗 号化モジュールが使用されます。
- 3. Dominion KX II を再起動します。必須

FIPS モードが有効になると、「FIPS Mode: Enabled」(FIPS モード: 有効) というメッセージが画面の左パネルの [Device Information] (デバイス情報) セクションに表示されます。

FIPS モードが有効になったら、セキュリティを強化するために、新 しい証明書署名要求を作成することもできます。この要求は、必要な 鍵暗号を使用して作成されます。署名された証明書をアップロードす るか、自己署名証明書を作成します。SSL 証明書の状態は、[Not FIPS Mode Compliant] (FIPS モード非準拠) から [FIPS Mode Compliant] (FIPS モード準拠) に更新されます。

FIPS モードが有効になっている場合は、鍵ファイルをダウンロード またはアップロードできません。最後に作成された CSR が内部で鍵 ファイルに関連付けられます。さらに、CA からの SSL 証明書とそ の秘密鍵は、バックアップされたファイルの完全な復元に含まれませ ん。鍵を Dominion KX II からエクスポートすることはできません。



FIPS 140-2 サポートの要件

Dominion KX II では、FIPS 140-20 で承認された暗号化アルゴリズムの 使用がサポートされます。これにより、クライアントが FIPS 140-2 専 用モードに設定されている場合に、SSL サーバとクライアントでは、暗 号化されたセッションに使用されている暗号スイートを正常にネゴシエ ートできます。

Dominion KX II で FIPS 140-2 を使用する場合の推奨事項を以下に示します。

Dominion KX II

 [Security Settings] (セキュリティ設定) ページで、[Encryption & Share] (暗号化および共有) を [Auto] (自動) に設定します。「暗号化 および共有」を参照してください。

Microsoft クライアント

- クライアント コンピュータと Internet Explorer で FIPS 140-2 を 有効にする必要があります。
- Windows クライアントで FIPS 140-2 を有効にするには、以下の手順に従います。
- [コントロール パネル]、[管理ツール]、[ローカル セキュリティ ポリ シー] の順に選択して、[ローカル セキュリティ設定] ダイアログ ボ ックスを開きます。
- ナビゲーション ツリーで、[ローカル ポリシー]、[セキュリティ オ プション]の順に選択します。
- 3. [システム暗号化: 暗号化、ハッシュ、署名のための FIPS 準拠アル ゴリズムを使う] を有効にします。
- 4. クライアント コンピュータを再起動します。
- Internet Explorer で FIPS 140-2 を有効にするには、以下の手順に 従います。
- Internet Explorer で、[ツール]の [インターネット オプション] を選択し、[詳細設定] タブをクリックします。
- 2. [TLS 1.0 を使用する] チェックボックスをオンにします。
- 3. ブラウザを再起動します。



IP アクセス制御を設定する

IP アクセス制御機能を利用することにより、Dominion KX II に対するア クセスを制御できます。グローバル アクセス制御リスト (ACL) の設定 を行い、許可されていない IP アドレスから送信されるパケットにデバ イスが応答することのないようにします。IP アクセス制御はグローバル に作用し、Dominion KX II 全体に影響しますが、グループ レベルで Dominion KX II へのアクセスを制御することもできます。グループ レベ ルの制御の詳細については、「グループ ベースの IP アクセス制御リス / 『p. 130の"グループベースの IP ACL (アクセス制御リスト)"参照 』」 を参照してください。

重要: Dominion KX II のローカル ポートでは、IP アドレス 127.0.0.1 が使用されます。IP アクセス制御リストを作成する際に、ブロックされ る IP アドレス範囲に 127.0.0.1 を含めないでください。そうしなけれ ば、Dominion KX II ローカル ポートにアクセスできなくなります。

▶ IP アクセス制御機能を利用するには

- [Security] (セキュリティ) メニューの [IP Access Control] (IP アクセス制御) をクリックします。[IP Access Control] (IP アクセス制御) ページが開きます。
- [Enable IP Access Control] (IP アクセス制御を有効にする) チェックボックスをオンにし、IP アクセス制御およびこのページの他のフィールドを有効にします。
- [Default policy] (デフォルト ポリシー) ボックスの一覧で値を選択し ます。これは、指定した範囲内にない IP アドレスに対して実行され るアクションです。
 - [ACCEPT] (許可): 指定した範囲内にない IP アドレスから Dominion KX II へのアクセスを許可します。
 - [Drop] (拒否): 指定した範囲内にない IP アドレスから Dominion KX II へのアクセスを拒否します。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

ルールを一覧の末尾に追加するには

 [IPv4/Mask or IPv6/Prefix Length] (IPv4/マスクまたは IPv6/プレフィ ックスの長さ) ボックスに IP アドレスとサブネット マスクを入力 します。

注: IP アドレスは Classless Inter-Domain Routing (CIDR) 方式で入 力してください。つまり、先頭の 24 ビットをネットワーク アドレ スとして使用します。



- 2. [Policy] (ポリシー) 列のボックスの一覧でポリシーを選択します。
- [Append] (追加) をクリックします。そのルールがルール一覧の末尾 に追加されます。
- ▶ ルールを一覧の途中に挿入するには
- ルール番号を入力します。ルールを一覧の途中に挿入する場合、ルール番号は入力必須です。
- [IPv4/Mask or IPv6/Prefix Length] (IPv4/マスクまたは IPv6/プレフィ ックスの長さ) ボックスに IP アドレスとサブネット マスクを入力 します。
- 3. [Policy] (ポリシー)列のボックスの一覧でポリシーを選択します。
- [Insert] (挿入) をクリックします。入力したルール番号と同じルール 番号のルールが存在する場合 新しいルールはそのルールの上に挿入 され、以降のすべてのルールが1 行下に下がります。

ヒント: ルール番号を使用すると、各ルールを作成する順序を気にせ ずに済みます。

▶ ルールの内容を置換するには

- 1. 置換したいルールのルール番号を入力します。
- [IPv4/Mask or IPv6/Prefix Length] (IPv4/マスクまたは IPv6/プレフィ ックスの長さ) ボックスに IP アドレスとサブネット マスクを入力 します。
- 3. [Policy] (ポリシー) 列のボックスの一覧でポリシーを選択します。
- [Replace] (置換) をクリックします。同じルール番号の既存ルールが、 新しいルールに置き換わります。
- ルールを削除するには
- 1. 削除したいルールのルール番号を入力します。
- 2. [Delete] (削除) をクリックします。



削除してよいかどうかを確認するダイアログ ボックスが開きます。
 [OK] をクリックします。

Enable Enable	e IP Access Control	
ACCEPT		
tule #	IPv4/Mask or IPv6/Prefix Length	Policy
	192.168.59.192/32	ACCEPT
2	192.168.61.0/24	ACCEPT
3	255.255.0.0/16	ACCEPT
		ACCEPT 💌
Annend	Insert Penlace Delete	



SSL 証明書

Dominion KX II では、接続先クライアントとの間で送受信されるトラフ ィックを暗号化するために Secure Sockets Layer (SSL) が使用されま す。Dominion KX II とクライアントとの接続を確立する際、暗号化され た証明書を使用して、Dominion KX II の正当性をクライアントに示す必 要があります。

Dominion KX II 上で、証明書署名要求 (CSR) を生成し、証明機関 (CA) によって署名された証明書をインストールすることができます CA はま ず、CSR 発行元の身元情報を検証します。続いて、署名された証明書を 発行元に返します。有名な CA によって署名されたこの証明書は、証明 書発行者の身元を保証する目的で使用されます。

Certificate Signing Request (CSR)				
Common name				
1				
Organizational unit				
e de la companya de la compa				
Organization				
Locality/City				
State/Province				
Country (ISO code)				
1				
Email				
Challenge password				
Confirm Challenge password				
Key length (bits)				
1024 💌 *				
Create				

* Stored value is equal to the default.



- ▶ SSL 証明書を作成してインストールするには
- [Security] (セキュリティ) メニューの [Security Certificate] (セキュ リティ証明書) をクリックします。
- 2. 次の各フィールドの値を指定します。
 - a. [Common name] (共通名): Dominion KX II をユーザのネットワークに追加したときに指定した、Dominion KX II のネットワーク名。通常は完全修飾ドメイン名です。これは、Web ブラウザでDominion KX II にアクセスする際に使用する名前から、プレフィックスである http:// を除いたものです。ここで指定した名前が実際のネットワーク名と異なる場合、HTTPS を使用してDominion KX II にアクセスする際に、ブラウザでセキュリティ警告ダイアログ ボックスが開きます。
 - b. [Organizational unit] (組織内部門): Dominion KX II が属する、組織内の部門。
 - c. [Organization] (組織): Dominion KX II が属する組織。
 - d. [Locality/City] (市区町村): 組織が存在する市区町村。
 - e. [State/Province] (都道府県): 組織が存在する都道府県。
 - f. [Country (ISO code)] (国 (ISO コード)): 組織が存在する国 2 文 字の ISO コードを入力します。たとえば、ドイツの場合は「DE」、 米国の場合は「US」と入力します。
 - g. [Challenge Password] (チャレンジ パスワード): 一部の CA は、 証明書が失効した場合などに証明書の変更を許可するための、チ ャレンジ パスワードを要求します。このパスワードは 4 文字以 上にする必要があります。
 - h. [Confirm Challenge Password] (チャレンジ パスワードの確認入力): 確認のためチャレンジ パスワードを再度入力します。
 - i. [Email] (電子メール): Dominion KX II とそのセキュリティを担当 する人の電子メール アドレス。
 - j. [Key length (bits)] (キー長 (単位: ビット)): 生成されるキーの長 さ (単位: ビット)。デフォルト値は [1024] (1024) です。
- 3. [Create] (作成) をクリックし、CSR を生成します。
- CSR 証明書をダウンロードするには
- CSR、および、CSR 生成時に使用された秘密鍵を含むファイルをダ ウンロードするため、[Download] (ダウンロード) をクリックします。



注: CSR と秘密鍵ファイルはセットになっているので、そのように 扱う必要があります。署名付き証明書が、元の CSR の生成時に使 用された秘密鍵と対応していない場合、その証明書は使用できません。 このことは、CSR と秘密鍵ファイルのアップロードおよびダウンロ ードに当てはまります。

証明書を取得するため、保存されている CSR を CA に送信します。
 CA から新しい証明書が届きます。

▶ CSR をアップロードするには

 [Upload] (アップロード) をクリックし、証明書を Dominion KX II に アップロードします。

注: CSR と秘密鍵ファイルはセットになっているので、そのように 扱う必要があります。署名付き証明書が、元の CSR の生成時に使 用された秘密鍵と対応していない場合、その証明書は使用できません。 このことは、CSR と秘密鍵ファイルのアップロードおよびダウンロ ードに当てはまります。

Certificate Signing Request (CSR)	Certificate Upload
The following countryName stateOrProvinceName localityName organizationName organizationalUnitName commonName emailAddress	CSR is pending: = US = DC = Washington = ACME Corp. = Marketing Dept. = John Doe = johndoe@acme.com	SSL Certificate File Browse Upload
Download	Delete	

この 3 つの手順が完了すると、Dominion KX II 専用の証明書が入手され ます。この証明書は、Dominion KX II の身元をクライアントに対して示 す際に使用されます。

重要: Dominion KX II 上の CSR を破棄した場合、復旧する方法はあり ません。誤って CSR を削除してしまった場合、前述の 3 つの手順をや り直す必要があります。やり直しを回避するには、ダウンロード機能を 利用し、CSR とその秘密鍵のコピーを取得しておきます。



Ch 10 保守

この章の内容

監査ログ	.241
デバイス情報	.243
バックアップと復元	.244
USB プロファイルの管理	.247
CIM をアップグレードする	.249
ファームウェアをアップグレードする	.250
アップグレード履歴	.253
再起動	.254
CC-SG 管理の終了	.255

監査ログ

Dominion KX II のシステム イベントに関するログが作成されます。

Dominion KX II の監査ログを表示するには

 [Maintenance] (保守) メニューの [Audit Log] (監査ログ) をクリック します。[Audit Log] (監査ログ) ページが開きます。

[Audit Log] (監査ログ) ページでは、日時順にイベントが表示されま す (最も新しいイベントが先頭に表示されます) 監査ログに含まれる 情報は次のとおりです。

- [Date] (日時): イベントが発生した日時 (24 時間形式)。
- [Event] (イベント): [Event Management] (イベント管理) ページ に一覧表示されるイベント名。
- [Description] (説明): イベントの詳細な説明。

▶ 監査ログを保存するには

注: 監査ログの保存は Dominion KX II リモート コンソールでのみ実行 できます。Dominion KX II ローカル コンソールでは実行できません。

- 1. [Save to File] (ファイルに保存) をクリックします。[Save File] (ファ イルに保存) ダイアログ ボックスが開きます。
- 2. ファイル名と保存先フォルダを選択し、[Save](保存)をクリックします。監査ログが、クライアント コンピュータ上の指定した保存先フォルダに指定した名前で保存されます。



- ▶ 監査ログのページ間を移動するには
- [Older] (古いログへ) リンクおよび [Newer] (新しいログへ) リンク を使用します。


デバイス情報

[Device Information] (デバイス情報) ページには、使用している Dominion KX II デバイスとコンピュータ インタフェース モジュール (CIM) に関する詳細情報が表示されます。これらの情報は、Raritan のテ クニカル サポート部門に問い合わせをする際に役立ちます。

- Dominion KX II と CIM に関する情報を表示するには、以下の手順 に従います。
- [Maintenance] (保守) メニューの [Device Information] (デバイス情報) をクリックします。[Device Information] (デバイス情報) ページ が開きます。

使用している Dominion KX II に関する以下の情報が提供されます。

- モデル
- ハードウェア リビジョン
- ファームウェア バージョン
- シリアル番号
- MAC アドレス

CIM に関して表示される情報は次のとおりです。

- ポート番号
- 名前
- CIM のタイプ (DCIM、PCIM、電源タップ、または VM)
- ファームウェア バージョン
- シリアル番号

Home > Maintenance > Device Information

D232
0×48
2.0.20.5.6882
HKB7500230
00:0d:5d:03:cc:b5

CIM Information

▲ Port	Name	Туре	Firmware Version	Serial Number
1	Dominion	М	2A5D	HUW7250867
8	PwrStrip	PowerStrip	00B4	PQ16A00058



Logout

バックアップと復元

[Backup/Restore] (バックアップ/復元) ページでは、Dominion KX II の設 定情報をバックアップおよび復元できます。

バックアップ/復元機能には、業務継続性を確保するというメリットに加え、時間節約効果もあります。たとえば、使用中の Dominion KX II のユーザ設定情報をバックアップして別の Dominion KX II に復元することにより、その復元先 Dominion KX II をすぐに使用できるようになります。また、1 台の Dominion KX II をセットアップし、その設定情報を複数台の Dominion KX II にコピーすることもできます。

- ▶ [Backup/Restore] (バックアップ/復元) ページを開くには
- [Maintenance] (保守) メニューの [Backup/Restore] (バックアップ/ 復元) をクリックします。[Backup/Restore] (バックアップ/復元) ペ ージが開きます。

Home > Maintenance > Backup / Restore
Backup / Restore
💿 Full Restore
Protected Restore
🚫 Custom Restore
User and Group Restore
Device Settings Restore
Restore File Browse
Backup Cancel

注: バックアップ処理では、常にシステム全体がバックアップされます。 復元処理では、全体を復元するか一部を復元するかをユーザが選択でき ます。

- Firefox または Internet Explorer 5 以下を使用している場合、
 Dominion KX II をバックアップするには、以下の手順に従います。
- [Backup] (バックアップ) をクリックします。[File Download] (ファイ ルのダウンロード) ダイアログ ボックスが開きます。



- 2. [Save] (保存) をクリックします。[Save As] (名前を付けて保存) ダイ アログ ボックスが開きます。
- 保存先フォルダを選択してファイル名を入力し、[Save] (保存) をク リックします。[Download Complete] (ダウンロードの完了) ダイアロ グ ボックスが開きます。
- [Close] (閉じる) をクリックします。バックアップ ファイルが、クラ イアント コンピュータ上の指定した保存先フォルダに指定した名前 で保存されます。
- Internet Explorer 6 以上を使用している場合、Dominion KX II を バックアップするには、以下の手順に従います。
- [Backup] (バックアップ) をクリックします。[Open] (開く) ボタンを 含む [File Download] (ファイルのダウンロード) ダイアログ ボック スが開きます。[Open] (開く) をクリックしないでください。

IE6以上では、ファイルを開くデフォルトのアプリケーションとして IE が使用されるため、ファイルを開くか、または保存するように 求められます。これを回避するには、ファイルを開くために使用され るデフォルトのアプリケーションをワードパッドに変更する必要が あります。

- 2. このためには、以下の手順に従います。
 - a. バックアップ ファイルを保存します。バックアップ ファイルが、
 クライアント コンピュータ上の指定した保存先フォルダに指定した名前で保存されます。
 - b. 保存されたら、ファイルを探して右クリックします。[プロパティ] を選択します。
 - c. [全般] タブで [変更] をクリックし、[WordPad] を選択します。

Dominion KX II を復元するには

警告: 使用している Dominion KX II を旧バージョンに復元する場合、 注意が必要です。バックアップ時点で設定されていたユーザ名とパス ワードが復元されます。つまり、バックアップ時点での管理者のユー ザ名とパスワードを覚えていない場合、Dominion KX II からロックア ウトされます。

また、バックアップ時点で現在と異なる IP アドレスを使用していた 場合、その IP アドレスも同様に復元されます。IP アドレスの割り当 てに DHCP を使用している場合、ローカル ポートにアクセスして復 元後の IP アドレスを調べる必要があります。

1. 実行する復元処理のタイプを選択します。



- [Full Restore] (完全復元): システム全体を復元します。この復元タイ プの主な用途は、一般的なバックアップ/復元処理です。
- [Protected Restore] (部分復元): デバイス固有情報 (例: IP アドレス、 名前) 以外のすべての情報が復元されます。この復元タイプの用途と しては、1 台の Dominion KX II をセットアップし、その設定情報を 複数台の Dominion KX II にコピーするケースなどが考えられます。
- [Custom Restore] (カスタム復元): この復元タイプを選択した場合、 [User and Group Restore] (ユーザとグループの復元) チェック ボッ クスと [Device Settings Restore] (デバイス設定の復元) チェック ボックスのいずれか一方または両方をオンにすることができます。
 - [User and Group Restore] (ユーザとグループの復元): このチ ェック ボックスをオンにした場合、ユーザ情報とグループ 情報だけが復元されます。証明書および秘密鍵ファイルは復 元されません。別の Dominion KX II 上でユーザ情報をセッ トアップする際に便利です。
 - [Device Settings Restore] (デバイス設定の復元): このチェックボックスをオンにした場合、デバイス設定情報 (例: 関連電源、USB プロファイル、ブレード筐体関連の設定パラメータ、ポート グループの割り当て) だけが復元されます。デバイス情報をコピーする際に便利です。
- [Browse] (参照) をクリックします。[Choose file] (ファイルを選択) ダイアログ ボックスが開きます。
- 適切なバックアップ ファイルを探して選択し、[Open] (開く) をクリ ックします。選択したファイルが [Restore File] (復元ファイル) ボッ クスに表示されます。
- 3. [Restore] (復元) をクリックします。選択した復元タイプに基づいて、 設定情報が復元されます。



USB プロファイルの管理

[USB Profile Management] (USB プロファイル管理) ページでは、 Raritan のテクニカル サポート部門から提供されたカスタム プロファ イル情報をアップロードできます。これらのプロファイルは、標準プロ ファイルがターゲット サーバ構成のニーズに対応していない場合にそ のニーズに対応できるよう、設計されています。Raritan のテクニカル サ ポート部門は、カスタム プロファイルを提供し、ターゲット サーバ固 有のニーズに対する解決策をお客様と一緒に探します。

- [USB Profile Management] (USB プロファイル管理) ページを開く には
- [Maintenance] (保守) メニューの [USB Profile Management] (USB プロファイル管理) をクリックします。[USB Profile Management] (USB プロファイル管理) ページが開きます。

> USB Profile N	fanagement	Log
essfully up	loaded.	
Brow	NSE	
Active	Profile	Profile Key
No	Dell Dimension 1 Custom Profile for Dell Dimension/n- Force full-speed is ON - Order: HD interface first, Mass Storage second - CDROM and removable drive cannot be used simultaneously	40000300
	> USB Profile N essfully up Brow Active No	

- カスタム プロファイル情報を Dominion KX II にアップロードするには
- [Browse] (参照) ボタンをクリックします。[Choose file] (ファイルを 選択) ダイアログ ボックスが開きます。
- 適切なカスタム プロファイル ファイルを探して選択し、[Open] (開く) をクリックします。選択したファイルが [USB Profile File] (USB プロファイル ファイル) ボックスに表示されます。
- 3. [Upload] (アップロード) をクリックします。カスタム プロファイル 情報がアップロードされ、プロファイル一覧に表示されます。



注: アップロード処理中にエラーまたは警告が表示された場合 (例: 既存 のカスタム プロファイルが上書きされる場合)、アップロード処理を続行 するには [Upload] (アップロード)、アップロード処理をキャンセルする には [Cancel] (キャンセル) をクリックします。

- カスタム プロファイル情報を Dominion KX II から削除するには
- 削除するカスタム プロファイルのチェック ボックスをオンにします。
- [Delete] (削除) をクリックします。カスタム プロファイル情報が削除され、プロファイル一覧に表示されなくなります。

アクティブになっているカスタム プロファイルでも削除できます。ただ しその場合、確立されていた仮想メディア セッションがすべて終了しま す。

プロファイル名の競合を処理する

ファームウェアをアップグレードしたとき、カスタム USB プロファイ ルと標準 USB プロファイルの名前が競合することがあります。たとえ ば、あるカスタム プロファイルを作成して標準プロファイル リストに 組み込んでおり、ファームウェアのアップグレード時に同名の USB プ ロファイルがダウンロードされた場合などです。

この場合、既存のカスタム プロファイルの名前に old_ というプレフィ ックスが付加されます。たとえば、GenericUSBProfile5 という名前のカ スタム プロファイルが存在しており、かつ、ファームウェアのアップグ レード時に同名のプロファイルがダウンロードされた場合、既存のカス タム プロファイルの名前が old_GenericUSBProfile5 に変更されます。

必要に応じて、既存のプロファイルを削除できます。詳細については、 「**USB プロファイルの管理**『p.247』」を参照してください。



CIM をアップグレードする

この項で説明する手順に従って、Dominion KX II のメモリに格納されて いるファームウェア バージョンを基に CIM をアップグレードします。 一般に、[Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) ページ を使用してデバイスのファームウェアをアップグレードする場合、すべ ての CIM がアップグレードされます。

USB プロファイルを使用するには、ファームウェアが最新である D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB を使用する必要があります。ファ ームウェアがアップグレードされていない VM-CIM でもさまざまな構 成 (Windows、キーボード、マウス、CD-ROM、およびリムーバブル デ バイス) がサポートされていますが 特定の構成に最適なプロファイルを 使用することはできません。そのため、USB プロファイルを使用するに は、VM-CIM のファームウェアを最新バージョンにアップグレードする 必要があります。なお、アップグレードする前でも、"Generic" プロファ イルに相当する機能は利用できます。

注: [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) ページでフ ァームウェアをアップグレードできるのは、D2CIM-VUSB だけです。

- Dominion KX II のメモリを使用して CIM をアップグレードするに は
- [Maintenance] (保守) メニューの [CIM Firmware Upgrade] (CIM フ アームウェアのアップグレード) をクリックします。[CIM Upgrade from] (CIM のアップグレード) ページが開きます。

[Port] (ポート) ·[Name] (名前) ·[Type] (タイプ) ·[Current CIM Version] (現在の CIM バージョン)、[Upgrade CIM Version] (アップグレード 先の CIM バージョン) の各列に情報が表示されるので、各 CIM を 簡単に識別できます。

 アップグレードしたい各 CIM の [Selected] (選択) チェック ボッ クスをオンにします。

 $E \geq h$: [Select All] ($\tau \prec \tau$ (\mathbb{Z} (\mathcal{Z}) \mathcal{Z}) \mathcal{Z}) \mathcal{Z}) \mathcal{Z} (\mathcal{Z}) \mathcal{Z}) \mathcal{Z}) \mathcal{Z} (\mathcal{Z}) \mathcal

- 3. [Upgrade] (アップグレード) をクリックします。アップグレードして もよいかどうかを確認するダイアログ ボックスが開きます。
- [OK] をクリックしてアップグレード処理を続行します。アップグレード処理中は、進行状況バーが表示されます。アップグレード処理には、CIM ごとに最長で約2分かかります。



ファームウェアをアップグレードする

[Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) ページを使用して、Dominion KX II および接続するすべての CIM のファームウェアを アップグレードします。このページは、Dominion KX II リモート コンソ ールでのみ使用できます。

重要: アップグレード処理中に、Dominion KX II の電源を切断したり CIM を取り外したりしないでください。Dominion KX II または CIM が 損傷するおそれがあります。

- Dominion KX II をアップグレードするには
- Raritan の Web サイト http://www.raritan.comの [Firmware Upgrades] (ファームウェアのアップグレード) ページで、適切な Raritan ファームウェア配布ファイル (.rfp ファイル) を探してダウ ンロードします。
- そのファイルを解凍します。アップグレードを実行する前に、解凍したファイルに記載されている指示をすべてお読みください。

注: アップグレードを実行する前に、そのファームウェア配布ファイ ルをローカル PC にコピーしておいてください。また、そのファー ムウェア配布ファイルをネットワーク ドライブからロードしないで ください。

3. [Maintenance] (保守) メニューの [Firmware Upgrade] (ファームウ ェアのアップグレード) をクリックします。[Firmware Upgrade] (フ ァームウェアのアップグレード) ページが開きます。

Home > Maintenance > Firmware Upgrade	
Firmware Upgrade	- 2
Show Latest Firmware	1
Browse Review CIM Version Information?	5
Upload Cancel	
a survey and the second	man (



- 4. [Browse] (参照) をクリックし、ファームウェア配布ファイルを解凍 したフォルダに移動します。
- 使用している CIM のバージョン情報を表示したい場合、[Review CIM Version Information?] (CIM のバージョン情報を確認する) チェ ック ボックスをオンにします。
- [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) ページの [Upload] (アップロード) をクリックします。アップグレードとバー ジョン番号に関する情報が、確認のために表示されます。CIM 情報 を表示するよう指定した場合は、その情報も表示されます。

w version	ion:	2.0.0.5.5541			
Upgrade	Cancel				
his may take pdate is in pr .tomatically.	some minutes. Please do N ogress! After a successful	update, the device	will be reset		
vs may take idate is in pr tomatically.	some mirutes. Please do N ogressi After a successifui Name	Type	Current CIM Version	Upgrade CIM Version	
A Port 1	some minutes. Please do N ogress! After a successful Name Dominion-KX2_Port1	Type VM	Current CIM Version	Upgrade CIM Version 2A41	

注: この時点で接続していたユーザはログオフされ、新たにログオン しようとしたユーザはブロックされます。



 [Upgrade] (アップグレード) をクリックします。アップグレード処理 が完了するまで待機します。アップグレード処理中は、ステータス情報および進行状況バーが表示されます。アップグレード処理が完了す ると、Dominion KX II が再起動します。再起動が完了するとビープ 音が1回鳴ります。

C	Firmware Upgrade in Progress
	Upgrade successful.
	The Device DominionKX has been updated with new firmware version 2.0.0.2.5240.
	Device will reboot now and this will take approximately 5 minutes. Please close the browser for approximately 5 minutes before logging in again.
	Progress: Upgrade Finished
	100%
8.	指示に従ってブラウザを終了し、約 5 分待ってから再

8. 指示に従ってブラウザを終了し、約 5 分待ってから再度 Dominion KX II にログオンします。

Multi-Platform Client を使用してデバイスのファームウェアをアップグレードする手順については、『KVM and Serial Access Client Guide』の「Upgrading Device Firmware」を参照してください。

注: モデムを介してファームウェアをアップグレードすることはできま せん。



アップグレード履歴

Dominion KX II および接続されている CIM に対して実行されたアップ グレード処理に関する情報を表示できます。

- ▶ アップグレード履歴を表示するには
- [Maintenance] (保守) メニューの [Upgrade History] (アップグレード 履歴) をクリックします。[Upgrade History] (アップグレード履歴) ペ ージが開きます。

実行された Dominion KX II アップグレード処理に関する情報、アップグレード処理の最終ステータス、アップグレード処理の開始日時と終了日時、および、アップグレード前と現在のファームウェア バージョンが表示されます。CIM に関する情報を表示するには、[CIM's] (CIM) 列の [show] (表示) リンクをクリックします。表示される CIM 情報は次のとおりです。

- [Type] (タイプ): CIM のタイプ。
- [Port] (ポート): CIM が接続されているポート。
- [User] (ユーザ): アップグレード処理を実行したユーザ。
- [IP] (IP アドレス): IP アドレス。
- [Start Time] (開始日時): アップグレード処理の開始日時。
- [End Time] (終了日時): アップグレード処理の終了日時。
- [Previous Version] (アップグレード前のバージョン): アップグレー ド前の CIM ファームウェア バージョン。
- [Upgrade Version] (アップグレード後のバージョン): 現在の CIM フ アームウェア バージョン。
- [CIMs] (CIM): アップグレードされた CIM。
- [Result] (結果): アップグレード処理の結果 (成功または失敗)。

урс	User	(P)	Start Time	End Time	Previous Version	Upgrade Version	CIMI's	Result
ull Firmware Upgrade	admin	192.168.59.63	June 16, 2008 14:15	June 16, 2008 1 4:23	2.0.20.5.6882	2.0.20.5.6926	show	Successful
ull Firmware Upgrade	admin	192.168.59.80	May 22, 2008 17:49	May 22, 2008 17:56	2.0.20.1.6853	2.0.20.5.6882	show	Successful



再起動

[Reboot] (再起動) ページでは Dominion KX II を安全に再起動できます。 再起動する場合、このページから行うことを推奨します。

重要: すべての KVM 接続およびシリアル接続が切断され、また、すべてのユーザがログオフされます。

- Dominion KX II を再起動するには
- [Maintenance] (保守) メニューの [Reboot] (再起動) をクリックしま す。[Reboot] (再起動) ページが開きます。

Hom	ne > Maintenance > Rehoot
	Reboot
	Reboot This may take up to two minutes.

2. [Reboot] (再起動) をクリックします。再起動してもよいかどうかを 確認するダイアログ ボックスが開きます。[Yes] (はい) をクリック し、再起動処理を続行します。

Reboot Do you	ng the s want to j	ystem will proceed wi	logoff all u th the reb	sers. oot?	
Reboot					
		Yes	Ho		
	This	may take up to	two minutes.		



CC-SG 管理の終了

Dominion KX II が CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) の管理 下にあるのに Dominion KX II に直接アクセスしようとすると Dominion KX II が CC-SG の管理下にあることを示すメッセージが表示されます。

Dominion KX II が CC-SG の管理下にあるが、指定タイムアウト間隔 (通常は 10 分) が経過した後に CC-SG と Dominion KX II の間の接続 が切断された場合、Dominion KX II コンソールから CC-SG 管理セッシ ョンを終了できます。

注: Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外するには、適切な権 限が必要です。また、Dominion KX II が現在 CC-SG の管理下にない場 合、[Maintenance] (保守) メニューの [Stop CC-SG Management] (CC-SG の管理対象から除外する) コマンドは無効になります。

Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外するには

 [Maintenance] (保守) メニューの [Stop CC-SG Management] (CC-SG の管理対象から除外する) をクリックします。"Dominion KX II が CC-SG の管理下にある" という内容のメッセージが表示され ます。また、Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外するた めのボタンも表示されます。

т	
	his device is being managed by CommandCenter Secure Gateway
	192.168.59.246
	Do you want to remove it from CommandCenter Management?
	Yes No
2.	[Yes] (はい) をクリックし、Dominion KX II を (
	から除外する処理を開始します。Dominion KX II
	対象から际外してもよいかとうかを確認するため

Managed by Com	mandCenter Secure Gateway
Confirming remo	ve of the device from CommandCenter (192.168.59.246) Management.
Do you really v	want to remove this device from CommandCenter Management?
	Yes No



 [Yes] (はい) をクリックし、Dominion KX II を CC-SG の管理対象 から除外します。Dominion KX II が CC-SG の管理対象から除外さ れると、処理完了メッセージが表示されます。





Ch 11 診断

この章の内容

[Network Interface] (ネットワーク インタフェース) ページ	257
[Network Statistics] (ネットワーク統計) ページ	257
[Ping Host] (ホストに ping する) ページ	
[Trace Route to Host] (ホストへの経路をトレースする) ページ	
[Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページ	

[Network Interface] (ネットワーク インタフェース) ページ

Dominion KX II では、ネットワーク インタフェースのステータス情報を 確認できます。

- ▶ ネットワーク インタフェースに関する情報を表示するには
- [Diagnostics] (診断) メニューの [Network Interface] (ネットワーク インタフェース) をクリックします。[Network Interface] (ネットワー ク インタフェース) ページが開きます。

表示される情報は次のとおりです。

- Ethernet インタフェースが稼動しているかどうか。
- ゲートウェイから ping できるかどうか。
- 現在アクティブな LAN ポート。
- ▶ これらの情報を更新するには
- [Refresh] (最新の情報に更新) をクリックします。

[Network Statistics] (ネットワーク統計) ページ

Dominion KX II では、ネットワーク インタフェースに関する統計情報を 表示できます。

- ▶ ネットワーク インタフェースに関する統計情報を表示するには
- [Diagnostics] (診断) メニューの [Network Statistics] (ネットワーク 統計) をクリックします。[Network Statistics] (ネットワーク統計) ペ ージが開きます。
- 2. [Options] (オプション) ボックスの一覧で値を選択します。



Network Statistics	
Options:	
statistics	
Refresh	
	1
Result:	1
Ip:	
8803 total packets received	
0 forwarded	
0 incoming packets discarded	
8802 incoming packets delivered	
8522 requests sent out	
Icap:	
0 ICMP messages received	
0 input ICMP message failed.	
ICHP input histogram:	
0 ICMP messages sent	
0 ICMP messages failed	
ICMP output histogram:	
Tep:	
6 active connections openings	
849 passive connection openings	
0 failed connection attempts	
15 connection resets received	
l connections established	
7942 segments received	
8304 segments send out	
0 segments retransmited	
0 bad segments received.	
0 resets sent	
Udp:	

• [Statistics] (統計):次に示すような情報が表示されます。

[Interfaces] (インタフェース):次に示すような情報が表示されます。

Networl	Statistics
options:	
interfac	15 💆
Refre	h
Result	
Cernel	Interface table
face E	IU Met RX-OK FX-ERR RX-DRP FX-OVR TX-OK TX-ERR TX-DRP TX-OVR F1g
thl 15	0 0 13828 0 0 0 8680 0 0 0 BMNRU
0 1643	0 136 0 0 0 136 0 0 0 1K0



s:				
resh				
resh				
1 IP routing t	able			
nation Gateway	Genmask F	lags MSS Win	ndow irtt	Iface
68.59.0 * 255.	255.255.0	U O O O eth.	1	
10 192.168.89.	128 0.0.0.	0 00 0 0 0 0	ecut	
	1 IP routing t nation Gateway 68.59.0 * 255. 1t 192.168.59.	1 IP routing table nation Gateway Genmask F 68.59.0 * 255.255.255.0 1t 192.168.59.126 0.0.0.	1 IP routing table nation Gateway Genmask Flags MSS Win 68.59.0 * 255.255.255.0 U 0 0 0 eth 1t 192.168.59.126 0.0.0.0 UG 0 0 0	1 IP routing table nation Gateway Genmask Flags MSS Window irtt 68.59.0 * 255.255.255.0 U 0 0 0 ethl 1t 192.168.59.126 0.0.0.0 UG 0 0 0 ethl

• [Route] (経路):次に示すような情報が表示されます。

3. [Refresh] (更新) をクリックします。[Options] (オプション) ボックス の一覧で選択した値に応じた情報が、[Result] (結果) フィールドに表 示されます。



[Ping Host] (ホストに ping する) ページ

ping は、特定のホストまたは IP アドレスが IP ネットワーク上で接続 可能であるかどうかをテストするためのネットワーク コマンドです。 [Ping Host] (ホストに ping する) ページでは、ターゲット サーバまたは 別の Dominion KX II がアクセス可能であるかどうかを調べることがで きます。

▶ ホストに ping するには

 [Diagnostics] (診断) メニューの [Ping Host] (ホストに ping する) をクリックします。[Ping Host] (ホストに ping する) ページが開き ます。

Ping Host	
P Address/Host Name	
192.168.59.173	
Ping	
Result:	4
192.168.59.173 is alive!	3

 [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) ボックスに IP ア ドレスまたはホスト名を入力します。

注: ホスト名は 232 文字以内で指定してください。

 [Ping] (ping) をクリックします。ping の実行結果が [Result] (結果) フィールドに表示されます。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



[Trace Route to Host] (ホストへの経路をトレースする) ページ

traceroute は、指定したホスト名または IP アドレスへの経路を調べる ためのネットワーク コマンドです。

- ホストまでの経路をトレースするには
- [Diagnostics] (診断) メニューの [Trace Route to Host] (ホストへの 経路をトレースする) をクリックします。[Trace Route to Host] (ホス トへの経路をトレースする) ページが開きます。
- [IP Address/Host Name] (IP アドレス/ホスト名) ボックスに IP ア ドレスまたはホスト名を入力します。

注: ホスト名は 232 文字以内で指定してください。

- 3. [Maximum Hops] (最大ホップ数) ボックスの一覧で最大ホップ数を 選択します (5 刻みで 5 ~ 50)。
- [Trace Route] (経路をトレースする) をクリックします。traceroute コマンドが、指定したホスト名または IP アドレスに対して、指定し た最大ホップ数以内で実行されます。traceroute コマンドの実行結果 が [Result] (結果) フィールドに表示されます。

Trans Deute te Lleat	
race Roule to Host	
Address/Host Name	
92.168.59.173	
Aaximum Hops:	
10 😪	
Trace Route	
lacult:	
Coult.	
traceroute started wait for 2mins	~
count. traceroute started wait for 2mins traceroute to 192.168.59.173 (192.168.59.173), 10 hop	os max, 40 byte packets
traceroute started wait for 2mins traceroute to 192.168.59.173 (192.168.59.173), 10 hop 1 192.168.59.173 (192.168.59.173) 0.497 ms 0.306 ms	os max, 40 byte packets 0.323 ms
traceroute started wait for 2mins traceroute to 192.168.59.173 (192.168.59.173), 10 hop 1 192.168.59.173 (192.168.59.173) 0.497 ms 0.306 ms	os max, 40 byte packets 0.323 ms
traceroute started wait for 2mins traceroute to 192.168.59.173 (192.168.59.173), 10 hop 1 192.168.59.173 (192.168.59.173) 0.497 ms 0.306 ms	os max, 40 byte packets 0.323 ms
traceroute started wait for 2mins traceroute to 192.168.59.173 (192.168.59.173), 10 hop 1 192.168.59.173 (192.168.59.173) 0.497 ms 0.308 ms	os max, 40 byte packets 0.323 ms
traceroute started wait for 2mins traceroute to 192.168.59.173 (192.168.59.173), 10 hop 1 192.168.59.173 (192.168.59.173) 0.497 ms 0.308 ms	os max, 40 byte packets 0.323 ms
traceroute started wait for 2mins traceroute to 192.168.59.173 (192.168.59.173), 10 hop 1 192.168.59.173 (192.168.59.173) 0.497 ms 0.306 ms	os max, 40 byte packets 0.323 ms
traceroute started wait for 2mins traceroute to 192.168.59.173 (192.168.59.173), 10 hop 1 192.168.59.173 (192.168.59.173) 0.497 ms 0.308 ms	os max, 40 byte packets 0.323 ms



[Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページ

注: これは、Raritan フィールド エンジニアが使用するためのページで す。Raritan のテクニカル サポート部門から指示された場合に限り、ユ ーザも使用できます。

[Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページでは、診断情報を Dominion KX II からクライアント コンピュータにダウンロードできます。このページでは、次の2種類の処理を行うことができます。

- 重大エラー デバッグ セッション中に、Raritan のテクニカル サポ ート部門から提供された特別な診断スクリプトを実行する。このスク リプトは、Dominion KX II にアップロードされ、実行されます。こ のスクリプトの実行が完了した後、[Save to File] (ファイルに保存) をクリックして診断メッセージをダウンロードすることができます。
- 診断メッセージのスナップショットに対するデバイス診断ログを、 Dominion KX II からクライアント コンピュータにダウンロードする。このダウンロードされたデバイス診断ログは暗号化ファイルであり、Raritan のテクニカル サポート部門に送信されます。このファイルを解析できるのは Raritan だけです。

注: このページを開くことができるのは、管理者権限を持つユーザだけで す。

Dominion KX II のシステム診断を実行するには

- [Diagnostics] (診断) メニューの [Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) をクリックします。[Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページが開きます。
- 2. Raritan のテクニカル サポート部門から電子メールで受け取った診断スクリプト ファイルを実行するため、次の手順を実行します。
 - a. Raritan から提供されている診断スクリプト ファイルを入手します。圧縮されている場合は解凍します。
 - b. [Browse] (参照) をクリックします。[Choose File] (ファイルを選択) ダイアログ ボックスが開きます。
 - c. 診断スクリプト ファイルを探して選択します。



d. [Open] (開く) をクリックします。診断スクリプト ファイルの名前が [Script File] (スクリプト ファイル) ボックスに表示されます。

Diagnostics Sc	ripts.	
Script File: C:\Documents and Se	etting:	Browse
Run Script	Ca	ncel

- e. [Run Script] (スクリプトを実行) をクリックします。この診断ス クリプト ファイルを Raritan のテクニカル サポート部門に送 信します。
- 3. 診断ファイルを作成して Raritan のテクニカル サポート部門に送 信するため、次の手順を実行します。
 - a. [Save to File] (ファイルに保存) をクリックします。[File
 Download] (ファイルのダウンロード) ダイアログ ボックスが開きます。

le Downle	oad - Security Warning
Do you	want to save this file?
•	Name: diagnostics_save Type: Unknown File Type, 64.3 KB From: 192.168.59.150
	Save Cancel
1	While files from the Internet can be useful, this file type can potentially harm your computer. If you do not trust the source, do not save this software. <u>What's the risk?</u>
b ſ	「(空方) たクリックレキオ。[(2つの / 5) (名

- b. [Save] (保存) をクリックします。[Save As] (名前を付けて保存) ダイアログ ボックスが開きます。
- c. 保存先フォルダに移動し、[Save] (保存) をクリックします。
- d. Raritan のテクニカル サポート部門の指示に従って、このファイ ルを電子メールで送信します。



Ch 12 コマンド ライン インタフェース (CLI)

この章の内容

概要	.264
CLI を使用しての Dominion KX II へのアクセス	.265
Dominion KX II への SSH 接続	.265
Dominion KX II への Telnet 接続	.266
ログイン	.267
CLI の画面操作	.268
CLI を使用した初期設定	.270
CLI プロンプト	.271
CLI コマンド	.272
Dominion KX II コンソール サーバ設定用コマンドを使用する	.273
ネットワークを設定する	.274

概要

Dominion KX II のネットワーク インタフェースを設定する権限や診断 処理を実行する権限を持っている場合、コマンド ライン インタフェー ス (CLI) を使用してそれらの処理を実行することができます。

次の図に CLI コマンドの概要を示します。コマンドの一覧については、 「CLI コマンド 『p. 272』」を参照してください。この一覧には、各コ マンドの説明、および、各コマンドの記述例が書かれている項へのリン クがあります。





top、history、log off、quit、show、help の各コマンドは、この図のどの CLI レベルからでも使用できます。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

CLI を使用しての Dominion KX II へのアクセス

次の方法のいずれかを使用して、Dominion KX II にアクセスします。

- IP 接続を介した Telnet
- IP 接続を介した SSH (Secure Shell)
- RS-232 シリアル インタフェースを介したローカル ポート

複数の SSH/Telnet クライアントを使用可能で、次の場所から取得できます。

- Putty *http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/* http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/参照
- ssh.comのSSHクライアント-www.ssh.com http://www.ssh.com参照
- Applet SSH Client www.netspace.org/ssh http://www.netspace.org/ssh参照
- OpenSSH Client www.openssh.org http://www.openssh.org参照

Dominion KX II への SSH 接続

SSHv2 をサポートする Secure Shell (SSH) クライアントを使用して、 Dominion KX II に接続します。[Devices Services] (デバイス サービス) ページで SSH 接続を有効にしておく必要があります。

注: セキュリティ上の理由により、SSHv1 接続は Dominion KX II でサポートされていません。

Windows PC から SSH で接続する

- Windows PC から SSH セッションを開くには
- 1. SSH クライアント ソフトウェアを起動します。
- Dominion KX II サーバの IP アドレスを入力します (例: 「192.168.0.192」)。
- 3. SSH を選択します。SSH では、デフォルトの設定ポート 22 が使 用されます。
- 4. [Open] (開く) をクリックします。



Ch 12: コマンド ライン インタフェース (CLI)

login as: (ログイン) プロンプトが表示されます。

「*ログイン* 『p. 267』」を参照してください。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

UNIX/Linux ワークステーションから SSH で接続する

 UNIX Linux ワークステーションから SSH セッションを開き、ユー ザ admin としてログオンするため、次のコマンドを入力します。

ssh -l admin 192.168.30.222

パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

「*ログイン* 『p. 267』」を参照してください。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

Dominion KX II への Telnet 接続

Telnet はセキュリティが低く、ユーザ名、パスワード、およびすべての トラフィックが平文で送信されます。Telnet 接続はデフォルトで無効に なっています。

Telnet 接続を有効にする

Telnet を使用して Dominion KX II に接続したい場合、まず、CLI また はブラウザを使用して Dominion KX II に接続します。

Telnet 接続を有効にするには

[Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Device Services] (デバイス サービス) をクリックして [Device Services] (デバイス サービス) ページを開き、Telnet 接続を有効にします。

Telnet 接続が有効になったら、Telnet を使用して Dominion KX II に接続し、他のパラメータ値を設定することができます。

Windows PC から Telnet で接続する

- Windows PC から Telnet セッションを開くには
- 1. [スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックしま す。
- 2. [名前] ボックスに「telnet」と入力します。



Ch 12: コマンド ライン インタフェース (CLI)

- 3. [OK] をクリックします。Telnet ウィンドウが開きます。
- 4. プロンプトで Microsoft Telnet> open <IP address> と入力 します。<IP address> は Dominion KX II の IP アドレスです。
- Enter キーを押します。次のメッセージが表示されます。「 Connecting To <IP address>...」(<IP アドレス>に接続して います...)login as (ログイン)プロンプトが表示されます。

「*ログイン* 『p. 267』」を参照してください。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

ログイン

- ログインするには、次のようにユーザ名 admin を入力します。
- 1. admin としてログインします。
- 2. パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。デフォルト パスワード (「raritan」) を入力します。

歓迎メッセージが表示されます。これで、管理者としてログオンした ことになります。



次項「**CLI の画面操作**『p. 268』」の内容を確認した後、初期設定処理 を実行します。

ogin as: adm:	in					
min@192.168	.59.173's password:					
vice Type:	Dominion KAZ	nodel: 1 FN Voro	UKXZ-Z3Z	E 6026	CB1. 1	
vice Name:	192 168 59 173	rw vers. Idle Tip	neout: Omin		1 : MG	IKD / 5002 30
ort Port		Por	rt	Port	Port	
. Name		Туј	pe	Status	Availabil:	ity
- Dominion-	-KX2_Port2	Not	t Available	down	idle	
- Dominion	KX2_Port3	Not	t Available	down	idle	
- Dominion	_KX2_Port4	Not	t Available	down	idle	
- Dominion	_KAZ_Port5	Not	t Available	down	lale	
- Dominion	KAZ Porte	Not	t Available	down	idle	
- Dominion	_KAZ_PORT/	Not Not	t Available	down	idle	
- PZCIM-AU:	550123456789012345678	NON IVER	t Available	down	idle	
- Dominion	KAG_PUIC9	NU	t Available	down	idle	
J - Dominion	KAZ_PUICIO	No	t Available	down	idle	
i - Dominion	_KAZ_POICII	Not	t Available t Available	down	idle	
3 - Dominion	KX2 Port13	Not	t Available t Available	down	idle	
4 - Dominion	KX2 Port14	Not	t Available	down	idle	
5 - Dominion	KX2 Port15	Not	t Available	down	idle	
5 - Dominion	KX2 Port16	Not	t Available	down	idle	
7 - Dominion	KX2 Port17	Not	t Available	down	idle	
3 - Dominion	KX2 Port18	Not	t Available	down	idle	
9 - Dominion	KX2 Port19	Not	t Available	down	idle	
- Dominion	KX2 Port20	Not	t Available	down	idle	
1 - Dominion	KX2 Port21	Not	t Available	down	idle	
2 - Dominion	KX2 Port22	Not	t Available	down	idle	
3 - Dominion	KX2 Port23	Not	t Available	down	idle	
4 - Dominion	KX2_Port24	Not	t Available	down	idle	
5 - Dominion	KX2_Port25	Not	t Available	down	idle	
5 - Dominion	KX2 Port26	Not	t Available	down	idle	
7 - Dominion	_KX2_Port27	Not	t Available	down	idle	
8 - Dominion	_KX2_Port28	Not	t Available	down	idle	
) - Dominion	_KX2_Port29	Not	t Available	down	idle	
) - Dominion	_KX2_Port30	Not	t Available	down	idle	
1 - Dominion	_KX2_Port31	Not	t Available	down	idle	
- Dominion	KY2 Port32	Not	t Available	down	idle	

CLI の画面操作

CLI を使用する前に、CLI の画面操作と構文について理解しておくこと が重要です。また、CLI の使用を簡素化するキー入力の組み合わせにつ いても、理解しておく必要があります。



コマンドのオート コンプリート

CLI にはオート コンプリート機能 (コマンドの一部を入力すると、残り の部分が自動入力される機能) が備わっています。先頭の数文字を入力し た後、Tab キーを押します。入力した文字列で始まるコマンドの候補が 1 つしかない場合、オート コンプリート機能によって残りの部分が自動 入力されます。

- 入力した文字列で始まるコマンドの候補が見つからない場合、そのレベルに対する有効な入力候補が表示されます。
- 入力した文字列で始まるコマンドの候補が複数個見つかった場合、すべての入力候補が表示されます。

この場合、コマンドの続きを入力して候補が 1 つだけになるようにし、 Tab キーを押してコマンドを自動入力します。

CLI 構文: ヒントとショートカット キー

ヒント

- コマンドは、アルファベット順に表示されています。
- コマンドでは、大文字と小文字は区別されません。
- パラメータ名は、アンダスコアを含まない1つの単語です。
- コマンドに対して引数を指定しない場合、そのコマンドに対する現在の設定値が指定されていると見なされます。
- コマンドの後ろに疑問符 (?) を指定した場合、そのコマンドに対するヘルプが表示されます。
- 縦線(|)は、任意指定または必須指定のキーワードまたは引数における、選択肢を意味します。

ショートカット

- 末尾のエントリを表示するには、上方向キーを押します。
- 最後に入力した文字を削除するには、Backspace キーを押します。
- 誤ったパラメータを入力した場合にコマンドを終了またはキャンセ ルするには、Ctrl キーを押しながら C キーを押します。
- コマンドを実行するには、Enter キーを押します。
- コマンドの入力中に残りの部分を自動入力するには、Tab キーを押します。たとえば、Admin Port > プロンプトで Conf と入力した後に Tab キーを押すと、Admin Port > Config > プロンプトが表示されます。



すべての CLI レベルで使用できるコマンド

次の表に、すべての CLI レベルで使用できるコマンドを示します。これ らのコマンドは、CLI の画面操作にも役立ちます。

コマンド	説明
top	CLI 階層の最上位レベル、つまり username プロン プトに戻ります。
history	Dominion KX II の CLI で入力した最後の 200 個 のコマンドが表示されます。
help	CLI 構文の概要が表示されます。
quit	1 レベル上に戻ります。
logout	ユーザ セッションが終了し、ユーザがログオフされ ます。

CLI を使用した初期設定

注: この項で説明する、CLI を使用した手順の実行は任意です。なぜかと 言うと、Dominion KX II ローカル コンソールで同じ設定作業を実行でき るからです。詳細については、「最初に行う作業『p. 15の"入門"参照』」 を参照してください。

Dominion KX II は、デフォルト値に設定された状態で工場から出荷され ます。初めて電源を入れて接続を行う際、次のとおりに基本パラメータ 値を設定し、ネットワーク上から Dominion KX II に安全にアクセスでき るようにする必要があります。

- 管理者パスワードを再設定します。Dominion KX II は、すべてのデ バイスに同じデフォルト パスワードが設定された状態で出荷されま す。したがって、セキュリティ侵害を回避するため、管理者パスワー ドをデフォルトの raritan から変更する必要があります。新しいパス ワードは、Dominion KX II の管理者になるユーザが決めます。
- IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイ の値を設定し、リモート アクセスできるようにします。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



パラメータ値を設定する

パラメータ値を設定するには、管理者権限でログオンする必要がありま す。CLI 階層の最上位である username > プロンプトが表示されます。 初期設定を行うため、admin と入力します。top コマンドを入力し、最 上位レベルに戻ります。

注: admin 以外のユーザ名でログオンした場合、admin の代わりにその ユーザ名が表示されます。

ネットワーク パラメータ値を設定する

ネットワーク パラメータ値を設定するには interface コマンドを使用します。

admin > Config > Network > interface enable true if lan1 ip 192.16.151.12 mask 255.255.255 gw 192.168.51.12

このコマンドが受け付けられると、Dominion KX II との接続が自動切断 されます。新たに設定した IP アドレス、および、「パラメータ値を設 定する」で作成したユーザ名とパスワードを使用して、Dominion KX II に 再接続します。

重要:パスワードを忘れてしまった場合は、Dominion KX II の背面にあるリセット ボタンを押し、出荷時設定に戻す必要があります。この場合、初期設定作業を再度実行する必要があります。

これで Dominion KX II の基本情報が設定されたので、SSH またはグラ フィカル ユーザ インタフェース (GUI) を使用してリモート アクセス することや、ローカル シリアル ポートを使用してローカル アクセスす ることができます。管理者は、ユーザ、グループ、サービス、セキュリ ティ、およびシリアル ポートを設定する必要があります。シリアル ポ ートは、シリアル ターゲットを Dominion KX II に接続するためのポー トです。

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。

CLI プロンプト

CLI プロンプトは、現在のコマンド レベルを意味しています。プロンプ トのルート部分はログオン名です。端末エミュレーション ソフトウェア を使用して管理用シリアル ポートに直接接続している場合、コマンドの ルート部分は Admin Port になります。



Ch 12: コマンド ライン インタフェース (CLI)

admin>

TELNET または SSH で接続している場合、コマンドのルート部分は admin になります。

admin > config > network >

0

CLI コマンド

admin > help と入力した場合に使用できるコマンドは、次のとおりです。

コマンド	説明
config	config サブメニューに切り替えます。
diagnostics	diag サブメニューに切り替えます。
help	コマンドの概要を表示します。
history	現在のセッションのコマンド ライン履歴を表示し ます。
listports	使用可能なポートを一覧表示します。
logout	現在の CLI セッションを終了し、ログオフします。
top	ルート メニューに戻ります。
userlist	アクティブなユーザ セッションを一覧表示しま す。



コマンド	説明
help	コマンドの概要を表示します。
history	現在のセッションのコマンド ライン履歴を表示し ます。
interface	ネットワーク パラメータ値を取得および設定しま す。
ipv6_interface	IPv6 のネットワーク パラメータ値を取得および設 定します。
logout	現在の CLI セッションを終了し、ログオフします。
name	デバイス名を設定します。
quit	前のメニューに戻ります。
stop	ルート メニューに戻ります。

 admin > config > network と入力した場合に使用できるコマンドは、 次のとおりです。

セキュリティ上の問題

コンソール サーバにおけるセキュリティを確保する際に検討すべき点 は、次のとおりです。

- 運用担当者用コンソールと Dominion KX II との間で送受信される データ トラフィックを暗号化する。
- ユーザに対して認証を行い、また、ユーザに付与する権限を制限する。
- セキュリティ プロファイルを設定する。

Dominion KX II にはこの **3** つの機能がすべて備わっています。ただし、 設定作業は運用開始前に済ませておく必要があります。

Dominion KX II コンソール サーバ設定用コマンドを使用する

注: SSH 接続、Telnet 接続、ローカル ポート接続のどの場合でも、CLI コマンドは同じです。

network コマンドは、Configuration メニューで使用できます。



ネットワークを設定する

network メニューのコマンドを使用して、Dominion KX II のネットワー ク インタフェースを設定します。

コマンド	説明
interface	Dominion KX II のネットワーク インタフェースを 設定します。
name	ネットワーク名を設定します。
ipv6	IPv6 のネットワーク パラメータ値を取得および 設定します。

interface コマンド

interface コマンドを使用して、Dominion KX II のネットワーク インタ フェースを設定します。interface コマンドの構文は次のとおりです。

interface [ipauto <none|dhcp>] [ip <ipaddress>] [mask
<subnetmask>] [gw <ipaddress>] [mode <mode>]

Ethernet パラメータ値を設定/取得します。

ipauto <none|dhcp>: IP アドレスを自動設定するかどうか (none/dhcp)。

ip <ipaddress>: IP アドレス。

mask <subnetmask>: サブネット マスク。

gw <ipaddress>: デフォルト ゲートウェイ。

mode <mode>: Ethernet モードを設定 (auto/10hdx/10fdx/100hdx/100fdx/1000fdx)。

interface コマンドの例

次のコマンドを実行すると、インタフェース番号 1 が有効になり、IP ア ドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイの値が設 定され、Ethernet モードが自動検出に設定されます。

Admin > Config > Network > interface ipauto none ip 192.16.151.12 mask 255.255.255.0 gw 192.168.51.12 mode auto

注: IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがサポートされています。



name コマンド

name コマンドを使用して、ネットワーク名を設定します。name コマ ンドの構文は次のとおりです。

name [devicename <devicename>] [hostname <hostname>]

デバイス名の設定

devicename <devicename>: デバイス名。

hostname <hostname>: 優先ホスト名 (DHCP 使用時のみ)。

name コマンドの例

次のコマンドを実行すると、ネットワーク名が設定されます。

Admin > Config > Network > name devicename My-KSX2

ipv6 コマンド

ipv6 コマンドを使用して、IPv6 関連のネットワーク パラメータ値の設 定と取得を行います。



Ch 13 Dominion KX II ローカル コンソール

この章の内容

概要	276
Dominion KX II ローカル コンソールを使用する	277
Dominion KX II ローカル コンソール インタフェース	277
セキュリティと認証	278
ローカル コンソールのスマート カード アクセス	279
有効な解像度	281
[Port Access] (ポート アクセス) ページ (ローカル コンソール サー	ーバ デ
ィスプレイ)	282
ホット キーと接続キー	284
Sun サーバへのアクセス時に使用できる特別なキー組み合わせ	285
ターゲット サーバにアクセスする	286
Dominion KX II ローカル コンソールの画面に切り替える	286
ローカル ポートの管理	287
リセット ボタンを使用して Dominion KX II をリセットする	293

概要

Dominion KX II のローカル ポートにコンピュータを接続して Dominion KX II ローカル コンソールを使用することにより、設置場所で管理作業 を行うことができます。この Dominion KX II ローカル コンソールの特 徴は、ブラウザを使用する、という点であり、サーバをすばやく切り替 えることができます。Dominion KX II ローカル コンソールでは、 Dominion KX II に接続されているサーバのキーボード ポート、マウス ポート、およびビデオ ポートに直接接続している場合と同等のパフォー マンスが得られます。また、Dominion KX II ローカル コンソールには、 Dominion KX II リモート コンソールと同等の管理機能が備わっていま す。



Dominion KX II ローカル コンソールを使用する

ユーザが同時接続可能

Dominion KX II ローカル コンソールを使用する場合、接続されている各 KVM ターゲット サーバへの独立したアクセス パスが設定されます。つ まり、Dominion KX II ローカル コンソールを使用している最中でも、他 ユーザがネットワーク経由で Dominion KX II に同時接続できます。また、 リモート ユーザが Dominion KX II に接続している最中でも、Dominion KX II ローカル コンソールを使用してラックからサーバに同時接続でき ます。

Dominion KX II ローカル コンソール インタフェース

サーバ ラックに設置した Dominion KX II の場合は、Dominion KX II ロ ーカル コンソールを介して、標準 KVM 管理を行います。Dominion KX II ローカル コンソールは接続されたサーバへの直接 KVM (アナログ) 接続を提供し、これにより、サーバのキーボード、マウス、ビデオ ポー トに直接接続しているかのように機能することが可能になります。

Dominion KX II ローカル コンソールと Dominion KX II リモート コン ソールのグラフィカル ユーザ インタフェースには、多くの類似点があ ります。相違点については、ヘルプに記載されています。

[Dominion KX II Local Console Factory Reset] (Dominion KX II ローカル コンソール ファクトリ リセット) オプションは、Dominion KX II ロー カル コンソールには用意されていますが、Dominion KX II リモート コ ンソールには用意されていません。



セキュリティと認証

Dominion KX II ローカル コンソールを使用するには、まず有効なユーザ 名とパスワードで認証を受ける必要があります。Dominion KX II には認 証機能とセキュリティ機能が備わっています。これらの機能は、ネット ワークから接続するユーザとローカル ポートから接続するユーザの両 方に対して有効です。ユーザは、どちらの方法で接続する場合でも、ア クセス権限を持っているサーバにしかアクセスできません。サーバ アク セスとセキュリティに関する設定情報を指定する手順については、「ユ ーザ管理 『p. 123の"[User Management] (ユーザ管理)"参照 』」を参照 してください。

Dominion KX II が外部認証サービス (LDAP/LDAPS、RADIUS、または Active Directory) を使用するように設定されている場合、ユーザが Dominion KX II ローカル コンソールを使用して接続する際でも、外部認 証サービスによって認証が行われます。

注: Dominion KX II ローカル コンソールを使用して接続しようとするユ ーザに対して認証を行わないように、設定することもできます。ただし、 この方法は安全な環境でのみ使用することを推奨します。

- Dominion KX II ローカル コンソールを使用するには
- 1. キーボード、マウス、およびモニタを、Dominion KX II の背面にあるローカル ポートに接続します。
- 2. Dominion KX II を起動します。Dominion KX II ローカル コンソール 画面が表示されます。


ローカル コンソールのスマート カード アクセス

ローカル コンソールでスマート カードを使用してサーバにアクセスす るには、Dominion KX II に搭載されているいずれかの USB ポートを使 用して USB スマート カード リーダーを Dominion KX II に接続しま す。スマート カード リーダーは、Dominion KX II に接続したり Dominion KX II から取り外したりすると、Dominion KX II によって自動 検出されます。サポートされているスマート カードおよびシステム要件 の一覧については、「サポートされているスマート カード リーダーと サポートされていないスマート カード リーダー 『p. 312』」および「最 小システム要件 『p. 314』」を参照してください。

カード リーダーおよびスマート カードをターゲット サーバにマウン トすると、サーバはそれらのリーダーやカードが直接接続されているか のように動作します。スマート カードまたはスマート カード リーダー を取り外すと、ターゲット サーバの OS で設定されているカードの取 り外しポリシーに従って、ユーザ セッションがロックされるか、または ユーザがログアウトされます。KVM セッションが切断されるか、または 新しいターゲットに切り替えたために KVM セッションが終了した場合、 スマート カード リーダーはターゲット サーバから自動的にマウント 解除されます。

Dominion KX II ローカル コンソールからスマート カード リーダ ーをターゲットにマウントするには、以下の手順に従います。

- デバイスに搭載されているいずれかの USB ポートを使用して USB スマート カード リーダーを Dominion KX II に接続します。接続す ると、スマート カード リーダーは Dominion KX II によって検出さ れます。
- 2. ローカル コンソールで [Tools] (ツール) をクリックします。
- [Card Reader Detected] (検出されたカード リーダー) リストからス マート カード リーダーを選択します。スマート カード リーダーを マウントしない場合は、リストから [None] (なし) を選択します。
- [OK] をクリックします。スマート カード リーダーを追加すると、 操作が正常に完了したことを示すメッセージがページに表示されま す。ページの左パネルの [Card Reader] (カード リーダー) に、状態 として [Selected] (選択) または [Not Selected] (未選択) が表示され ます。



- [Card Readers Detected] (検出されたカード リーダー) リストを 更新するには、以下の手順に従います。
- 新しいスマート カードがマウントされた場合は、[Refresh] (更新) を クリックします。[Card Readers Detected] (検出されたカード リー ダー) リストが更新され、新しく追加されたスマート カード リーダ ーが表示されます。

Select Card Reader

Card	Readers	Detected
------	---------	----------

None	*
USB SmartCard Reader (Gemplus)	
	Ψ.

OK	Refresh	Cancel	

KX28 デバイスでのスマート カード アクセス

KX2-832 または KX2-864 デバイスでローカル コンソールからスマート カード リーダーを使用してサーバにアクセスするには、拡張ローカル ポート ([Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページ) を無効 にする必要があります。拡張ローカル ポートでは、スマート カード認 証はサポートされません。



有効な解像度

Dominion KX II ローカル コンソールは次の解像度に対応しており、さま ざまなモニタで適切に表示されます。

- 800x600
- 1024 x 768
- 1280 x 1024

これらの各解像度について、60 Hz と 75 Hz のリフレッシュ レートが サポートされています。



[Port Access] (ポート アクセス) ページ (ローカル コンソール サーバ ディスプレイ)

Dominion KX II ローカル コンソールにログオンすると、[Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。このページには、Dominion KX II のポート、各ポートに接続されている KVM ターゲット サーバ、および 各ターゲット サーバのステータスと稼動状態が一覧表示されます。

また、Dominion KX II で設定されているブレード筐体も表示されます。 ブレード サーバは、[Port Access] (ポート アクセス) ページ上の展開可 能な階層リストに表示されます。階層のルートはブレード シャーシで、 個別のブレードはルートの下にラベルが付けられて表示されます。

注: ブレード シャーシを階層順に表示するには、ブレード サーバ シャ ーシにブレード シャーシのサブタイプを設定する必要があります。

デフォルトで、[Port Access] (ポート アクセス) ページには [View by Port] (ポート別表示) タブが表示されます。[View by Group] (グループ別 表示) タブには、[View by Port] (ポート別表示) タブと同じ情報が表示さ れますが、ポートは既存のポート グループ割り当てに基づいて並べられ ています。

	SS	000000000000000000000000000000000000000		
ck on t of 2 Ren	ne individual port name to so note KVM channels currentiv	ee allowable opei v in use.	rations.	
and Bac Day	Mour Pro Comun		R.	
No.	Name	Туре	Status	Availability
1 1	BC_Port1_KXName_r2	BladeChassis	up	connected
1-1	BC_Port1_Slot1_To_Local_Port	Blade	-	shared
1-2	Blade_Chassis_Port1_Slot2	Blade		-
1-3	Blade_Chassis_Port1_Slot3	Blade	-	
1-4	Blade_Chassis_Port1_Slot4	Blade	72	T)
1-5	Blade_Chassis_Port1_Slot5	Blade	-	-
1-6	Blade_Chassis_Port1_Slot6	Blade	7.	-
1-7	Blade_Chassis_Port1_Slot7	Blade	-	-
1-8	Blade_Chassis_Port1_Slot8	Blade	75	71 5 5
1-9	Blade_Chassis_Port1_Slot9	Blade	-	-
1-10	Blade_Chassis_Port1_Slot10	Blade	-	
1-11	Blade_Chassis_Port1_Slot11	Blade	-	-
1-12	Blade_Chassis_Port1_Slot12	Blade		
1-13	Blade_Chassis_Port1_Slot13	Blade	-	-
1-14	Blade_Chassis_Port1_Slot14	Blade	-	74
1-15	Blade_Chassis_Port1_Slot15	Blade	-	-
1-16	Blade_Chassis_Port1_Slot16	Blade		15
2	KX2 Port2 CCName r2	DCIM	up	idle



▶ [Port Access] (ポート アクセス) ページを使用するには

1. Dominion KX II ローカル コンソールにログインします。

KVM ターゲット サーバは当初ポート番号順に並んでいますが 列の いずれかを基準に表示順を変更できます。

- [Port Number] (ポート番号) 1 から Dominion KX II デバイスで 使用できるポートの合計数までの番号が振られています。電源タ ップに接続されているポートはリストに表示されないため、ポー ト番号が抜ける場合があることに注意してください。
- [Port Name] (ポート名) Dominion KX II ポートの名前です。最初は、「Dominion-KX2-Port#」に設定されていますが、わかりやすい名前に変更できます。[Port Name] (ポート名) のリンクをクリックすると、[Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。

注: ポート (CIM) 名にアポストロフィ ("'") を使用することはできません。

- [Status] (ステータス) 標準サーバのステータスは [up] (アップ) または [down] (ダウン) のどちらかです。
- [Type] (タイプ) サーバまたは CIM のタイプです。ブレード シャーシの場合、タイプは、[Blade Chassis] (ブレード シャーシ)、
 [Blade] (ブレード)、[BladeChassisAdmin] (ブレードシャーシ管理)、および [BladeChassisURL] (ブレードシャーシ URL) です。
- [Availability] (可用性) 可用性は、[Idle] (アイドル)、[Connected] (接続済み)、[Busy] (ビジー)、または [Unavailable] (使用不可能) のいずれかです。ブレード サーバの場合、そのサーバへの接続 が存在する際の可用性は、[shared] (共有) または [exclusive] (排 他) です。
- 必要に応じてビューを切り替えます。[View by Port] (ポート別に表示) タブをクリックすると 情報がポート別に表示されます [View by Group] (グループ別に表示) タブをクリックすると、情報がポート グループ別に表示されます。
 - [View by Group] (グループ別に表示) ビューには、ポート番号、 ポート名、ステータス、タイプ、稼動状態の各列に加え、グルー プ列も表示されます。この列には、使用可能なポート グループ が表示されます。
- アクセスするターゲット サーバのポート名をクリックします。[Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。使用可能なメニュー オプションについての詳細は、「[Port Action] (ポート アクション) メニュー 『p. 51』」を参照してください。



- [Port Action] (ポート アクション) メニューから、目的のメニュー コ マンドを選択します。
- ▶ 表示順を変更するには、以下の手順に従います。
- 並べ替えで基準にする列の見出しをクリックします。その列に基づいて KVM ターゲット サーバのリストが並べ替えられます。

ホット キーと接続キー

Dominion KX II ローカル コンソールの画面は、現在アクセスしているタ ーゲット サーバの画面に完全に置き換えられます。ターゲット サーバ から切断し、ローカル コンソールの画面に戻るには、ホット キーを使 用します。接続キーは、ターゲット サーバに接続したり、ターゲット サ ーバを切り替えたりする際に使用します。

ターゲット サーバの画面が表示されているときにホットキーを使用す ることにより、Dominion KX II ローカル コンソールの画面をすばやく開 くことができます。デフォルトでは、Scroll Lock キーをすばやく 2 回 押します。別のキー組み合わせをホットキーとして指定することもでき ます。指定するには、[Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ペー ジを使用します。詳細については、「Dominion KX II ローカル コンソー ルの [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページ」を参照してく ださい。

接続キーの例

標準型サーバの場合

接続キーを押したと きのアクション	キー組み合わせの例
Dominion KX II ロー カル コンソールか	Dominion KX II ローカル コンソールからポー ト 5 に接続するには
らポートに接続する	 左 Alt キーを押す → 5 キーを押して離す → 左 Alt キーを離す
ポートを切り替える	ポート 5 からポート 11 に切り替えるには
	• 左 Alt キーを押す $\rightarrow 1$ キーを押して離す $\rightarrow 1$ キーを押して離す $\rightarrow \pm$ Alt キーを離 す
ターゲット サーバ から切断し、 Dominion KX II ロー カル コンソールの	ポート 11 から切断し、Dominion KX II ローカ ル コンソールの画面 (ターゲット サーバに接 続する時に開いていたページ) に戻るには



標準型サーバの場合	
接続キーを押したと きのアクション	キー組み合わせの例
画面に戻る	• Scroll Lock キーをすばやく 2 回押す

ブレー	ド筐体の場合
-----	--------

接続キーを押したと きのアクション	キー組み合わせの例
Dominion KX II ロー カル コンソールか らポートに接続する	ポート 5 のスロット 2 に接続するには • 左 Alt キーを押す →5 キーを押して離す →2 キーを押して離す → 左 Alt キーを離 す
ポートを切り替える	ポート 5 のスロット 2 からポート 5 のスロ ット 11 に切り替えるには • 左 Alt キーを押す →5 キーを押して離す →1 キーを押して離す →1 キーを押して 離す → 左 Alt キーを離す
ターゲット サーバ から切断し、 Dominion KX II ロー カル コンソールの 画面に戻る	 ポート 11 のスロット 11 から切断し、 Dominion KX II ローカル コンソールの画面 (ターゲット サーバに接続する時に開いていた ページ) に戻るには Scroll Lock キーをすばやく 2 回押す

Sun サーバへのアクセス時に使用できる特別なキー組み合わせ

ローカル ポートでは、Sun Microsystems サーバの特別なキーに対して、 次のキー組み合わせが機能します。これらの特別なキー組み合わせは、 Sun ターゲット サーバに接続しているときに使用できます。

Sun サーバのキー	ローカル ポートにおけるキー組み 合わせ
Again	Ctrl+ Alt +F2
Props	Ctrl+ Alt +F3
Undo	Ctrl+ Alt +F4



Ch 13: Dominion KX II ローカル コンソール

Sun サーバのキー	ローカル ポートにおけるキー組み 合わせ
Stop A	Break a
Front	Ctrl+ Alt +F5
Сору	Ctrl+ Alt +F6
Open	Ctrl+ Alt +F7
Find	Ctrl+ Alt +F9
Cut	Ctrl+ Alt +F10
Paste	Ctrl+ Alt +F8
Mute	Ctrl+ Alt +F12
Compose	Ctrl+ Alt + KPAD *
Vol +	Ctrl + Alt + KPAD +
Vol -	Ctrl + Alt + KPAD -
Stop	キー組み合わせなし
電力	キー組み合わせなし

ターゲット サーバにアクセスする

- ターゲット サーバにアクセスするには
- アクセスしたいターゲット サーバのポート名をクリックします。ポ ート アクション メニューが開きます。
- 2. ポート アクション メニューの [Connect] (接続) をクリックします。 そのターゲット サーバの画面に切り替わります。

Dominion KX II ローカル コンソールの画面に切り替える

重要: Dominion KX II ローカル コンソールのデフォルトのホットキー は、Scroll Lock キーをすばやく 2 回押すことです。このキー組み合わ せを変更するには、[Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページ を使用します。詳細については、「Dominion KX II ローカル コンソー ルの [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページ」を参照して ください。



- ターゲット サーバの画面から Dominion KX II ローカル コンソー ルの画面に戻るには
- ホットキーを押します (デフォルトでは Scroll Lock キーをすばやく2回押す)。ターゲットサーバの画面から Dominion KX II ローカル コンソールの画面に切り替わります。

ローカル ポートの管理

Dominion KX II を管理するには、Dominion KX II ローカル コンソールまたは Dominion KX II リモート コンソールを使用します。Dominion KX II ローカル コンソールには次のページもあります。

- [Factory Reset] (出荷時設定にリセット)
- [Local Port Settings] (ローカル ポート設定)(Dominion KX II リモート コンソールにもある)

注: これらのページを使用できるのは、管理者権限を持つユーザだけです。

Dominion KX II ローカル コンソールのローカル ポートの設定

[Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページでは、Dominion KX II ローカル コンソールに関するさまざまな設定値をカスタマイズできま す。たとえば、キーボード、ホットキー、画面切り替え遅延、省電力モ ード、画面解像度設定、ローカル ユーザ認証などに関する設定値をカス タマイズできます。

注: これらのページを使用できるのは、管理者権限を持つユーザだけです。

ローカル ポートに関する設定値をカスタマイズするには

注: [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページで設定を変更す ると、作業中のブラウザが再起動する場合があります。変更時にブラウ ザが再起動する設定については、以下の手順に示されています。

- [Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) をクリックします。[Local Port Settings] (ロ ーカル ポート設定) ページが開きます。
- [Keyboard Type] (キーボード タイプ) ボックスの一覧でキーボード タイプを選択します。選択できる項目は次のとおりです。この設定を 変更すると、ブラウザが再起動します。
 - [US] (アメリカ英語)
 - [US/International] (アメリカ英語/国際)



- イギリス
- [French (France)] (フランス語 (フランス))
- [German (Germany)] (ドイツ語 (ドイツ))
- [JIS (Japanese Industry Standard)] (JIS (日本工業規格))
- [Simplified Chinese] (簡体字中国語)
- [Traditional Chinese] (繁体字中国語)
- [Dubeolsik Hangul (Korean)] (Dubeolsik ハングル (韓国))
- [German (Switzerland)] (ドイツ語 (スイス))
- [Portuguese (Portugal)] (ポルトガル語 (ポルトガル))
- [Norwegian (Norway)] (ノルウェー語 (ノルウェー))
- [Swedish (Sweden)] (スウェーデン語 (スウェーデン))
- [Danish (Denmark)] (デンマーク語 (デンマーク))
- [Belgian (Belgium)] (ベルギー語 (ベルギー))

注: 中国語、日本語、および韓国語は、表示しかできません。現時点 では、これらの言語を入力することはできません。

 [Local Port Hotkey] (ローカル ポート ホットキー) ボックスの一覧 でローカル ポート ホットキーを選択します。ローカル ポート ホッ トキーは、ターゲット サーバの画面が表示されているときに Dominion KX II ローカル コンソールの画面に戻す際に使用します。 デフォルト値は [Double Click Scroll Lock] (Scroll Lock キーを 2 回 押す) ですが、他のキー組み合わせを選択することもできます。

ホットキー	説明
Scroll Lock キーをすばやく	Scroll Lock キーをすばやく 2 回押し
2 回押す	ます。
[Double Click Num Lock] (Num Lock キーを 2 回押 す)	Num Lock キーをすばやく 2 回押し ます。
[Double Click Caps Lock] (Caps Lock キーを 2 回押 す)	Caps Lock キーをすばやく 2 回押し ます。
[Double Click Left Alt key] (左 Alt キーをすばやく 2 回押しま
左 Alt キーを 2 回押す)	す。
[Double Click Left Shift key]	左 Shiff キーをすばやく 2 回押しま
(左 Shift キーを 2 回押す)	す。



Ch 13: Dominion KX II ローカル コンソール

ホットキー	説明	
[Double Click Left Ctrl key] (左 Ctrl キーをすばやく	2 回押しま
左 Ctrl キーを 2 回押す)	t .	

- 4. [Local Port Connectkey] (ローカル ポート接続キー) ボックスの一覧 でローカル ポート接続キーを選択します。接続キーは、あるターゲ ット サーバにアクセスしているときに別のターゲット サーバに切 り替える際に使用します。その後ホットキーを使用して、そのターゲ ット サーバの画面から Dominion KX II ローカル コンソールの画 面に戻すことができます。接続キーは、標準型サーバとブレード筐体 のどちらに対しても機能します。接続キーを設定すると、ナビゲーシ ョン パネルに表示されるので、すぐにわかります。接続キー組み合 わせの例については、「接続キーの例 『p. 284』」を参照してくだ さい。
- 必要に応じて、[Video Switching Delay (in secs)] (画面切り替え遅延 (秒)) ボックスに 0 ~ 5 秒の範囲の数値を入力します。通常は「0」 と入力します。ただし、一部のモニタでは画面切り替えに時間がかか るので、その場合は適切な値を入力します。
- 6. 省電力機能を利用する場合、次の手順を実行します。
 - a. [Power Save Mode] (省電力モード) チェック ボックスをオンに します。
 - b. [Power Save Mode Timeout (in minutes)] (省電力モードのタイム アウト (分)) ボックスに、省電力モードに移行するまでの時間 (単位:分)を入力します。
- [Resolution] (解像度) ボックスの一覧で、Dominion KX II ローカル コンソールの画面解像度を選択します。選択できる項目は次のとおり です。この設定を変更すると、ブラウザが再起動します。
 - 800x600
 - 1024 x 768
 - 1280 x 1024
- [Refresh Rate (Hz)] (リフレッシュ レート (Hz)) ボックスの一覧で リフレッシュ レートを選択します。選択できる項目は次のとおりで す。この設定を変更すると、ブラウザが再起動します。
 - 60 Hz
 - 75 Hz
- [Local User Authentication] (ローカル ユーザ認証) でローカル ユー ザ認証タイプを選択します。



- [Local/LDAP/RADIUS] (ローカル/LDAP/RADIUS): これは推奨オ プションです。認証の詳細については、「リモート認証 『p. 41 』」を参照してください。
- 特別なアクセス用ソフトウェアをインストールする必要はあり ません。Dominion KX II ローカル コンソールからのアクセスに 対して認証は行われません。このオプションは、安全な環境での み選択することを推奨します。
- Dominion KX II が CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) の管理下にある場合にローカル ユーザを認証するには、[Ignore CC managed mode on local port] (ローカル ポートからのアクセ スを CC-SG の管理対象から除外する) チェック ボックスをオ ンにします。

注: 最初は [Ignore CC managed mode on local port] ($D - h \lambda$ ポートからのアクセスを CC-SG の管理対象から除外する) チェック ボックスをオフにしていたが、後でローカル ポートからのアクセスを CC-SG の管理対象から除外したくなった場合、CC-SG 側で Dominion KX II を CC-SG の管理対象から除外する必要があります。 その後、[Ignore CC managed mode on local port] ($D - h \lambda$ ポート からのアクセスを CC-SG の管理対象から除外する) チェック ボックスをオンにすることができます。



10. [OK] をクリックします。

Home > Device	Settings >	Local	Port Settings
---------------	------------	-------	---------------

restart the browser.	Local Port Settings will
Enable Standard Local Port	
Local Port Settings	
Keyboard Type	
US 💌	
Local Port Hotkey	Local Port Connectkey
Double Click Scroll Lock 💌	Disabled
Video Switching Delay (in secs)	
0	
Power Save Mode	
Power Save Mode Timeout (in mi	nutes)
10	
Resolution	
1024×768 💌	
Refresh Rate (Hz)	
60 Hz 💌	
-Local User Authentication	
Ignore CC managed mode or	n local port
E a	

ローカル コンソールからの Dominion KX II ローカル ポートの設定

標準ローカル ポートと拡張ローカル ポートを設定するには、リモート コンソールで [Port Configuration] (ポート設定) ページを使用するか、ロ ーカル コンソールで [Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ペー ジを使用します。これらのポートの設定の詳細については、「Dominion KX II のローカル ポートの設定 『p. 213』」を参照してください。



Dominion KX II ローカル コンソールの [Factory Reset] (出荷時設定 にリセット) ページ

注: このページは、Dominion KX II ローカル コンソールでのみ使用でき ます。

Dominion KX II ローカル コンソールでは、さまざまなリセット モード の中から適切なものを選択できます。

注: 出荷時設定にリセットする前に、監査ログを保存しておくことを推奨 します。出荷時設定にリセットされると、監査ログが削除されます。ま た、リセット イベントは監査ログに記録されません。監査ログの保存手 順については、「監査ログ 『p.241』」を参照してください。

出荷時設定にリセットするには

- [Maintenance] (保守) メニューの [Factory Reset] (出荷時設定にリセット) をクリックします。[Factory Reset] (出荷時設定にリセット) ページが開きます。
- リセット モードを選択します。選択できるオプションは次のとおり です。
- [Full Factory Reset] (完全リセット): すべての設定値を削除し、工場 出荷時のデフォルト値にリセットします。Dominion KX II が CC-SG の管理下にある場合は、CC-SG との関連付けが解除されます。この リセット モードではすべての設定値がリセットされるので、リセッ トしてもよいかどうかを確認するためのダイアログ ボックスが開き ます。
- [Network Parameter Reset] (ネットワーク パラメータ値をリセット): Dominion KX II のネットワーク パラメータ値を出荷時設定にリセットします。現在設定されているネットワーク パラメータ値を表示するには、[Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Network Settings] (ネットワーク設定) をクリックします。リセットされる設定値は次のとおりです。
 - IP を自動設定するかどうか
 - IP アドレス
 - サブネット マスク
 - デフォルト ゲートウェイ
 - プライマリ DNS サーバの IP アドレス
 - セカンダリ DNS サーバの IP アドレス
 - 検出ポート



- 帯域幅制限
- LAN インタフェースの速度と通信方式 (全二重/半二重)
- 自動フェイルオーバを有効にするかどうか
- ping 間隔 (単位: 秒)
- タイムアウト時間 (単位: 秒)
- [Reset] (リセット) をクリックして続行します。すべてのネットワーク設定値がリセットされるので、リセットしてもよいかどうかを確認するためのダイアログ ボックスが開きます。
- [OK] をクリックして続行します。リセットが完了すると、Dominion KX II が自動再起動します。

リセット ボタンを使用して Dominion KX II をリセットする

Dominion KX II の背面パネルにリセット ボタンがあります。誤ってリセットされることがないように、ボタンはパネルに埋め込まれています (このボタンを使用するには、先端が尖った道具が必要です)。

リセット ボタンを押したときに実行される処理については、グラフィカ ル ユーザ インタフェースで定義します。「暗号化および共有」を参照 してください。

注: 出荷時設定にリセットする前に、監査ログを保存しておくことを推奨 します。出荷時設定にリセットされると、監査ログが削除されます。ま た、リセット イベントは監査ログに記録されません。監査ログの保存手 順については、「**監査ログ** 『p.241』」を参照してください。

Dominion KX II をリセットするには

- 1. Dominion KX II の電源を切ります。
- 2. 先端の尖った道具を使用してリセット ボタンを押し続けます。
- リセット ボタンを押したまま、Dominion KX II の電源を入れ直します。



 リセット ボタンを 10 秒間押したままにします。 Dominion KX II がリセットされると、短いビープ音が 2 回鳴り、リセットが完了し た旨が通知されます。





この章の内容

物理的仕様	295
環境要件	298
コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	299
サポートされている CIM およびオペレーティング システム (ター	-ゲット
サーバ)	300
サポートされているオペレーティング システム (クライアント)	306
サポートされているブラウザ	308
認定モデム	308
KX2-832 および KX2-864 の拡張ローカル ポートでサポートされ	ている
デバイス	308
ターゲット サーバとの接続距離および画面解像度	309
KX2-832 および KX2-864 の拡張ローカル ポートの推奨最大接続	距離
	309
リモート接続	309
サポートされている画面解像度	310
各言語に対してサポートされているキーボード	311
スマート カード リーダー	312
使用される TCP ポートおよび UDP ポート	316
ネットワーク速度の設定	318

物理的仕様

Dominion KX II の仕様

品目番号	品目説明	UPC コード	電力	重量	寸法 (幅 x 奥行き x 高 さ)	出荷時重 量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)
DKX2-108	8 ポートの Dominion KX II、同時リモー	785813624109	二重化電源 100/240 V 50/60 Hz	8.58 lbs	1.75 x 17.32 x 11.4 イン チ	14.3 lbs	22 x 16.6 x 6.5 インチ
	ト アクセス可 能ユーザ数 = 1、ローカル ポ ート、仮想メデ ィア機能、二重 化電源	25 W	3.9 kg	44 x 439 x 290 mm	6.5 kg	559 x 422 x 165 mm	



品目番号	品目説明	UPC コード	電力	重量	寸法 (幅 x 奥行き x 高 さ)	出荷時重 量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)
DKX2-116	16 ポートの Dominion KX	785813624055	二重化電源 100/240 V	8.65 lbs	1.75 x 17.3 x 11.4 インチ	14.85 lbs	22 x 16.6 x 6.5 インチ
	 同時リモート アクセス可能ユーザ数 = ローカル ポート・仮想メディア機能、二重 化電源 		50/60 Hz 0.6 A 25.4 W	3.9 kg	44 x 439 x 290 mm	6.7 kg	559 x 422 x 165 mm
DKX2-132	32 ポートの Dominion KX	785813624079	二重化電源 100/240 V	9.0 lbs	1.75 x 17.3 x 11.4 インチ	14.9 lbs	22 x 16.6 x 6.5 インチ
	 同時リモー アクセス可 能ユーザ数 = 1、ローカル ポ ート、仮想メディア機能、二重 化電源 		50/60 Hz 0.6 A 26 W	4.1 kg	44 x 439 x 290 mm	6.8 kg	559 x 422 x 165 mm
DKX2-216	16 ポートの Dominion KX	-トの on KX fリモー セス可 げ数 = カル ボ 范想メデ 能、二重	二重化電源 100/240 V	8.65 lbs	1.75 x 17.3 x 11.4 インチ	14.49 lbs	22 x 16.6 x 6.5 インチ
	 同時リモー アクセス可 能ユーザ数 = ローカル ポ ート・仮想メディア機能、二重 化電源 		50/60 Hz 0.6 A 26.3 W	3.9 kg	44 x 439 x 290 mm	6.6 kg	559 x 422 x 165 mm
DKX2-232	32 ポートの Dominion KX	785813625021	二重化電源 100/240 V	9.0 lbs	1.75 x 17.3 x 11.4 インチ	14.9 lbs	22 x 16.6 x 6.5 インチ
	 同時リモー アクセス可 能ユーザ数 = ローカル ポ ート、仮想メディア機能、二重 化電源 		50/60 Hz (最適範囲: 47 ~ 63 Hz) 0.6 A 27 W	4.1 kg	44 x 439 x 290 mm	6.8 kg	559 x 422 x 165 mm



品目番号	品目説明	UPC コード	電力	重量	寸法 (幅 x 奥行き x 高 さ)	出荷時重 量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)
DKX2-416	16 ポートの Dominion KX	785813625359	二重化電源 100/240 V	9.04 lbs	17.3 x 11.6 x 1.75 インチ	14.94 lbs	22 x 16.5 x 6.5 インチ
	II、同時リモー ト アクセス可 能ユーザ数 = $4 \cdot \Pi - \pi $ ート・仮想メデ ィア機能、二重 化電源		50/60 Hz 1A 62 W	4.1 kg	440 x 295 x 44 mm	6.8 kg	560 x 420 x 165 mm
DKX2-432	32 ポートの Dominion KX	785813625380	二重化電源 100/240 V 50/60 Hz 1A 64 W	9.48 lbs	17.3 x 11.6 x 1.75 インチ	15.38 lbs	22 x 16.5 x 6.5 インチ
II、 ト 能・ 4、 一 イ 化	 同時リモー アクセス可 能ユーザ数 = 4、ローカル ポート、仮想メディア機能、二重 化電源 			4.3 kg	440 x 295 x 44 mm	7.0 kg	560 x 420 x 165 mm
DKX2-464	64 ポートの Dominion KX II、同時リモー ト アクセス可 能ユーザ数 = 4、ローカル ポ ート、仮想メデ ィア機能、二重 化電源	785813625298	二重化電源 100/240 V 50/60 Hz 1A 64 W	11.29 lbs	17.3 x 11.6 x 3.5 インチ	19.8 lbs	22 x 16.5 x 6.5 インチ
				5.12 kg	440 x 295 x 88 mm	9 kg	560 x 420 x 165 mm

KX2-8 の仕様

品目番号	品目説明	UPC コード	電力	重量	寸法 (幅 x 奥行き x 高 さ)	出荷時重 量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)
DKX2-83 2	32 ポートの Dominion KX II、 同時リモート	0785813620019	二重化電源 100/240 V 50/60 Hz	10.57 Ibs	17.3 x 14.2 x 1.73 インチ	35.90 lbs	22 x 18.5 x 11 インチ
	アクセス可能ユ ーザ数 = 8 標準 ローカル ポー		1A (0.5A) 64 W	4.8 kg	440 x 360 x 44 mm	16.3 kg	560 x 470 x 280 mm



品目番号	品目説明	UPC コード	電力	重量	寸法 (幅 x 奥行き x 高 さ)	出荷時重 量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)
	ト、拡張ローカ ル ポート、仮想 メディア機能、 二重化電源						
DKX2-86 4	64 ポートの Dominion KX II、 同時リチート	0785813620026	二重化電源 100/240 V 50/60 Hz	13.22 Ibs	17.3 x 14.6 x 3.5 インチ	22.47 lbs	21.7 x 20.1 x 7.5 インチ
	アクセス可能ユ ーザ数 = 8 標準 ローカル ポー ト、拡張ローカ ル ポート、仮想 メディア機能、 二重化電源		1.2A 64 W	6.0 kg	440 x 370 x 88 mm	10.2 kg	550 x 510 x 190 mm

環境要件

作動時	
温度	$0~^\circ C \sim ~40~^\circ C$
湿度	20 ~ 85% (相対湿度)
標高	なし
振動	5-55-5 HZ、0.38 mm、1 サイクル 1 分、
	軸 (X、Y、Z) ごとに 30 分
衝撃	なし
非作動時	
温度	0 \sim 50 $^\circ\mathrm{C}$
湿度	10 ~ 90% (相対湿度)
標高	なし
振動	5-55-5 HZ、0.38 mm、1 サイクル 1 分、
	軸 (X、Y、Z) ごとに 30 分



作動時	
衝撃	なし

コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)

品目番号	品目説明	重量	寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	出荷時重量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	UPC コード
D2CIM-VUSB	Dominion KX II 用 CIM、USB ポート、仮想メ ディア機能	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813332004
DCIM-PS2	Dominion KX I/KX II 用 CIM 、PS/2 ポート	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813338532
DCIM-USB	Dominion KX I/KX II 用 CIM 、USB ポート	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813338518
DCIM-SUSB	Dominion KX I/KX II 用 CIM 、Sun 用 USB ポート	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813338556
DCIM-USBG2	Dominion KX I/KX II 用 CIM 、USB ポート および Sun 用 USB ポート	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813338884
DCIM-SUN	Dominion KX I/KX II 用 CIM 、Sun 用ポート 、HD15 ビデオ 端子	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813338549
D2CIM-PWR	リモート電源タ ップを接続する ための Dominion KX II 用 CIM	0.2 lbs	1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ	0.2 lbs	7.2 x 9 x 0.6 インチ	785813332011



品目番号	品目説明	重量	寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	出荷時重量	出荷時寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	UPC コード
D2CIM-VUSB- 32PAC	D2CIM-VUSB 32 台パック	2.90 kg	(1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ)*32	3.63 kg	21.65 x 12.20 x 4.33 イン チ	785813332028
D2CIM-VUSB -64PAC	D2CIM-VUSB 64 台パック	5.81 kg	(1.3 x 3.0 x 0.6 イ ンチ)*64	8.22 kg	22.64 x9.45 x12.99 イン チ	785813332035
D2CIM-DVUS B	Dominion KX II 用 CIM、デュア ル USB ポー ト、仮想メディ ア機能	105 gs \ 105g	3.53 x 1.68 x 0.76 インチ 89.7 x 42.7 x 19.3 mm	112.5 gs × 112.5g	3.9 x 5.7 x 1.0 インチ 100 x 145 x 27 mm	785813339508
D2CIM-DVUS B-32PAC	D2CIM-DVUSB 32 台パック	4.6 kgs ∖ 4.6kg	21.9 x 12.2 x 4.3 インチ 555 x 310 x 110 mm	4.6 kgs \ 4.6kg	21.9 x 12.2 x 4.3 インチ 555 x 310 x 110 mm	785813332080
D2CIM-DVUS B -64PAC	D2CIM-DVUSB 64 台パック	22.5 lbs 、10.2 kg	9.4 x 22.6 x 13.0 インチ 240 x 575 x 330 mm	22.5 lbs \ 10.2 kg	9.4 x 22.6 x 13.0 インチ 240 x 575 x 330 mm	785813332097

サポートされている CIM およびオペレーティング システム (ターゲット サーバ)

新製品である Dominion KX II D2CIM に加え、大半の Paragon® CIM および Dominion KX I CIM がサポートされています。次の表に、サポートされているターゲット サーバ オペレーティング システム、CIM、仮 想メディア、およびマウス モードを示します。

注: 第 1 世代の Dominion KX II では、ターゲット サーバのオペレーティング システムとして 32 ビット版の Windows および Linux だけが サポートされています。



サポー る Par a	トされてい agon CIM	OS およびシリアル デバ イス	仮想メデ ィア	ずれないマ ウス モード	インテリジェ ント マウス エード	標準マウス モード
• P20	CIM-PS2	 Windows XP Windows 2000 Windows Server 2000 Windows Server 2003 Windows Vista Windows 7 Windows 2008 Red Hat Enterprise Linux 4 ES Red Hat Enterprise Linux 5 openSUSE 10 \cdot 11 Fedora 8 ~ 11 IBM AIX HP UX 				
 P20 UU 	CIM-AUSB ISBPD	 Windows XP Windows 2000 Windows Server 2000 Windows Server 2003 Windows Vista Windows Vista Windows 7 Windows 2008 Red Hat Enterprise Linux 4 ES Red Hat Enterprise Linux 5 openSUSE 10 \ 11 Fedora 8 ~ 11 IBM AIX HP UX Mac OS 				



サポートさ る Parago	れてい on CIM	OS およびシリアル デバ イス	仮想メデ ィア	ずれないマ ウス モード	インテリジェ ント マウス モード	標準マウス モード
• UKVM	PD	 Windows XP Windows 2000 Windows Server 2000 Windows Server 2003 Windows Vista Windows 7 Windows 2008 Red Hat Enterprise Linux 4 ES Red Hat Enterprise Linux 5 openSUSE 10 \ 11 Fedora 8 ~ 11 				*
P2CIMP2CIM	I-SUN I-SUSB	 Dominion KX I でサ ポートされているす べての Solaris OS 				✓
P2CIM	I-SER	• シリアル デバイス				



サポートされてい る Dominion KX I DCIM	ターゲット サーバ	仮想メデ ィア	ずれないマウ ス モード	インテリジェ ント マウス モード	標準マウス モード
• DCIM-PS2	 Windows XP Windows 2000 Windows Server 2000 Windows Server 2003 Windows Vista Windows 7 Windows 2008 Red Hat Enterprise Linux 4 ES Red Hat Enterprise Linux 5 openSUSE 10 \ 11 Fedora Core 3 以降 IBM AIX 				
• DCIM-USB	 HP UX Windows XP Windows 2000 Windows Server 2000 Windows Server 2003 Windows Vista Windows Vista Windows 7 Windows 2008 Red Hat Enterprise Linux 4 ES Red Hat Enterprise Linux 5 openSUSE 10 \ 11 Fedora 8 ~ 11 Mac OS IBM AIX HP UX 				



サポートされてい る Dominion KX I DCIM	ターゲット サーバ	仮想メデ ィア	ずれないマウ ス モード	インテリジェ ント マウス モード	標準マウス モード
• DCIM-USBG2	 Windows XP Windows 2000 Windows Server 2000 Windows Server 2003 Windows Vista Windows 7 Windows 2008 Red Hat Enterprise Linux 4 ES Red Hat Enterprise Linux 5 openSUSE 10 \ 11 Fedora 8 ~ 11 Mac OS Dominion KX I でサポートされているすべての Solaris OS IBM AIX HP UX 				
注: DCIM-USBG2 の を USB で接続する る場合は、このスイ た後です。CIM に約 経ってから再度取り	の背面には小さいスライド型 「場合は、このスイッチを P 「ッチを S にします。変更後 合電し直すには、ターゲット り付けます。	!!スイッチが。 ! にします。 後のスイッチ 、サーバから	あります。PC Sun のターゲッ 位置が有効にな S USB コネクシ	ベースのターケ ット サーバを し さるのは、CIM タをいったん取	[*] ット サーバ JSB で接続す に給電し直し り外し、数秒

•	DCIM-SUN	• Dominion KX I でサ	1	1
•	DCIM-SUSB	ポートされているす べての Solaris OS	•	•



サポートされている Dominion KX II D2CIM	ターゲット サーバおよ びリモート電源タップ	仮想メデ ィア	ずれないマウ ス モード	インテリジ ェント マウ ス モード	標準マウス モード
• D2CIM-VUSB	 Windows XP Windows 2000 Windows Server 2000 Windows Server 2003 Windows Vista Windows Vista Windows 7 Windows 2008 openSUSE 10 \ 11 Fedora Core 3 以降 Red Hat Enterprise Linux 4 ES Red Hat Enterprise Linux 5 Mac OS 				
注: D2CIM-VUSB は	・Sun (Solaris) ターゲッ	ト サーバでん	<i>tサポートされて</i>	「いません。	
D2CIM-DVUSB	 Windows XP Windows 2000 Windows Server 2000 Windows Server 2003 Windows Vista Windows 7 Windows 2008 openSUSE 10 \cdot 11 Fedora 8 ~ 11 Mac OS 	•	✓	✓ 	
D2CIM-PWR	 リモート電源タップ 				



サポートされているオペレーティング システム (クライアント)

Virtual KVM Client (VKC) および Multi-Platform Client (MPC) でサポートされているオペレーティング システム (OS) は、次のとおりです。

クライアント OS	クライアントで仮想メディア (VM) が サポートされているか
Windows 7®	はい
Windows XP®	はい
Windows 2008®	はい
Windows Vista®	はい
Windows 2000 SP4® Server	はい
Windows 2003® Server	はい
Windows 2008® Server	はい
Red Hat [®] Desktop 5.0	使用できます。ローカルに保存されてい る ISO イメージである Remote File Server を、ターゲット サーバに直接マ ウントできます。
Red Hat Desktop 4.0	使用できます。ローカルに保存されてい る ISO イメージである Remote File Server を、ターゲット サーバに直接マ ウントできます。
openSUSE 10 · 11	使用できます。ローカルに保存されてい る ISO イメージである Remote File Server を、ターゲット サーバに直接マ ウントできます。
Fedora [™] 8 ~ 11	使用できます。ローカルに保存されてい る ISO イメージである Remote File Server を、ターゲット サーバに直接マ ウントできます。
Mac OS	いいえ
Solaris	いいえ



Java Runtime Environment (JRE) プラグインは、32 ビット版および 64 ビット版 Windows で使用できます。MPC および VKC は、32 ビット 版ブラウザ、64 ビット版 Internet Explorer 7、または 64 ビット版 Internet Explorer 8 からのみ起動できます。

次の表に、Windows x64 Edition におけるソフトウェア要件を示します。

モード	オペレーティング シス テム	ブラウザ
Windows x64 32 ビット モ	Windows XP	• IE 6.0 SP1 以降、IE 7、 IE 8
- ř		• Mozilla 1.4.x または 1.7 以降
		Netscape 7.x
		• Firefox 1.06 \sim 3
	Windows Server 2003	• IE 6.0 SP1 以降、IE 7、 IE 8
		• Mozilla 1.4.x または 1.7 以降
		Netscape 7.x
		• Firefox 1.06 \sim 3
	Windows Vista	• IE 7.0 または 8.0
Windows x64	Windows XP	64 ビット OS 対応の 32 ビット版ブラウザ
64 ビット モ ード	Windows XP Professional	 IE 6.0 SP1 以降、7.0、
	Windows XP Tablet	$t = \frac{1}{2} $
	Windows Vista	U降
	Windows Server 2003	Netscape 7.x
	Windows Server 2008	● Firefox 1.06 ~ 3
		64 ビット OS 対応の 64 ビット版ブラウザ
		• IE 7.0 または 8.0



サポートされているブラウザ

Dominion KX II でサポートされているブラウザは、次のとおりです。

- Internet Explorer 6、7、および 8
- Firefox 1.5、2.0、および 3.0 (ビルド 3.0.10 まで)
- Mozilla 1.7
- Safari 2.0

認定モデム

- US Robotics 56K 5686E
- ZOOM v90
- ZOOM v92
- US Robotics Sportster 56K
- US Robotics Courier 56K

KX2-832 および KX2-864 の拡張ローカル ポートでサポートされているデバイ ス

拡張ローカル ポートでは、以下のデバイスからの接続がサポートされます。

- 拡張ローカル ポートに直接接続された Paragon II User Station (P2-UST)
- 拡張ローカル ポートに直接接続された Paragon II Enhanced User Station (P2-EUST)。
- 拡張ローカル ポートに直接接続された Cat5Reach URKVMG レシ ーバー。
- 拡張ローカル ポートに接続された Paragon II アナログ KVM スイ ッチ (UMT)。これと Paragon II Enhanced User Station を併用した 場合が、アクセスできる拡張ローカル ポートまでの距離が最大にな ります。



ターゲット サーバとの接続距離および画面解像度

Dominion KX II とターゲット サーバの間の最大接続距離は、さまざまな 要素によって決まります。たとえば、Cat5 ケーブルのタイプと品質、サ ーバのタイプと製造元、ビデオ ドライバ、モニタ、環境条件、ユーザの 要求レベルなどに左右されます。次の表に、各種の画面解像度とリフレ ッシュ レートにおける最大接続距離を示します。

画面解像度	リフレッシュ レート	最大接続距離
1600 x 1200	60	15 m
1280 x 1024	60	30 m
1024 x 768	60	45 m

注:サーバの製造メーカーやタイプ、OSのバージョン、ビデオドライ バなどは多種多様であるうえ、ビデオ品質にはユーザーの主観が反映さ れるため、Raritanではあらゆる環境でのすべての距離におけるパフォー マンスを保証することはできません。

Dominion KX II でサポートされている画面解像度については、「サポー トされている画面解像度 『p. 310』」を参照してください。

KX2-832 および KX2-864 の拡張ローカル ポートの推奨最大接続距離

拡張デバイス	1024x768 、60 Hz	1280x1024 \ 60 Hz
EUST を使用した Paragon II UMT	1000	900
Paragon EUST	500	400
URKVM	650	250
Paragon UST	500	200

リモート接続

リモート接続	詳細情報
ネットワーク	10BASE-T、100BASE-T、および 1000BASE-T (Gigabit) Ethernet
プロトコル	$TCP/IP \mathrel{\scriptstyle{\checkmark}} UDP \mathrel{\scriptstyle{\vee}} SNTP \mathrel{\scriptstyle{\vee}} HTTP \mathrel{\scriptstyle{\vee}} HTTPS \mathrel{\scriptstyle{\vee}} RADIUS$



、LDAP/LDAPS

サポートされている画面解像度

各ターゲット サーバの画面解像度とリフレッシュ レートが Dominion KX II でサポートされているかどうか、および、映像信号がノンインタレ ース方式であるかどうかを確認してください。

画面解像度とケーブル長は、マウスを同期させるうえで重要な要素です。
詳細については、「ターゲット サーバとの接続距離および画面解像度
『p. 309』」を参照してください。

Dominion KX II でサポートされている画面解像度は次のとおりです。

解像度	
640x350、70Hz	1024x768 \ 75Hz
640x350 、85Hz	1024x768、90Hz
640x400 56Hz	1024x768、100Hz
640x400	1152x864 \ 60Hz
640x400	1152x864 \ 70Hz
640x480 60Hz	1152x864 \ 75Hz
640x480 \ 66.6Hz	1152x864 \ 85Hz
640x480 \ 72Hz	1152x870 \ 75.1Hz
640x480 75Hz	1152x900 \ 66Hz
640x480	1152x900 \ 76Hz
720x400 \ 70Hz	1280x720、60Hz
720x400 \ 84Hz	1280x960、60Hz
720x400 \ 85Hz	1280x960 \ 85Hz
800x600 \ 56Hz	1280x1024、60Hz
800x600 \ 60Hz	1280x1024 \ 75Hz
800x600 \ 70Hz	1280x1024 \ 85Hz
800x600 \ 72Hz	1360x768 \ 60Hz
800x600 \ 75Hz	1366x768 \ 60Hz
800x600	1368x768 \ 60Hz



解像度	
800x600、90Hz	1400x1050 \ 60Hz
800x600、100Hz	1440x900 \ 60Hz
832x624 \ 75.1Hz	1600 x 1200 \ 60Hz
1024x768、60Hz	1680x1050、60Hz

注: 映像信号が Composite Sync 方式または Sync on Green 方式である場合は、アダプタを増設する必要があります。

注: 一部の解像度は、デフォルトでは使用できない可能性があります。解像度が表示されない場合は、まずモニタを接続し、モニタを取り外してから CIM を接続します。

注: 解像度 1440x900 および 1680x1050 がターゲット サーバのグラ フィック アダプタ カードでサポートされているにもかかわらず表示さ れない場合は、DDC-1440 または DDC-1680 アダプタが必要である可 能性があります。

各言語に対してサポートされているキーボード

次の表に、各言語に対して Dominion KX II でサポートされているキーボ ードを示します。

注: 中国語、日本語、および韓国語は、表示しかできません。現時点では、 これらの言語を入力することはできません。アメリカ英語以外のキーボ ードの詳細については、「**留意事項** 『p. 328』」を参照してください。

注: Linux 環境で作業する場合は、system-config-keyboard を使用して言語を変更することをお勧めします。

言語	地域	キーボード レイアウ ト
アメリカ英語	米国および大半の英語圏 (例: カ ナダ、オーストラリア、ニュージ ーランド)	アメリカ英語
アメリカ英語 (国際)	米国および大半の英語圏 (例: オ ランダ)	アメリカ英語
イギリス英語	イギリス	イギリス英語
繁体字中国語	香港、台湾	繁体字中国語
簡体字中国語	中国本土	簡体字中国語



Ap A: 仕様

言語	地域	キーボード レイアウ ト
韓国語	韓国	Dubeolsik ハングル
日本語	日本	JIS キーボード
フランス語	フランス	フランス語 (AZERTY 配列)
ドイツ語	ドイツおよびオーストリア	ドイツ語 (QWERTZ 配列)
ベルギー語	ベルギー	ベルギー語
ノルウェー語	ノルウェー	ノルウェー語
デンマーク語	デンマーク	デンマーク語
スウェーデン 語	スウェーデン	スウェーデン語
ハンガリー語	ハンガリー	ハンガリー語
スロベニア語	スロベニア	スロベニア語
イタリア語	イタリア	イタリア語
スペイン語	スペインおよび大半のスペイン 語圏	スペイン語
ポルトガル語	ポルトガル	ポルトガル語

スマート カード リーダー

サポートされているスマート カード リーダーとサポートされていない スマート カード リーダー

Dominion KX II では、USB タイプの外部スマート カード リーダーのみ がサポートされています。

サポートされているスマート カード リーダー

タイプ	ベンダ	モデル	検証
USB	SCM Microsystems	SCR331	ローカルおよびリ モートで検証済み
USB	ActivIdentity	ActivIdentity USB	ローカルおよびリ



タイプ	ベンダ	モデル	検証
USB	SCM Microsystems	SCR331	ローカルおよびリ モートで検証済み
		Reader v2.0	モートで検証済み
USB	ActivIdentity	ActivIdentity USB Reader v3.0	ローカルおよびリ モートで検証済み
USB	Gemalto	GemPC USB-SW	ローカルおよびリ モートで検証済み
USB キーボー ド/カード リー ダーの組み合わ せ	Dell	USB Smart Card Reader Keyboard	ローカルおよびリ モートで検証済み
USB キーボー ド/カード リー ダーの組み合わ せ	Cherry GmbH	G83-6744 SmartBoard	ローカルおよびリ モートで検証済み
SIM サイズのカ ードに対応した USB リーダー	Omnikey	6121	ローカルおよびリ モートで検証済み
統合型 (Dell Latitude D620)	O2Micro	OZ776	リモートのみ
PCMCIA	ActivIdentity	ActivIdentity PCMCIA Reader	リモートのみ
PCMCIA	SCM Microsystems	SCR243	リモートのみ

注: SCM Microsystems の SCR331 スマート カード リーダーでは、SCM Microsystems のファームウェア v5.25 を使用する必要があります。

サポートされていないスマート カード リーダー



この表は、Raritan が Dominion KX II でテストし、動作しないことが判 明しているリーダーの一覧です。したがって、これらのリーダーはサポ ートされていません。サポートされているスマート カード リーダーの 表にもサポートされていないスマート カード リーダーの表にもないス マート カード リーダーについては、Dominion KX II での動作を保証で きません。

タイプ	ベンダ	モデル	注意
USB キーボード/カー ド リーダーの組み合 わせ	HP	ED707A	インタラプト エンド ポイントなし => Microsoft ドライバと の互換性なし
USB キーボード/カー ド リーダーの組み合 わせ	SCM Microsystems	SCR338	独自のカード リーダ ー実装 (CCID 非準拠)
USB トークン	Aladdin	eToken PRO	独自の実装

最小システム要件

ローカル ポートの要件

Dominion KX II へのローカル ポート接続の相互運用性の基本要件は、以下のとおりです。

 ローカルに接続されたすべてのデバイス (スマート カード リーダ ーまたはトークン) は USB CCID に準拠している必要があります。


ターゲット サーバの要件

スマート カード リーダーを使用する場合、ターゲット サーバにおける 相互運用性の基本要件は以下のとおりです。

- IFD (スマート カード リーダー) Handler は、標準の USB CCID デバイス ドライバ (汎用の Microsoft USG CCID ドライバに相当) である必要があります。
- D2CIM-DVUSB (デュアル VM CIM) が必要であり、そのファームウェア バージョンは 3A6E 以降である必要があります。
- ブレード シャーシのサーバ接続 (ブレードごとに CIM を使用) が サポートされます。
- ブレード シャーシのサーバ接続 (シャーシごとに CIM を使用) は、 自動検出が有効になっている IBM BladeCenter モデル H および F でのみサポートされます。

Windows XP ターゲット

Windows XP ターゲットでは、Dominion KX II でスマート カードを使用 するために Windows XP SP3 が実行されている必要があります。

Linux ターゲット

Linux ターゲットを使用する場合は、Dominion KX II でスマート カード リーダーを使用するために以下の要件を満たす必要があります。

• CCID の要件

Linux ターゲットで Raritan D2CIM-DVUSB VM/CCID がスマート カード リーダーとして認識されない場合は、CCID ドライバのバー ジョンを 1.3.8 以上に更新し、ドライバ設定ファイル (Info.plist) を 更新する必要があります。

オペレーティング シ ステム	CCID の要件
RHEL 5	ccid-1.3.8-1.el5
SuSE 11	pcsc-ccid-1.3.8-3.12
Fedora Core 10	ccid-1.3.8-1.fc10.i386



リモート クライアントの要件

リモート クライアントにおける相互運用性の基本要件は、以下のとおり です。

- IFD (スマート カード リーダー) Handler は、PC/SC 準拠のデバイス ドライバである必要があります。
- ICC (スマート カード) Resource Manager が使用可能で、PC/SC 準拠である必要があります。
- スマート カード API を含む JRE 1.6.x が Raritan クライアント アプリケーションで使用可能である必要があります。

Linux クライアント

Linux クライアントを使用する場合は、Dominion KX II でスマート カー ド リーダーを使用するために以下の要件を満たす必要があります。

注: ターゲットへの 1 つ以上の KVM セッションがアクティブになっ ている場合、スマート カードを挿入すると、クライアントへのユーザ ロ グインに時間がかかることがあります。これらのターゲットへのログイ ン プロセスも進行中です。

• PC/SC の要件

オペレーティング システム	必要な PC/SC
RHEL 5	pcsc-lite-1.4.4-0.1.el5
SuSE 11	pcsc-lite-1.4.102-1.24
Fedora Core 10	pcsc-lite-1.4.102.3.fc10.i386

• Java ライブラリ リンクの作成

RHEL 4、RHEL 5、および FC 10 のアップグレード後、libpcsclite.so へのソフト リンクを作成する必要があります。たとえば、パッケー ジのインストールによってライブラリが /usr/lib または /user/local/lib に配置される場合、「In -s /usr/lib/libpcsclite.so.1 /usr/lib/libpcsclite.so」と入力します。

PC/SC デーモン

pcsc デーモン (フレームワークのリソース マネージャ) を再起動す る場合は、ブラウザと MPC も再起動します。

使用される TCP ポートおよび UDP ポート



ポート	説明
HTTP、ポート 80	セキュリティを確保するため、Dominion KX II によって HTTP (ポート 80) で受信された要求は、すべて HTTPS に自動変換されます。要求は ポート 80 で受け付けられるので、ユーザはブラウザのアドレス ボッ クスに明示的に「https://」と入力する必要はありません。また、セキュ リティも確保されます。
HTTP、ポート 443	このポートはさまざまな目的で使用されます。たとえば、クライアント から HTML で Web サーバにアクセスする場合、クライアント ソフト ウェア (MPC/VKC) をクライアントにダウンロードする場合、KVM デ ータと仮想メディア データをクライアントに転送する場合などです。
Dominion KX II (Raritan KVM-over-IP) プロ トコル、ポート 5000 (変更可)	このポートは、他の Dominion デバイスの検出、および、Raritan デバ イスと各種システム (例: CommandCenter Secure Gateway (CC-SG)) との間の通信に使用されます。このポートはデフォルトで 5000 に設定 されていますが、別の TCP ポートに変更することもできます。この設 定を変更する手順については、「ネットワーク設定」を参照してください。
SNTP (時刻サーバ)、 UDP ポート 123 (変更可)	Dominion KX II の内部クロックを中央の時刻サーバと同期させること ができます。この機能を利用するには UDP ポート 123 (SNTP 用の標 準ポート)を使用する必要がありますが、別のポートに変更することも できます。(オプション)
LDAP/LDAPS、ポー ト 389 または 636 (変更可)	LDAP/LDAPS プロトコルを使用してユーザをリモート認証するように Dominion KX II が設定されている場合、デフォルトでポート 389 また は 636 が使用されます。ただし、別のポートに変更することもできま す。(オプション)
RADIUS、ポート 1812 (変更可)	RADIUS プロトコルを使用してユーザをリモート認証するように Dominion KX II が設定されている場合、デフォルトでポート 1812 が 使用されます。ただし、別のポートに変更することもできます。(オプ ション)
RADIUS アカウンテ ィング ポート 1813 (変更可)	RADIUS プロトコルを使用してユーザをリモート認証するように Dominion KX II が設定されており、かつ、イベントのログ記録に RADIUS アカウンティングが使用されている場合、ログ通知の転送にデ フォルトでポート 1813 が使用されます。ただし、別のポートに変更す ることもできます。
SYSLOG UDP ポー ト 514 (変更可)	メッセージを Syslog サーバに送信するように Dominion KX II が設定 されている場合、通信にデフォルトでこのポートが使用されます。ただ し、別のポートに変更することもできます。
SNMP、デフォルト の UDP ポート	送受信の読み取り/書き込み SNMP アクセスにはポート 161 が使用さ れます。SNMP トラップの送信トラフィックにはポート 162 が使用さ れます。(オプション)



Ap A: 仕様

TCP ポート 21	ポート 21 は、Dominion KX II のコマンド ライン インタフェース
	(CLI) を利用する際に使用されます (お客様が Raritan のテクニカル
	サポート部門と協力して作業する場合)。

ネットワーク速度の設定

ネットワー ク スイッチ におけるポ ートの設定	自動	自動 使用可能な 最高速度	1000/全二重 1000/全二重	100/全二重 Dominion KX II: 100/ 全二重 スイッチ: 100/十二重	100/半二重 100/半二重	10/全二重 Dominion KX II: 10/全 二重 スイッチ: 10/牛二重	10/半二重 10/半二重
	1000/全二重	1000/全二重	1000/全二重	通信不可	通信不可	通信不可	通信不可
	100/全二重	Dominion KX II: 100/ 半二重 スイッチ: 100/全二重	Dominion KX II: 100/ 半二重 スイッチ: 100/全二重	100/全二重		通信不可	通信不可
	100/半二重	100/半二重	100/半二重	Dominion KX II: 100/ 全二重 スイッチ: 100/半二重	100/半二重	通信不可	通信不可
	10/全二 <u>重</u>	Dominion KX II: 10/半 二重 スイッチ: 10/全二重	通信不可	通信不可	通信不可	10/全二重	Dominion KX II: 10/半 二重 スイッチ: 10/全二重
	10/半二 <u>重</u>	10/半二重	通信不可	通信不可	通信不可	Dominion KX II: 10/全 二重 スイッチ: 10/牛二重	10/半二重

Dominion KX II におけるネットワーク速度の設定





設定にします (例: 100 Mbps/全二重)。

💽 Raritan.

Ap BLDAP スキーマを更新する

注: この章で説明する手順は、経験豊富なユーザだけが実行してください。

この章の内容

ユーザ グループ情報を返す	320
スキーマへの書き込み操作を許可するようにレジストリを設定する	321
新しい属性を作成する	321
属性をクラスに追加する	323
スキーマ キャッシュを更新する	324
ユーザ メンバの rciusergroup 属性を編集する	325

ユーザ グループ情報を返す

この章で説明する内容に従って、ユーザ認証の成功後にユーザ グループ 情報を返すように設定してください。ユーザ グループ情報は、ユーザへ の権限付与に役立ちます。

LDAP から返す場合

LDAP/LDAPS 認証に成功すると、Dominion KX II では、そのユーザの所 属グループに付与されている権限に基づいて、そのユーザに付与する権 限が決まります。リモート LDAP サーバから次のような属性が返される ので、ユーザ グループ名がわかります。

rciusergroup attribute type: string

このように属性を返すには、LDAP/LDAPS サーバ上でスキーマを拡張し なければならないことがあります。認証サーバ管理者に連絡し、この属 性を有効にしてください。

Microsoft Active Directory から返す場合

注: この手順は、経験豊富な Active Directory 管理者だけが行ってください。

Windows 2000 Server 上の Microsoft Active Directory からユーザ グル ープ情報を返すには、LDAP/LDAPS スキーマを更新する必要がありま す。詳細については、Microsoft 発行のドキュメントを参照してください。

Active Directory 用のスキーマ プラグインをインストールします。インストール手順については、Active Directory のドキュメントを参照してください。



 Active Directory コンソールを起動し、[Active Directory Schema] (Active Directory スキーマ)を選択します。

スキーマへの書き込み操作を許可するようにレジストリを設定する

ドメイン コントローラによるスキーマへの書き込みを許可するため、ス キーマの更新を許可するレジストリ エントリを設定する必要がありま す。

▶ スキーマへの書き込みを許可するには

 ウィンドウの左ペインで [Active Directory Schema] (Active Directory スキーマ) ルート ノードを右クリックし、コンテキスト メニューの [Operations Master] (操作マスタ) をクリックします。 [Change Schema Master] (スキーマ マスタの変更) ダイアログ ボ ックスが開きます。

Change Schema Master	? ×
The schema master manages modifications to the se server in the enterprise performs this role.	chema. Only one
C <u>u</u> rrent schema master (online):	
rci-gcf4j2nzmzt.mypc.mydomain.com	
To transfer the schema master role to the targeted domain controller below, click Change.	Change
rci-gcf4j2nzmzt.mypc.mydomain.com	
	Close

- [Schema can be modified on this Domain Controller] (このドメイン コントローラでスキーマを修正できるようにする) チェック ボック スをオンにします。(オプション)
- 3. [OK] をクリックします。

新しい属性を作成する

- ▶ rciusergroup クラスに対する新しい属性を作成するには
- ウィンドウの左ペインで、[Active Directory Schema] (Active Directory スキーマ)の前に表示されている [+] (+) 記号をクリック します。



- 2. 左ペインで [Attributes] (属性) を右クリックします。
- コンテキスト メニューの [New] (新規) をクリックし、続いて [Attribute] (属性) をクリックします。警告メッセージが表示されたら、 [Continue] (続行) をクリックします。[Create New Attribute] (属性の 新規作成) ダイアログ ボックスが開きます。

Create New Attribute		? ×
Create a New Att	ribute Object	
Common <u>N</u> ame:	rciusergroup	
LDAP Display Name:	rciusergroup	
Unique X500 <u>O</u> bject ID:	1.3.6.1.4.1.13742.50	
Description:	Raritan's LDAP attribute	
Syntax and Range		
<u>S</u> yntax:	Case Insensitive String	•
Minimum:	1	
Ma <u>x</u> imum:	24	
Multi-Valued	OK Can	cel

- 4. [Common Name] (共通名) ボックスに「rciusergroup」と入力します。
- 5. [LDAP Display Name] (LDAP 表示名) ボックスに「rciusergroup」と 入力します。
- 6. [Unique X500 Object ID] (一意の X.500 オブジェクト ID) フィール ドに「1.3.6.1.4.1.13742.50」と入力します。
- 7. [Description] (説明) ボックスにわかりやすい説明を入力します。
- 8. [Syntax] (構文) ボックスの一覧で [Case Insensitive String] (大文字/ 小文字の区別がない文字列) を選択します。
- 9. [Minimum] (最小) ボックスに「1」と入力します。
- 10. [Maximum] (最大) ボックスに「24」と入力します。
- 11. [OK] をクリックし、新しい属性を作成します。



属性をクラスに追加する

▶ 属性をクラスに追加するには

- 1. ウィンドウの左ペインで [Classes] (クラス) をクリックします。
- 2. 右ペインをスクロールして [user] (user) を表示し、右クリックしま す。

🚡 Console1 - [Console Root)	🙀 Consolet - [Console Root\Active Directory Schema [rci-gcf4j2nzmzt.mypc.mydomain.com 💶 🗖 🗙				
🚡 Eile Action View Favgrites Window Help 📃 🖅					
← → 💼 🖬 🔮 🛛	3 2				
🧾 Console Root	Name	Туре	Status	Desci 🔺	
E Active Directory Schema	serviceConnectionPoint	Structural	Active	Servi	
🗄 💼 Classes	■t ^a serviceInstance	Structural	Active	Servi	
····· 🔲 Attributes	simpleSecurityObject	Auxiliary	Active	The s	
	📲 🖁 site	Structural	Active	Site	
	■t¦ siteLink	Structural	Active	Site-L	
	siteLinkBridge	Structural	Active	Site-L	
	📲 sitesContainer	Structural	Active	Sites	
	■t storage	Structural	Active	Stora	
	■tä subnet	Structural	Active	Subn	
	📲 subnet Container	Structural	Active	Subn	
	📲 🖁 subSchema	Structural	Active	SubS	
	■G top	Abstract	Active	Тор	
	📲 trustedDomain	Structural	Active	Trust	
	📲 typeLibrary	Structural	Active	Туре	
	Cuser New Winds	w from Here	Active	User	
	■tavolume		Active	Volun 👻	
•	Refresh			<u>الم</u>	
	Propertie	s			
	Help				

- コンテキスト メニューの [Properties] (プロパティ) をクリックしま す。[user Properties] (user のプロパティ) ダイアログ ボックスが開 きます。
- 4. [Attributes] (属性) タブをクリックしてそのプロパティ ページを開きます。
- 5. [Add] (追加) をクリックします。



6. [Select a schema object] (スキーマ オブジェクトを選択) ボックス の一覧で [rciusergroup] (rciusergroup) を選択します。



- [Select Schema Object] (スキーマ オブジェクトを選択) ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。
- [user Properties] (user のプロパティ) ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。

スキーマ キャッシュを更新する

- スキーマ キャッシュを更新するには
- ウィンドウの左ペインで [Active Directory Schema] (Active Directory スキーマ) を右クリックし、コンテキスト メニューの [Reload the Schema] (スキーマを再ロード) を選択します。
- 2. Active Directory スキーマ MMC コンソール (Microsoft Management Console) を最小化します。



ユーザ メンバの rciusergroup 属性を編集する

Windows Server 2003 上で Active Directory スクリプトを実行するには、 Microsoft から提供されるスクリプトを使用します (Windows Server 2003 のインストール用 CD-ROM に収録されています)。これらのスク リプトは、Microsoft Windows 2003 のインストール時にシステムにロー ドされます。Active Directory Service Interface (ADSI) は、Active Directory の下位レベルのエディタとして動作します。これにより、オブ ジェクトの追加、削除、移動などの一般的な管理作業を、ディレクトリ サ ービスを使用して行うことができます。

- ▶ rciusergroup グループ内の個別のユーザ属性を編集するには
- Windows Server 2003 のインストール用 CD-ROM を挿入し、エク スプローラで Support フォルダの下の Tools フォルダを開きます。
- 2. SUPTOOLS.MSI をダブルクリックし、サポート ツールをインスト ールします。
- サポート ツールがインストールされたフォルダを開きます。
 adsiedit.msc を実行します。[ADSI Edit] (ADSI 編集) ウィンドウが
 開きます。

🗳 ADSI Edit				
n Ele Action Yess Window H	:þ			_6 ×
+ → 🔯 🗟 🖳 😫				
🐟 ADSLEdit	Name	Class	Distinguished Name	
由 Domain [rd-qdf4]2nzmzt.mypc.m;	Domain [rci-gcf4j2nzmzt.mypc	domeinDNS		
日本語 Configuration [re-get+jznzmzt.my 床子語 Schema [rd-gdf4/Znzmzt.mygc.m]	Configuration [rci-gcf4j2nzmz	configuration users		
E B menefie de demensétere	Schema [rc+gc+4]2nzmat.myp	and		
<u>I I I I I I I I I I I I I I I I I I I </u>	•		-	

4. [Domain] (ドメイン) を開きます。



ADSTEdit	þ		×D.× ×D.×
ADSI Edit Doman [rd-gd/4]2nemst.mypc.my Doman [rd-gd/4]2nemst.mypc.my Doman [rd-gd/4]2nemst.mypc.my Doman [rd-gd/4]2nemst.mypc.my Doman [rd-gd/4]2nemst.mypc.my Doman [rd-gd/4]2nemst.mypc.my Doman [rd-gd/4]2nemst.mypc.my	Name CN=Achinistretor CN=Achinistretor CN=Cert Publishers CN=DresUpdateProxy CN=DresUpdateProxy CN=Domain Computers CN=Domain Computers CN=Domain Guests CN=Domain Users CN=Concent Users CN=Co	Class user group group group group group group group group group group group group group group group	Distinguished Name CN=Administrator, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, G CN=Cref Publishers, (ON=Users, DC=mypc, DC=mydomain, DC CN=DresAdmins, (ON=Users, DC=mypc, DC=mydomain, DC CN=DresAdmins, (ON=Users, DC=mypc, DC=mydomain CN=Domain Computers, CN=Users, DC=mypc, DC=mydom CN=Domain Computers, CN=Users, DC=mypc, DC=mydom CN=Domain Guests, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain CN=Domain Guests, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain CN=Domain Guests, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain CN=Domain Guests, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain CN=Domain Guests, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain CN=Group Policy Deator Owners, CN=Users, DC=mypc, ID CN=Guest, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, DC=con CN=HobServicesGroup, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=Guest, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, DC=con CN=HobServicesGroup, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=Guest, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, DC=con CN=HobServicesGroup, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=Guest, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, DC=con CN=RAS and IAS Servers, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=SuPCRT_388995a0, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, CN=SuPCRT_388995a0, CN=Users, DC=mypc, DC=mydomain, DC=con CN=TeinetClerts, CN=Users, DC=
<u> </u>	•		

5. ウィンドウの左ペインで CN=Users フォルダを選択します。

6. 右ペインで、プロパティ値を編集したいユーザ名を探します。ユーザ 名を右クリックし、コンテキスト メニューの [Properties] (プロパテ ィ) をクリックします。



 [Attribute Editor] (属性エディタ) タブをクリックします。[Attributes] (属性) ボックスの一覧で [rciusergroup] (rciusergroup) を選択します。

CN=Administrator Prope	rties	<u>? ×</u>			
Attribute Editor Security					
Show <u>m</u> andatory attrit	✓ Show mandatory attributes ✓ Show optional attributes				
Show only attributes t	hat have <u>v</u> alues				
Attri <u>b</u> utes:					
Attribute	Syntax	Value 🔺			
proxyAddresses pwdLastSet queruPolicuBl	Unicode String Large Integer/ Distinguished	<not set=""> 128299285248088608 <not set=""></not></not>			
	Case Insensiti	<not set=""></not>			
registeredAddress repIPropertyMetaData repIUpToDateVector repsFrom repsTo revision rid roomNumber sAMAccountName	Octet String Octet String Octet String Octet String Integer Integer Unicode String Unicode String	<not set=""> 0x01 0x00 0x00 0x00 0x0 <not set=""> <not set=""> <not set=""> <not set=""> <not set=""> <not set=""> <not set=""> <not set=""> <administrator< th=""></administrator<></not></not></not></not></not></not></not></not></not>			
<u>E</u> dit					
	ОК	Cancel Apply			

- 8. [Edit] (編集) をクリックします。[String Attribute Editor] (文字列属性 エディタ) ダイアログ ボックスが開きます。
- 9. [Value] (値) ボックスに、Dominion KX II で作成したユーザ グルー プを入力します。[OK] をクリックします。

String Attribute Editor			×
<u>Attribute:</u> rciusergroup			
<u>V</u> alue:			
Admin			
<u>C</u> lear	OK	Cancel	



Ap C 留意事項

この章の内容

概要	328
Java Runtime Environment (JRE)	328
IPv6 のサポートに関する注意事項	329
キーボード	330
マウス ポインタの同期 (Fedora)	335
Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面解像度	335
Fedora	336
ビデオ モードと解像度	337
USB ポートとプロファイル	338
CIM	340
仮想メディア	342
CC-SG	342

概要

この章では、Dominion KX II の使用に関する重要事項について説明しま す。今後更新される情報については、弊社 Web サイトで提供されます。 更新情報を表示するには、Dominion KX II リモート コンソールの [Help] (ヘルプ) リンクをクリックしてください。

Java Runtime Environment (JRE)

重要: Java のキャッシュ機能を無効にし、Java キャッシュをクリアす ることを推奨します。詳細については、Java のドキュメントまたは 『KVM and Serial Access Clients Guide』を参照してください。

Dominion KX II リモート コンソールおよび Multi-Platform Client (MPC) を実行するには、JRE が必要です。Dominion KX II リモート コンソー ルでは、Java のバージョンが検査されます。バージョンが不適切である かまたは古い場合、互換性のあるバージョンをダウンロードするよう指 示されます。

パフォーマンスを最大化するため、JRE バージョン 1.5 の使用を推奨し ます。ただし、Dominion KX II リモート コンソールおよび MPC は、 JRE バージョン 1.6.x 以降 (1.6.2 を除く) でも動作します。

注: 多言語対応のキーボードを Dominion KX II リモート コンソール (Virtual KVM Client (VKC)) で使用できるようにするには、多言語バージョンの JRE をインストールする必要があります。



IPv6 のサポートに関する注意事項

Java

Java 1.5 では、次のオペレーティング システム (OS) に対して IPv6 が サポートされています。

- Solaris 8 以降
- Linux カーネル 2.1.2 以降 (RedHat 6.1 以降)

Java 5.0 以降では、次の OS に対して IPv6 がサポートされています。

- Solaris 8 以降
- Linux カーネル 2.1.2 以降 (2.4.0 以降を推奨)
- Windows XP SP1 · Windows 2003 · Windows Vista

Java では、次の IPv6 構成はサポートされていません。

 Microsoft Windows 上の J2SE 1.4 では、IPv6 はサポートされてい ません。

Linux

- IPv6 を使用する場合、Linux カーネル 2.4.0 以降を使用することを 推奨します。
- IPv6 対応のカーネルをインストールするか、または、IPv6 関連オプ ションを有効にしてカーネルを再ビルドする必要があります。
- IPv6 を使用する場合、Linux 用のネットワーク ユーティリティをい くつかインストールする必要があります。詳細については、 http://www.bieringer.de/linux/IPv6/IPv6-HOWTO/IPv6-HOWTO.html を参照してください。

Windows

 Windows XP ユーザまたは Windows 2003 を使用している場合、 Microsoft の IPv6 対応サービス パックをインストールし、IPv6 を 有効にする必要があります。

Mac Leopard

Dominion KX II では、Mac Leopard に対して IPv6 はサポートされていません。

Samba

 Samba を使用する場合、IPv6 と仮想メディアを併用することはで きません。



キーボード

アメリカ英語以外のキーボード

フランス語キーボード

キャレット記号 (Linux クライアントのみ)

Linux クライアントとフランス語キーボードを併用する場合、VKC および MPC では Alt Gr + 9 というキー組み合わせがキャレット記号 (^) として処理されません。

▶ キャレット記号を入力するには

フランス語キーボードの ^ キー (P キーの右にある) を押し、すぐに Space キーを押します。

次のコマンドを実行するマクロを作成する方法もあります。

- 1. 右 Alt キーを押す。
- 2. 9 キーを押す。
- 3. 9 キーを離す。
- 4. 右 Alt キーを離す。



注: これらの手順は、母音の上に付ける曲折アクセントには当てはまりま せん。フランス語キーボードで ^ キーと他の文字を組み合わせて使用し た場合、曲折アクセントになります。

アクセント記号 (Windows XP クライアントのみ)

Windows XP クライアントでフランス語キーボードを使用する場合、 VKC および MPC で Alt Gr + 7 というキー組み合わせを使用すると、 アクセント記号付き文字が 2 つ表示されます。

注: この現象は、Linux クライアントでは発生しません。

数字キーパッド

VKC および MPC でフランス語キーボードを使用する場合、数字キーパッドにある記号は次のとおりに表示されます。

数字キーパッド上の記号キー	表示
1	- 3
	- 7

ティルデ記号

VKC および MPC でフランス語キーボードを使用する場合、Alt Gr + 2 というキー組み合わせがティルデ記号 (~) として処理されません。

▶ ティルデ記号を入力するには

次のコマンドを実行するマクロを作成します。

- 右 Alt キーを押す。
- 2 キーを押す。
- 2 キーを離す。
- 右 Alt キーを離す。



組み合わせと JRE

Fedora クライアント、Linux クライアント、および Solaris クライアントでは、JRE における制約により、イギリス英語キーボードおよびアメリカ/国際英語キーボードの Alt Gr キーを押したときに無効な応答が返されます。Fedora、Linux、または Solaris で Java 1.5 を使用している場合、Alt Gr キーを押しながら他のキーを押したときに生成されるイベントが、受け付けられません。Java 1.6 ではこの点が改善されているように見えますが、keyPressed イベントおよび keyReleased イベントでは、Alt Gr キーが "不明なキー コード" として扱われます。

また Alt Gr キーを押しながら別のキーを押した場合 (たとえばイギリス 英語キーボードでは、Alt Gr キーを押しながら 4 キーを押すと、ユーロ 記号が入力されます)、keyTyped イベントが生成され、続いて keyReleased イベントが生成されます。keyPressed イベントは生成さ れません。Java 1.6 ではこの点を改善するため、keyPressed イベント も生成されるようになりました。

キーボード言語の設定 (Fedora クライアント)

Linux 版の JRE には、[System Preferences] (システム基本設定) で設定 した外国語キーボードに対して正しいキー イベントが生成されない、と いう問題があります。したがって、次の表に示す方法を使用して外国語 キーボードを設定することを推奨します。

言語	設定方法
アメリカ英語/国 際	デフォルト設定
イギリス英語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
フランス語	Keyboard Indicator
ドイツ語	Keyboard Indicator
ハンガリー語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
スペイン語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ドイツ語 (スイ ス)	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ノルウェー語	Keyboard Indicator
スウェーデン語	Keyboard Indicator



言語	設定方法
アメリカ英語/国 際	デフォルト設定
デンマーク語	Keyboard Indicator
日本語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
韓国語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
スロベニア語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
イタリア語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)
ポルトガル語	[System Settings] (システム設定) (Control Center)

注: デスクトップ環境として Gnome を使用している Linux システムで は、Keyboard Indicator を使用してください。

Linux クライアントでハンガリー語キーボードを使用している場合、ダブ ル アキュート付き U およびダブル アキュート付き O は、JRE 1.6 で のみ入力できます。

Fedora クライアントでは、キーボード言語を設定する方法がいくつかあ ります。VKC および MPC でキーを正しく対応付けるには、次に示す方 法を使用します。

- [System Settings] (システム設定)を使用してキーボード言語を設 定するには
- ツールバーで [System] (システム) > [Preferences] (基本設定) > [Keyboard] (キーボード) を選択します。
- 2. [Layouts] (レイアウト) タブをクリックします。
- 3. 言語を追加または選択します。
- 4. [Close] (閉じる) をクリックします。
- ▶ Keyboard Indicator を使用してキーボード言語を設定するには
- タスク バーを右クリックし、[Add to Panel] (パネルに追加) をクリ ックします。
- [Add to Panel] (パネルに追加) ダイアログ ボックスで、Keyboard Indicator を右クリックし、メニューの [Open Keyboard Preferences] (キーボード基本設定) をクリックします。



- [Keyboard Preferences] (キーボード基本設定) ダイアログ ボックス で、[Layouts] (レイアウト) タブをクリックします。
- 4. 必要に応じて言語を追加または削除します。

Macintosh キーボード

Macintosh キーボード

クライアントとして Macintosh を使用している場合、Macintosh キーボードの次のキーは、JRE によって取り込まれません。

- F9
- F10
- F11
- F14
- F15
- Volume Up
- Volume Down
- Mute
- Eject

つまり、Macintosh クライアントのキーボードでこれらのキーが押され ても、VKC および MPC では処理できません。

サポートされていない Macintosh のキー組み合わせ

Dominion KX II を使用して Mac クライアントと Mac ターゲット サー バ間の設定を管理する場合、以下の Macintosh のキー組み合わせは、一 部のブラウザでサポートされません。

注: これらのキー組み合わせの代わりにマクロを作成できます。

Safari と JRE 1.5

デフォルトでは、以下のキー組み合わせはサポートされていません。ただし、Safari ではキー組み合わせを設定できます。したがって、代替策として、これらのキー組み合わせを別のアクションを実行するように設定できます。

Mac のキー組み合わせ	説明	サポート
Command + O	選択したアプリケーションを 開きます	いいえ



Ap C: 留意事項

Option + Command + M	すべてのウィンドウを最小化 します	いいえ
Firefox と JRE 1.5		
Mac のキー組み合わせ	説明	サポート
Command + O	選択したアプリケーションを 開きます	いいえ
Command + D	選択したアイテムを複製しま す	いいえ

マウス ポインタの同期 (Fedora)

Fedora 7 を実行しているターゲット サーバにデュアル マウス モード で接続している場合、しばらくすると、ターゲット サーバとローカルの マウス ポインタが同期しなくなることがあります。

マウス ポインタを再度同期させるには

VKC の [Synchronize Mouse] (マウスを同期) オプションを使用します。

次の表に、Dominion KX II のマウス モード、および、Fedora を実行し ているターゲット サーバにアクセスしたときに各マウス モードでマウ ス ポインタの同期が維持されるかどうか、を示します。

マウス モード	Fedora Core 5	Fedora Core 6
ずれないマウス モード	いいえ	いいえ
インテリジェント マウス モード	いいえ	はい
標準マウス モード	はい	いいえ

Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面解像度

Dominion KX II に Dell 製ブレード筐体を接続する場合、画質を維持するために次のケーブル長と画面解像度を使用することを推奨します。

ケーブル長	画面解像度
15 m	1024 x 768 \ 60 Hz
15 m	1280 x 1024 \ 60 Hz



ケーブル長	画面解像度
9 m	1600 x 1200 \ 60 Hz

Fedora

Fedora Core のフォーカスに関する問題を解決する

MPC を使用しているときに、Dominion KX II にログインできなくなっ たり、Windows や SUSE を実行している KVM ターゲット サーバに アクセスできなくなったりすることがあります。また、Ctrl + Alt + M キ ーを押してもキーボード ショートカット メニューが表示されないこと があります。このような問題が発生するのは、Fedora Core 6 と Firefox 1.5 または 2.0 を組み合わせて使用している場合です。

Raritan でテストした結果、libXp をインストールすれば Fedora Core 6 のウィンドウ フォーカスに関する問題を解決できる、ということがわか りました。Raritan がテストで使用したのは libXp-1.0.0.8.i386.rpm です。 この libXp をインストールした結果、ウィンドウ フォーカスとポップア ップ メニューに関する問題がすべて解決しました。

注: libXp は、SeaMonkey (旧称: Mozilla) ブラウザで Java プラグインを 使用する場合にも必要となります。

Fedora サーバへの VKC および MPC のスマート カード接続

MPC または VKC でスマート カードを使用して Fedora サーバに接続 し、接続後スマート カードを取り外すと、FC7 および FC8 サーバ上の pcsc-lite ライブラリが解放されません。したがって、pcscd デーモンを 再起動して pcsc-lite ライブラリを解放する必要があります。これを回避 するには、pcsc-lite ライブラリを 1.4.102-3 以上にアップグレードしま す。

Fedora 使用時の Firefox のフリーズに関する問題の解決

Fedora サーバを使用している場合に Firefox にアクセスすると、Firefox を開くときに Firefox がフリーズすることがあります。この問題を解決 するには、libnpjp2.so という Java プラグインをサーバにインストール します。



ビデオ モードと解像度

SUSE と VESA のビデオ モード

SUSE の X.org 設定ツールである SaX2 を実行すると、X.org 設定フ ァイル内の Monitor セクションの Modeline エントリにビデオ モード が書き込まれます。これらのビデオ モードは、VESA モニタを選択して いる場合であっても、VESA のビデオ モード タイミングと正確に対応 していません。一方 Dominion KX II では、正確に同期させるため、VESA のビデオ モード タイミングが使用されています。このビデオ モード タイミングの不一致により、黒の境界線が表示される、画面の一部が表 示されない、ノイズが発生する、などの問題が発生することがあります。

SUSE のビデオ表示を設定するには

生成された設定ファイル /etc/X11/xorg.conf 内に Monitor セクションがあり、その中に UseModes というオプションがあります。たとえば、

UseModes "Modes[0]" と書き込まれています。

- この行の先頭に # を付加してコメント行にするか、または、この行 全体を削除します。
- 3. X サーバを再起動します。

これにより、X サーバの内部ビデオ モード タイミングが使用されるようになるので、VESA のビデオ モード タイミングと正確に対応します。 この結果、Dominion KX II 経由で画面が正しく表示されます。

サポートされている画面解像度が表示されない

CIM を使用する場合、「*サポートされている画面解像度* 『p. 310』」の 一覧にある画面解像度がデフォルトでは選択できないことがあります。

- 表示されない場合に利用可能なすべての画面解像度を表示するには、 以下の手順に従います。
- 1. モニタを接続します。
- 2. 次に、モニタを取り外し、CIM を接続します。すべての画面解像度 が利用可能とは限りませんが、使用できる場合もあります。



USB ポートとプロファイル

VM-CIM および **DL360** の **USB** ポート

HP DL360 サーバの背面と前面には、USB ポートがそれぞれ 1 つあり ます。DL360 では、両方の USB ポートを同時に使用することはできま せん。つまり、DL360 サーバに対してデュアル VM-CIM を使用するこ とはできません。

ただし、代替策として、DL360 サーバの背面の USB ポートに USB2 ハ ブを接続し、そのハブにデュアル VM-CIM を接続することはできます。

USB プロファイルの選択に関するヘルプ

VKC でターゲット サーバに接続しているとき、[USB Profile] (USB プロファイル) メニューの [Help on USB Profiles] (USB プロファイルに関するヘルプ) をクリックすると、USB プロファイルに関する情報が表示されます。

✓ HP Proliant DL360/DL380 G4 (HP SmartStart CD)	
Generic	
Troubleshooting 1	
Troubleshooting 2	
Troubleshooting 3	
Add Other Profiles	Þ
Help on USB Profiles 💦 🔓	



USB プロファイルに関するヘルプは、[USB Profile Help] (USB プロファ イルに関するヘルプ) ウィンドウに表示されます。個々の USB プロファ イルの詳細については、「*選択可能な USB プロファイル*『p. 113の"使 用できる USB プロファイル"参照 』」を参照してください。

サーバで使用されている多様な OS および BIOS に対応する USB プ ロファイルが、標準で用意されています。このため、リモート USB デ バイスとターゲット サーバを最適な方法で対応付けることができます。

"Generic" プロファイルは、一般に使用されているほとんどのターゲット サーバ構成のニーズに対応しています。

また、一般に使用されているその他のターゲット サーバ構成 (例: Linux、 Mac OS X) の個別のニーズに対応するプロファイルも利用できます。

さらに、ターゲット サーバが BIOS レベルで動作しているときなどに仮 想メディア機能の互換性を高めるための、さまざまなプロファイルが用 意されています (プロファイルの名前がプラットフォーム名と BIOS の リビジョンで構成されている)。

[Add Other Profiles] (他のプロファイルを追加) をクリックすると、シス テムで使用可能なその他のプロファイルが一覧表示されます。この一覧 で設定したプロファイルは、[USB Profile] (USB プロファイル) メニュー に追加されます。この一覧には、トラブルシューティング用プロファイ ルのセットがあります。これらのプロファイルは、構成における制限事 項を明確化するのに役立ちます。

[USB Profile] (USB プロファイル) メニューの項目を変更するには、 Dominion KX II ローカル コンソールまたは Dominion KX II リモート コンソールの [Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Port Configuration] (ポート設定) ページを使用します。

Raritan から提供されている標準の USB プロファイルがどれもターゲット サーバの要件を満たさない場合、Raritan のテクニカル サポート部 門がお客様と協力し、そのターゲット サーバに対する解決策を探ること ができます。次の手順を実行することを推奨します。

- Raritan の Web サイト (www.raritan.com) の [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) ページで最新のリリース ノー トを調べ、ご使用のターゲット サーバ構成に合った解決策が提供さ れているかどうかを確認します。
- 2. 提供されていない場合は、Raritan のテクニカル サポート部門に問い合わせます。その際、次の情報を準備してください。
 - a. ターゲット サーバに関する情報 (製造元、モデル、BIOS、およびバージョン)。
 - b. 用途 (例: イメージをリダイレクトし、サーバの OS を CD-ROM から再ロードする)。



339

スマート カード リーダー使用時の USB プロファイルの変更

ターゲット サーバの USB プロファイルの変更が必要になる場合があ ります。たとえば、接続速度が [High Speed USB] (高速 USB) のときに ターゲットに問題が発生する場合、接続速度を [Use Full Speed for Virtual Media CIM] (仮想メディア CIM でフル スピードを使用) に変更 する必要があります。

プロファイルを変更すると、「新しいハードウェアが検出されました」 というメッセージが表示されることがあります。この場合は、管理者権 限でターゲットにログインして USB ドライバを再インストールする必 要があります。この現象は、ターゲットで USB デバイスの新しい設定 が検出される最初の数回だけ発生する可能性があります。その後はター ゲットによって正しいドライバが選択されます。

CIM

Linux ターゲット サーバに対して **Windows** の **3** ボタン マウスを使 用する場合

Linux ターゲット サーバに接続している Windows クライアントで 3 ボタン マウスを使用する場合、左マウス ボタンがその 3 ボタン マウ スの中央ボタンに対応付けられることがあります。



Windows 2000 での複合 USB デバイスの動作

Windows 2000 では、Raritan の D2CIM-VUSB のような複合 USB デ バイスはサポートされていないので、非複合 USB デバイスと同じよう に扱われます。

したがって、D2CIM-VUSB によってマッピングされているドライブに対 する [Safely Remove Hardware] (ハードウェアの安全な取り外し) アイ コンがシステム トレイに表示されません。また、D2CIM-VUSB を取り 外す際 警告メッセージが表示されることがあります。ただし Raritan が 確認したところでは、このメッセージが表示されても何の問題も発生し ません。

米国にある Raritan の設計部門は、この [Safely Remove Hardware] (ハ ードウェアの安全な取り外し) アイコンを表示すると共にこの警告メッ セージの表示を回避するための構成を考え出しました。この構成では、 D2CIM-DVUSB 仮想メディア アダプタと "Troubleshooting 3" USB プ ロファイルを使用する必要があります。この USB プロファイルは、 D2CIM-DVUSB を、仮想メディア接続を 1 本しかサポートしない非複 合 USB デバイスとして設定するものです。Raritan は、米国と日本でこ の構成を十分にテストしました。





仮想メディア

ファイル追加後に仮想メディアが最新の情報に更新されない

仮想メディア ドライブがマウントされた後、そのドライブにファイルを 追加した場合、ターゲット サーバ側でそのファイルがすぐに表示されな いことがあります。表示するには、仮想メディア接続をいったん解除し、 再確立します。

仮想メディア機能利用時におけるターゲット サーバの BIOS の起動時間

ターゲット サーバにおいてメディアが仮想マウントされている場合、そのターゲット サーバの BIOS の起動に要する時間が長くなることがあります。

▶ 起動に要する時間を短縮するには

- 1. VKC を終了し、仮想メディア ドライブを完全に解放します。
- 2. ターゲット サーバを再起動します。

高速の仮想メディア接続を使用した場合の仮想メディアの接続エラー

[High Speed USB] (高速 USB) 接続でターゲットに問題が発生する場合、 またはターゲットで接続やケーブルの追加 (たとえば、ドングルを使用し たブレード サーバへの接続) に起因する信号劣化により USB プロトコ ル エラーが発生する場合は、[Use Full Speed for Virtual Media CIM] (仮 想メディア CIM でフル スピードを使用) の選択が必要になることがあ ります。

CC-SG

VKC のバージョンが CC-SG プロキシ モードで認識されない

VKC を CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) からプロキシ モ ードで起動した場合、VKC のバージョンが認識されません。[About Raritan Virtual KVM Client] (VKC のバージョン情報) ダイアログ ボック スで、バージョンが "Version Unknown" (不明なバージョン) と表示され ます。



シングル マウス モード: Firefox を使用して CC-SG の管理下にある ターゲット サーバにアクセスする場合

Firefox と DCIM-PS2 または DCIM-USBG2 を使用して、CC-SG の管 理下にあるターゲット サーバに接続しているとき、VKC でシングル マ ウス モードに切り替えると、VKC ウィンドウからフォーカスが外れ、 マウスが応答しなくなります。この場合、マウスの左ボタンをクリック するかまたは Alt キーを押しながら Tab キーを押し、フォーカスを VKC ウィンドウに戻します。

プロキシ モードと MPC

Dominion KX II を CC-SG の管理下で使用しており、MPC の使用を計 画している場合、CC-SG プロキシ モードを使用しないでください。

Dominion KX II のポート間を移動する

同じ Dominion KX II のポート間を移動し、1 分以内に管理作業を再開した場合、CC-SG によってエラー メッセージが表示されることがあります。管理作業を再開すると、最新の情報に更新されます。



この章の内容

全般的な質問	345
リモート アクセス	347
ユニバーサル仮想メディア	350
USB プロファイル	351
Ethernet と IP ネットワーキング	353
IPv6 ネットワーキング	
サーバ	
ブレード サーバ	363
インストール	
ローカル ポート	368
拡張ローカル ポート (Dominion KX2-832 および KX2-864	4 モデルのみ)
	370
電源制御	371
拡張性	372
コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)	373
セキュリティ	374
スマート カード認証と CAC 認証	376
管理機能	377
その他	379



全般的な質問

Dominion KX II とは何ですか。

Dominion KX II は第 2 世代のデジタル KVM (キーボード/ビデオ/マウス) スイッチです。1、2、4、または 8 人の IT 管理者は BIOS レベル の機能を使用して、ネットワーク上の 8、16、32、または 64 台のサーバにアクセスし、そのサーバを制御できます。Dominion KX II は、特定 のハードウェアおよびオペレーティング システムに依存しません。サーバが停止しても、ユーザはトラブルシューティングを実施してサーバを 再設定することができます。

Dominion KX II をラックに収容した場合、従来型 KVM スイッチと同等 の機能性と利便性が維持されるだけでなく、省スペース効果とコスト節 約効果が生まれます。また、Dominion KX II には業界最高のパフォーマ ンスを誇る KVM-over-IP 技術が組み込まれているため、複数の管理者が ネットワーク上のワークステーションでサーバの画面を表示することが できます。

Dominion KXII とリモート制御ソフトウェアの違いは何ですか。

Dominion KX II をリモートで使用する場合、一見すると、画面がリモート制御ソフトウェア (例: pcAnywhere、Windows Terminal Services/Remote Desktop、VNC) に似ているように感じることがあります。しかし、Dominion KX II はソフトウェアではなくハードウェア製品なので、これらのソフトウェアよりもはるかに高い機能を備えています。次に例を示します。

- OS やハードウェアに依存しない: Dominion KX II を使用して、
 Windows、Linux[®]、Solaris[™] などを実行している Intel[®]、Sun[™]、
 PowerPC など、一般的なさまざまな OS を実行しているサーバを
 管理できます。
- ターゲット サーバの稼動状態に依存せず、エージェントも不要: Dominion KX II を使用する際、ターゲット サーバ上でオペレーティ ング システムを起動しておく必要がありません。ターゲット サーバ に特別なソフトウェアをインストールする必要もありません。
- アウトオブバンド:ターゲット サーバ上のネットワーク接続が使用 不能になっている場合でも、Dominion KX II から管理できます。
- BIOS レベルのアクセス: ターゲット サーバが起動中にハングした場合、ターゲット サーバをセーフ モードで起動する必要がある場合、または、システム BIOS のパラメータ値を修正する必要がある場合でも、Dominion KX II は問題なく動作するので、これらの設定を行うことができます。

KXI にない、Dominion KX II の特徴は何ですか。



Dominion KX II は魅力的な新しい特徴を数多く備えています。たとえば、 仮想メディア、ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization[™])、二 重化電源、二重化 Gigabit Ethernet、一般的な Web ベースのユーザ イ ンタフェース、次世代のローカル ポートなどです。

Dominion KX I から Dominion KX II に移行するにはどうすればよい ですか。

通常、KXIは何年にもわたって使うことができます。ただし、データ センタを拡張する場合、新しい Dominion KX II モデルを購入することもできます。Raritan の Multi-Platform Client (MPC) および集中管理デバイス CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) では、KXIと Dominion KX II の両方がシームレスにサポートされています。

現在使用している KXI 用 CIM は、Dominion KXII でも使用できます か。

はい、KXI用コンピュータ インタフェース モジュール (CIM) は、 Dominion KX II でも使用できます。一部の Paragon 用 CIM も Dominion KX II で使用できます。したがって、KVM-over-IP への移行を 検討している Paragon I のお客様は、Dominion KX II に簡単に移行でき ます。ただし、仮想メディアとずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) をサポートする D2CIM-VUSB CIM および D2CIM-DVUSB CIM を検討する必要があります。

Dominion KX II はラックに収容できますか。

使用できます。Dominion KX II には、19 インチ ラック マウント ブラ ケットが標準で同梱されています。また、逆向きに収容して、サーバ ポ ートがある面を前にすることもできます。

Dominion KX II の寸法はどのくらいですか。

Dominion KX II の高さはわずか 1U であり (2U である KX2-864 および KX2-464 を除く)、標準の 19 インチ ラックに収容できます。奥行きはわずか 29 cm です。Dominion KX2-832 および KX2-864 の奥行きは 44 cm です。



リモート アクセス

各 Dominion KX II からターゲット サーバにリモート アクセスできる ユーザは何人ですか。

Dominion KX II では、ユーザ チャネルごとに最大 8 人のユーザが 1 台 のターゲット サーバに同時にリモート アクセスし、そのターゲット サ ーバを制御することができます。DKX2-116 のような 1 チャネルのデバ イスの場合、最大 8 人のリモート ユーザが 1 台のターゲット サーバ にアクセスして制御することができます。DKX2-216 のような 2 チャネ ルのデバイスの場合は、チャネル 1 で最大 8 人のユーザがあるターゲ ット サーバにアクセスして制御し、また、チャネル 2 で別の最大 8 人 のユーザが別のターゲット サーバにアクセスして制御することができ ます。4 チャネルのデバイスの場合は、チャネルごとに最大 8 人のユー ザ (合計で 8×4=32 人のユーザ) が、最大 4 台のターゲット サーバ にアクセスし、それらのターゲット サーバを制御することができます。 同様に、8 チャネルのデバイスの場合は、最大 8 人のユーザが 1 台の ターゲット サーバにアクセスし、8 チャネルで最大 32 人のユーザがタ ーゲット サーバにアクセスできます。

2 人のユーザが同じターゲット サーバの画面を同時に表示できますか。

確認できます。最大 8 名のユーザが 1 台のサーバに同時にアクセスし、 制御できます。

2人のユーザが同じターゲット サーバにアクセスするとき、一方のユー ザがリモートでアクセスし、もう一方のユーザがローカル ポートからア クセスすることはできますか。

可能です。ローカル ポートはリモート "ポート" からは完全に独立して います。PC 共有機能を使用することで、ローカル ポートから同じサー バにアクセスできます。

クライアントから Dominion KX II にアクセスする際、どのようなハー ドウェア、ソフトウェア、およびネットワーク構成が必要ですか。

Dominion KX II には Web ブラウザを使用してアクセスできるので、ク ライアント コンピュータにアクセス用のソフトウェアをインストール する必要はありません。なお、raritan.com でオプションのクライアント ソフトウェアを入手することもできます。このクライアント ソフトウェ アは、外部モデムを使用して Dominion KX II にアクセスする場合に必要 となります。



Dominion KX II には、主要な Web ブラウザ (Internet Explorer、 Mozilla、および Firefox) を使用してアクセスできます。Windows、 Linux、Macintosh の各デスクトップ コンピュータ上で、Raritan の新し い Windows クライアント、Java ベースの MPC および Virtual KVM Client (VKC) を使用して Dominion KX II にアクセスできるようになり ました。

Dominion KX II 管理者は、便利なブラウザ ベースの画面を使用して、リ モート管理作業(例:パスワードとセキュリティの設定、サーバ名の変更、 IP アドレスの変更)を行うことができます。

Dominion KX II にアクセスする際に使用される VKC アプレットのフ ァイル サイズはどのくらいですか。また、この VKC アプレットを取得 するのにどのくらいの時間がかかりますか。

Dominion KX II へのアクセスに使用される VKC アプレットのサイズは、 約 500 KB です。次の表に、さまざまなネットワーク速度においてこの アプレットを取得するのに要する、おおよその時間を示します。

速度	説明	所要時間
100 Mbps	100 Mbps ネットワークの理論上の速 度	0.05 秒
60 Mbps	100 Mbps ネットワークの実効速度	0.08 秒
10 Mbps	10 Mbps ネットワークの理論上の速度	0.4 秒
6 Mbps	10 Mbps ネットワークの実効速度	0.8 秒
512 Kbps	標準的なケーブル モデムのダウンロ ード速度	8 秒



ネットワークが使用不能になった場合、Dominion KX II に接続されているターゲット サーバにアクセスするにはどうすればよいですか。

サーバには、ローカル アクセスするか、モデムを使用してアクセスでき ます。Dominion KX II には、外付けモデムを接続するための専用モデム ポートが搭載されています。

Windows クライアントは用意されていますか。

はい。リリース 2.2 には、Raritan Active KVM Client というネイティブの.NET Windows クライアントが用意されています。

Windows 以外のクライアントは用意されていますか。

使用できます。Windows 以外のユーザも VKC または MPC から、 Dominion KX I または Dominion KX II を使用してターゲット サーバに アクセスできます。MPC は、Web ブラウザから実行することも単体で 実行することもできます。詳細については、『KVM and Serial Access Clients User Guide』の「Virtual KVM Client」および「Raritan Multi-Platform Client (MPC) Supported Operating Systems」を参照し てください。

VKC セッションでときどき Alt キーが受け付けられないようです。どうすればよいですか。

この現象は通常、Alt キーを押したまま離さないときに発生します。たと えば、Alt キーを押しながら Space キーを押し続けると、フォーカスが ターゲット サーバからクライアント PC に移ります。続いて、ローカル の OS によってこのキー組み合わせが解析され、このキー組み合わせに 対するアクションがクライアント PC のアクティブなウィンドウでトリ ガされます。



ユニバーサル仮想メディア

仮想メディアがサポートされている Dominion KX II のモデルはどれで すか。

仮想メディアは、すべての Dominion KX II モデルでサポートされていま す。仮想メディア機能は、Dominion KX II 単体で利用することも、Raritan の集中管理デバイス CC-SG を通じて利用することもできます。

Dominion KX II でサポートされている仮想メディアのタイプはどれで すか。

Dominion KX II でサポートされている仮想メディアのタイプは、内蔵ま たは USB 接続された CD/DVD ドライブ、USB 接続された大容量スト レージ デバイス、PC の内蔵ハード ディスク、および ISO イメージで す。

仮想メディアは安全ですか。

使用できます。仮想メディア セッションは、AES または RC4 暗号化 方式で保護されます。

仮想メディアに必要なものは何ですか。

Dominion KX II 用の仮想メディア CIM が必要です。このような CIM に は、D2CIM-VUSB および新製品である D2CIM-DVUSB の 2 つがあり ます。

D2CIM-DVUSB には USB コネクタが 2 つあり、仮想メディアを BIOS レベルで利用したいお客様に適しています。D2CIM-DVUSB は、スマート カード認証にも必要です。

D2CIM-VUSB には USB コネクタが 1 つあり、仮想メディアを OS レベルで利用したいお客様に適しています。

どちらの CIM でも、USB 2.0 インタフェースに対応しているターゲット サーバへの仮想メディア セッションがサポートされています。

32 個セットおよび 64 個セットのお得な CIM パッケージが用意され ています。これらの CIM でも、ずれないマウスやリモート ファームウ ェア更新がサポートされています。


USB プロファイル

USB プロファイルとは何ですか。

一部のターゲット サーバでは、仮想メディアなど USB ベースのサービスを利用するために、特別に構成された USB インタフェースを必要とします。USB プロファイルは、Dominion KX II の USB インタフェースをターゲット サーバの特性に合わせて調整するものです。

USB プロファイルを使用するのはなぜですか。

USB プロファイルは、BIOS レベルで特に必要となります。仮想メディ ア ドライブにアクセスする際、BIOS レベルでは USB 仕様が完全にサ ポートされていないことがあります。

一方、USB プロファイルは OS レベルで使用されることもあります。 たとえば、Macintosh サーバや Linux サーバにおいてマウス動作を同期 させる場合などです。

USB プロファイルはどのように使用しますか。

管理者は Dominion KX II の [Port Configuration] (ポート設定) ページで、 特定の USB プロファイルを使用するように個々のポートまたはポート グループを設定できます。

必要があれば、USB プロファイルを Dominion KX II クライアントで選 択することもできます。

適切な USB プロファイルを選択しなかった場合、どうなりますか。

ターゲット サーバに適した USB プロファイルを選択しなかった場合、 大容量ストレージ デバイス、マウス、またはキーボードが適切に動作し なくなるかまたはまったく機能しなくなる可能性があります。

仮想メディアを利用する際、USB プロファイルを必ず設定する必要がありますか。

いいえ。仮想メディアを OS レベルで利用する場合や、仮想メディアに アクセスせずに BIOS レベルで操作する場合、デフォルトの USB プロ ファイルで十分なケースがほとんどです。

使用可能なプロファイルはどれですか。

「*使用可能な USB プロファイル*『p. 113の"使用できる USB プロファ イル"参照 』」を参照してください。

あるターゲット サーバに最適な USB プロファイルを見つけるには、ど うすればよいですか。



"Generic" USB プロファイルは、大半のターゲット サーバに最適です。 ターゲット サーバに対してこの USB プロファイルが適切に機能しな い場合は、「*使用可能な USB プロファイル*『p. 113の"使用できる USB プロファイル"参照 』」で適切な USB プロファイルを探すことができ ます。ご使用のターゲット サーバに最適な USB プロファイルを選択し てください。

BIOS プロファイルの目的は何ですか。

BIOS プロファイルは、USB 仕様を完全に実装していないサーバ BIOS の要件に合わせて調整されたものです。このような USB プロファイル を選択した場合、キーボード、マウス、および仮想メディアを BIOS レ ベルで使用できるので、BIOS の制約を受けることがありません。

USB プロファイルを使用する際、特別な CIM が必要ですか。

ファームウェアが最新である D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB を 使用する必要があります。

他のターゲット サーバ構成用の USB プロファイルが今後 Raritan から提供される予定がありますか。

Raritan では、お客様のニーズに合わせて新しい USB プロファイルを提供していく予定です。新しい USB プロファイルが提供された場合、ファームウェア アップグレードの中に含まれる予定です。



Ethernet と IP ネットワーキング

Dominion KX II では、冗長フェイルオーバを可能にするために Gigabit Ethernet ポートが二重化されていますか。

使用できます。Dominion KX II では、冗長フェイルオーバを可能にする ために Gigabit Ethernet ポートが二重化されています。プライマリ Ethernet ポート (またはそのポートに接続されているスイッチやルー タ) に障害が発生した場合、同じ IP アドレスが設定されたセカンダリ Ethernet ポートにフェイルオーバされます。これにより、ターゲット サ ーバの運用が中断することがなくなります。自動フェイルオーバは、管 理者が有効にする必要があります。

KVM-over-IP システムで使用される帯域幅はどのくらいですか。

Dominion KX II には、次世代の KVM-over-IP 技術が搭載されています。 この技術によって、最高のビデオ圧縮を実現できます。Raritan は、高品 質ビデオ伝送と帯域幅節約に関する数多くの技術賞を獲得しています。

Dominion KX II は、ターゲット サーバから受信したキーボード信号、ビ デオ信号、およびマウス信号をデジタル化、圧縮、および暗号化し、IP ネ ットワーク上で IP パケットをリモート クライアントに送信し、ユーザ に対するリモート セッションを確立します。Dominion KX II は業界最高 水準のビデオ処理アルゴリズムを備えているので、ローカル アクセスす る場合と遜色ない画質が得られます。

画面が変更される際、帯域幅の大部分が使用されるので、キーボードと マウスの処理に割り当てられる帯域幅がかなり狭くなります。

重要なのは、帯域幅はユーザがアクティブであるときにのみ使用される、 という点です。使用される帯域幅は、サーバの画面表示の変更量に基づ いて決まります。

画面が変更されない場合、つまり、ユーザがサーバとの間で対話操作を していない場合、一般に帯域幅は使用されません。ユーザがマウスを動 かした場合やキーボードで文字を入力した場合、少量の帯域幅が使用さ れます。複雑なスクリーン セーバを実行している場合や動画を再生して いる場合、多量の帯域幅が使用される可能性があります。

帯域幅は KVM-over-IP システムのパフォーマンスにどのような影響を 及ぼしますか。

一般に、帯域幅とパフォーマンスはトレードオフの関係にあります。使用できる帯域幅が広いほど、パフォーマンスが向上します。帯域幅に制約のある環境では、パフォーマンスが低下するおそれがあります。
 Dominion KX II は、多種多様な環境で高いパフォーマンスを得られるように最適化されています。

帯域幅に影響を及ぼす要素は何ですか。



帯域幅の使用量を決める要素はいろいろあります。最大の要素は前述の とおり、ターゲット サーバの画面表示の変更量です。画面表示の変更量 は、ユーザの操作内容によって異なります。

その他の要素としては、サーバの画面解像度、ネットワーク速度、ネットワーク特性、クライアント PC のリソース、ビデオ カードのノイズな どがあります。

Dominion KX II は高度なビデオ処理アルゴリズムを備えているので、多 種多様な環境で帯域幅とパフォーマンスを最適化することができます。 また、帯域幅使用を最適化するための設定項目が多数あるので、きめ細 かい設定が可能です。特に、リモート クライアント (VKC および MPC) の [Connection Speed] (接続速度) では、使用する帯域幅を減らすように 設定することができます。

KXIと異なり、[Noise Filter] (ノイズ フィルタ)の設定値は、使用帯域 幅の縮小やパフォーマンスの向上にあまり影響を及ぼしません。

Dominion KX II で一般的な作業を行う際に使用される帯域幅はどのくらいですか。

使用帯域幅は、主にユーザの操作内容によって決まります。画面表示の 変更量が多いほど、使用される帯域幅も広くなります。

次の表に、ネットワークが 100 Mbps LAN、ターゲット サーバの OS が Windows XP、画面解像度が 1024 x 768、という環境における、標準的 な操作と使用帯域幅を示します。使用帯域幅については、デフォルト設 定の場合、[Connection Speed] (接続速度) で 1 Mbps/15 ビット カラー を指定した場合、[Connection Speed] (接続速度) で 1 Mbps/8 ビット カラーを指定した場合、の 3 つのケースの値を示します。

ユーザの操作	デフォルト設定	1 Mbps およ び 15 ビット カラー	1 Mbps およ び 8 ビット カラー
アイドル状態の Windows デスク トップ	0 kbps	0 kbps	0 kbps
マウス ポインタを 動かす	$5~\sim~15~{ m kbps}$	$2~\sim~6~kbps$	$2~\sim~3~kbps$
アイコンをドラッグ する	40 \sim 70 kbps	$10~\sim~25$ kbps	$5~\sim~15~kbps$
フォルダをドラッグ する	$10~\sim~40~kbps$	$5~\sim~20~kbps$	$5~\sim~10~kbps$
テキスト ウィンド	$50~\sim~100$	$25~\sim~50$	$10 \sim 15$



ユーザの操作	デフォルト設定	1 Mbps およ び 15 ビット カラー	1 Mbps およ び 8 ビット カラー
ウを開く	kbps	kbps	kbps
キーを連続入力する	1 kbps	.5 \sim 1 kbps	.2 \sim .5 kbps
テキスト ウィンド ウをスクロールする	10 \sim 50 kbps	$5\sim25{ m kbps}$	$2~\sim~10~kbps$
テキスト ウィンド ウを閉じる	$50~\sim~100$ kbps	$20~\sim~40$ kbps	$10~\sim~15$ kbps
パネルを開く	$50~\sim~100$ kbps	$\begin{array}{l} 60 \ \sim \ 70 \ kbps \end{array}$	$\begin{array}{l} 20 ~\sim~ 30 \\ \text{kbps} \end{array}$
パネル内のタブを切 り替える	40 \sim 50 kbps	$20~\sim~50$ kbps	$\begin{array}{l} 10 \ \sim \ 20 \\ \text{kbps} \end{array}$
パネルを閉じる	$50~\sim~100$ kbps	$40~\sim~60$ kbps	$\begin{array}{l} 20 \ \sim \ 30 \\ \text{kbps} \end{array}$
パネルのオプション を変更する	$2~\sim~10~kbps$	$1\sim5~kbps$	$1~\sim~3~kbps$
ブラウザで Web ペ ージを開く	$100 \sim 300$ kbps	$50~\sim~200$ kbps	$\begin{array}{l} 40 \ \sim \ 80 \\ \text{kbps} \end{array}$
ブラウザをスクロー ルする	$75~\sim~200$ kbps	$50~\sim~200$ kbps	$\begin{array}{l} 30 \ \sim \ 100 \\ \rm kbps \end{array}$
ブラウザを閉じる	$100 \sim 150$ kbps	$75~\sim~100$ kbps	$30~\sim~60$ kbps
[スタート] メニュー を開く	$75~\sim~100$ kbps	$50~\sim~75$ kbps	$\begin{array}{l} 20 \ \sim \ 30 \\ \rm kbps \end{array}$
[スタート] メニュー を閉じる	$75~\sim~100$ kbps	$25~\sim~50$ kbps	$10~\sim~15$ kbps
スクリーン セーバ (宇宙飛行)	$25~\sim~50~{ m kbps}$	$10~\sim~15$ kbps	$7~\sim~10~kbps$
スクリーン セーバ (3D パイプ)	$10 \sim 100$ kbps	$5~\sim~20~kbps$	$2~\sim~10~kbps$
Windows Media 動 画	$500 \sim 1200$ kbps	$300 \sim 500$ kbps	$\begin{array}{l} 150 \ \sim \ 300 \\ \text{kbps} \end{array}$
QuickTime 動画 1	$700 \sim 2500$ kbps	$\begin{array}{l} 400 \ \sim \ 500 \\ \rm kbps \end{array}$	$\begin{array}{l} 150 \ \sim \ 350 \\ \text{kbps} \end{array}$
QuickTime 動画 2	$1500 \sim 2500$ kbps	$400~\sim~550$ kbps	$200~\sim~350$ kbps



使用帯域幅を縮小するように設定した場合、ほぼすべての操作において 使用帯域幅が大幅に縮小します。15 ビット カラー設定にした場合、パ フォーマンスはデフォルト設定時に近くなります。他にも、使用帯域幅 を縮小できる設定項目があります。

この表に示した帯域幅値は単なる例であり、さまざまな要素によって変 動します。

使用帯域幅を縮小するにはどうすればよいですか。

Dominion KX II のリモート クライアントでさまざまな設定を行うこと により、帯域幅とパフォーマンスを最適化できます。デフォルト設定で は、標準の LAN/WAN 環境において、ローカル アクセスする場合と同 等のパフォーマンスが得られると共に、使用帯域幅が節約されます。

帯域幅管理に関する設定項目は、[Connection Speed] (接続速度) と [Color Depth] (色深度) です。使用帯域幅を縮小するには、次のとおりに します。

接続速度を下げる

接続速度を下げると、使用帯域幅を大幅に縮小できます。標準的な LAN/WAN 環境において、接続速度を 1.5 Mbps または 1 Mbps に設定 した場合、パフォーマンスを比較的良好なレベルに維持したまま、使用 帯域幅を縮小できます。接続速度をさらに下げると、使用帯域幅をさら に縮小できるので、低速ネットワークに適しています。

色深度を下げる

色深度を下げると、使用帯域幅を大幅に縮小し、パフォーマンスを高め ることができます。ただし、使用される色が少なくなるので画質が低下 します。この設定は、一部のシステム管理作業に適しています。

低速インターネットの場合、8 ビット カラーを使用するかまたは色深度 を下げると、使用帯域幅を縮小し、パフォーマンスを向上させることが できます。

使用帯域幅を縮小するためのその他のヒントを次に示します。

- デスクトップの壁紙に、複雑な画像ではなく無地の画像を使用する。
- スクリーン セーバを無効にする。
- ターゲット サーバで低い画面解像度を使用する。
- Windows のコントロール パネルの [画面] で、[Show window contents while dragging] (ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する) チェック ボックスをオフにする。



 シンプルな画像、テーマ (例: Windows クラシック)、およびデスク トップを使用する。

ネットワークが低速である場合、どうすればよいですか。

接続速度と色深度を下げることにより、低速ネットワークでもパフォーマンスを最大化できます。たとえば、MPC または VKC で、接続速度を 1.5 Mbps または 1 Mbps、色深度を 8 ビットに設定します。ネットワ ークが非常に低速な場合は、接続速度と色深度をさらに下げることがで きます。

インターネット経由で接続したいと考えています。どの程度のパフォー マンスが期待できますか。

パフォーマンスは、リモート クライアントと Dominion KX II の間のイ ンターネット接続の帯域幅と伝送遅延によって決まります。ケーブル モ デム接続または高速 DSL 接続の場合、LAN/WAN 接続に近いパフォー マンスが得られる可能性があります。低速ネットワークの場合は、前述 の推奨値に設定し、パフォーマンスを向上させてください。

帯域幅の広い環境で Dominion KX II を使用することを検討しています。 パフォーマンスを最大化するにはどうすればよいですか。

デフォルト値を使用した場合、帯域幅の広い環境において高いパフォーマンスが得られます。接続速度を 100 Mbps または 1 Gbps、色深度を 15 ビット カラーにそれぞれ設定してください。

Dominion KX II の **Ethernet** インタフェースの速度はどのくらいですか。

Dominion KX II では、10/100 Mbps の Ethernet に加え Gigabit Ethernet もサポートされています。Dominion KX II には 10/100/1000 Mbps Ethernet インタフェースが 2 個搭載されており、その通信速度と通信方 式 (全二重/半二重) を変更できます。通信速度と通信方式は、自動検出 に設定するか、または、手動で設定します。

無線接続環境で Dominion KX II にアクセスできますか。

使用できます。Dominion KX II は、標準の Ethernet を使用するだけで なく、使用帯域幅を抑えつつ高画質を維持する機能を備えています。つ まり、クライアントを Dominion KX II に無線で接続している場合、ター ゲット サーバを BIOS レベルで設定および管理する作業を無線で行う ことができます。

WAN (インターネット) 上で、または社内 LAN 上で Dominion KX II を使用できますか。

高速の社内 LAN、速度を予測しにくい WAN (インターネット)、ケーブ ル モデム接続、ダイヤルアップ モデム接続のいずれの場合でも、 Dominion KX II の KVM-over-IP 技術により接続が可能です。



VPN で Dominion KX II を使用できますか。

はい。Dominion KX II では、レイヤ 1 ~ 4 において標準的なインター ネット プロトコル (IP) 技術が使用されています。そのため、標準的な Virtual Private Network (VPN) から届いたトラフィックを簡単にトンネ リングできます。

ネットワーク上で Dominion KX II にアクセスできるようにするには、 社内ファイアウォールで TCP ポートをいくつ開放する必要があります か。また、これらのポートは変更できますか。

1 つだけです。Dominion KX II では、TCP ポートを 1 つだけ開放して そのポートにアクセスさせることによって、ネットワーク セキュリティ を確保します。このポートは、セキュリティを高めるために変更するこ ともできます。

ただし、Dominion KX II のオプションの Web ブラウザ機能を利用する 場合は、標準の HTTPS ポート 443 も開放する必要があります。

Dominion KX II を使用するには外部認証サーバが必要ですか。

いいえ。Dominion KX II は完全に自給自足型のデバイスです。Dominion KX II に IP アドレスを割り当てたら、使用可能になります。Web ブラウザ機能と認証機能はもともと組み込まれています。

社内で外部認証サーバ (例: LDAP、Active Directory、RADIUS) を使用している場合、Dominion KX II でその外部認証サーバを使用することもできます。また、Dominion KX II で使用している外部認証サーバに障害が発生した場合、Dominion KX II の認証機能にフェイルオーバすることもできます。このように、Dominion KX II の設計理念は、インストール作業を簡素化すること、外部サーバにまったく依存しないようにすること、および、柔軟性を大幅に高めることです。

Dominion KX II は Citrix 製品と併用できますか。

適切に設定すれば、Dominion KX II を Citrix などのリモート アクセス 製品と併用できます。ただし、十分なパフォーマンスが得られるかどう かは保証できません。Citrix のような製品では、デジタル KVM スイッ チと概念が似ているビデオ リダイレクト技術が使用されています。した がって、併用した場合 2 種類の KVM-over-IP 技術が同時に使用される ことになります。

Dominion KX II で DHCP を使用できますか。

DHCP アドレス割り当ては使用できますが、Raritan では固定 IP アドレスの設定を推奨しています。Dominion KX II はインフラストラクチャデバイスであるため、固定 IP アドレスを使用した方が、Dominion KX II に対してより効率的にアクセスし、管理できます。



IP ネットワークから Dominion KX II にアクセスできなくなりました。 原因は何でしょうか。

Dominion KX II では、お客様の LAN/WAN が使用されます。考えられる 原因は次のとおりです。

- Ethernet の自動ネゴシエーション:一部のネットワークでは、10/100 Mbps の自動ネゴシエーションが適切に機能しません。そのため、 Dominion KX II を 100 Mbps/全二重に設定するか、または、そのネ ットワークに適した値に設定する必要があります。
- IP アドレスの重複: Dominion KX II の IP アドレスが他のデバイス と重複している場合、ネットワーク接続を確立できないことがあります。
- ポート 5000 の競合:他のデバイスでポート 5000 を使用している 場合、そのデバイスと Dominion KX II のいずれかでポートを変更す る必要があります。

Dominion KX II の IP アドレスを変更したか、または、新しい Dominion KX II に交換した場合、その IP アドレスと MAC アドレスがレイヤ 2 ネットワークとレイヤ 3 ネットワーク全体に認識されるまで、十分な時間をとる必要があります。



IPv6 ネットワーキング

IPv6 とは何ですか。

IPv6 は "Internet Protocol Version 6"の頭字語です。IPv6 は次世代の IP プロトコルであり、現在使用されている Internet Protocol Version 4 (IPv4) プロトコルを置き換えるものです。

IPv6 は、IPv4 が抱えているさまざまな問題を解決します (例: IPv4 ア ドレスの枯渇)。経路選択やネットワーク自動設定などの機能が IPv4 よ りも向上しています。IPv6 は徐々に IPv4 を置き換えていくと予想され ています。つまり、数年間は両者が共存することになります。

管理者の観点から見ると、IPv6 は IP ネットワークの大きな問題の一つ を解消するのに役立ちます。その問題とは、IP ネットワークの設定作業 と保守作業です。

Dominion KX II で IPv6 ネットワーキングがサポートされているのは なぜですか。

米国のさまざまな政府機関と国防総省は、調達時に IPv6 対応製品を購入するよう義務付けられています。また、多くの企業および国 (例:中国) が、今後数年間で IPv6 に移行する予定です。

デュアル スタックとは何ですか。また、デュアル スタックが必要なの はなぜですか。

デュアル スタックは、IPv4 と IPv6 の両方を同時にサポートする機能 です。IPv4 から IPv6 に徐々に移行していくことを考えると、デュアル スタックは IPv6 をサポートするうえで必須機能であると言えます。

Dominion KX II 上で IPv6 を有効にするにはどうすればよいですか。

Dominion KX II の [Device Settings] (デバイス設定) メニューの [Network Settings] (ネットワーク設定) をクリックし、[Network Settings] (ネットワーク設定) ページを開きます。次に、[IPv6 Address] (IPv6 アドレス) チェック ボックスをオンにし、[IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ボックスの一覧で値を選択します。MPC でも IPv6 を有 効にする必要があります。

IPv6 アドレスが設定された外部サーバがあります。この外部サーバを Dominion KX II と併用する場合、どうなるでしょうか。

Dominion KX II から外部サーバ (例: SNMP マネージャ Syslog サーバ、 LDAP サーバ) の IPv6 アドレスを使用してそれらの外部サーバにアク セスすることができます。



具体的に言うと、Dominion KX II のデュアル スタック アーキテクチャ を使用することにより、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト 名を指定してこれらの外部サーバにアクセスすることができます。つま り Dominion KX II は、今後多くのお客様の社内で発生する IPv4/IPv6 混在環境に対応できます。

Dominion KXI で IPv6 はサポートされていますか。

いいえ。Dominion KXI で IPv6 はサポートされていません。

社内ネットワークで IPv6 がサポートされていない場合、どうなるでしょうか。

Dominion KX II は、出荷時設定では IPv4 だけを使用するようになって います。社内ネットワークで IPv6 を使用できる状態になったら、前述 の「Dominion KX II 上で IPv6 を有効にするにはどうすればよいです か。」の手順を実行し、IPv6/IPv4 デュアル スタックを有効にします。

IPv6 に関する詳細情報はどこで入手できますか。

www.ipv6.org に、IPv6 に関する全般情報が掲載されています。また、 『Dominion KX II User Guide』では Dominion KX II における IPv6 のサ ポートについて説明されています。



サーバ

Dominion KX II を使用するには Windows サーバが必要ですか。

必要ありません。ユーザは、あらゆる場面で常に利用できる KVM 基盤 を求めています。たとえば、問題を解決するために KVM 基盤を使用し なければならない、という場面も考えられます。そのため、Dominion KX II は外部サーバを一切必要としない設計になっています。たとえば、デ ータ センタが悪質な Windows ワームまたはウィルスによる攻撃を受 けた場合、管理者は KVM 製品を使用してこの状況に対処する必要があ ります。このような状況下で KVM 製品が適切に機能するためには、 Windows サーバなどの外部サーバを必要としないことが絶対条件とな ります。

このため、Dominion KX II はそれ自体だけで完全に動作します。Active Directory サーバを使用してユーザを認証するように Dominion KX II が 設定されている場合でも、その Active Directory サーバが使用不能にな ると、Dominion KX II 内部の認証機能がアクティブになるので、認証処 理を問題なく続行できます。

Dominion KX II の Web ブラウザ機能を利用する場合、Microsoft Internet Information Services (IIS) などの Web サーバ ソフトウェア をインストールする必要がありますか。

いいえ。Dominion KX II は完全に自給自足型のデバイスです。Dominion KX II に IP アドレスを割り当てたら、使用可能になります。なぜかと言 うと、Dominion KX II には Web ブラウザ機能と認証機能が完全に組み 込まれているからです。

ワークステーションから Dominion KX II にアクセスする場合、どのソフトウェアをインストールする必要がありますか。

特別なアクセス用ソフトウェアをインストールする必要はありません。 Web ブラウザを使用して Dominion KX II にアクセスし、すべての操作 を行うことができます。なお、raritan.com でオプションのクライアント ソフトウェアを入手することもできます。このクライアント ソフトウェ アは、モデムを使用して Dominion KX II にアクセスする場合に必要とな ります。また、Windows を使用していないユーザー向けに、Java ベー スのクライアント ソフトウェアが提供されるようになりました。

サーバを Dominion KX II に接続するための準備として、何をすればよいですか。



必要な準備作業は、リモート接続時にマウス動作ができるだけ同期する ようにマウス関連パラメータ値を設定することと、画面表示に影響を及 ぼす電源管理機能を無効にすることだけです。ただし、新製品である D2CIM-VUSB アダプタを使用する場合は、マウス関連パラメータ値を手 動で設定する必要はありません。D2CIM-VUSB では、ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization™)機能がサポートされています。

ブレード サーバ

ブレード サーバを Dominion KX II に接続できますか。

はい。Dominion KX II では、代表的なブレード サーバ メーカ (HP、IBM、 および Dell) の主要なブレード サーバ モデルがサポートされています。

サポートされているブレード サーバはどれですか。

サポートされているモデルは次のとおりです。

- Dell PowerEdge 1855、1955、および M1000e
- HP BladeSystem c3000 および c7000
- IBM BladeCenter H および E

注: IBM BladeCenter Model S、T、および HT にアクセスするには、 "IBM (Other)" プロファイルを選択します。



Paragon 用のブレード対応 CIM は使用できますか。

いいえ。Paragon II 用ブレード対応 CIM は Dominion KX II で使用できません。

どの CIM を使用すればよいですか。

使用する CIM は、ご使用のブレード サーバの製造元とモデルにおける KVM ポートのタイプによって決まります。サポートされている CIM は、 DCIM-PS2、DCIM-USBG2、D2CIM-VUSB、および D2CIM-DVUSB で す。

使用可能なアクセス方法はどれですか。

Dominion KX II にアクセスする方法としては、(1) ローカル ポートから アクセス、(2) IP を使用してリモート アクセス、(3) CC-SG 経由でアク セス、(4) モデムを使用してアクセス、の 4 種類があります。

複数台のブレード サーバを切り替える際、ホットキーを使用する必要が ありますか。

一部のブレード サーバでは、複数台のブレード サーバを切り替える際 にホットキーを使用する必要があります。ただし、通常はホットキーを 使用する必要はありません。ブレード サーバの名前をクリックするだけ で、自動的にそのブレード サーバに切り替わります。ホットキーを明示 的に使用する必要はありません。

ブレード サーバの管理モジュールにアクセスできますか。

はい。管理モジュールの URL を定義し、Dominion KX II または CC-SG からアクセスすることができます。ワンクリック アクセスが設定されている場合、1 回のクリック操作でアクセスできます。

1 台の Dominion KX II に接続できるブレード サーバは何台ですか。

パフォーマンス上および信頼性上の理由により、1 台の Dominion KX II に接続できるブレード サーバ筐体は、モデルにかかわらず最大 8 台で す。接続するブレード サーバ筐体の台数は、Dominion KX II でサポート されているリモート接続数の 2 倍以内にすることを推奨します。たとえ ば、リモート チャネルが 2 本ある KX2-216 の場合、接続するブレー ド サーバ筐体を 4 台以内にすることを推奨します。もちろん、残りの サーバ ポートにブレード サーバを接続することもできます。

当社は中小企業であり、Dominion KX II を数台しか使用していません。 CC-SG 管理ステーションを使用する必要がありますか。

いいえ、使用する必要はありません。中小企業のお客様は、新しいブレード サーバを利用する際に CC-SG を使用する必要はありません。



当社は大企業であり、CC-SG を使用しています。CC-SG からブレード サーバにアクセスできますか。

使用できます。Dominion KX II 上でブレード サーバの設定が完了したら、 CC-SG から KVM 接続を使用してブレード サーバにアクセスできるよ うになります。ブレード サーバは、筐体別に CC-SG のカスタム ビュ ーに表示されます。

インバンド KVM アクセスまたは埋め込み KVM アクセスすることは できますか。

はい。ブレード サーバに対するインバンド アクセスおよび埋め込みア クセスは、CC-SG で設定できます。

一部のブレード サーバ上で VMware を実行しています。この構成はサ ポートされていますか。

はい。CC-SG を使用して、ブレード サーバ上で実行されている仮想マシンを表示し、また、その仮想マシンにアクセスすることができます。

仮想メディアはサポートされていますか。

IBM BladeCenter Model H または E と **D2CIM-DVUSB** を併用した構成では、仮想メディアを利用できます。

ずれないマウス機能はサポートされていますか。

ブレード筐体内に KVM スイッチを備えているサーバの場合、通常、ず れないマウス機能はサポートされません。HP 製ブレード サーバおよび 一部の Dell 製ブレード サーバの場合、各ブレード サーバに CIM が接 続されます。したがって、ブレード サーバ上で実行されている OS で ずれないマウス機能がサポートされていれば、そのブレード サーバでず れないマウス機能がサポートされます。

ブレード サーバへのアクセスは安全ですか。

はい。ブレード サーバへのアクセスには、Dominion KX II の標準的なセ キュリティ機能 (例: 128 ビットまたは 256 ビットの暗号化) がすべて の使用されます。その他、ブレード サーバ特有のセキュリティ機能があ ります。たとえば、ブレード サーバごとにアクセス権限を付与する機能 や、入力されたホットキーを拒否する機能などがあるので、不正アクセ スの防止に役立ちます。

Dominion KSX II および **KX II-101** で、ブレード サーバはサポートさ れていますか。

現時点では、これらの製品ではブレード サーバはサポートされていません。ブレード サーバのサポートは Dominion KX II の新機能です。



インストール

Dominion KX II を導入する場合、デバイス本体以外に何を Raritan に 注文する必要がありますか。

Dominion KX II に接続するサーバごとに、Dominion CIM または Paragon CIM が必要です。CIM は、サーバのキーボード ポート、ビデ オ ポート、およびマウス ポートに直接接続するアダプタです。

導入時、どのタイプの Cat5 ケーブルを使用すればよいですか。

Dominion KX II では、Cat5、Cat5e、または Cat6 の任意の標準的なシ ールドなしツイスト ペア (UTP) ケーブルを使用できます。Raritan のマ ニュアルや販売資料では、単に "Cat5" と記載されています。実際には、 Dominion KX II ではどのブランドの UTP ケーブルも使用できます。

Dominion KX II にはどのようなタイプのサーバを接続できますか。

Dominion KX II は特定のベンダに依存しないデバイスです。標準キーボ ード ポート、ビデオ ポート、およびマウス ポートを搭載しているあら ゆるサーバを接続できます。

サーバを Dominion KX II に接続するにはどうすればよいですか。

サーバを Dominion KX II に接続するには、まず、Dominion CIM または Paragon CIM をサーバのキーボード ポート、ビデオ ポート、およびマ ウス ポートに直接接続します。次に、Cat5、Cat5e、または Cat6 の標 準 UTP ケーブルを使用して、各 CIM を Dominion KX II に接続します。

サーバは Dominion KX II からどのくらい離すことができますか。

サーバのタイプにもよりますが、一般に Dominion KX II から最大 45 m 離すことができます。詳細については、Raritan の Web サイト (www.raritan.com) または「*ターゲット サーバとの接続距離および画面 解像度*『p. 309』」を参照してください。仮想メディア機能とずれない マウス機能をサポートする D2CIM-VUSB および D2CIM-DVUSB の場 合は、接続距離を 30 m 以内にすることを推奨します。

一部の OS において、稼動中にキーボードまたはマウスを取り外すとサーバがロックされます。キーボードまたはマウスを取り外したときに、
 Dominion KX II に接続されているサーバがロックされないようにするには、どうすればよいですか。



Dominion コンピュータ インターフェース モジュール (DCIM) ドング ルは、それぞれ接続されているサーバに対する仮想キーボードや仮想マ ウスとして動作します。この技術は、KME (キーボード/マウス エミュレ ーション) と呼ばれます。Raritan の KME 技術は、データ センターで の使用に耐えるグレードであり、厳正にテストされています。また、ロ ーエンドの KVM スイッチの技術に比べてはるかに高い信頼性が確保さ れています。この技術には 15 年間以上に及ぶ実績も生かされており、 世界中で何百万台ものサーバに実装されています。

Dominion KX II に接続するサーバに何らかのエージェント ソフトウェ アをインストールする必要がありますか。

Dominion KX II に接続するサーバにエージェント ソフトウェアをイン ストールする必要はありません。なぜかと言うと、Dominion KX II はハ ードウェアを介してサーバのキーボード ポート、ビデオ ポート、およ びマウス ポートに直接接続するからです。

それぞれの Dominion KX II に何台のサーバを接続できますか。

1U 筐体の場合はサーバ ポートが 8、16、または 32 個搭載されていま す。2U 筐体の場合は、サーバ ポートが 8、16、32、または 64 個搭 載されています。このポート密度は、デジタル KVM スイッチ分野で業 界最高水準です。

ある Dominion KX II からサーバを切断し、別の Dominion KX II に再 接続するかまたは同じ Dominion KX II の別のポートに再接続した場合、 どうなりますか。

サーバ接続先ポートを変更した場合、サーバ ポート名が自動更新されま す。この変更内容は、ローカル クライアントおよびすべてのリモート ク ライアントに反映されます。CC-SG を使用している場合は、CC-SG に も反映されます。

RS-232 でシリアル制御されるデバイス (例: Cisco 製のルータやスイ ッチ、Sun 製のヘッドレス サーバ) を Dominion KX II に接続するには どうすればよいですか。

シリアル制御されるデバイスの数が少ない場合、Raritan の新製品である P2CIM-SER シリアル変換器を使用して、Dominion KX II に接続できま す。

シリアル制御されるデバイスが 4 台以上ある場合は、Raritan のセキュ ア コンソール サーバである KSX II 製品または SX 製品を使用するこ とを推奨します。これらのデバイスは、使用、設定、および管理が容易 であり、また、既に使用している Dominion シリーズと完全に統合でき ます。特に、多くの UNIX 管理者やネットワーク管理者が、これらのデ バイスに SSH で直接接続できる機能を高く評価しています。



ローカル ポート

ラックからサーバに直接アクセスできますか。

使用できます。ラックでは、Dominion KX II は従来型 KVM スイッチと 同じように機能します。つまり、1 組のキーボード、モニタ、およびマ ウスを使用して、最大 64 台のサーバを制御できます。

自分がローカル ポートを使用しているとき、他ユーザがサーバにリモート アクセスできないように設定できますか。

いいえ。Dominion KX II のローカル ポートにおけるサーバへのアクセス パスは、ローカル ポート専用です。したがってユーザは、ラックからサ ーバにローカル アクセスする際、同時にリモート アクセスするユーザ の数を制限する必要はありません。

USB キーボードまたは USB マウスをローカル ポートで使用できますか。

使用できます。Dominion KX II のローカル ポート エリアには、PS/2 キ ーボード ポート、PS/2 マウス ポート、および 3 つの USB ポートが あります。USB ポートは USB v1.1 対応であり、キーボードとマウスし か接続できません。スキャナやプリンタなどの USB デバイスは接続で きません。

ローカル アクセスする場合、OSD が表示されますか。

はい。ただし、Dominion KX II へのローカル アクセスは、従来の Onscreen Display (OSD) よりもはるかに優れています。Dominion KX II では、ローカル アクセス用に業界初の Web ブラウザ画面が用意されて おり、また、ローカル アクセスとリモート アクセスの両方に対して同 じ画面がが使用されます。さらに、大半の管理機能をローカルで実行で きます。

ローカル ポートを使用しているとき、サーバを切り替えるにはどうすれ ばよいですか。

ローカル ポートを使用しているとき、接続されているサーバが、リモート クライアントと同じ画面に表示されます。サーバを切り替えるには、切り替え先サーバをマウスでクリックします。

承認されたユーザだけがローカル ポートからサーバにアクセスできる ようにするには、どうすればよいですか。

ユーザがローカル ポートを使用するには、リモートでアクセスする場合 と同レベルの認証を受ける必要があります。これは次のことを意味しま す。



- Dominion KX II が外部の認証サーバ (RADIUS サーバ、LDAP サーバ、または Active Directory サーバ) と連係するように設定されている場合、ユーザがローカル ポートを使用しようとしたときに、リモート ユーザと同じサーバで認証されます。
- 外部の認証サーバが使用不能になった場合は、Dominion KX II 内部の認証データベースにフェイルオーバされます。
- Dominion KX II 自体に認証機能が備わっているので、設置後すぐに 使用を開始できます。

ローカル ポートを使用して、接続されているサーバの名前を変更した場合、この変更内容はリモート クライアントにも反映されますか。また、 CC-SG を使用している場合、この変更内容が CC-SG にも反映されま すか。

使用できます。ローカル クライアント、リモート クライアント、およ び CC-SG における画面表示内容は同一であり、完全に同期しています。 つまり、Dominion KX II の OSD でサーバの名前を変更すると、この変 更内容がすべてのリモート クライアントおよび外部の管理サーバにリ アルタイムで反映されます。

Dominion KX II のリモート管理ツールを使用して、接続されているサー バの名前を変更した場合、その変更内容がローカル クライアントの OSD にも反映されますか。

使用できます。リモート クライアントまたは CC-SG (Raritan の管理用 デバイス、使用は任意) でサーバの名前を変更した場合、その変更内容は Dominion KX II の OSD に即座に反映されます。

ローカル クライアントの画面に影のようなものが発生することがあり ます。これはなぜですか。

LCD モニタを長時間使用すると、このような影や残像が発生する可能性 があります。画面を長時間表示し続けると、LCD の特性と帯電が原因で このような影が発生することがあります。



拡張ローカル ポート (Dominion KX2-832 および KX2-864 モデルのみ)

拡張ローカル ポートとは何ですか。

Dominion KX2-832 および KX2-864 には、拡張ローカル ポートが搭載 されています。Dominion KX II の 8 ユーザ モデルには、標準ローカル ポートと新しい拡張ローカル ポートがあります。拡張ローカル ポート を使用すると、Cat5 ケーブルを使用して、ローカル ポートからラック を越えて制御室、データ センター内の別のポイント、または Paragon II スイッチにアクセスできます。

拡張ローカル ポートにユーザ ステーションは必要ですか。

はい。拡張ローカル ポートの「ユーザ ステーション」として使用でき るデバイスには、Paragon II EUST、Paragon II UST、および Cat5 Reach URKVMG デバイスがあります。さらに、Cat5 ケーブルを使用して拡張 ローカル ポートを Paragon II スイッチのサーバ ポートに接続できま す。この構成を使用して、多くの KX2-8xxx デバイスのローカル ポート を 1 つのスイッチに統合できます。

ユーザ ステーションは Dominion KX II からどのくらい離すことができますか。

接続距離は 60 ~ 300 m (200 ~ 1000 フィート) ですが、ユーザ ステ ーションのタイプ、ビデオ解像度、ケーブルのタイプと品質によって異 なります。

CIM は必要ですか。

CIM は必要ありません。Cat5 ケーブルを接続するだけです。

拡張ローカル ポートを使用する必要はありますか。

いいえ。拡張ローカル ポートは、オプション機能であり、デフォルトで は無効になっています。有効にするには、[Local Port Settings] (ローカル ポート設定) ページを使用します。セキュリティを高めるために標準ロー カル ポートを使用しない場合は、標準ローカル ポートを無効にするこ ともできます。



電源制御

Dominion KX II では電源を二重化できますか。

Dominion KX II のどのモデルでも、AC 入力電力と電源が二重化されて おり、自動フェイルオーバ機能が備わっています。いずれか一方の入力 電力または電源に障害が発生した場合、もう一方に自動的に切り替わり ます。

Dominion KX II で使用する電源では、電圧設定が自動検出されますか。

使用できます。Dominion KX II の電源は、100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz の 範囲の AC 電圧で使用できます。

電源または入力電力に障害が発生した場合、通知されますか。

障害が発生した場合、Dominion KX II の前面パネルの LED によってユ ーザに通知されます。同時に、監査ログにエントリが書き込まれ、 Dominion KX II リモート クライアント画面に表示されます。管理者によ って設定されている場合は、その後 SNMP イベントまたは Syslog イベ ントが発生します。

Dominion KX II の電源制御機能はどのタイプですか。

Raritan の Remote Power Control (RPC) 電源タップを Dominion KX II に接続することにより、KVM ターゲット サーバの電源を制御できます 。簡単な設定作業を 1 度行えば、その後はサーバ名を右クリックするだ けで、サーバの電源を投入または切断すること、および、ハングしたサ ーバの電源を再投入することができます。電源再投入は、サーバの AC 電 源コードをいったん抜いて再度差し込むことと同じです。

Dominion KX II では、電源を複数個備えたサーバはサポートされていま すか。各電源が別々の電源タップに接続されている場合、どうなります か。

使用できます。複数台の電源を別々の電源タップに接続する構成をサポートするように、Dominion KX II を設定できます。Dominion KX II には 最大 8 個の電源タップを接続できます。ターゲット サーバごとに 4 台の電源を、別々の電源タップに接続できます。

電源をリモート制御する場合、特別なサーバ構成にする必要があります か。

一部のサーバでは、電源をいったん切断して再投入したときにサーバが 自動再起動しないように、BIOS が設定されています。このようなサーバ を使用する場合、そのサーバのドキュメントを読み、この設定を変更し てください。



Dominion KX II でサポートされている電源タップのタイプはどれですか。

Dominion KX II の電源制御画面、および、重要なセキュリティ機能を利用するには、Raritan の Remote Power Control (RPC) 電源タップを使用します。RPC 製品ファミリの中には、さまざまなコンセント、コネクタ、およびアンペアの製品があります。RPC を Dominion KX II に接続するには、D2CIM-PWR を購入する必要があります。

拡張性

複数台の Dominion KX II を接続して 1 つのソリューションとして使用するには、どうすればよいですか。

複数台の Dominion KX II を物理的に相互接続する必要はありません。代わりに、各 Dominion KX II をネットワークに接続します。Raritan の CC-SG 管理デバイスを使用して Dominion KX II を配備した場合、 Dominion KX II どうしが自動的に連係動作し、1 つのソリューションとして機能します。CC-SG は、リモート アクセスおよびリモート管理用の単一のアクセス ポイントとして機能します。たとえば、設定作業を集中管理すること、ファームウェア更新作業を集中管理すること、認証データベースを一本化することなどができるので便利です。

また、CC-SG を使用することにより、高度な方法でサーバを分類するこ とやアクセス権限を付与することができます。CC-SG を配備できない場 合でも、Dominion KX II どうしが自動的に連係動作するので、拡張性が 向上します。Dominion KX II のリモート ユーザ インタフェースおよび MPC では、Dominion KX II が自動検出されます。検出されなかった Dominion KX II にアクセスするには、ユーザが作成したプロファイルを 使用します。

現在使用しているアナログ KVM スイッチを Dominion KX II に接続で きますか。

使用できます。アナログ KVM スイッチを Dominion KX II のいずれかの サーバ ポートに接続できます。具体的には、PS/2 CIM を使用して、現 在使用しているアナログ KVM スイッチのユーザ ポートに接続します。 アナログ KVM スイッチの仕様はそれぞれ異なっているため Raritan で は、サードパーティ製アナログ KVM スイッチとの相互運用性について は保証していません。詳細については、Raritan のテクニカル サポート 部門にお問い合わせください。



コンピュータ インタフェース モジュール (CIM)

Paragon (Raritan 製のアナログ KVM スイッチ) 用 CIM を Dominion KX II で使用できますか。

使用できます。一部の Paragon 用 CIM は、Dominion KX II で使用でき ます。動作確認済み CIM の最新情報については、弊社 Web サイトで公 開されている Dominion KX II のリリース ノートを参照してください。

ただし、Paragon 用 CIM には、ビデオを 300 m 先まで伝送するため の技術が組み込まれているため、Dominion KX II 用 CIM に比べて高価 です。したがって、Dominion KX II と併用するために Paragon 用 CIM を購入することは 推奨できません。また Paragon 用 CIM を Dominion KX II に接続した場合のビデオ伝送距離は、Dominion KX II 用 CIM と同 じく最大で 45 m になります。Paragon に接続した場合の 300 m では ありません。

Dominion KX II 用 **CIM** を **Paragon (Raritan** 製のアナログ **KVM** ス イッチ) で使用できますか。

いいえ。Dominion KX II 用 CIM のビデオ伝送距離は 15 ~ 45 m なの で、Paragon には使用できません。Paragon には、ビデオ伝送距離が最 大 300 m の CIM が必要です。お客様に業界最高水準の画質を提供する、 というのが Raritan の一貫した方針です。そのため、Dominion シリー ズ用 CIM を Paragon に使用することはできません。



セキュリティ

Dominion KX II は FIPS 140-2 に対応していますか。

Dominion KX II リリース 2.2.0 には、FIPS 140-2 の実装ガイドライン に従って、Linux プラットフォームで実行されている FIPS 140-2 で検 証された埋め込み暗号化モジュールを使用するためのオプションが用意 されています。ビデオ、キーボード、マウス、仮想メディア、およびス マート カードのデータで構成される KVM セッション トラフィックの 暗号化には、この暗号化モジュールが使用されます。

Dominion KX II で使用されている暗号化方式は何ですか。

Dominion KX II では、SSL 通信とデータ ストリームの両方において、 業界標準である極めて安全な RC4 暗号または AES 暗号が使用されま す。実際、暗号化によってセキュリティが確保されていないリモート ク ライアントと Dominion KX II の間では、データは送信されません。

Dominion KX II では、米国政府の NIST および FIPS 140-2 で推奨さ れている AES 暗号がサポートされていますか。

Dominion KX II では、セキュリティを高めるために Advanced Encryption Standard (AES) が使用されます。

AES は米国政府の承認した暗号アルゴリズムです。NIST (米国の国立標 準技術研究所)の FIPS 標準 197 で推奨されています。

Dominion KX II ではビデオ データを暗号化できますか。それとも、キ ーボードデータとマウス データだけが暗号化されますか。

競合製品ではキーボード データとマウス データだけが暗号化されます が、Dominion KX II ではセキュリティに関して妥協していません。 Dominion KX II では、キーボード データ、マウス データ、およびビデ オ データをすべて暗号化できます。

Dominion KX II は外部認証サーバ (例: Active Directory サーバ、 RADIUS サーバ、LDAP サーバ) とどのように連係動作しますか。

Dominion KX II では、きわめて簡単に、すべての認証要求を外部認証サ ーバ (例: LDAP サーバ、Active Directory サーバ、RADIUS サーバ) に 転送するように設定できます。また、ユーザが認証されるたびに、その ユーザが所属するユーザ グループに関する情報が、外部認証サーバから Dominion KX II に送信されます。Dominion KX II では、そのユーザが所 属するユーザ グループに基づいて、そのユーザに付与するアクセス権限 が決まります。

ユーザ名とパスワードはどのように保存されますか。



Dominion KX II の内部認証機能を使用する場合、ユーザ名やパスワード などの機密情報はすべて暗号化されたうえで保存されます。実際、Raritan のテクニカル サポート部門や製品設計部門のスタッフを含め、だれもこ れらのユーザー名やパスワードを読み出すことができません。

Dominion KX II では強力なパスワードを使用できますか。

はい。Dominion KX II には、管理者が設定できる強力パスワード検査機 能が備わっています。この機能により、ユーザが作成したパスワードが 社内および政府の基準を満たしているかどうか、および、ブルート フォ ース (総当たり) 攻撃によって解読されにくいかどうかが検査されます。

Dominion KX II で暗号化モードを "自動" に設定した場合、どのレベル の暗号化が行われますか。

自動調整される暗号化レベルは、使用しているブラウザによって異なり ます。



スマート カード認証と CAC 認証

Dominion KX II では、スマート カード認証と CAC 認証はサポートさ れていますか。

はい。リリース 2.1.10 以降では、ターゲット サーバへのスマート カード認証と DoD Common Access Card (CAC) 認証がサポートされています。

スマート カードと CAC がサポートされている Dominion KX II のモ デルはどれですか。

すべての Dominion KX II モデルでサポートされています。Dominion KSX2 および KX2-101 では、現在スマートカードと CAC はサポート されていません。

スマート カードと CAC がサポートされている CIM はどれですか。

D2CIM-DVUSB が必要です。この CIM をリリース 2.1.10 のファーム ウェアでアップグレードする必要があります。

必要なファームウェア バージョンは何ですか。

Dominion KX II リリース 2.1.10 以降が必要です。

サポートされているスマート カード リーダーはどれですか。

必要なリーダー標準は、USB CCID と PC/SC です。認定済みのリーダ ーの一覧および詳細については、Dominion KX II 2.1.10 の「サポートさ れているスマート カード リーダーとサポートされていないスマート カード リーダー 『p. 312』」またはリリース ノートを参照してくださ い。

スマート カード/CAC 認証は、ローカル ポートおよび CommandCenter で使用できますか。

使用できます。ローカル ポートを使用する場合、互換性のあるスマート カード リーダーを Dominion KX II の USB ポートに接続します。

Paragon のスマート カードに対応した UST および CIM は使用され ていますか。

いいえ。P2-EUST/C および P2CIM-AUSB-C は、Dominion KX II ソリ ューションに含まれていません。



管理機能

Web ブラウザを使用して Dominion KX II をリモートで管理および設 定できますか。

はい。Web ブラウザを使用して、Dominion KX II のすべての設定をリモートで行うことができます。ただし、リモート クライアントに適切なバ ージョンの Java Runtime Environment (JRE) がインストールされてい る必要があります。

Dominion KX II の IP アドレスを初期設定できるだけでなく、Dominion KX II に関するすべての情報をネットワーク上で設定できます。Ethernet クロス ケーブルと Dominion KX II のデフォルト IP アドレスを使用す ることにより、Web ブラウザから出荷時の初期設定値を変更することが できます。

Dominion KX II の設定情報をバックアップおよび復元できますか。

はい。Dominion KX II のデバイス設定情報とユーザ設定情報はすべてバックアップできるので、大規模障害が発生した場合でも復元できます。

Dominion KX II のバックアップ/復元処理は、ProductName リモート コ ンソールを使用して、ネットワーク経由でリモートで行うこともできま す。

Dominion KX II ではどのような監査処理およびログ記録処理が実行されますか。

アカウンタビリティの観点から、Dominion KX II では主要なユーザ イベ ントとシステム イベントがタイムスタンプ付きでログ記録されます。記 録されるイベントの例としては、ユーザのログオン、ユーザのログオフ、 特定サーバへのユーザ アクセス、失敗したログオン、設定変更などがあ ります。

Dominion KX II は Syslog サーバと連係動作しますか。

使用できます。Dominion KX II には、内部にログを記録する機能が備わっていますが、それに加えて、ログ記録されたすべてのイベントを中央の Syslog サーバに送信することもできます。

Dominion KX II は SNMP マネージャと連係動作しますか。

使用できます。Dominion KX II には、内部にログを記録する機能が備わ っていますが、それに加えて SNMP トラップを SNMP マネージャ (例: HP OpenView、Raritan の CommandCenter NOC (CC-NOC)) に送信す ることもできます。

Dominion KX II の内部クロックを時刻サーバと同期させることができますか。



はい。Dominion KX II では業界標準の NTP プロトコルがサポートされ ているので、内部クロックを社内または社外の時刻サーバと同期させる ことができます。なお 社外の時刻サーバと同期させるには Dominion KX II から送信される NTP 要求が社内ファイアウォールを通過できる必要 があります。



その他

Dominion KX II のデフォルトの IP アドレスは何ですか。

192.168.0.192

Dominion KX II のデフォルトのユーザ名とパスワードは何ですか。

Dominion KX II のデフォルトのユーザ名は admin、デフォルトのパスワ ードは raritan です (すべて小文字)。ただし最高レベルのセキュリティ を確保するため、Dominion KX II の初回起動時に、デフォルトの管理者 ユーザ名と管理者パスワードを変更するよう要求されます。

Dominion KX II の管理者パスワードを変更しましたが、変更後のパスワードを忘れてしまいました。新しいパスワードを発行してもらえますか。

Dominion KX II のハードウェア リセット ボタンを押すと、 ProductName が出荷時設定にリセットされます。このとき、管理者パス ワードも出荷時設定にリセットされます。

Firefox を使用して Dominion KX II にログオンした後、別の Firefox ブラウザを開きました。この場合、2 番目に開いた Firefox ブラウザか ら同じ Dominion KX II に自動ログオンされます。これは正常な動作で すか。

問題ありません。ブラウザとクッキーが機能している証拠です。

Firefox を使用して Dominion KX II にログオンした後、同じクライア ント コンピュータから別の Firefox ブラウザ セッションを使用して別 の Dominion KX II にログオンしようとしました。すると、両方の Dominion KX II からログオフされました。これは正常な動作ですか。

はい。別の Dominion KX II にアクセスするには、最初のセッションを切断するか、または、別のクライアント コンピュータを使用してください。

Firefox を使用して KVM セッションを実行しているときに、VKC であ る特定のダイアログ ボックス (例: [Connection Properties] (接続プロ パティ)、[Video Settings] (ビデオ設定)) を開くと、すべての Firefox ブ ラウザ セッションがブロックされるようです。どうすればよいですか。

これは正常な動作です。なぜかと言うと、すべての Firefox セッション が互いに関連付けられているからです。そのダイアログ ボックスを閉じ ると、Firefox はブロックされなくなります。



索引

E

[Authentication Settings] (認証設定) - 139 [Auto-sense Video Settings] (ビデオ設定の自 動検出) - 76 [Connection Properties] (接続プロパティ) - 68 [Device Services] (デバイス サービス) - 2, 160, 192, 197 [Dominion KX II Diagnostics] (Dominion KX II 診断) ページ - 265 [Enable AKC Download Server Certificate Validation (AKC ダウンロード サーバ証明 |書の検証を有効にする)]の概要 - 95, 161, 163 [Encryption & Share] (暗号化および共有) - 2, 232, 236 [Event Management - Destinations] (イベント 管理 - 送信先) - 170 [Event Management - Settings] (イベント管理 - 設定)の設定 - 168 [Favorites List] (お気に入りリスト) ページ -56, 58 [Local Drives] (ローカル ドライブ) - 108 [Login Limitations] (ログイン制限) - 226, 227 [Manage Favorites] (お気に入りの管理) ペー ジ - 55 [Modem Settings] (モデム設定) - 32, 164 [Network Interface] (\hat{x} \vee \hat{v} \hat{v} ース) ページ - 260 [Network Settings] (ネットワーク設定) - 30, 35, 38, 154, 155, 158 [Network Statistics] (ネットワーク統計) ぺー ジ - 260 [Ping Host] (ホストに ping する) ページ -263 [Port Access] (ポート アクセス) ページ - 48, 50, 186 [Port Access] (ポート アクセス) ページ (ロー カル コンソール サーバ ディスプレイ)-285 [Port Action] (ポート アクション) メニュー -51, 52, 287 [Power Supply Setup] (電源設定) - 32, 41, 175 [Refresh Screen] (画面の更新) - 75

[Strong Passwords] (強力なパスワード) - 153, 226, 229 [Trace Route to Host] (ホストへの経路をトレ ースする) ページ - 264 [User Blocking] (ユーザ ブロック) - 226, 230 [User Group List] (ユーザ グループ リスト) -125 [User List] (ユーザ リスト) - 136 [User Management] (ユーザ管理) - 124, 281

A

A. AC 電源: - 31 Absolute (ずれない) マウス モード - 85 Active KVM Client (AKC) - 2, 95 AKC でサポートされているオペレーティング システムとブラウザ - 97 AKC を使用するための必要条件 - 96 Apple Macintosh の設定 - 29

Β

B. モデム ポート (オプション)-32

С

C. ネットワーク ポート - 32 CC-SG - 345 CC-SG ユーザへの注意事項 - 41 CC-SG 管理の終了 - 258 CD-ROM/DVD-ROM/ISO イメージ - 106, 110 CIM - 343 CIM キーボード/マウス オプションの設定 -74 CIM の互換性 - 114 CIM をアップグレードする - 114, 213, 252 CLI コマンド - 267, 275 CLI の画面操作 - 271 CLI プロンプト - 274 CLI を使用した初期設定 - 273 CLI を使用しての Dominion KX II へのアクセ ス - 268 **CLI** 構文



索引

ヒントとショートカット キー - 272

D

D. ローカル アクセス ポート (ローカル PC) - 33 DCIM-VUSB で Mac OS-X USB プロファイ ルを使用する場合のマウス モード - 122 Dell 筐体を接続する場合のケーブル長と画面 解像度 - 191, 338 Dell® ブレード シャーシの設定 - 191 Dominion KX II コンソール サーバ設定用コマ ンドを使用する - 276 Dominion KX II コンソールでの案内 - 49 Dominion KX II コンソールのレイアウト - 48 Dominion KX II サブネット上のデバイスの検 出 - 58 Dominion KX II で使用できるクライアント ア プリケーション -5 Dominion KX II のポート間を移動する - 346 Dominion KX II のローカル ポートの設定 -33, 216, 221, 294 Dominion KX II の概要 - 3 Dominion KX II への SSH 接続 - 268 Dominion KX II への Telnet 接続 - 269 Dominion KX II ヘルプ - 1 Dominion KX II リモート コンソール インタ フェース - 46 Dominion KX II リモート コンソールの起動 -46 Dominion KX II ローカル コンソール - 279 Dominion KX II ローカル コンソール インタ フェース - 45, 280 Dominion KX II ローカル コンソールの [Factory Reset] (出荷時設定にリセット) ペ ージ - 295 Dominion KX II ローカル コンソールのローカ ル ポートの設定 - 291 Dominion KX II ローカル コンソールの画面に 切り替える - 290 Dominion KX II ローカル コンソールを使用す る - 280

E

E. ターゲット サーバ ポート - 34
 Ethernet と IP ネットワーキング - 356

\mathbf{F}

FAQ - 347
Fedora - 339
Fedora Core のフォーカスに関する問題を解決する - 339
Fedora サーバへの VKC および MPC のスマート カード接続 - 339
Fedora 使用時の Firefox のフリーズに関する問題の解決 - 339
FIPS 140-2 サポートの要件 - 237
FIPS 140-2 の有効化 - 233, 236

Η

HP® ブレード シャーシ設定 (ポート グルー プ管理) - 203, 206

Ι

IBM AIX 5.3 の設定 - 28
IBM® ブレード シャーシの設定 - 196
interface コマンド - 277
IP アクセス制御を設定する - 238
IP アドレスの割り当て - 35
ipv6 コマンド - 278
IPv6 ネットワーキング - 364
IPv6 のサポートに関する注意事項 - 332

J

Java Runtime Environment (JRE) - 331

Κ

KVM ターゲット サーバの切り替え - 65
KVM ターゲット サーバの切断 - 66
KVM ターゲット サーバへの接続 - 62, 67
KVM ポート用のプロファイルの選択 - 122
KX II でのコンセントとターゲット サーバの 関連付け - 183
KX II での電源タップ名の指定 (電源タップの [Port] (ポート) ページ) - 181
KX2 8 デバイスでのスマート カード アクセ ス - 283
KX2-832 および KX2-864 の拡張ローカル ポートでサポートされているデバイス -217, 311



KX2-832 および KX2-864 の拡張ローカル ポートの推奨最大接続距離 - 312
KX2-832 および KX2-864 の標準ローカル ポートと拡張ローカル ポートの設定 - 216, 221

L

LAN インタフェース設定 - 38, 158, 159 LDAP から返す場合 - 323 LDAP スキーマを更新する - 323 LDAP/LDAPS リモート認証の実装 - 140 Linux ターゲット サーバに対して Windows の 3 ボタン マウスを使用する場合 - 343 Linux の設定 (Red Hat 4) - 22 Linux の設定 (Red Hat 9) - 20 Linux の設定の永続化 - 24

Μ

Macintosh キーボード - 337 Microsoft Active Directory から返す場合 - 324 Microsoft Active Directory についての注意事 項 - 41 Multi-Platform Client インタフェース - 61

Ν

name コマンド - 278

R

RADIUS リモート認証の実装 - 146 RADIUS 通信交換仕様 - 149

S

SSL 証明書 - 241
Sun Solaris の設定 - 25
Sun サーバへのアクセス時に使用できる特別 なキー組み合わせ - 289
SUSE Linux 10.1 の設定 - 23
SUSE と VESA のビデオ モード - 340

Т

Telnet 接続を有効にする - 269

U

UNIX の設定の永続化 - 29

UNIX/Linux ワークステーションから SSH で 接続する - 269 USB プロファイル - 67, 113, 213, 354 USB プロファイルの管理 - 250, 251 USB プロファイルの設定 ([Port] (ポート) ペ ージ) - 122, 199, 213 USB プロファイルの選択 - 67 USB プロファイルの選択に関するヘルプ -341 USB ポートとプロファイル - 341

v

Virtual KVM Client - 48, 52, 62, 95, 113 VKC ツールバー - 63 VKC のバージョンが CC-SG プロキシ モー ドで認識されない - 345 VKC 仮想メディア - 86 VM-CIM および DL360 の USB ポート -341

W

Web ブラウザ インタフェースの追加に関す るヒント - 191, 194, 196, 199, 201
Web ブラウザからの MPC の起動 - 61
Windows 2000 での複合 USB デバイスの動 作 - 344
Windows 2000 の設定 - 18
Windows PC から SSH で接続する - 268
Windows PC から Telnet で接続する - 269
Windows Vista の設定 - 19
Windows XP、Windows 2003、および Windows 2008 の設定 - 16
Windows 環境での VKC および AKC を介し た仮想メディアの使用 - 103

あ

アップグレード履歴 - 256 アメリカ英語以外のキーボード - 333 イベント管理 - 167 インストール - 370 インストールと設定 - 14 インタフェース - 44 インテリジェント マウス モード - 16,84 お気に入りの管理 - 54 お気に入りの追加、削除、および編集 - 59



383

索引

キーボード - 333 キーボード マクロ - 71 キーボード マクロの作成 -71 キーボード マクロの実行 - 73 キーボード マクロの変更および削除 -74 キーボード レイアウト コードの変更 (Sun ターゲット)-42 キーボードのオプション -71 キーボード言語の設定 (Fedora クライアント) - 334 グループベースの IP ACL (アクセス制御リス - 126, 127, 132, 135, 238 コマンド ライン インタフェース (CLI) - 267 コマンドのオート コンプリート - 272 コンセントの電源オン/オフの切り替えまたは 電源再投入を行う - 223 コンピュータ インタフェース モジュール (CIM) - 114, 302, 377 ご使用のブラウザで AES 暗号化方式がサポ ートされているかどうかを確認する - 232, 233, 235 さ サーバ - 366

サポートされていない Macintosh のキー組み 合わせ - 337 サポートされている CIM およびオペレーテ イング システム (ターゲット サーバ)-2, 13, 34, 303 サポートされているオペレーティング システ ム (クライアント) - 2, 13, 309 サポートされているスマート カード リーダ ーとサポートされていないスマート カード リーダー - 87, 282, 315, 380 サポートされているブラウザ - 311 サポートされているブレード シャーシ モデ *𝗤* - 189, 191, 196, 206 サポートされているプロトコル - 41 サポートされている画面解像度 - 2, 24, 29, 312. 313. 340 サポートされている画面解像度が表示されな い - 340 シングル マウス カーソル - 85

シングル マウス モード Firefox を使用して CC-SG の管理下にあ るターゲット サーバにアクセスする場 合 - 346 スキーマ キャッシュを更新する - 327 スキーマへの書き込み操作を許可するように レジストリを設定する - 324 ステップ1 KVM ターゲット サーバの設定 - 14, 15 ステップ2 ネットワーク ファイアウォールの設定 -14, 30 ステップ 3 装置の接続 - 14, 31, 39, 178, 189, 191, 196 ステップ4 Dominion KX II の設定 - 14,34 すべての CLI レベルで使用できるコマンド -273 スマート カード (VKC および MPC)-87 スマート カード リーダー - 315 スマート カード リーダー使用時の USB プ ロファイルの変更 - 343 スマート カード認証と CAC 認証 - 380 セキュリティ - 378 セキュリティと認証 - 281 セキュリティの設定 - 226 セキュリティ上の問題 - 226.276 その他 - 383 ソフトウェア - 10

た

ターゲット サーバとの接続距離および画面解 像度 - 312, 313, 370
ターゲット サーバにアクセスする - 289
ターゲット サーバのスクリーンショットの使用 - 80
ターゲット サーバの使用 - 6, 44, 187
ターゲット サーバの電源管理 - 65
ターゲット サーバの命名 - 39
ターゲット サーバの要件 - 318
ダイレクト ポート アクセスの概要 - 95, 161, 162
ツール オプション - 90
デスクトップの背景 - 15



索引

デバイス管理 - 154 デバイス情報 - 246 デフォルト パスワードの変更 - 35,48 デフォルトのログイン情報 - 14

な

ネットワーク パラメータ値を設定する - 274 ネットワークを設定する - 277 ネットワーク基本設定 - 155 ネットワーク速度の設定 - 159, 321

は

ハードウェア -9 はじめに -1 パスワードの変更 - 153 バックアップと復元 - 203, 247 パッケージの内容 -13 パラメータ値を設定する - 274 ビデオ モードと解像度 - 340 ビデオのプロパティ - 75 ビデオ設定の調整 - 77 ファームウェアをアップグレードする - 253 ファイル サーバのセットアップ (ファイル サーバ ISO イメージの場合のみ) - 106 ファイル追加後に仮想メディアが最新の情報 に更新されない - 345 フランス語キーボード - 333 ブレード サーバ - 367 ブレード シャーシでサポートされている CIM - 189, 191, 196, 206 ブレード シャーシのサンプル URL フォーマ ット - 193, 195, 198, 200, 212 ブレード シャーシの設定 - 186 ブレード シャーシの必須および推奨設定 -189, 191, 196, 209 プロキシ モードと MPC - 346 プロファイル名の競合を処理する - 251 ヘルプでの最新情報-2 ヘルプのオプション - 94 ポートの設定 - 177 ポート権限の設定 - 126, 127, 131, 135 ホット キーと接続キー - 53,287

ま

マウス オプション - 81 マウス ポインタの同期 - 82



マウス ポインタの同期 (Fedora) - 338 マウスの設定 - 16

P

ユーザ - 135
ユーザ グループ - 124
ユーザ グループとユーザの作成 - 42
ユーザ グループ情報を Active Directory サーバから返す - 145
ユーザ グループ情報を RADIUS 経由で返す - 149
ユーザ グループ情報を返す - 323
ユーザ メンバの rciusergroup 属性を編集する - 328
ユーザが同時接続可能 - 280
ユーザとグループの関係 - 126
ユーザのログオフ (強制ログオフ) - 138
ユーザ認証プロセス - 151
ユニバーサル仮想メディア - 353

6

リセット ボタンを使用して Dominion KX II をリセットする - 296 リモート アクセス - 350 リモート クライアントの要件 - 319 リモート接続 - 312 リモート認証 - 41, 219, 293 ローカル コンソールからの Dominion KX II ローカル ポートの設定 - 294 ローカル コンソールのスマート カード アク セス - 89,282 ローカル サブネット上のデバイスの検出 -56 ローカル ポート - 372 ローカル ポートの管理 - 290 ローカル ポートの要件 - 317 ログアウト - 60 ログイン - 269,270

漢字

仮想メディア - 6, 98, 345 仮想メディアの使用 - 104 仮想メディアの切断 - 105, 112 仮想メディアへの接続 - 108 仮想メディアを使用するための前提条件 -102

索引

仮想メディア機能利用時におけるターゲット サーバの BIOS の起動時間 - 345 概要 - 14, 62, 95, 99, 113, 222, 267, 279, 331 各言語に対してサポートされているキーボー ド - 314 拡張ローカル ポート (Dominion KX2-832 お よび KX2-864 モデルのみ) - 374 拡張性 - 376 環境要件 - 301 監査ログ-244,295,296 管理機能 - 381 関連文書 -1 既存のユーザ グループの変更 - 134, 137 許可の設定 - 2, 126, 130 個別グループの許可の設定 - 132, 137 高速の仮想メディア接続を使用した場合の仮 想メディアの接続エラー-345 再起動 - 257 最小システム要件 - 282, 317 最大垂直走査周波数の変更 - 81 仕様 - 32, 221, 298 使用される TCP ポートおよび UDP ポート - 319 使用できる USB プロファイル - 114, 342, 354.355 手順 5(オプション) キーボード言語の設定 - 14,42 色の調整 - 76 新しい属性を作成する - 325 新規ユーザ グループの追加 - 126, 136 新規ユーザの追加 - 136, 137 診断 - 260 製品の写真 - 7 製品の特長 -9 接続キーの例 - 218, 287, 292 接続情報 - 70 全般的な質問 - 348 組み合わせと JRE - 334 属性をクラスに追加する - 326 電源タップ (ラック PDU) のコンセントの制 御 - 222 電源タップ (ラック PDU) の接続先の設定 -179 電源タップの接続 - 179 電源の自動検出の指定 - 40

電源制御 - 375 読み取り/書き込み可能に設定できない状況 -109 日付/時刻の設定 - 166 入門 - 15, 273 認定モデム - 165, 311 汎用ブレード シャーシの設定 - 189 標準ターゲット サーバの設定 - 178 標準マウス モード - 83 表示オプション - 93 物理的仕様 - 298 保守 - 244 有効な解像度 - 284 用語 - 11, 15 留意事項 - 314, 331


🕮 Raritan.

▶ 米国/カナダ/ラテン アメリカ

月曜日~金曜日 午前 8 時~午後 8 時 (米国東海岸時間) 電話:800-724-8090 または 732-764-8886 CommandCenter NOC に関するお問い合わせ:6 を押してから 1 を押してください。 CommandCenter Secure Gateway に関するお問い合わせ:6 を押してから 2 を押 してください。 Fax:732-764-887 CommandCenter NOC に関する電子メール:tech-ccnoc@raritan.com その他のすべての製品に関する電子メール:tech@raritan.com

▶ 中国

北京 月曜日~金曜日 午前9時~午後6時(現地時間) 電話:+86-10-88091890

上海 月曜日~金曜日 午前9時~午後6時(現地時間) 電話:+86-21-5425-2499

広州 月曜日~金曜日 午前9時~午後6時(現地時間) 電話:+86-20-8755-5561

ト インド

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+91-124-410-7881

▶ 日本

月曜日~金曜日 午前 9 時 30 分~午後 5 時 30 分 電話:+81-3-3523-5991 電子メール:support.japan@raritan.com

▶ ヨーロッパ

ヨーロッパ 月曜日~金曜日 午前8時30分~午後5時 (GMT+1 CET) 電話:+31-10-2844040 電子メール:tech.europe@raritan.com

英国 月曜日~金曜日 午前8時30分~午後5時(GMT) 電話:+44(0)20-7090-1390

フランス 月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 (GMT+1 CET) 電話:+33-1-47-56-20-39

ドイツ 月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 30 分 (GMT+1 CET) 電話 :+49-20-17-47-98-0 電子メール : rg-support@raritan.com

メルボルン (オーストラリア)

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+61-3-9866-6887

台湾

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (標準時:GMT-5、夏時間:GMT-4) 電話:+886-2-8919-1333 電子メール:support.apac@raritan.com